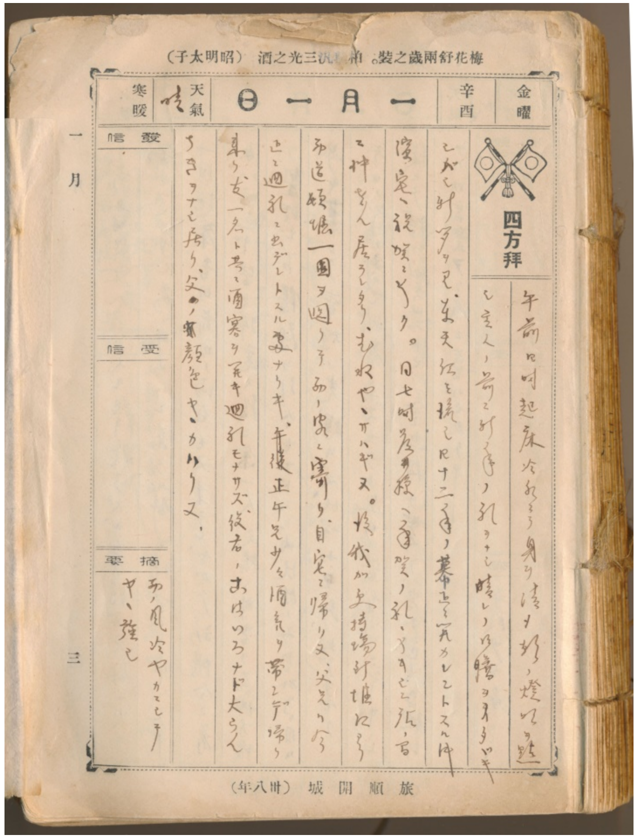

伊藤音次郎日記

1909（明治 42）年

文字データ作成：一般財団法人　日本航空協会　2018（平成 30）年 6 月

＊お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会
航空遺産継承基金事務局
〒105-0004
東京都港区新橋 1-18-1
電話　03-3502-1207
ファクス　03-3503-1375
電子メール　isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼3ページ▲▼　明治42(1909)年1月1日(金)

天気　晴

摘要　西ノ風冷ヤカニシテヤヽ強シ

午前四時起床　冷水ニテ身ヲ清メ朝ノ燈明ヲ點シ主人ノ前ニ新年ノ礼ヲナシ晴レノ御膳ヲイタヾキシバシ新聞ヲ見、東天紅ヲ流シ四十二年ノ幕正ニ開カントスルトキ濱宅へ祝賀ニ行ク。同七時藤井様ヘ年賀ノ礼ニ行キシニ店ノ間ニ沖さん居ラレタリ。むねやゝサハギヌ。後我ガ受持場所堀江ヨリ西道頓堀一圓ヲ廻リテ西ノ家ニ寄リ、自宅ニ帰リヌ。父兄ハ今正ニ廻礼ニ出デントスル處ナリキ。~~午後~~正午兄少々酒気ヲ帯ンデ帰リ來リ、友一名ト共ニ酒宴ヲ開キ廻礼モナサズ、役者ノこはいろナド大らんちきヲナシ居リ、父ノ顔色ヤヽカハリヌ。

ヤガテノ事ニ客ハ帰リヌ。余ハ兄ヲ進メテ共ニ礼廻リニ出デシテ戎ノ辻辺ヨリ吹雪すさまじク帰リ來テ乗藤迄行キシ時最モハゲシカリキ。然ルニ　ニモ年始ノ宴開カレ居リテ乗市ノ進メニ兄ハ又々其中ニ加ワル事トナリケレバ其レヨリ余一人ニテアッチ向フ筋ヲ一里山迄行キ一先帰リテ父ニ右ノ由話シテ後學友小島君ノ宅ヲ訪ヅレ半町ニ出デ賀音ニ行　先程ノ失礼(先程乗藤ヘ行キシ時兄酒ノよいニ乗ジ賀音ノ主人ニ対シ「賀音ノはげちやん御目出度う」ト云ヒシニ付兄ニハ知ラサ　~~ネドモ~~サズ)ヲ謝シ裏町ヲ巡リテ帰宅シヌ　サレド唯一人ニテ旅ビ友達無ケレハ西ノ家ニ姉ヲ訪イ一二はい御ちそーニ成リテ火點シ頃宅ニ帰リヌ

八時頃帰店　九時就床

▲▼4ページ▲▼　明治42(1909)年1月2日(土)

天気　晴

摘要　午後少々曇リヌ

午前五時起床　今ダ一人モ起キ居ラズ。ヤムヲ得ズ火鉢ニ火ヲ　~~起~~イコシツヽアリシ處へ中山ハン來ラル　漸(ママ)時新聞ヲ眺ムル中ニ一同起床　吉田前田ノ両氏モ又來ラレ、ヤガテ初帳合ニ着手　八時過ギ皆々帰宅ス。後ニ余一人元帳へ附替ヲナシ地方帳ヲ整理シ下帳簿ヲ引合セナドスル内此頃ノみじかき日ハ早ヤ暮レテ電燈ノ光、輝キヌ。此時小旦那出デ來リ今日ノ行ニ対シ非常ニ賞セラレ且ツ、皆食事ニ行キシ後ニテ特別賞與トシテ金五円ヲ貰フ。尚ホ色々御親切ナル御言葉アリ誠ニ喜バシカリキ

夜由吉ト共ニ活働写眞見物ニ行ク

十時就床

本年ハ不景気ノ爲カ、開店休業ノ爲カ將タ又勤険力行ノ御詔勅ノ爲カイツモニギヤカナル「ヨイヽヽヽ」ノ声イトサビシクタヘダエナリキ

▲▼5ページ▲▼　明治42(1909)年1月3日(日)

天気　曇リ
摘要　夜十時頃ヨリ雨メ
六時起床　朝風呂ニ入リ朝食後タヾチニ住吉ヘ参拝シ帰途前中ヘ年賀ヲ寄ル
午後晝飯ノ後小旦那ニトモナハレ藤田君ト共ニ八幡八幡宮ヘ詣デヌ
発信　川崎藤吉殿　田中むめの殿　大日本繪画講習会　細川栄蔵殿　年賀状
受信　小島兼次郎氏年賀状

▲▼6ページ▲▼　明治42(1909)年1月4日(月)

天気　雨
「ドジヽヽ」ハーイ　ユメハ破レタ　中山ハンノ声デアル。タヾチニ起キテ表戸ヲ開キ自分モ着物ヲ着替ヘタ時正ニ午前二時弐十分
本日ハ棚卸シデアル。然ルニ当日ハ二時ニハ最(ママ)非懸ランナラント大ロタヽイタ前田氏ガ未ダ來ナイ　実ニ馬鹿々々シイ野良ダ。ヤガテ二十分モ過ギタ頃ヤウヽヽヤッテ來タ。余ハ中山氏ト西塚君ト表倉庫ヲ受持事ニナッタ　早速仕事ニカヽッタガ第一必要ナ仲仕ガ來ナイ。ヤムナクヨビニヤルト頭ト加野トダケガ來タ　其ノ他ノ者ハ一人モ。其中三時モ過ギタ三時半四時　早ヤ白々夜ノ明ケル頃ニ成ッテモ、成美ト満利ノ二人ダケ　譯ケヲ聞クト毎年出ル、ハッピヲ前田氏ガ之レヲ仲間ノ内二人丈ニ分ケテ残リヲ内ヘ返シタ爲　サテコソカヽル「ストライキ」起シタトノ事　重ねゝゝ馬鹿々々敷ノハ前田氏ダ(然シ八時頃ニやうやく已ノ助ノ骨折デ來ル様ニ成タ)
夕方一昨日ノ五円ノ内三円店員預金ニ入レタ　店員簿ヲ見ルト三四名昇給者ガアル余ニハタヾ何ニカアヤシナ紙ガハソンデアッタ。察スルニ正午前三円出シタ御 事小言ダロー。シカシ今日入金シタカラ、何時カ余ヲ、シカル爲店員簿ヲ見タ時ニハ、ロアングリダロー　実ニ虫ノ好カナイ老主人ダ(十時就床)

▲▼7ページ▲▼　明治42(1909)年1月5日(火)

天気　晴
午前七時起床　終日決算ニ急(ママ)ガシク夜八時迠デ夜業ス　後西塚君ノ寫眞ヲ現像シヤル　九時過ギ終リ後物理學ヲ研究ス　此他特筆スベキ記事無シ
受信　泰西學館校長水野先生より年賀状並に入學進めの爲め

▲▼8ページ▲▼　明治42(1909)年1月6日(水)

天気　晴
午前六時四十分起床　本日決算成就ス　純益金一万五千五百〇拾一円六十五銭ノ
内三千円約定　商品見越損引差引壱万弐千円余　後期繰越、右ニ付夜九時迄夜業ス
但シ余一人本日夜廻リ　之レヨリ参イリマショー　時正九時
発信　泰西學館分校長水野先生ヘ昨日の返信

▲▼9ページ▲▼　明治42(1909)年1月7日(木)

天気　晴
午前六時四十分起床　本日昨年度下半期間月表ヲ合計　精算表ヲ作ル。夜物理研
究　電気學ニ付イテ少々得ル處アリタリ。後三角術ヲ習フ　小旦那ノ説明ヲ得タリ
△大阪木津川セメント会社掛金受取ル
△昨年度利益金ニ対シ本日金五円賞與ヲ貰フ　但其儘店員預金ニ付ス

▲▼10ページ▲▼　明治42(1909)年1月8日(金)

天気　晴
摘要　少曇リ
晝食後大久保商会ヘ武力板値段ノ件ニ付キ行ク　兎ニ角本町ヘ目下二十銭ノ口銭ニ付
キ照会中ニテ一両日中ニハ大久保ヨリ当店ヘ相談ニ参ル由ニテ帰ル　但シ大久保方ニテハ
十二月末掛高三十九円余　全部ヲ値引セラレタシト申シ居リ当方ニテハ其要求ニ應ジ
難シト云ヒ張リ其儘ノ別レニ成リ居ル。其レヨリ天満小川善ヘ関西金物同盟會ノ回□
ヲ持参シ判ヲ貰フテ帰ル　其他記事無シ
夜物理ヲ學ブ　然シ本日ハ一寸モ気ガ乗ラ無イ
本日ヨリ小旦那地方係ト成ル　余ハ此レカラ楽ガデキル
発信　博文館
受信　和賀喜三郎　受取人無しとて年賀状帰る

▲▼11ページ▲▼　明治42(1909)年1月9日(土)

天気　曇
摘要　夕方ヨリ雨
今日少々寝過ギタ　起キテ見ルト七時一寸ト廻ワッテ居タ
日中ハ別ニ記事無シ　夜六時ヨリ土曜會第一回開會ヲ当店階上ニ於テ開カル　後終ッ
テ藤田君ト二人ストーブニ熱ヲ取リ談話　お梅さん來リ此レヨリ大将ノ人身攻ゲキニ

ウツル
梅「アノ寫眞ヲ見テ見ナハレ、イヤラシイ横目ヲツコーテ　郡サンノ寫眞ハ皆アンナンダナ。
藤田「アレヲ、ヱー思フウテ客室ニ上ゲテルネン然シ、ミッチヤダケハキレイニミヱテル」ナド　其他「出バアミ」トカ種々云ヒ草アリ
十一時過ギ就寝

▲▼12ページ▲▼　明治42(1909)年1月10日(日)

天気　晴
摘要　少曇リ
朝早く起き出てゞ雨戸くれば昨夜の名残ハ何處へやら　空晴れてしばし後ニハ露ふくめる屋根に朝日きらゝ　実に日本晴の好天気
昨夕ヨリ「マユ」にしわよせし小宝商人の喜ビ如何ばかりか　尚其上ニ参詣する人の便利も又はかられず。今年ハよい福鳥酉の年としやれて御酒気元のちどり足　御笠かたげてと歌の文句ならねど出る人又多かるべし。去る種々われも朝から帰るも主人ノ手前なんとやらやむを得ず風呂ノ明く迠戸次殿ニ論語ノ講義(ママ)を聞き湯から上がって晝食をすまし、すぐ仕度して、一寸之れも御土産ノしるしニと西洋料理屋ニて蠣のフライにコロッケ五十銭がとニ折詰にして、ぶらり出たのが丁度十一時過ぎ
帰りて見れバ京の都より客一人あり(亀吉殿)　やがて其内二三人も來り共ニ酒宴を開きぬ
午後二時もやゝ過ぎし頃ヨリ我家の裏参詣人ニて引も切らぬ有様ニて昨年□りかゝる事は少しも無りしなり。実に大変な人出　くるはゝゝ老いたるも若きも女も小供も、中ニハ父様母様ニねだって買って貰ふた風船玉を飛すなど、いつも変らぬは十日戎のそーゞゝしさなんめり

▲▼13ページ▲▼　明治42(1909)年1月11日(月)

天気　晴
摘要　寒風強シ
地方ヲ、ヤラナイ様ニナッテ、ヒマデ仕方ガナイカラ、シバラク下ヲノ手傳ワシテヤッタ。
夜ハ六時カラ七時迠習字　後チ三角ヲヤッテ居タ處へ小旦那ガ出テ來テ文字ノ講釋ヲ聞イタ　終ッテ物理ヲ研究シ昨夜買ッテ帰ッタ、ゼンマイ仕縣ノ電気ニツイテ色々考ヘテ見タ。又大気ハ非常ノ、アツ力ヲ有スル事ヲ知ッタノデ之レヲ昇ルニハ、ヤハリ風車様ノ物ヲ以テ大気ヲ左右ニ分ケテ進ムニカギルダロート思ッタガ、扨テドーダローカシラ。
次ノ休日ニハ最(ママ)非之レガ実見ヲヤラネバナラン
受信　細川栄蔵年賀状

▲▼14ページ▲▼　明治42(1909)年1月12日(火)

天気　晴

午前七時起床　晝食後桜組へ堺市役所鉛不良ノ件ニツイテ行ッタ　用談ハ松岡ニ堺へ行ッテ貰フ爲メデアッタガ向ハ手前ノ方カラ表立ッテ行ケナイカラ兎ニ角中山君ニ赤井(役人)ノ宅へ行ッテルトケノ違ヲ立ニ頼ニ行ッテタノンデ貰フヨリ外道ナイトノ答へデアッタ　帰途大久保へ八日ノ日ノ話ノ決着ヲ付ケル爲メ行テ、ツヒ二三十九円十四銭ノ内十四銭ハ銅コテ背受　十九円ハ本郷ロ銭九十五函分(二十銭替)　十弐円五十銭(カリニ百函ト見テ一函十二銭五ノ替)値引掛七円五十銭手形ニテ受取リ帳消スル事ニシテ早速本日注文ノ武力弐十函持タシテヤル事ニシタ。夜大將ガ出テ來テ居タノデ定刻ヨリ十分遅レテ習字ニ着イタ　七時十分終ッテ順慶町ノ夜店へ行キ丸善ニテ赤インキ一壺ト英字雑誌倫教ヲ一冊買タ　帰途アマリ人ガ集マッテ居ルノデ何ニカト見ルト、「コマ」ヲ賣ッテ居ルノデアッタ。ソーシテ、「コマ」ハ二重ニナッテ居テ直立ノ糸ヲ二三間ハ楽ニ上ルノデアッタ。依テ又何ニカノ研究材料ノ為メニト思ッテ一個購ナッテ居イタ

▲▼15ページ▲▼　明治42(1909)年1月13日(水)

天気　曇

摘要　ヱー　初雪ヤー

フト目ヲサマシテ見ルト窓ガ非常ニ明ルニ、ソット開イテ見ルト往來ハ白金ヲ敷タ様　早ヤ一寸余モ積モッテ居タ　夜ガ、マッタク明ケテカラモ尚ホ細雪ハ紛々トシテ降リ續キ十一時ニ(ママ)頃ニ及ヨンデ漸ヤク上ガッタ。夜例ノ通リ一時間習字ヲヤッテ後請求書ノ合算ヲナシ終ッテ寝床ニ入リ金物同盟會ニ付イテノ所感其儘論説文ヲ作ッテ見ル

▲▼16ページ▲▼　明治42(1909)年1月14日(木)

天気　晴

摘要　少曇リ

正午前大阪市役所へ見積ニ行ッタ。見ルト丁亜鉛ホーヘンロン百七十貫ニ丁錫弐百磅デアル　先ヅ、ソコヽノ値段ヲ見積ツテ居イテ帰途濱町事務所へアンチモニーノ保証金取下ゲニ寄ッタガ判ガナイノデ又出直ヲシタ　然ルニ此時すでに一時過ぎテ居タノデ西洋料理屋神港館へ飛コンダ

夜六時半ヨリ一時間五習字後昨日作リ縣ノ文ヲ作ル

就寝前列(ママ)ノコマヲ出シテ、廻サズニ重量ヲ計リ後チ之レヲ廻轉セシメテ貫々ニ懸ケテ見ルト、ヤハリ心持軽イ様ニ思ッタ

▲▼１７ページ▲▼　明治４２（１９０９）年１月１５日（金）

天気　晴

市役所カラ昨日ノ丁錫弐百磅ハ弐千磅デアルカラ訂正ニ來イト云フノデ早速出懸テ行キ昨日ヨリ百五十銭替引磅ノ六十三円四十デ見積ッテ居イタ。ソーシテ又鐵道院ヘ保証金取下ゲニ行クト今度ハ帝国鐵道廳ヲ、タゞノ鐵道院ト直シタノデ判ヲオセトエワレタガ持テ來ナカッタカラ明日迠、日延べ後つひでニ内へ帰つて、シヤツパッチノ注文をして居いた。

夜例ノ通リ習字を終ッテ後飛行艇の「ヒナ形」を作ル爲メニ圖を畫イタ。九時半ヨリ講談本ヲ讀ンデ見たが実ニ馬鹿々々敷様ナ事バカリ書イテ有タ　シカシトードー一冊コロリト讀ンテシマッタ　一時就寝

発信　大阪禁酒會出張所

▲▼１８ページ▲▼　明治４２（１９０９）年１月１６日（土）

天気　晴

午前造幣局へ丁銅ノ見積書提出ニ行キ帰途桜組へ寄ッテ赤井ノ宅へ松岡ニ行ク様ニ云テキタ

夜前夜ノ飛行機圖ニ付イテ種々考ヘヲコラシタ

七時ヨリ習字　八字終リテいよ万へ、雪駄ヲ買イニ行ッタ　帰店後タゞチニ寢ニ就ク

先日ヨリチヨコゝ思ワヌデモ無カッタガ本日ヨリ十ヶ年間間食ヲ斷ツ事ニシ、坂口夫ガ西洋料理ヲ進メタガ大勇気ヲ以テ之レヲ、サケタ

▲▼１９ページ▲▼　明治４２（１９０９）年１月１７日（日）

天気　晴

本日ハ終日店ニアリお作さんが休んだので余ガ會計をやった

夜土曜會開會せられ、大將ガ又余ニ何ニカ云ヒ付ケルノデ云ワレタダケハシテ居イテ、本日ハ岡本正ト西塚トノ番ダカラソノ其由ヲ大將ニ云フテ帰宅ヲ願ッタ。其時科費新さんが來テ居ラレルニモカゝワラズ、ソーロ前ノ様ニ度々帰ってはどんなうん　小供ノ内カラ丸デ通勤者ノ様ダなどゝ云ヒテ尚ほ、たん壷ヲ此處へ居いとけとか云ヒ付ケラレタ。実ニ残念仕極デアル。己れ大將デ、アローガ誰レダローガ今ニ見ロ。余ノ目的ノ達セラレタ時ニハ必ラズ此復習ヲシテ見セルゾ。

六時帰宅　聞クト西ノ姉ガ病気トノ事　早速見舞テ見タガ今日ハ大変宜イトノ事　此

レナラ先ヅ大丈夫
帰途七時浪花坐ノ活働寫眞ヲ見タ　阪根ノ番当モ來テ居テ二三言葉ヲカワシタ

▲▼20ページ▲▼　明治42(1909)年1月18日(月)

天気　雨
今朝市役所へ代金請求ニ行キ帰途高麗橋三休橋ノ禁酒會へ契約書ヲ出シ徽章ヲ買ヒ會費四ヶ月分ヲ前納セリ
夜習字ヲ終リ後先日ヨリ作リカケノ金属同盟會ト組合組織ヲ作ル

▲▼21ページ▲▼　明治42(1909)年1月19日(火)

天気　曇
摘要　後雨
午前五時過ギカラシクヽ腹痛ヲ感ジ休モーカト思ッタガ、ツヒニ一時過ギ迠デ我萬シ二時少シ前ニ二階へ上ガッテ寝タ
夜腹ガヘッタノデ西洋料理二三平らげすぐ床ニ入タ　ソーシテ昨夜ノ組合組織ヲ作ル後雑誌ナドヲ讀ミ十時頃~~火ヲ~~消火シタガドーシテモ寝付カレナイ。家ノ事ヤ、自身ノ過古、現在、未來等ニ付イテ種々感思ガ、ワイテツヒニ三時頃小便ニ行キ、ヤット寝ラレタ
受信　博文館圖書目録

▲▼22ページ▲▼　明治42(1909)年1月20日(水)

天気　曇
摘要　夜八時頃ヨリ雨
午前七時起床　本日モ終日店ニ居タ　午後横山氏所有ノ天王寺村ナル地所ノ圖ヲ畫カサレタ
夜宝文館へ本ヲ買ヒニ行ッタガ休ンデ居タ　帰途ヤケニ西洋料理屋へ飛込ンデヤッタ
帰店後作文ヲ作リ後物理研究ス

▲▼23ページ▲▼　明治42(1909)年1月21日(木)

天気　雨
本日記事無シ
夜店の経費節減ニ付イテ協議會開カレ爲メニ博文館へ行く事も研究スル事モ出來ナカ

ツタ

▲▼24ページ▲▼　明治42(1909)年1月22日(金)

天気　晴

摘要　自宅ヨリ、シヤツ、パッチ、下駄、金二円ヲ貰フ

本日ハ旧暦元日ナノデ四時頃店ヲ閉ジ余ハ直グ宝文館ヘ本ヲ買ヒニ行ッタ(三角法講義　ポケット用世界地圖、英語ノ日本)

夜一時間習字ノ後三角ヲヤッテ居ル處ヘ小旦那ガ出テ來タノデ英語ノ讀ミト釋トヲシテ貰ッタ。。九時頃岡本正君ト精養軒ヘ西洋料理ヲ喰ヒニ行キ種々話ヲシテ居タ處彼レハ全ク佐渡島ニ奉公スル気ハ無ク、遠ク海外ニ出デ、成功シ名誉ト地位ノ二ツヲ得ル目的ダト云ッテ居ル。余ノ目的ト稍ヤ相似テ居ル處モアルガ行ク道ガ違ウ　然シ彼レニシテ成功スルカ、セザルカハ見物デアル。本日大ニサトル處アリ　礎ヲ作ル

▲▼25ページ▲▼　明治42(1909)年1月23日(土)

天気　晴

摘要　本日少々気分悪クセキデ、風引ノ気味アリ

市役所ヘ行ク道々各本家ヲ片端カラ尋ネテ、ヤット瓦斯及石油機関ヲ買ッタ　金五十銭　内容ハ頗ル明確デアル　市役所ヘ着イタノガ九時半　其レカラ十一時半頃マデ待ッタガツヒニ係官使ガ來ナイ爲メ明後日迄延期。用事ハ保証金取下。帰途岸本ニ阿保弘平ノ委托金ヲ貰ヒニ寄ッタガ金來タ處ダカラ明日ニシテ呉レトノ事　今一軒江戸堀一丁目ノパウル・シユラム商會ヘ立寄ルト今皆々土曜日ニ付キ帰ヘッテ仕舞タトノ事　今日ハ皆ナ御茶ヲ引イタ

夜例ニ依ツテ研學ニ勉ム

発信　東京数理學会　大日本工學会　何レモ講義録見本及規則書請求ノ爲メ

受信　藤井甚松様　時候ノアイサツ　一寸ト珍ナ繪葉書

▲▼26ページ▲▼　明治42(1909)年1月24日(日)

天気　晴

本日モ終日店ニ居タ　午後ハ物價表ヲヤッタ　夕河野君ハ小旦那ガ活動寫眞ノ話ヲセラレルト本年ニナツテ未ダ見タ事ガナイトヤツタノデ夜ツレテ行テ貰ッタ　其時丁度余ハ習字ヲシテ居タノデ御供ニ洩レタ　何ンダカ、ツキオトサレタ様ナ気ガシタガ、スグ下カラ又何ニクソ今ニ見ロ　目的ガ成立シタナラ、イヤ必ズ成功セシメルト云フ反抗心ガムラヽヽトワイタ　余ハ常ニ此返(ママ)抗心ニヨッテ目的物ニ対シ進ミツヽアルノダ

後関西同盟會成立ト組合組織ヲ清書シカケタ　小旦那ガ出來上ガッタラ一度見セロト云ワレタ

発信　藤井甚松君昨日ノ返信　研数學館見本取寄ノ爲メ

受信　研数學館　工學會講義録見本

▲▼27ページ▲▼　明治42(1909)年1月25日(月)

天気　雨

御初天神モ雨ニハ、カナワムダロー　トードー一日降リ通シダ

店ニハ三時頃ニ品仕舞ニシタ。本日午後二時上村小坊ンノ葬式デ主人ハ三人共皆留都(ママ)。夜土曜會ノ爲メ何ニモ出來ナカッタ　十一時就寝

▲▼28ページ▲▼　明治42(1909)年1月26日(火)

天気　晴

摘要　少雨メ

市役所ヘ保証金取下ゲニ行タ　處ガ少シ遲クナルナルカラ一二軒行テ來テ呉レト云フノデ郵船会社ヘ行キ製鉄所ノ平板ノ談バン、ヲシタ　該會社ハ当店ノ辨金申込ニ依リスグ取調ノ結果廿四日付製鉄所々属汽船吉林丸ヨリノ手紙ニテ右平板ノ鎖ハ本船ヘ積ミ込ミノ際少雨ヲオカセシ爲ヌレシニ依リ当店ヘハ成可円満ニ引渡サレタシト云ヒ來リ居リ其レガ爲該会社ヘ製鉄所ヘ其通知ニ及ビタルニ製鉄所ニテハ直接当店ヘ懸合由申居リ之レニテ打上ゲ

再ビ市役所ニ依リ一時間余待チテ保証金ヲ取下ゲ帰途岸本ニテ阿保ノ金四十五円四十五銭受取リ尚増田ニテ呉ノ眞中棒ノ見積ヲ乞ヒ平均四十一円トノ事ニテ帰途ニツキモ然ルニ、ニワカニ大雨メトナリヤムヲ得ズシバラク増田ニテ休ミ雨ノ晴レルヲ待チテ帰リヌ　此時丁度若主人増田ヘ來ラレタリ

午前六時半起床　掃途(ママ)ヲ終リ後三角ヲ講習シ夜ハ習字英語、物理等ヲ研究ス

受信　数理學會

▲▼29ページ▲▼　明治42(1909)年1月27日(水)

天気　晴

摘要　後曇リ

夜活動寫眞ヘ行ッタ　一番好イト思ッタノハ佛国ノ競馬デアッタ。其他デハアマリ皆感心スル様ナモノハ無カッタ　唯空中飛行機ガアッタガ之レモ実物デナイノデサホド熱心ニモ見ルニ及バヌ物デアッタ

八時半頃店へ帰テ來タラ　己ノ吉ガスグ内へ今帰ヘッタト云ヘト云フノデ大抵察シタガ先ヅ内へ行ッテ、唯今トヤルト、御寮人ガ、ドナタト來タ　其レト思ッタカ、ヘイ音吉デトト答ヘルト、音吉ガ今帰リマシタト少シ声高ニ云ッタ。シバシ、ボシヤヽヽト何ニカ聞ヘテ居タガ「其ンナラ宜シイ」ト云ハレ、ヤレヽヽト店ヘ出テ來ルト、己ノ吉君ハ、プンヽヽ何カ「ボヤイテ居ル」　阪口君ニ岡本正君ハ小旦那ニ何カ意見ガマシイ事ヲ聞イテ居ル

四辺ノ光景実ニタヾ事デ無イ　後ニ聞クト昨冬皆ガ店員預金ヲ獨斷デ出シタ事ニ付ヒテ大目玉ヲ頂キ藤田君ハ、オマケニ給料ヲ三円五十銭ニ減シ昨下半番ノ賞與金取上トノ事　サテヽヽ今サラナガラ、ムゴイ主人デアル

今夜井上君モ留都(ママ)デ余ト井上君ハ明日叱ラレルトハ、巳ニ明ラカデアル。余ハ何故カト云フニ他ノ人ガ出スニ付店員簿へ余ガ記帳シテヤッタカラダ

▲▼30ページ▲▼　明治42(1909)年1月28日(木)

天気　晴

本日午前六時半起床　掃除後 ヰ瓦斯及石油機関ヲ研究ス

今朝給料ヲ貰フ時案ノ條御目玉頂ダイ。タヾ悪オマシテヘイヽヽデ、トーヾースマシテ仕舞ッタ

夜習字後三角、瓦斯及石油機関其他研究ス

▲▼31ページ▲▼　明治42(1909)年1月29日(金)

天気　晴

本日は平々凡々の内ニ終　夜又常ノ如シ

▲▼32ページ▲▼　明治42(1909)年1月30日(土)

天気　晴

摘要　午後降雪ヲ見ル

午前三時半起床　午後二時前河野君ノ借用金返金ノ爲メ内へ貰ヒニ帰ッタ　父モ姉モ留都(ママ)ニ付おつる殿ニ貰フ　帰ヘレバ帳簿スデニ仕舞ハレタリ　余ハ少時漢文ヲ讀ミ後湯ニ入ル

夜習字物理終リテ九時頃ヨリ不如帰ヲ讀ム　浪子ノ薄命ニシテ尚病テ後ノ彼レハ一シヲニ又武雄ノ雄□テ、ヤサシキ姑ノ意地悪ク、繼母ノ冷ヤヽナル、慈愛深キ父、又タ愛ラシク無邪気ナル弟妹、同情ニ富メル、阿母、並ニ千鶴子、イマワシキ千々岩等　之レ実ニ余ヲシテ泣カシメタリ。然シテ尚中途ニシテ閉ジルアタワザラシメ、ツヒニ三時ノ時計ヲ聞キ少シ残シテ寝ニ付ク

▲▼33ページ▲▼　明治42（1909）年1月31日（日）

天気　晴

午前六時半起床。昨夜遅クナッタノデ起キラレルカト案ンジダカ比格（ママ）的早ク目ガ開タ。然シテ余ノ起キ出タ時ハ、マダ誰モ皆寝テ居タ
夜會計ガ四十円不足ト云フノデ八時過ギ迄取調ナドシテ居タ　結局小旦那ガ分銅会社ノ支払傳票三十九円ト云フモノヲ廻シテ居ラレ無カッタノダ　後中山氏ト昨十月以來ノ入荷品ヲ調べテ見タ内兎ニ角武力カ最高デ四万二千函以上ノ多数デ其内地方へ出タモノガ二万函トシテ差引二万二千ノ武力ガ坂神間ニ停帯シツヽアルワケデ價格ノ下ルノモ最モデアル　九時頃ヨリ今夜ハ何ニモ出來ナイノデ不如帰ノ終リヲ讀ンダ。アヽ浪子ノ今ヤ死ナントスル時ノ彼女ガ心ノ内　直ニ之レ唯ノ小説トシテ見ル事ガ出來ナイ
自然ニ涙ノ出ズルヲトヾメル事ハ得シナカッタ

▲▼35ページ▲▼　明治42（1909）年2月1日（月）

天気　晴

午前六時半起床　掃除後例ノ通リ瓦斯及石油機関ノ研究ヲ始メタ　本日何ニト無ク難問題ガスコヽト解セラレタ　誠ニ朝カラ気持ガヨカッタ。
月表ノ下コシラヘノ爲メ夜小旦那ト七時半頃迄夜ナべヲシタ

▲▼36ページ▲▼　明治42（1909）年2月2日（火）

天気　晴

午前六時半起床　昨夜一寸女學世界ニモンロー主義ト云フノガデヽ居タノデ讀ンデ見タ「モンロー」主義トハ千八百廿三年十二月ノ米国議會ニ時ノ大統領即チ第五代目ノ大統領モンロー氏ガ南北亜米利加ノ出來事ニ対シテハ一切「ヨーロッパ」ヨリノ指圖ヲ受ケナイト云フ　換言スレバ自分ノ国ノ出來事ハ自分デ納メルト云フ主義デアル
本日ツヒニ月表ヲ仕上ゲタ　実ニ二日目ニ出來上ッタノハ今度ガ始メテダ。シカシ裏ハマダ出來テ居ナイ
夜例ノ通リ

▲▼37ページ▲▼　明治42（1909）年2月3日（水）

天気　雨

摘要　夕方ヨリ少晴

本日ハ休ト云フノデ朝ハ例刻ヨリ二十分遅ク起キタ。掃除後ハ二階ノ西洋室ニテ瓦斯及石油機関ヲヤッタ　十時頃戸次さんガ下ヘ來タノデ早速竹外誌集ヲ教ヘテ貰ッテ居タ處ヘ老主人ガ余ニボーイテーブル、ヲ掃除セヨナドヽ云ヒ付ケタ　実ニ腹ガ立ツタガ仕方ガナイ。ソンナ顔モセズニ帳場無休ヲ、フイテヤッタ（此時他ニ二三人余ヨリ下級ノ者ガ居タノダ）　然シ余ノ心ノ内ハ残念デアッタ。今ニ見ロート、ヒソカニ、サケンダ。
本日ハ終日研究ニツトメ三時頃ヨリ習字ヲナシ終リテ、金属同盟會ノヲ書イタ（先日ヨリノ分）　正午頃デアツタ　小旦那ガ渋沢男ノ實傳ヲ貸シテ下サレタノデ、少シ讀ンデ見タ　実ニ感ズベキ事ハ数々デアツタ。中ニモ家順三則ニ至ッテハ自分ニモ益スル處多カッタ。

▲▼38ページ▲▼　明治42（1909）年2月4日（木）

天気　曇
摘要　時々晴レ
今朝ハ三角モ、エンジンモヤラズニ、裏ヘ出デ空ヲ仰ギ色々考ヘテ見タ。ドーシテモ余ノ思考デハ、ライト氏ノ飛行器デハマダ、不完全デアル。何故カト云フニ最近ノ彼レガ実験ハ九百二十封度ノ重量ヲ有セル飛行器ニテ十四馬力ノ瓦斯エンジンヲ設ヘ然シテ近々一時間程シカ、空中ニ居ル事ガ出來ナシ。ノミナラズ飛行セントスル際、シバラク単線レールノ上ヲ走ナカケレバナラナイノデ場所ニ限リガ有リ猶垂直ニ上昇スル事ガ出來ナイノトデ、余リ之レ等ノ點ニ居イテ第一ニ垂直ニ上ル工夫ヲ考ヘツヽアルノデ、今ノ處デハ空気ヲ利用シテ之レヲ壓迫シ、アツ迫セラレタル空気ノ二ヶ場ヲ求メテ上方ニ押上グル様ナ仕懸ニシタイノダ。ケレドモ之レハ実際ニ飛行器ト人間ヲ空中ニ上ゲルニハ何程ノ力ヲ要スルカ。又構造ヲ如何ニスベキカノ研究ヲ、シナケレハナラナイ。アヽマヽナラヌ身体！

▲▼39ページ▲▼　明治42（1909）年2月5日（金）

天気　晴
本日ハ唯例ノ通リ別ニ特筆スベキ事モ無イ
夜ハ昨日ノ理想ニツヒテ瓦斯機関ノ動作ヲ色々研究シテ見タ　然シ一度ヤ二度デハ中々充分ト行カナイ

▲▼40ページ▲▼　明治42（1909）年2月6日（土）

午前六時半起床　同九時製銅場ヘ帳簿引合ニ行ク
夜ハ例ノ如シ
但シ本日ハ土曜會ニ付物理ニ属スル物ハ出來無カッタ

▲▼41ページ▲▼　明治42(1909)年2月7日(日)

夕方武三ガ少シ間違ヲ生シタノデ小旦那ガ一寸云フト非常ニ腹面ヲシタ處カラ、中山君ガ噴ル間ガマダヤサシイノデ此處等ノ人ノ様ニ(ト余ト河野君トヲ指シ)ナツタラ噴ツタカデ何シタカテ、タヾ笑ツテ居ルカラドンナラント云フト小旦那ハ対シ河野ハンノ團子理屈ニハドンナラン　又時々スネルシナ。ケレドモ音吉何ヲ云フテモタヽ笑ツテル計リダ、ト云ハレ暗ニ笑フ者ハ、意気地無シカ或ハ無感情ノ様ナロ振デアッタノデ、余心中ヒソカニ列(ママ)ノ今ニ見ロヲ繰返シタ。ソーシテ余ハ人ノ前デコソ噴タリ何カシナイガ今日迠デ余ノ心ニ返シタ事ハ、ヨク「キオク」シテ居ル　然シテ余ノ目的モ又之レガ爲メニ強固ニセラレタト云ヒテヨイノデアル

夜例ノ通リ

▲▼42ページ▲▼　明治42(1909)年2月8日(月)

天気　晴

本日ハ特筆スベキ事故ナシ

終日例ノ通リ

▲▼43ページ▲▼　明治42(1909)年2月9日(火)

天気　晴

摘要　稍ヤ曇リ

午前六時半起床　新呼吸ヲナシ後チ今日ハ三角ヲヤラナカッタ。何ンダカ頭ガクシヤヽヽスルノデ、夜又例ノ通リ記事無シ

▲▼44ページ▲▼　明治42(1909)年2月10日(水)

午前例日ノ通リ起床　午後ハ余リ暇ナノデ小旦那　~~ノ使イ~~ニ頼ンデ集金ニヤツテ貰ッタ。第一ニ清水ヘ行　鉛四万ヶ代三千弐百円ニ対シ千円受取済ミ　残金二千五百円ヲ受取ル。一旦帰店後山口ヘ其レヲ入金シ、駒井ヘ行キ浪板代金受取ル　弐十銭替引　其レヨリ瓦斯會社ヘ行キ代金請求ヲ無シ階下陳烈(ママ)ノ瓦斯機関ヲ見ル。少シ考フル處アリタリ

▲▼ページ▲▼

▲▼45ページ▲▼　明治42(1909)年2月11日(木)

天気　雨

午前六時半起床　帚フコト廿五分時　後チ少時新紙ヲ見ル。終ッテ「ツラスト」ヲ論ズ(但シ論ズハ記述セル事)　十時頃筆ヲ止メテ、空想ニ懸ケル。

其内風呂ノ知ラセアリ。タヾチニ入浴ス　上レバ晝食ノ膳スデニ調ヘリ　戸次殿ト食ヲ共ニス(但シ牛肉)　正午家ニ帰ルベク主人ニ暇ヲ乞ヒ、戸次殿ト同道ス　道々色々物ガタキ教訓談ヲ聞ク　然シテ君ガ進メニ依リ少時寄宅シテ後宅ニ帰ル

父ニ向ヒ余ノ決心ヲ語ラント欲セシモ今ダ自決ノ道ヲ構ゼザル内ハ何ント無ク云ヒニク、ナヤム内、父ハ親勇會ノ集会ニト出デ行ケリ　三時頃竹島ノ御家ノ御病気ヲ伺ヒ其足ニテ西ノ家ニ姉ヲ見舞フ。然ルニ病スデニ癒エタリト云ヒ居レト気ノ精カ大分ツカレテ居ル様ニ見受ラレヌ

雨雲稍ヤ散シ北天翠ヲタヽエテ最早ヤ雨ノ憂ハ除ケヌ。此時余ハ裏ノ野辺ヲ散歩スルナリキ

夕陽ハ黒雲ヲ縫ッテ次第ニ下リ時ニハ、サット金光ヲ投ゲテ野ト云ワズ家ト云ワズ黄金色ニ彩リヌ。イツモナラハ、キラヽト輝ク余ガ曽テ學屋タリシ家ノ硝子戸ハ何レニ失セシカ唯丈ケ抵(ママ)キ焼キ板モテ繞ラサレヌ　加フルニ、余等ガ唯一ノ遊ビ共タリシ二本ノ大樹ハ枝ヲハラワレ、ミキヲ切ラレ、タヾウヅ高ク積上ゲラレタルノミ　イトヾ、アワレニ見ラレタリ

余ハ奇シキ事ニ思ヒ周ヲ巡レバ學ノ庭ハ廣張セラレタルナリキ。サレド古ビタル健(ママ)築物ハ屋根ノ瓦モ處々ニ落チ、雨降ラバ漏リ、風吹カバタオレモヤセント、ウタガワレヌ。噫々余ニシテ富ヲ有セシナラバ昔ノ恩ノ萬分ノ一ヲ報ヅル爲メニハ之レヲ修ナイモシ健(ママ)替モスベキニア、

アヽ何ニヲ……。今ニ見ロ　余ニシテ天下ヲ活(ママ)歩シ成功セシ暁ハ何ンノ此レ敷位ヒ必ズ宮人ヲ驚カシ呉レン

夜食ハ姉ト共ニシ余ノ心ノアラマシヲ

帰途例ニ依リ活動寫眞ヲ見ル同情スベキ伊国大震災。滑稽ナルハ不思議ノ靴。英雄ノ末路ヲ現ワセル、史的悲劇シーザー一代記等アリ。中ニモ余ノ大注意ヲ引起セシハ最近發明空中飛行機七種ノ大競争ナリキ。競争トハ云エ、個々別々ニ寫セシモノニシテ大ニ参考トナルモノアリタリ。然ルニ何レモ近々地上ヲハナレタルニ過ギザル様ニ見エタリ。サレド実際ハ又如何ナルモノヤハ斷言スベキ限リニアラズ。此外ニ海国少年立志美譚アリ。冒險ナル、激勇ナル彼レガ、振舞ハ実ニ余ノ心ニイタク感動ヲアタエタリ　帰店ノ途スガラモ帰店後モ、ナンダカ頭ノ内デ色々ナ考ヘノミガ湧イテ昔ヲ思ヒ、今ヲ考ヘ未來ヲ相(ママ)像シテ十一時過グル頃ヤウヤク寝ニ付ク事ヲ得タリ

▲▼46ページ▲▼　明治42(1909)年2月12日(金)

天気　晴

摘要　夕漢言ヲ習

朝六時半起床　廿五分ニシテ例ノ通リニ掃除ヲ終リ裏ニ出デ新(ママ)コ吸ヲス　後昨夜
見シヲ圖ニモノシテ気憶ニトドメ、物理ヲ研究ス。夜七時頃余昨日ノ日記ヲ作リツヽア
ル時シモ火事ヨトノ声上リ、電話ニテ照会スレバ製銅場ノ附近ナル由。小旦那ハダレカ
見舞ニ行ケト、ヤイヽヽ云ッテ居ラレルガ、ダレ一人行ク處ガ、返ッテ色々不平ヲ唱エ
ツヽ、アッタ。ツヒニ中山君モ共ニ懸賞ト迠デ云ワレタガ二十銭ヤ三十銭デ、ダレガ行ク
モノカナドト云ッテ居ル。余ハ例ニヨッテ此ンナ場合ニ行テヤロートヿフ気ハ付イテ居ル
ガ、又走ッタヲオリ何カシタラ、スグ頭ガイタムシ尚又他ノ店員ノ手前、ヒカエテ居タ　シ
カシ、アマリ、ダレモ行カナイノデ、余一人ヒソカニ行ケバ別ニサシツカエナカロー、ト、ソ
ット帽子ヲ取リ内エ電車ノ切符ヲ貰ヒニ行タ　處ガ御寮人ガ何ン枚アッタラ宜シイカト
ノ尋ネニ一冊貸シテ呉レテモ、ヨサソーナモノニト思ツタガ往復四枚デ、タリマスト答ヘ
テ居ル處ヘ老主人ガヤッテ來テ、何處ヘ行クトノ問ヒニ余ハ右ノ由ヲ語ルト大声デ小旦
那ヲ、ヨビナガラ店ヘ出テ行ツタ。シバラクスルト小旦那ガ來テ、モー行カナイデモヨイ
ト云ワレタノデ余モ店ヘ出テ來タガ極リガ悪イノデ階下デ少時立ツテ居ルト、老主人
ハ例ノ大声デ中山ナド一寸シツカリシロ、今頃カラ見舞ニ行ッタリシテナニニナルカナド
色々ナ又云ヒ草ヲ云ッテ居タ　噫々余ハ実ニ馬鹿デアッタ　何ニモ小旦那ヤ中山君ノ名
前ヲ出スニ及バナカツタノダ　又別ニ余ガ行カナイデモ、ヨイノデアッタ　主人ハ余ヲ誤
解シテ居ル。ソシテ余ガ製銅場ヘ行クト云ヒテ、家ヘデモ帰ル様ニ思ツテ居ルニ相違ナイ
ノダ　実ニ残念デタマラナイ。思ワズ無念ノ涙ヲ落ツ　実際ニ
他店員ハ又何ント思ッテ居ルダロー。行カナイデモヨイノニ、出過ギヤガッテナドヽ思ッ
テ居ルニ違イ無イ様ニ余ハ有々ト見エタ
アヽ残念々々　昨日ハ戸次サンノ教訓、竹島ハンノ親切ヲ聞イテ、タトイ主人ト意気相
通ゼスト雖ドモ佐渡島ノ店ニ居ル間ハ、ヤハリ何事モ従順ニ晝ノ間ハ店ノ事ヲ、勤メ様ト
決心シタニ主人ノ余ヲ見ル事、カクノ如クンバ余モ又主人ニツカヘルニ、其心シテナスベシ。
然シテ又ヒソカニ今ニ見ロヲ、サケンダ
此間小旦那余ニ対シ同情セラレタル様ニ見受大ニ又心ツヨクモ、感ンジタ
昨夜西塚君ニ聞ケバ、小旦那ニ明末ドンガ今日ハ小旦那ノ御気ニ入リノ音吉トンガ留
都(ママ)ヤカラヤナンダトカ云ッテ小主人ニ御目玉ヲ貰ッタソーナ　何ニカ云ヒ出シタニ
ツヒテ訳ガアリ相デアツダカ西塚君ハ其他ニ何ニモ云ワナカツタ
アヽ余ノ爲メニ小旦那ノ迷惑セラレル事ガ数々デアル　実ニスマナイ事ダ　イツカ此恩ハ
返サネバナラナイ。此レヲ書キ終ル時正ニ九時十分
ドレ之レヨリ余ノ目的ニ進マウカ　物理ヲ引出シタ　内デハ今ウタイノ声ガヤンダ

本日東京ノ研数學館ヘ入會ノ申込ヲナシ未修五十銭ト會費二ヶ月分一円ト手数料二銭ヲ付シテ送金シタ。昨夜貰ッテ返ッタ二円ノ金モ余ス處実ニ二十銭トナッタ

▲▼47ページ▲▼　明治42（1909）年2月13日（土）

天気　晴
午前六時廿五分起床　例ニヨリ五分間掃除モ早クスンダ
後飛行キノ、ヒナ形ヲ作ルニ付工夫ヲコラシタ。
夜、小旦那ウタイノ稽古ヲセラルヽニ付請求書ヲ書イタ　八時過ギ終ッテ後物理ヲ研究シ就床後、今朝工夫シタ事ヲ圖ニ畫イテ見タ
夕方戸次君ニ例ニヨリ竹外詩集ヲ習フ

▲▼48ページ▲▼　明治42（1909）年2月14日（日）

天気　晴
午前例ノ通リ新（ママ）コ吸ノ後ハ飛行器ヒナ形ノ材料ニ付イテアレカコレカト考ヘタ　午後三時頃ヨリ物價表ガ出來テ來タノデ其レヲ打ツタリシテ居ル間モ又工夫シテ居タツヒニ「アルミニユーム」デ作ル事ニシ現金場デ一番心ニナル板三ノ厚ノモノ巾五寸長一尺二寸程ヲ買ッタ。銭ハイラナイト坂口君ヤ藤田君ハ云ッタガ、店ノ商品ヲ私用ニ使ッタト云ワレテハ馬鹿ラシイカラ、シイテ銭ハ渡シタ。然シ之レヲ渡シテシマエバ残金ハ「ゼロ」ニナルノダ。マダ外ニ入ルモノガアルガ買フ事ガ出來ナカッタ。夜又、トンデコイト云フ即チ飛行航具ヲ作ッテ見タ　後物理ヲ少シヤリ就床後竹外詩集ヲ復習ス。
本日ハ三日間習字ヲ休ンデ居タノデ二時間程モ習ッタ
十一時前就寝

▲▼49ページ▲▼　明治42（1909）年2月15日（月）

天気　晴
摘要　少曇
今朝何故カ非常ニ寝過ギ起キルトスグ七時ヲ報シテ居タ　掃除後倉庫ノ二階ニテ飛ンデコイヲ飛バシテ居タ。初メノ内ハ中々、ウマク行カナカッタガ後ニハ誠ニ気持好キマデスート飛ンダ。夜今日ハ三時頃ヨリ主人一同ハ皆芝居行キヲシタノデ、内ニハダレモ居ナイカラ店員ハ、ワイヽヽト、ウタイヲウナルモアレバ詩ヲ吟ズルモアリ　余ハ「ツラスト」ヲ書キカケタガ、喧シイノデ中途デ止メタ　後物理並ニ習字　竹外詩集ノ復習等ヲナシ、主人帰店後十一時四十分寝ニ就ク
受信　植田小弥太

▲▼50ページ▲▼　明治42(1909)年2月16日(火)

天気　晴

摘要　夕漢文ヲ習フ

今朝目的物ニ付キ骨組ノ材料ヲ眞中針ノ径一歩針ヲ以テスル事ニシテ倉庫二階ヘ上ツテ敵(ママ)宜ノ長サニ切タリシタ。後午後色々考ヘテ見ルト、ドーモ眞中デハ重モ過ギル、キライガアルノデ、ニユーム針ニショート思ヒ眞中針ハ長イヤツハ返シテ、細カニ切ッタノハ仕方ガナイカラ買フ事ニシタ。夜一時間習字　終テ、フト物思ヒヲ仕懸ケルト其レカッタヽヽト実ニサイゲンナク、金ガ欲シイ　銭ナイ爲メニ充分ノ研究モ出來ナイ。然リトシテ余ノ地位デアラバ井上君ノ如クニスレバ一円ヤ二円店ノ金ハドーデモ出來ルガ、イヤシクモ論語ヲ手ニスルモノ斯様ナ事ハ得仕ナイ。内ヘ朝(ママ)日貰ヒ二帰ローカシラ・・・早ク家ヘ帰ツテ自立シテ目的物ニ突進シタイモノダガ・・　エヽ此ンナ事思ツタカテ仕方ガナイ　其レヨリ、ムシロ其方法ヲ講ズルニ然カズト思ナヲシテ、後英語ノ稽古ヲ始メタ

▲▼51ページ▲▼　明治42(1909)年2月17日(水)

天気　晴

午前例ノ通リニ終ツテ倉庫ニテ物理ヲ研究ス

夜一時間習字後東京ノ鈴木商会ヘ就職案内ノ送付方ヲ依頼シテヤッタ

九時頃ヨリ元禄文休ノ團右衛門ヲ讀ム　筆法スコブル清廉

発信　研数學館、講義録　植田小弥太君請求　鈴木商会

▲▼52ページ▲▼　明治42(1909)年2月18日(木)

天気　晴

午前例ノ通リ終テ後、店ノ大火鉢ニ、アタッテ居ルト、昨日請求シテヤッタ研数學館講習録ガ着イタ。早速内容ヲ見ルト巻末ニハ雑報モアレバ時々論文モアリ文藝モアルト云フ　実ニ趣味多ク又講義ノ仕方モナカヽヽ親切ニ出來テ居タ

夜遂ヒニ決心シテ宅ヘ金ヲ貰ヒニ帰ッタ。ナントナク云ヒ難イノデ、ヤット九時頃父ガ二階デ、「アンマ」ヲ、シテ貰ツテル間ニ、ソツト姉ニ云ッテ直キ走ッテ帰ッタ。アヽ早ク目的ヲ成功セシメズンバ実ニ余トシテ月ニ弐三度モ家ヘ帰ル事ハ難得ナイ

帰店シテ、少シグヅヽシテ居ル内ニ十時ガ鳴ッタノデ床ニ就キ後本ヲ讀ム　十一時就寝

発信　研数學館　後着ノ通知

受信　研数學館　講義録

▲▼53ページ▲▼　明治42(1909)年2月19日(金)

天気　雨

午前例ノ通リ終テ一時程数學ヲ研究ス　晝ノ中ハ例ニ依ッテ何事モナク平々凡々ニ過ギ夜六時ヨリ一時間習字　後朝日鉛吹キヲスルニ付濱宅ノ者ト変ッテ濱宅ヘ寝ニ行タ漸クシテ、上ゲ芋ヲ五銭ガトコ張込ンデヤッタ　後少時数學ヲ研究ス　八時半頃就寝
本日現金料ニテニユーム板ヲ講ツタ。ソーシテ台切デ切タ

▲▼54ページ▲▼　明治42(1909)年2月20日(土)

天気　曇

摘要　前夜早寝セシ爲メ夜中目ヲサマス事三度ニ及ベリ
フト目ヲサマシテ、アタリヲ眺メテモ真黒デ戸ガ〆切テアルカラ夜ガ明ケタノヤラ、ナニヤラサッパリ分ラナイ。シバラク寝床デ目ヲパチヽサセテ居ルト、隣宅デ水ヲクム音ガシキリニナッタノデ直グ飛起キ時計ヲ見ルト正ニ六時半　早速表ヘト出ダ　然シ六時半ニシテハ、ナンダカ余リ暗ラスギル。長堀橋上ヨリ、ハルカニ空ヲ仰ゲバ暁星模糊　ヤガテ店ニ着キ電燈ヲ點ジ、フト時計ヲ見ルト五時半。何ンダ馬鹿々々シイ。直チニ掃除ヲ終リテ後数學ヲ研メル事一時間・・・。
夜本日土曜會開會セラル。余ハ物理、数學、「ツラスト」ヲ研究シ後小旦那ニ渋澤栄一評傳ヲ借リテ讀ム　夜一時就寝

▲▼55ページ▲▼　明治42(1909)年2月21日(日)

天気　晴

チヤーンヽヽヽト極カスカニヽヽヽ　アダカモ真暗ノ夜山奥ノ寺ニサマヨイ込ミ遠キ處ヨリ鐘ノ音ヲ聞ク様ニ「ソレガ次第ヽヽニ近ヅキ遂ニハ耳ノ端デ亂打セラレル如ク　バット思ツテ我ニ返リ目ヲ開ケバ、アタリハヤハリ暗イ　暗イガ、鐘ノ音ハ益々ハゲシイ、ガ起キル勇気モ無ク耳ヲ、ソバダテヽ居ルト、下女ノ末ガアワタヾシク内ヨリ、走セ來リ、火事ヤヽヽ濱ノ近所ヤトサケビ出シタ　其處ヘ老主人ガ又出テ來テ火事ハ戸次ノ近所ダカラ二三人早ク行ケト、ドナッテ居ル　余ハ飛上ルナル寝間着ノ上ヘ着物ト「ハッピ」ヲ引カケ一番ニ馳出シ濱宅ヲ打タヽキ其儘瓦屋橋ヘト行ッタ。タチマチ見ル、火ノ手ハ盛ニシテ、スデニ「ムネ」ハ落チ加フルニ風ハゲシカリキ　サレド幸ニ火事ハ川ノ東詰ナリシニヨリ戸次君ノ宅ハ極安全ノ位地ニアリテサワグ事ハナカリキ。店ニ帰レバ三時五分前　ソレカラハカイモク寝ツカレナイノデ、トーゞヽ夜ノ明ケル迠デ渋沢男ノ評傳ヲ讀ミツクシ(以下

三七九頁）
（379ページへ続く）

▲▼56ページ▲▼　明治42（1909）年2月22日（月）

天気　曇
摘要　夜雨
午前六時半起床　本日ハ数學ハ休ミ目的物ニ付イテ考ル處アリタリ
夜活動寫眞ニ行ク。思計ナリシモ雨ガ降ツテ來タノト切符ガナイノトデ止メニシタ　目的物製造後代数ヲ學ブ

　此日記ハ廿四日ノ分ニシテ廿二日分ハ廿四日ノ處ニアリ
発信　竹島御母堂御病気見舞
受信　研数學館館外生見本

▲▼57ページ▲▼　明治42（1909）年2月23日（火）

天気　晴
六時半起床後瓦斯機関ヲ見ル（但シ本）　夜六時半頃ヨリ数學ヲヤリ九時半頃終ル後目的物製造ニ着手
十一時三十分就寝
夕方自宅ヨリ鈴木商會ヨリノ職業案内ヲ持ツテ來テクレタ　見ルト、「ローソク」ニ石鹸ノ製造デ見本モ入レテアッタ
然シ之レヲヤルニハ其レ丶機械ヲ備ヘナケレバナラナイ　其レニ七円位ヨリ廿七円位マデハ資金ヲ要スルノダ。之レハ少シ考ヘモノダ

▲▼58ページ▲▼　明治42（1909）年2月24日（水）

天気　晴
摘要　夜降雪ヲ見ル　稍ヤハゲシ
本日ハ少シ寝過シ六時五十分起床　掃除ヲシテ居ルト、手先ガ千切ル程、ツメタイ　実ニ本年入ツテ余ガ此ノ位イ感ジタノハ始メテヾアル
本日ヨリ「ボチ丶丶」月末ニ近ヅイタノデ帳簿ノ引合セヲ始メタ
夜六時半ヨリ一時間習字後之レヲ記ス
此ノ日記ハ廿二日ノ「アヤマリ」　廿四日ノ分ハ廿二日ノ處ヘ記ス

▲▼59ページ▲▼　明治42(1909)年2月25日(木)

天気　曇

摘要　少晴少雨　天定マラズ

アヽ此ノ推進器ハ非常ニ大キイナ。ホトンド飛行器ノ全長ニ等シイ　之レ位イデ無ケレバ動カナイノダロー。少ト廻シテ見様　ヤヽ走ルハヽヽ　頭上ヲカスメテ室内ヲスーヽヽトヤヽ嬉シイヽヽ　之レヲ大キクサヘスレバ大丈夫　ヤー有難ヽヽ……………ガラヽヽヽガチン。「カチヽヽ」「コトヽヽ」　アヽ夢デアツタ　牛乳屋ガ來タノデ敗ラレテシマッタ　然シ大ニ得ル處ガアッタ

晝食後濱町ヘ行ク　思計テアツタガ之レハ行カナイデモヨクナツタ　ノオガ堀ロノ方カラ吹岩ヘ行ク用事ガ出來タノデ行ッタ。ヤガテ吹岩ヘモ行キ全テ用事ヲ終ツタノガ丁度一時デアツタ。余リ早ヤスギタノデ、月末ノ下駄

(379ページへ続く)

▲▼60ページ▲▼　明治42(1909)年2月26日(金)

天気　晴

午前六時半起床　掃除及新(ママ)呼吸　終ッテ代数學ヲ學ブ

此頃ノ店ノ有様ヲ見ルニ余程注意ヲ要スル時代ニシテ銀行ハ非常ニ警戒ヲ嚴ニシテ來タ。加フルニ倫敦ハ益々安値ヲ報ズル。銀貨又其レニ連レテ抵落シテ居ル。又舶來物ニ至ッテハ異然(ママ)不振ノ打續キニ尚品沢山ト來テ居ルカラ何レモ皆元價切ッテノ商ヒノミデ利益ナドハ薬ニシタクモ無イノデアル。現今六万円ノ金ガナケレバ何モ行カレナイノデ主人デハ山陽鉄道株ヲ賣ル相談ガアルラシイ

夜判取引合セヲナス　後少時物理。十一時半就寝

発信　藤井甚松様返信

受信　藤井甚松様　廿三四日吹京ヘ行カレタ由

▲▼61ページ▲▼　明治42(1909)年2月27日(土)

天気　晴

午前六時十五分起床　代数學ヲ研究ス

夜節季ノ拂ヲ取調べ拂帳ニ記入ス

余下駄屋ノ支拂ガ三円五十五銭アルノデ二円五十銭店員預金ヲ出シテ貰フ事ヲ小旦那ニ頼ムト、ソンナラ一時取替トイテヤルト云ッテ二円五十銭下サレタ。ガ然シ、借リタ金ハ返サネバナラヌ　其返ス金ガ又困ツタモノダ

八時半頃ヨリ目的物ニ着手　大分ハカドッテ來タガ仕上ニ近ヅクダケ其レダケ人ノ目ニ付キ安クナッテ來タノデ一寸十日余リ休マナイト人々ニ、ハヤシ出サレテハ大変ダ

受信　禁酒會月次會報告三月一日トノ事

▲▼62ページ▲▼　明治42(1909)年2月28日(日)

天気　雨

摘要　夜晴レ

午前六時十分起床　本日ハ節季ニ付数學モ何ニモ學ブ事ハ出來ナカッタ　夜出入ガ百五十銭程不足ナノデ遂ヒニ七時半頃迠カヽツタガワカラズシマイニ終ツタ。其レカラ早速活動寫眞ヘ走ッテ行ッタ　松木君ニ岡本君トガ丁度余ノ隣ニ居タ　稍ヤ、シララク(ママ)シテ前田君モ來ラレタ　寫眞ハ余リ面白イクハナカッタ　彩色ヲシタノハ実ニ本年入ッテカラノ美観デアッタガ余ノ如キモノニ取ツテハ小説ヤ、オトギ話ナドハ少シモ必要ハナイノデアル

朝日吹キニ付濱宅ヘ宿リニ行ク　少時日本健(ママ)国史ヲ讀ム　十一時就寝

▲▼63ページ▲▼　三月中行事豫記

本月中ニハ最(ママ)非共父ニ余ノ目的ヲ語リ、店ノ暇ヲ取ル手段ヲ講シ、又目的物ニ対シテ大ニ作ス處アラントス。

数學講義ハ最(ママ)非本月分ノハ本月中ニ講習セナケレバナラヌ

本月ヨリ日々三銭ヅヽ　即チ月ニ九十銭ヅヽノ積立ヲナス事

▲▼64ページ▲▼　明治42(1909)年3月1日(月)

天気　晴

本日ハ平々凡々ニシテ少シモ成ス處ナシ　夜講義録ヲ講習ス　又スマイルス翁ノ自助傳ヲ購ツタ　定價四十五銭ダガ四十銭デアッタ

受信　研数學館講義録

▲▼65ページ▲▼　明治42(1909)年3月2日(火)

天気　晴

午前六時起床　掃除後新(ママ)呼吸　終ツテ平面幾何學

夕竹外詩集ヲ習フ

夜目的物製造　九時終ル　後数學物理研究

▲▼66ページ▲▼　明治42(1909)年3月3日(水)

天気　晴

午前六時起床　正午新井、藤原、吹岩等ヘ前月末代金請求ニ行ク　帰リテ月表ヲ作ル　弐月分ダケニスルト二千百円余ノ利益ニナッテ居ル　実ニ不思議ダ　誰レデモ弐月ハ決損ガ余程好ク行テ〇位ガ積ノ山デアルト思ッテ居タノデ故ニ主人ハ再調ベヲ命ジタ　夕刻マデ取調ベタガ簿記ノ方ニハ間違ガイ様ハナイノデアル　唯少シク、アヤシムラクハ、倉庫ノ棚下商品デアルガ之レトテモドレガ違ウト云フ事ハ出來ナイノデ明朝此ノ儘又提出スル、ツモリデアル　夜平面幾何學ヲ學ビ十一時半就寝

▲▼67ページ▲▼　明治42(1909)年3月4日(木)

天気　晴

午前六時十五分起床　掃除新(ママ)呼吸ヲ終ッテ平面幾何ヲ學ブ　但シ倉庫ニテ。習學シツヽアル時老主ガ、ノッソリ出テ來テ、ジート見ツメテ行ッタ。然シ別ニ悪イ事デハナイカラ余ハ平気デアッタ

午前十時頃神戸ヘ行クベク命ゼラレタ　要事ハ「ハチソン」商会ノ20平板壱千枚宮城ノ手ヲ経テ買ッテアルノデ其内四百枚ヲ東京森甚商店ヘ送リ(但シ大船駒止メ)　残リ六百枚ヲ大阪ヘ引クノダガ東京行キノ分ハ小汐ト云フ約定ニ付撰ラバネバナラナイ　其レガ爲メニ行クノト聯昌盛ト永覆ト八木常ノ掛取トテアッタ

電車中ハ神戸迠「スマイルス」翁自傳ヲ讀ミ續ケタ。着神後タヾチニ宮城ヘ行キ手数ヲナシ後「ハチソン」ヘ行ク　處ガ倉庫ノ番人支那人ハ二時デナイシ出勤シナイノデヤムヲ得ズ其レ迠デ持チ倉庫ヲ開カシメタ

此レヨリ先宮城ニ聞クト品物ハ「インボイス」目デナイト渡サナイト云フ　又番ガ19番ニナッテ居ルノデ大阪ヘ電話デ照會シタ。ヤガテ川口屋ガ來タノガ三時デアッタ　早速賣々ニ着手シタガ何シテモ五時ニハ倉庫ヲシメルト云フノダカラ大急ギニヤラシテ丁度五時ニヤット四百枚ノ、カンヽヽヲシ、残リ六百枚ハ目ヲカケイデモヨイノデ明日ニシテ川口屋ニ依頼シテ居イタ

然シ前記ノ有様デ小汐ナド撰デ居ル間ガナカッタノデ中途カラハ、撰ラズニヤッテ、シマッタ

其レカラ宮城ヘ一寸ト立寄リ又西塚ヘ行キ西塚ニテ聯昌盛ノ處ナド、クワシク聞キ大急ギデ集金ニ廻ツタ　聯昌盛ハスグ呉レタ　其レヨリ内海岸ノ永□ヘ心ザシタガ處ガサッパリ分ラナイ　不圖気ガ付クト川口屋ノ表ヘ來テ居タノデ川口屋ニ聞イテ、ヤット集金モ終ツタ。シカシ遅クナッタノデ八木常ハ行ケナカッタ　帰途川口屋ヘヨリ先程出荷シタ

平板ノ引替証ヲ貰ヒスグ電気車ニ行キ帰途ニ付イタ　此間一食モシナイノデ非常ニ腹ガヘッタノデ、ウドン屋ヘ入リキツネ二ハイヲ平ラゲタ
帰阪後梅田ニテ西洋料理ヲ喰イ帰店後又散髪ヲシ、ツヒデニ横町デ西洋料理ヲ腹一パイツメ込ミ内ノ店ヘ帰ッタ。スルト又内ヘハイレト云フカラ、又小言カト思ヒナガラ行クト皆スデニ寝就ヒテ居ラレタ　御末ドンニ聞クトマダ起キテ居ラレルカラ一寸御答ダケシナサレト云フノデ今帰リマシタト云フト御家ガ今後散髪ニ行キシナハ必ズ答ヘテ行キナハレトノ事　実ニ馬鹿ヽヽ敷極ダ　余一人ダケ何故斯様喧シク云ワレルノダロー　其レハ云ワナイデモ、ワカッテ居ルガ散髪迄一々云ッテ行ク者ガ店ニタレガアルカ。又其ンナ店則ガ何處ニアルカ……
然シ斯カル店ニ、イツ迄デモ居ルノデナイカラマーヽ今漸(ママ)ラクノ辛棒(ママ)ダ
今ニ見ロ　キット余ノ前ニ頭ノ上ガラナイ様シテ見セルゾ

▲▼68ページ▲▼　明治42(1909)年3月5日(金)

天気　晴
摘要　本日ハ非常ニ暖カデアッタ
午前六時起床　算術ヲ學ブ。夕食後少シ頭ツーガスルノデ二階ニテ寝テシマッタ

▲▼69ページ▲▼　明治42(1909)年3月6日(土)

天気　雨
午前六時半起床　新(ママ)呼吸終ッテ目的物製造ニ着手
夜ハ又目的物ヲ造ル　後立体幾何ヲ學ブ處ヘ松木君ガ科學世界ト云フ雑誌ヲ貸シテ呉レタノデ一讀シテ見タ　「ナカヽヽ参考ニナルベキモノガ沢山アル。コトニ「ファーマン」氏飛行器ニ就イテ稍承細ノ説明ガアッタノデ、一ツ松木君ニ乞フテ此雑誌ヲユヅリ受ケタイモノダト決心シタ
十一時就寝

▲▼70ページ▲▼　明治42(1909)年3月7日(日)

天気　晴
午前六時起床　目的物製造
夜六時半頃ヨリ余ノ決心ヲ語ルベク家ニ帰ヘッタ　丁度幸イ西ノ姉モ來テ居ル。加フルニ今日ハ弟子共ハ皆芝居ヘヤツタノデ語ルニハ非常ニ都合ガヨカッタガ又來客ナドノ爲大ニ障(ママ)ゲラレ父ニクワシク話ス事ノ出來ナンダノガ只残念デアッタ　然シ内デモヨク相談シテ御前ノ心サヘ、タシカデアルナレバ、父ニハ好イ様ニ取リナストハ兄ノ言葉デアッタ。

然ルニ前ニ又姉ノ話シニ和佐商店上海支店ノ番当（ママ）ガ非常ニ金ヲ遣込ンダノデ其替リガテラ、人ヲ要スルト云フノデ御前ヤッタラドーヤトノ話シモアッタソーダ。ソレデ余ハ父ニシテ余ノ目的ヲコバムナレバ、当夜佐渡島ニハ見込ガナイノダカラ一番上海ヘデモ行ッテヤロートヒソカニ思ッタ

▲▼71ページ▲▼　明治42（1909）年3月8日（月）

天気　曇
午前六時起床　目的物製造　九時頃製銅場ヘ帳簿引合セニ行ク
夜昨日ノ事ニ付イテ「イロヽヽ」考ヘタ　其レハ上海ヘ行コーカ又ハ目的物ニ突進仕様カデアッタガ一旦思立ッタ事ダカラ何シテモ目的物ニ付イテ成功仕様ト思ッタ。ソーシテ松木君ガ本月十五日ニ帰国スルノデ其レ迄デニ最（ママ）非主人ニ暇ノ願ヒダケデモシテ居カナイト、手ガ無クナッタノヲ見懸ケテ暇ヲ呉レナド、云フト又思ワレテハナラナ。否。キット而様ニ思フドコロカ云フカモシレナイノデ、家ヘ手紙ヲ出ソーカ其レ共明日又製造場ヘ行ッタ時帰リニ廻ローカト思案ノ末ツヒニ明日時間ガアレバ帰ヘッテヤロート決心シタ
十二時就寝

▲▼72ページ▲▼　明治42（1909）年3月9日（火）

天気　曇
摘要　夜雨
午前六時五分前起床　立体幾何ヲ學ブ　本日午前大阪電気分銅ト駒井トヘ集金ニ行ッタ　電気分銅ハ山口銀行ヘ振込ムト云ッテ居タ　駒井ハ明日カ明後日ニシテ呉レトノ事　午後製銅場ヘ引合セニ行ク　直キ終ッタノデ帰途自宅ヘ寄ル事ニシタ　處ガ父ガ丁度御寺参リヲシテ居ルノデ彼ノ話ハ出來無カッタカラ直グ店ヘ帰ッタ　時三時半
夜本日父ニ話ス事ガ出來ナカッタノデ余ノ決心ヤ将來ノ事ナド細々ト記イタ。而シテ明朝發送スル様ニシテ居イタ

▲▼73ページ▲▼　明治42（1909）年3月10日（水）

天気　雨
午前六時十分起床　昨夜ノ手紙ヲ今朝出シタ
午後昨日カラ、ハイタノ為メ非常ニハレテ居タノガ益々エラクナッタノデ、背ノコウヲ休メル爲メニ二階デ寝タ　夜モ其儘々
発信　自宅

▲▼74ページ▲▼　明治42(1909)年3月11日(木)

天気　晴

今朝ハ非常ニ頭ガ痛ンダノデ休モーカトモ思ッタガ先ヅ々々辛棒(ママ)シテ午前六時半起床シタ。ホーハ尚ハレテ居タガ晝前少シ「ツブシ」テヤッタノデ午後ハ余程楽ニ又元気モ出テ來タ

夜「カールテル」ヲ記述シ初メルト又頭ガイタミ出シタノデ本日モモー一日休ム事ニシ八時頃寢ニ就イタ

十二時頃小旦那帰店セラレタ

▲▼75ページ▲▼　明治42(1909)年3月12日(金)

天気　雨

摘要　夜十一時頃ヨリ雨上リタレドモ風非常ニハゲシカリキ

午前六時十五分前起床　新(ママ)呼吸ヲ終リ目的物製造ニ着手

午前十時頃ヨリ汽車会社ヘ集金ニ行ク　鉄工所前ヘ上陸スルヤ(此時新町橋ヨリ巡航船ニテ安治川ヲ下ル)ポツーリヽヽトヤッテ來タ　ヤハリ傘ヲ持テ來タラヨカッタト思ッタガ仕方ガナイカラ全速力デ行ッタ。帰途ハドーモ、アノ長イ堤ハ歩ケナイノデ安治川口ヨリ汽車ニ乗リ梅田ニ下車シ晝食ヲ喫シ又電車ニ乗テ帰ヘッタ。思ヘバ僅カ三時間程ノ間ニ巡航船ト汽車ト電車ニ乗ッタノダ。アヽ文明ノ利器。而シテ余ハ尚之レ以上ノモノヲ企テツヽアルノダ。少シ妙ナ感ジガシタ。夜数學ヲ學ブ　後議士銘々傳ヲ讀ム　十二時半就寢

▲▼76ページ▲▼　明治42(1909)年3月13日(土)

天気　曇

摘要　後晴レ　本日土曜會開カル

午前六時起床

午前十時頃立賣堀ノ津田商店ヨリ電話ニテ、アルミニユームノ鑛石ガ沢山アリマスガ御入用ハアリマセンカトノ事ニ不用ノ由答ヘルト其レデハ、何處ガ製造シテ居ル處ハナキヤトノ問ヒニ目下日本ニテハイマダ之レガ製造ヲナスモノナシト答ヘ、ツヒデニ何處カラ來タカヲ尋ネルト品物ハ神戸海岸通三丁目二番兼松房次良方ニ有リ産地ハ、「オースタラリヤ」トノコト。余ヒソカニ前々ヨリ之レガ軽便ナル製造法ヲ案出シ、日本ニテドンヽヽヤリタイト思ッテ居タガ今日此ノ電話ニヨッテ一層其念ヲ増シ一度ハ最(ママ)非之レガ製造ヲヤッテ見様ト決心シタ

▲▼77ページ▲▼　明治42(1909)年3月14日(日)

天気　晴

午前六時十五分起床

夕食ヲ終ルヤ直チニ帰宅ス　要ハ昨日電話ニテ金一円五十銭程ヲ頼ミタルニ声ノ小サカリシ爲メ聞ヘザリシカ昨夜平井サンニ事傳ケテ呉レ無カッタノデ貰ヒニ帰ルノト先日暇ヲ貰ッテモロー様頼ミ状ヲ出シテ居イタガ今ニ何ニモ云ッテ來ナイノデ其返事トヲ聞ク爲メデアッタ。處ガ何分竹島様ヘ相談セネバナラヌガ兄ノ気性トシテ、ソー容易ニ得云ヒナイノデ今一本モー少シ竹島御主人ニ対シ心ヲ得ル様ナ手紙ヲヨコシタナラバ其レヲ見セテ一ツ頼ンデヤロートノ事デアッタ。デ早速帰店後十時過ギデ

三八一頁へ

(381ページへ続く)

▲▼78ページ▲▼　明治42(1909)年3月15日(月)

天気　晴

午前六時十五分前起床　新(ママ)呼吸後昨夜ノ手紙ヲ清書シテスグ「ポスト」ヘ投函ニヤッタ　夕方戸次殿ニシバラク休ンデ居タ　竹外詩集ヲ習フ　後食前ノ間ヲ利用シテ目的物製造ニ着手　夜三角法並ニ物理ヲ研究ス

発信　自宅

▲▼79ページ▲▼　明治42(1909)年5月16日(日)

天気　雨

摘要　寒気強シ

午前六時十五分前起床。掃除、新(ママ)呼吸後目的物製造

夜六時半ヨリ一時間物理　後チ一時間平面三角法　後チ中學世界スマイルス翁自傳等ヲ讀ム　十時就寝

夕竹外ノ詩ヲ習フ

▲▼80ページ▲▼　明治42(1909)年3月17日(水)

天気　曇

摘要　少晴

午前六時十分前起床　例ノ通リ終ツテ目的物製造
夕方竹外詩集ヲ學ブ　朝日デ一冊上ル事ニナッタ。アトハ外史デモ習フカシラ。
夜六時半ヨリ数學後物理　九時過ギ順慶町ノ夜店へ行キツヒデニ田中書店ニテ科學世界ヲ尋ネタガ、スデニ賣切トノ事
帰店後竹外詩集ヲ復習シテ寝ニ就ク　時十一時十五分パスト

▲▼81ページ▲▼　明治42(1909)年3月18日(木)

天気　晴
摘要　少曇リ　本日彼岸ノ入
午前六時十五分前起床(但シ五時頃ヨリ寝床ニテ新聞ヲ讀ム)
廿一日ノ休暇モ大分近ヅイテ來タノデ目的物ノ製造ヲ急イダ
夕、竹外二十八字集ヲ習　全部習ヒ終ッタ
夜六時半ヨリ八時迠平面三角ヲ學ブ　中々六ツカ敷ノデ僅ニ二問題ヨリ進メナカッタ
後目的物ヲ作ル
九時就寝
発信　自宅　暇ノ請求ト講義録ヲ得テ來テ貰フ様

▲▼82ページ▲▼　明治42(1909)年3月19日(金)

天気　晴
午前六時十分起床　少々寝過ギタ　然シマダ誰レモ起キテ居ナカッタ。掃除新(ママ)呼吸ガスンデ例ノ製造ニカヽリ後之レガ動力ニツイテ考ヲ巡ラシタ。ゼンマイ仕懸ケデハ金ガ入ルシ又ソレデウマク行クカ行カナイカヾ分ラナイノデ先日夜店デ買ッタ「コマ」ニ習フテ、紐デ引キ推進器ヲ動カス事ニ決シタ。朝火鉢ニアタッテ居ルト戸次殿ガ親切ニモ日本外史ヲ持ッテ來テ呉レラレタ　本日カラハ之レヲ習フ
今朝大阪禁酒會ヨリ端書ガ來タ　見ルト來ル四月三日島田三良君ト安藤太良君トテ当地ヘ迎公會堂ニテ講演ヲモヨオスニ
三八一頁へ
受信　大阪禁酒會
(381ページへ続く)

▲▼83ページ▲▼　明治42(1909)年3月20日(土)

天気　雨

本日ハ老主人親父五十回忌ヲ御寺デ催スト云フノデ朝來内ハ皆留都（ママ）余ハ九時頃ヨリ住友倉庫ヘ昨日ノ残リヲ入レテ證券ヲ貰ッテ帰ヘッタ　總計弐千百五十八個總量三萬一千斤余　平均十四斤七分　百斤ニ付　廿二日ノ申込ヲシタガ二月ヨリ取ッテクレナカッタ　正午帰店
昨夜目的物モイヨヽヽ明日出來上ル事ニナッタガ、第一カンジンノ推進器ガ出來ナイノデ色々工夫シタガ本日ハ主人不在ニ付スマナイガ午後ハソレ等ノ製造ニ着手シタ

續キハ三百八十二頁ニアリ

（382ページへ続く）

▲▼84ページ▲▼　明治42（1909）年3月21日（日）

天気　晴

摘要　少雨　本日大阪毎日新聞主催ニテ阪神間マラソン大競争行ワル

午前六時起床　掃除新（ママ）呼吸後目的物製造ニ着手　今日ハ休ミニ付終日之レヲヤルツモリデカヽッタ。先ヅ下部ノ車取付ケヲヤッタ　處ガニューム針ガ少シタラナイ。仕方ガナイカラ眞中針デヤル事ニシタ。カンヽヽタヽキ延シテハ生シ、生シテハ延シヽテ苦心シテヤット出來上リ取付ニカヽリ少々無理ヲスルトスグ「ポキ」ト折レル。コンナ事ガ四五回　仕舞ニイヤニナッタガ、何ニクソトツヒニ二時頃、チヤント出來上ガッタ。ソコデ組立ヲ宅デスルツモリデ暇ヲ乞ヒ帰ヘッタ　此時夕立雲アラハレ急雨サット降リ來リ、大師巡リノ老男女ノ、ローバイ見ルモ気ノ毒ナリキ。余ハ不用ノ木ヲ持チ帰ルノデ重イカラ車ニ乗ッテ

三百八十四頁ヘ

（384ページへ続く）

▲▼85ページ▲▼　明治42（1909）年3月22日（月）

天気　晴

午前六時十分起床　例ノ通リ終ッテ後新聞ヲ讀ム
正午前住友銀行ヘ一昨日道頓堀ノ倉庫ヘ入レタ眞中塊ヲ担保ニ取ッテ貰フ様ニ頼ミニ行ッタ　處ガ、只今ノ處眞中ノ針位ナラ受ケマスガ塊ハ担保ニハ受ケナイ規定デスト、テイヨク、コトワラレタ。後小主人ガ頼ミニ行カレタガ其レデモ聞イテ呉レナカッタソーダ。此頃店ノ信用ノ薄イ事之レヲ以テ見テモ充分デアル。実ニ気ノ毒ナ様デ此際暇ヲ乞フナドハ実ニ、面目ナイ次第ダガ之レバカシハ仕方ガナイノダ
夜平面三角ヲ學ブ　後竹外詩集ヲ寫ス

発信　自宅　竹島ノ御主人ガ店ヘ來テモ余ノ目的ナドヲ口外セラレナイ様ニ口留メヲシテ貰フ爲メ

▲▼86ページ▲▼　明治42(1909)年3月23日(火)

天気　雨
午前五時半起床　例ノ通リ終ッテ倉庫二階ニテ数學ヲ學ブ　此頃ハ余程暖カクナッテ指頭ニ少シテ冷気ヲ帯ビナイ様ニナッタ
夕方散髪シ帰店後食事ヲスマシ得丸ヘ集金ニ行ク　上ガッテ居タ雨ガ又途中カラ降リ出シテ大ニ弱ッタ

▲▼87ページ▲▼　明治42(1909)年3月24日(水)

天気　晴
摘要　但午前中曇リ
午前六時十五分前起床　例ノ通リ終ッテ倉庫階上ニ一時間数學ヲ學ブ
午後三時頃備後船渠会社ヘ集金ニ行ッタガ主人不在ニ付明朝ニシテ呉レトノ事
夜数學ヲ學ブ

▲▼88ページ▲▼　明治42(1909)年3月25日(木)

天気　晴
午前六時十分前起床　掃除新(ママ)呼吸後例ニヨリ四十分間数學ヲ學ブ
本日給料ヲ貰フ　來月ヨリ二円ニ昇給サレタガ余ニ取ッテハナニモナラナイ
午前十時頃集金ニ出ヅ　國分ニテハ阿保ノ代金ハ直グ呉レタ。駒井ハ主人ガ不在ト云フノデ明朝最(ママ)非呉レル様ト云ッヒテ市役所ヘ行ッタ　前ハ何分御役人ノ事ダカラ、オヨ頗ル横柄ダ　二週間以上モ前ニ請求書ヲ出シテ居イタノガヤウヽ廿二日ニ回ッタノダカラ次ノ月曜日位ニシテ呉レダ。帰途備後船渠会社ヘ寄ッタ　是ハ又スグ貰ヘタ
夜科學世界ヲ讀ム　之レニヨッテ飛行器ニ対スル大分新智識ヲ得タ　殊ニ空中ノ部ニ至ッテハ世界中ノ飛行器ニ対スル評論ヤラ注意ヤラ計リデアッタ

▲▼89ページ▲▼　明治42(1909)年3月26日(金)

天気　曇
午前六時十五分前起床　今朝ハ又例ノ通リ終ッテ後昨夜讀ンダ中ニ佛国玩具品評會出品ノ飛行玩具ガアッタ　説明ヲ讀ムト中々面白イノデ、一ツ前ノ分ガ不成功ニ終ッ

タノオカラ、モー一ツコシラヘテヤロート、幸イ前ノニユーム板ノ残ガアルノデ之レヲ切ッタリ設計シタリ色々ヤッタ。今度ノヤ、巾六寸位ノモノデ長イ紐デ天井カラ、ツッテ居イテ推進器デ走ラスノデ其勢デ空中ニ舞ヒ上ルノダ　出來ッタラ大分面白ガドーカ。
夜今朝ノ物ニツヒテ製造ニ着手　後先日ヨリ切リ集メタル新聞記事ヲ整理シテ、スクラプブックニ張ル
本日寒気甚シク稍ヤハゲシキ降雪アリタリ
夜十時半就寝

▲▼90ページ▲▼　明治42(1909)年3月27日(土)

天気　晴
午前六時十分前起床
夜今日廣瀬広次氏金物業着手廿五年記念祝賀會ヲ島ノ内キリスト教會ニ於テ開カル(此人前ハ非常ナ放蕩者ニテ主人ノ金ナド使ヒシガ、キルスト教ヲ信ジテ後大好物ノ酒ヲ斷チ身ツヽシミ、後数年ナラズシテ数千円ノ負債ヲ償却セリト)　当店主人依頼ニヨリ何ニカ口演ヲナス由。店員一同コトゴトク又行ク　余一人進ンデ留都(ママ)ヲナス。此間竹外詩集ヲ寫シ後科學世界ヲ讀ム

▲▼91ページ▲▼　明治42(1909)年3月28日(日)

天気　晴
本日ハ空中飛行玩具ヲ造ロート思ッタガ、ニユーム針ガ整ハナイ爲メ先日宅ヘ持ッテ帰ヘタノガアルカラ アレデ作ロート今夕ニハ暇ヲ貰ッテ貰フ事ヲ請求スル爲メツヒデニ帰ヘッテ來様ト思ッテ居タ處今朝カラ内ハ非常ニ騒々敷　皆濱宅ヘ行ッタリ帰ッタリシテ居タガ正午モ稍ヤ過ギタ頃、ケタヽマシイ女中ノ声ガ聞ヘタカト思フト老主人ハ濱宅ヘ飛ンデ行ク。ヤガテ一時頃トモナッタ時恰モ御老母只今死去ノ報ガ飛ンデ來タ。サー店ハ大騒動　タチマチ、仕懸タ用事ヲ整理スル。バタバタ方付ケルト云フ有様ニテドサヽヽノ内ニ日ハ暮レタ

▲▼92ページ▲▼　明治42(1909)年3月29日(月)

天気　雨
今日余ハ内立関ニテ吉田氏ト二人受付ノ役ト定マッタノデ、紋付ノ羽織ヲ着シテ坐シテ居タ。悔ミニクル御佛前ヲ持テクル、見舞ダト云ッテ、にしめヤラ、蒲鉾ヤライロヽヽナ物ヲ持テクルガ中ニ寿斗ガ一番多ク又一番ヨク人気ニ、カナッタラシカッタ　余ハ終日坐リ詰メデ足ガイタイヽヽノデ大ニ弱ワッタ

夜ハ二時迄デ起キテ居タ　之レカラ昨夜ノ人トカワルノダ

▲▼93ページ▲▼　明治42(1909)年3月30日(火)

天気　晴

午前四時半起床　今日ハ阿野君ト下足、帽子、着類等ノ預リ役デ非常ニ、ヤヽコシイ。嫌ナオ役ダ　仕方ガナイ。バタヽシテ、五六十人ノ人々ノヲ預カッタ。ヤガテ十時頃トナッテ葬式ハ出タ　余等ハ預リ物ヲ運搬スルベク仲仕ヲ監督シテ大急ギデ関路舎ヘ行キ茲ニ、帽子、コートハ坐敷ヘ　下駄ハ横庭ヘ　何レモ「イロハ」順ニナラベテ葬式ノ來ルヲ待ッタ

十二時頃葬儀終リ、皆々袴、下駄等ヲ、ハキ替ヘ引取ラレタ。後ニ余等ハ又取方付ヲナシ、帰途ハ腕車デ帰ッタ。帰店後風呂ニ入リ晝食シタノガ丁度三時　之レカラ五時頃迄、ウツヽヽトシタ

▲▼94ページ▲▼　明治42(1909)年3月31日(水)

天気　晴

午前六時起床　何分月末ニ二日間モ休業シタノダカラ急(ママ)ガシイ事、目ノ廻ル様デ、ドタバタノ内ニ日ハ暮レタ

夜ハヌイクタブレノ爲メ宵寝スル事ニシタ　處ガ九時頃カラ三谷ガ東京ヘ帰ルノデアンチモニーノ相談ダトカ云ッテ、臨時会議ガ開カレ其レガ爲メ十一時ヤット寝ニツク事ガ出來タ

一昨日ノ新聞ニ身長法ト題スル広告ガ出テ居テ此度米国デ發明セラレタモノデ「身長ノ秘術」ト題スル本ヲ發行シテ一千部限リ無代進呈スルト云ノデ面白半分ヤッテ見タ

発信　米国カーチレージ会社

▲▼95ページ▲▼　四月中行事豫記

本月中最(ママ)非暇ヲ貰フ事

本月中間食ヲ斷ツ事

▲▼96ページ▲▼　明治42(1909)年4月1日(木)

天気　晴

今日ハ非常ニ寝過ギタ、ツモリデ起キタガ、ソレデモ六時十分前デアッタ。今日モ何ニヤカヤト、急敷バカリデアッタ　二時頃製銅場ヘ金百円持ッテ行キ、シバラク工場ヲ見テ四時過ギ帰店シタ
夕方吹岩ヘ行ク用ガ出來タノデ宅ヘ帰ヘッタ。ソーシテ明後日公會堂ニ開カレル禁酒大演説ニ兄上ニ最（ママ）非行ク様入場券ヲ進呈シタ。
十時帰宅　直チニ寝ニ就ク
受信　大阪禁酒同盟會

▲▼97ページ▲▼　明治42（1909）年4月2日（金）

天気　晴
午前六時十五分前起床
午後戸次殿ガ明日茨木ヘ遊ビニ行クカラ一所ニ行カンカト進メラレタノデ御供スル事ニシタ
夜飛行器ヲ造ル　後雑誌ヲ讀ム　十時過ギ就床

▲▼98ページ▲▼　明治42（1909）年4月3日（土）

天気　曇
今朝ハ常ヨリモ稍ヤ久シク床ニアリキ
午前九時　兼ネテ戸次殿ノ約ニ依リ主ニ今日一日ノ暇ヲ乞ヒ得テ孫殿ノ幸坊ト三人ヅレ大阪駅カラ上リ列車ノ三等室ニ陳（ママ）ヲカマエケル　程モ無ク汽笛一声列車ハ黒煙ヲ名残ニユルギ初メヌ。見渡ス限リ黍ハ早ヤ四五寸モ長ケ延ビテ青々ト畳ヲ敷ケル如ト。身モ心モソヾロ、ノドカニウキ立チヌ。殊ニ點々菜ノ花ノ黄ナル正ニホコロビ初メヌルコソ、一際趣キヲソエヌ。サル程ニ旅路ハ近シ。只一駅ヲ打チ過グレバ目ザス里ニゾ着キニケル。仰（ママ）エノ人ハ柵ノ外ニ立チタリキ

▲▼99ページ▲▼　明治42（1909）年4月4日（日）

天気　曇
午前六時廿分起床
早朝ヨリ帳簿引合セヲナス
本日ハ日曜日ナレバ四時過ギ門ヲ閉ジタリ　余ハ獨リ裏ニ出デテ、全ク、日ノ暮レ儘（ママ）ス迠デ例ノ製造物ヲヤッタ　後チ昨日ノ紀行日記文ヲ作ル　十時過ギ筆ヲ止メテ寝ニ就ク
発信　寺田平太郎殿　昨日ノ禮状

▲▼100ページ▲▼　明治42(1909)年4月5日(月)

天気　曇

午前五時廿五分起床　本日モ早朝ヨリ帳簿引合セヲナシ晝頃終ル　此度ハ松木君ハ月表ヲ作ルト云フカラ彼レニマカス事ニシタ

夕方宝文館ヘ三省堂發行ノ和英辭書ヲ買ヒニ行ッタガ、スデニ賣切レ　三四日ノ内ニ又來ルトノ事デ工業瓦斯ト「ドラウツマンスポケットブック」ヲ購ッタ。帰店後判取ノ引合セヲシテ居タ處ヘ警鐘ノヒヾキガ彼方此方ヨリ聞ヘテ來タ　電話デ照会スルト千日前ノ日本館ヨリ出火ダトノ事。余程久シク燃テ居タガ「火事モ非常ニ大キカッタ」トハ見ニ行ッタ店員ノ話シ。

▲▼101ページ▲▼　明治42(1909)年4月6日(火)

天気　曇

摘要　夜雨

午前五時十五分起床　掃除後倉庫二階ニテ飛行器ニ車取付ケノ製圖ヲナス。

午後會計ノ御作サンガ休マレテ、御家ガ交リニ出ラレタノデ之レ幸ト店員預金ヲ出シテ貰ラッタ

四時半風呂ヨリ上ガテ後戸次サンニ日本外史ヲ習フ　五時半頃倉庫ガ閉マッタノデ今朝製圖シタモノヲ製造ニ着手

夜判取引合セ　八時過ギ終ル。後チ竹外、詩ヲ寫ス

此程ヨリ、ドーモ気分ガ優レズ殊ニ先日帰宅シタ時大分、ヤセタナドト云ワレタノデ銭ハ非常ニ遣ヒトミナカッタカ一番元気直シニ西洋料理ヲ喰ヒニ行ッタ

帰店後科學世界ヲ讀ム　九時半就寝

受信　酒井庄太郎殿　手取ニ旅行中

▲▼102ページ▲▼　明治42(1909)年4月7日(水)

天気　雨

摘要　後晴レ　夜又雨

午前五時起床。マダ暗ラカッタ　電燈ヲ點シテ飛行器ノ推進器ノ製圖ヲ作シテ居タ處ヘ河野君ガ起キテ來タ　不圖見ルト、モー窓ハ白ローナッテ居タ。デ余モ掃除ヲナシ後倉庫二階ニテ代数ヲ學ブ

夕主人ガ九州ヘ二三日中ニ行カレルノデ、御出立迠デニ暇ヲ乞フカ或ハ留都(ママ)中若主人ニ乞フテ御帰リニナッタラ御相談ヲシテ下サイト、デモ云フ方ガ宜イカ其話ニ宅ヘ

帰ヘタ。處ガ色々話末父ニ而シタラドーヤト云フトワシハ何ニモ聞テ居ランカラ知ランナトヾ云フノデ、ガッカリシテ一ツ余ノ心中ヲサラケ出シテ父ヲ説キフセ様ト思ッテ居ル處ヘ平井サンガ來タ。シバラクスルト西ノ義兄ガ來タノデ、ツヒニ話ハソレナリニナッテ帰ヘタ　帰店九時半　其レヨリ新聞ノ切取ヲナシ十一時就寝

▲▼103ページ▲▼　明治42(1909)年4月8日(木)

天気　曇

午前五時五十分起床　掃除後昨日製圖シタ推進器ヲ造クリ始メタ。而シテ外ノ事ハ、シバラク休ム事ニシタ。ソレハ父ヲ説イテ宅デヤル様ニスルニハ、此飛行器ヲ一日モ早ク仕上ゲ之レヲ目ニ見セタラ一モ二モ無イダロート思ッタカラデアル
夕景ヨリ車ヲ作リ取附迠デスッカリ、ヤッタ　スンダノガ十時頃デアッタ。ソレカラ新聞ノ切取ヤラ何ヤカヤト床ニ就イタノガ丁度十一時　眠タノガ十一時五
今日晝松木君ト、キリストノ教ヘノ事デ討論ヲヤッタ。夜モ又少シヤッタ　彼レハキリストハ精神上ノ教ヘデアル~~ト云フ而シテ~~カラ心デハ決シテ~~彼レハ酒ヲ飲ムカラ~~酒ハ飲ンデ居ナイト云フ　余ハ精神ト肉體トハ相連ナッタモノデ精神デ飲マナイデモ肉体デノメバ、ヤハリソレダケ肉体ニ害ヲ及ボス。即チ肉体ガ害セラレタラツマリ精心(ママ)モ害セラレルノダト主張シタ

▲▼104ページ▲▼　明治42(1909)年4月9日(金)

午前五時起床　掃除後倉庫ニテ開聞迠飛行器ノ後ノ車ヲ造ッタ
午前十時頃藤原松太郎ヘ代金請求ニ行ッタ處、マダ寝テ居ルカラ後チニシテ呉レト云フカラ、余リ無礼ナ申様ナリ　又幾度モノ事ダカラ大ニ叱リ飛シテヤッタ。ソコヘ丁度寝ボケノ様ナ顔ヲシテ出デ來~~タカラ~~テ色々詫ビヲナシ御晝迠デニ最(ママ)非行キマスト云フノデ許シテヤッタ
四時頃ヨリ戸次サンニ日本外史ヲ習フ今日ハ竹田信玄ガ僧ニナツタトコロ迠デ明日カラ川中島ノ戦ニナルノダ　中々趣味ノアル面白イモノデアッタ　後チ飛行器ノ車取付ヲ全部スマシタ
夜非最(ママ)ニ頭痛ガスルノデ八時頃寝ニ就イタ

▲▼105ページ▲▼　明治42(1909)年4月10日(土)

天気　晴
摘要　今日ハ如何ニモ春ラシイ好天気デアッタ
午前五時五十分起床　数學ヲ學ブ

午後二時製銅場へ行クヲ幸イ一寸宅へ寄リ此間ノ相談ハ何ナッタカヲ父ニ聞クガ父ハ知ラント云ッテ居ラレタ　帰リガケ石険（ママ）ト手拭ヲ貰ッテ帰ッタ
夜代数ヲ學ブ　後物理學ヲ研究ス　終ッテ日本外史ヲ復習ス
九時半就床　今夜阪口君ニ頼ンデ買ッテ來タ貰ッタ科學世界ヲ讀ンダ
十時就寝

▲▼106ページ▲▼　明治42（1909）年4月11日（日）

天気　晴
午前五時十五分起床　自宅へ手紙ヲ書イタ爲メ何ニモ出來ナカッタ
四時就業後倉庫階上ニテ飛行器ヲ造ル　本日ハ上曽（ママ）下曽（ママ）ノ取付ヲナシ全体ノ舩ハ之レデ出來上ッタ
夜コンパスヲ買ヒニ行ク
帰店後新聞切取ヲナス　後今日戸次サンニ習ッタ日本外史ヲ復習ス
十時半就寝
発信　自宅　暇乞ヒノ請求

▲▼107ページ▲▼　明治42（1909）年4月12日（月）

天気　晴
今朝ハ大分寝過ギ五時四十分起床シタ
本日ハ別ニ記スル程変ッタ事ハナカッタ
夜明日吹キニ付濱宅へ宿リニ行ッテヤッタ
発信　研数學館　振替貯金ノ振込用紙ヲ貰フ依頼状

▲▼108ページ▲▼　明治42（1909）年4月13日（火）

天気　晴
~~午前五時半起床~~
~~本日記事無シ~~
~~夜明日吹キニ付濱宅へ宿リニ行ッテヤッタ~~

▲▼109ページ▲▼　明治42（1909）年4月14日（水）

天気　晴
午前五時起床　例ノ通リ終ッテ推進器製造ニ着手

本日モ特筆スベキ事ナシ

▲▼110ページ▲▼　明治42(1909)年4月15日(木)

天気　曇

摘要　本日時候ニカヽワラズ寒気甚シ　推進ヲ造ル

午前五時起床　掃除後倉庫階上ニテ推進器ヲ造ル　工業瓦斯ヲ讀ム

夕例ニ依ッテ日本外史ヲヒモトキ夜吉岡宝文館へポケット外史ヲ買ヒニ行ッタガ無カッタノデ小谷書店デ購タ　帰途余リ御無沙汰ヲシタノテ藤井サンへ寄ッタ　店ニ坊サン一人居ラレタ　色々御話ヲ窺ウト、トーサンニハ此ニ月トカニ男ノ児ヲ御産ニナッタトカ實ニ早イモノダ　余ガ奉公シタ時ハマダ、チコヽト學校へ通ッテ居ラレタノダ。ソレカラ御客サンガ旧年十二月廿八日トカ女ノ児ヲ御出産ニナッタソーダ　親子掛合イトハ随分、ニギヤカナ事ダロー。尚此五ヶ月出産事ニハ御老主ガ最早古稀ノ齢ヲ重ネサセラレ又御老母モ昨年ノ、カン歴(ママ)ヲ本年ニシテ來月ニ日ヨリ三日間ニ渡ル大祝宴ガ開カレルトノ事デアッタ　余モ何ント無ク喜バシイ様ナ感ガシタ

受信　禁酒同盟會　國の光一冊

▲▼111ページ▲▼　明治42(1909)年4月16日(金)

天気　晴

午前五時起床　例ニ依テ飛行器ヲ作ル　推進器出來上ガッタ　手デ廻ストヤハリ少シ登ルカラ面白イ

九時頃北方面へ集金ニ行ッタ

夜又飛行器ヲ作ル　後明日吹キニツキ濱宅へ行ク

九時過ギ寝ニ就ク

▲▼112ページ▲▼　明治42(1909)年4月17日(土)

天気　晴

濱カラ店へ來タノガ丁度五時デアッタ　掃除後倉庫階上ニテ飛行器ヲ造ル　今日推進器ノ取付ヲモ終ッタノデ手デ廻シテ見タガ余リ重量ガ付キ過ギタ爲メ一寸程シカ動カナイデ今度ハ、ゴク、カルクスル、ツモリデ又一個製造ニ着手シタ

今日午前中倉庫ニテ台北ノ山三商店行キノ銘ノ荷造ヲヤッタ。久シ振リダカラ随分、エラカッタ

夕六時頃カラ一寸宅へニューム針ヲ取リニ返ヘッタ。ソシテスグ帰店シタ。後又之レノ製造ヲヤッタ

今日竹島様ノ運動會デ宅ヘ帰ッタ時モ皆留都（ママ）デアッタ

▲▼113ページ▲▼　明治42（1909）年4月18日（日）

天気　晴

午前五時起床　例ノ物ヲ造ル　本日主人夫婦ハ高野山ヘ参詣ニ行ッテ一両日宿マッテクルトノ事デアッタ

夕六時店ヲシマイ後余ハ文具屋ニテ「ゴム」ヲ求メ、會議室ニテ飛行器ノ試験ヲ試シタガ、ツヒニ失敗ニ帰シタデ、イヨヽゼンマイ仕掛ニスル事ニシタガ金ガナイカラ、スグ又宅ヘ走ッテ帰リ父ヤ姉ニ飛行器ヲ見セテ説明シタガ、タヽ感心スル位ノ事デ、別ニ何ニモ分カラナイラシカッタ。帰途大阪商品館ニ行キ「ゼンマイ」仕掛ノ玩具ヲ買ッテ帰ヘッタ。後チ講義録ヲ讀ム

十時半就寝

受信　禁酒同盟會　月次會報告

▲▼114ページ▲▼　明治42（1909）年4月19日（月）

天気　雨

摘要　（大日本工業會ニ入會）

夢ニオソハレ、ヒヨット目ヲサマシタ。窓ハ既ニ白ンデ居タ。スグ飛ンデ起キタ。丁度五時五分前デアッタ。~~例ニヨッテ~~今朝ハ机ノ掃除ヲシタ。

一昨夜ノ土曜會デ関西金属同盟會ニテ廿五日濱寺公会堂デ運動會ヲ開ク事ニナッテ居タガ會費一人前ニ円ト云フ高價ナノニ場所ガ余マリ古メカシイノト其割ニ立派ナ事ガ到底出來ナイノトデ、多クノ返論ヲ起シ旅行ニセヨトノ一搬ノ説デアッタ。ソレガ爲今夜当店ニテ會議ガ開カレタ　丁度主人モ夕方帰ラレタ。結果ツヒニ來月ノ第一日曜日ニ繰延ベ堺大濱ニテ汐干狩ト云フ事ニナッタソーダ。夜七時半ヨリ八時半迠デ数學ヲ學ブ　後竹外ノ詩ヲ讀ム

九時半就寝

発信　藤井甚松様

▲▼115ページ▲▼　明治42（1909）年4月20日（火）

天気　晴

今朝五時起床　後工業瓦斯ヲ讀ム

此頃余リ何ニモ用事ヲシナイカラ暇デヽ仕方ナイ爲メ今日ハ倉庫ヘ行ッテ荷造ノ手傳ヲシテヤッタ　四時頃ヨリ日本外史ヲ習フ

夜七時~~廿五~~三十分大阪小間物同業組合事務ニ大阪禁酒會月次會ガ開カレルノデ出懸カケテ見タ。ヤガテ八時藤井監事ノ開会ノ詞　次ニ青山会長ノ禁酒講演　終ッテ又藤井氏ノ□□談。ソレカラハ各会員ノ実険(ママ)談ヤラ失敗談ヤラデ非常ニ愉快デアッタ　中程デ菓子トお茶ガ出タ。而シテ互ニ胸襟ヲ開イテ相語リ相談スル等之レ等人生ノ眞ノ趣味ト云フ物ハ彼レ等上戸韋(ママ)ニハ得味ハヽナイ處ダ　茲ニ於テ余ハ益々兄上ヲ禁酒ニ導ビカン事ヲ決心シタ

本日朝日新聞記者衆議員(ママ)議員石橋爲ノ助君ノ出演ガアル筈ノ處スデニ先約ガアッタ爲次ノ月次会ニハ最(ママ)非出席シテ貰フ事ニナッテ居ルソーダ　大分楽シミニナッテ來タ　斯クシテ帰ヘタノガ丁度十時　直チニ床ニ入ル

受信　藤井甚松様

▲▼116ページ▲▼　明治42(1909)年4月21日(水)

天気　晴

午前五時五分前起床　掃除後例ノ一件ガ余リ延引スルノデ、モドカシク本日竹島御主人様ヘ直接依頼状ヲ差上宅ヘモ其由一寸報ジテ居イタ

夕四時頃ヨリ戸次サンニ日本外史ヲ習フ　五時半終リ食事後飛行器ニ附ケル「ゼンマイ」ヲ組立タテニカヽッタ　八時半頃仕舞ヒテ後カールテルヲ記述ス　十時就寝

発信　竹島新三良様　自宅　大日本工業會(申込書)

▲▼117ページ▲▼　明治42(1909)年4月22日(木)

五時五分前起床　五時半ヨリ工業瓦斯ヲ讀ム

此頃ハ毎日ホトンド遊ンデ居ルカラ日ノ中デモ嵐山紀行文ヲ作ルヤラ「カールテル」ヲヲ記述スルヤラ裏デ荷造ヲスルヤラ此ンナ事バカリシテ居ルノデ日ガ長クテ仕方ガナイ處ガ又日ガタッテ見ルト一週間目ノ日曜ガ、恰カモマラソン競争ノ様ニ早イ感ガスル

夜飛行器ノ「ゼンマイ」ヲカチヽヽヤッテトードヽツブシテシマッタ　又一ツ買ネバナルマイ後少時工業瓦斯ヲ讀ミ終ッテ新聞ノ切取リヲナシ九時半寝ニ就ク

夕例ニヨッテ日本外史ヲ習フ

▲▼118ページ▲▼　明治42(1909)年4月23日(金)

天気　曇

摘要　後晴レ

午前五時五分起床　掃除後倉庫ニテ数學ヲ學ブ

本日ハ午後現金部ノ藤田君ガ留都(ママ)ダカラ手傳ニ行タ

夜冒険世界ヲ讀ム　十時半就寝

▲▼119ページ▲▼　明治42（1909）年4月24日（土）

午前五時五分前起床　本日午後ヨリ坂口君不在ニ付現金部ノ手傳ヲナス
夕六時店ヲ出テ宅ニ帰ル。用ハ先日手紙ヲ出シテ居イタガ一向來テ呉レナイノデ其相談ニ帰ヘッタ。父ハ先ヅ返（ママ）対デ昨年來姉ノ事ヤラ、又西の家ノ事ヤラ心ヲナヤマシテ居ルシ、殊ニ此頃、兄ノヤヽ児ガ病気デホトンド死ニカケテ居ル折リカラトテ ~~種々~~ 父ニ取ツテハ実ニ気ノ毒ニ堪ヘナイ　又竹島様ニシタ處ガ今暇ヲ貰ヒニ行ッタラ又佐渡島ノ主人ニ叱カラレルノハ知レテ居ルナトヾ云ハレテ居ルノデ、大将ノ ~~御気~~ 御心ヲ損シテハ直接家ノ爲メニモ、カヽワル事ニモナルノデ、ツヒニ暇ハ延期スル事ニシ、兄ヤ姉ヤ丁度西ノ姉モ來テ居タノデ相談ノ結果、表面シバラク奇麗ニシテ居イテサテ四方マッタリ何ニ事モ差支ガナク無ツタ時好テ今度ハ無断デ出テ其レヽコトワリ状ヲ出シテ居イタナラバ家ニ関係ヲ引起サズニスムト云フ事ニナッタ。ソコデソレ迄デニ最（ママ）非身ヲ入レルベキ處ヲ探シテ居カネバナラヌ

発信　大阪朝日新聞社　山田猪三郎君ノ住所問ヒ合セ

十時十時帰店　十一時就寝

▲▼120ページ▲▼　明治42（1909）年4月25日（日）

天気　晴

記事無シ

▲▼121ページ▲▼　明治42（1909）年4月26日（月）

天気　晴

午前九時過ギヨリ湊町鉄道院ヘ平板ヲ納メニ行ッタ　丁度終ッタ處ガ三十番ノ平板ガ一枚不足スルノデ製銅場ヘ行キ店ヘ、スグ持参スル様ニ電話ヲ掛ケタ。時恰モ正午デアッタノデ書食ヲ、ヨバレ、少時持（ママ）ッテ居ルト関野ガ一枚モッテ來テ余ニ之レカラスグ自宅ヘ帰ヘレト云フカラ何ンダト聞イテ見ルト、宅ノ小供ガ今朝死ンダノデ今先キ店ヘ内カラ暇ヲ貰ヒニ來タトノコトデ余ハ早速帰ッタ
兒安ラカニ永キ眠リニ入ッテ居ルガ、マダ何ントナク答ヒソーニ思ッテ仕方ガナカッタ
後三時頃一度店ヘ帰リ用事ヲ済シ新メテ暇ヲ得テ帰宅ス
夜ヲ過ス

受信　大日本工業會　講義録

▲▼122ページ▲▼　明治42(1909)年4月27日(火)

天気　曇
摘要　後晴レ
昨夜中ハ平井サンノ、オドケヤ何ニカト非常ニニギヤカナ夜トギデアッタ　~~今朝ハ~~葬式ハ
何分小供ノ事ダカラ御佛前モ何ニモ受ケナク又野送モ斷ハツテ居イテ今朝八時頃、ヰ
~~ワカ三近所ハマダ~~自宅ヲ出棺シタ。ソレデモ家ノ前ニハ送リ手ハ一人モ無カッタガヤガテ
一丁程ト來タ處ニ一編ニ二十人程ノ人ガ、ゾロヽヽトツヒテ來タ　デ火葬場ニ就イテカ
ラ名前ダケヲ聞イテ帰ル事ニシテ後チニ山菓子ヲ持シテヤッタ。十時帰宅後大串醫師
ヘ薬代ヲ持参シ晝食ヲ喫シ十一時頃余ハ寝ブタイノデ床ニ就キ十二時過ギ起床　一時
頃ヨリ一人博覧會ヘ行ッタ。余ノ最モ注意シテ見タノハ機械館ダケデアッタ
帰途記念繪端書ヲ買フ
受信　研数學館（振込書）

▲▼123ページ▲▼　明治42(1909)年4月28日(水)

天気　晴
午前七時起床　日ハスデニ高ク登ッテ居タ。コンナニ朝寝シタノハ本年ニナッテ今日始メ
テダ　今日一日身体ヲ休メル事ニシタ
午後一時頃御骨ヲ上ゲニ行ッタ人ガ皆帰ヘッテ來タ　見ルト実ニ小イサナヽヽヽモノデ
胴骨ナドモ、ホトンド、一ツカミモナイ程デアッタ　アヽアノ可愛顔ヲシテ居タ、キミ子
今ハ一塊ノ骨片ト化シテ愛ラシイ目モ口モ早ヤ見ル事ガ出來ナクナッタ。噫々憐レナモ
ノヨト思ワズ涙ヲノミコンダ。殊ニ父ヤ、おつるサンハ顔ヲ見テハ一シオデアッタ
夜九時帰店　十時就寝
受信　大日本工業會　講義録

▲▼124ページ▲▼　明治42(1909)年4月29日(木)

天気　雨
終日簿記ヲナス　他ニ特筆スベキ事ナシ
夜例ニヨッテ書出シヲシラベテ支払帳ニ書イタ

▲▼125ページ▲▼　明治42(1909)年4月30日(金)

天気　晴
午前五時五分前起床　掃除後倉庫ノ準備ヲナス

本日ハ終日決算ノ準備ヲス　夜又八時過ギ迠デ夜業
十時就床

▲▼126ページ▲▼　五月中行事豫記

豫算
金五十銭　研数學館
金壱円　書籍代
金壱円　臨時費
金四十銭　散髪代
金壱円　積立金
合計三円九十銭

▲▼127ページ▲▼　明治42(1909)年5月1日(土)

天気　晴
午前五時二十分前起床　掃除後倉庫ニテ工學講義録ノ物理學ヲ學ブ
本日モ終日月表ノ準備ヲナス　午後松木君病気ノ爲メ就床セシニ付少々思惑ガ変ッテ來タ　三時頃住友倉庫ヘ△銅ヲ入レニ行ッタ　處ガ今日ハ何ニカ御祭ダトカ云ッテ、大キナ○形ノ萬(ママ)頭ヲ二ツ呉レタ。ソヒデニ宅ヘ明日ノ遊ビ道具ヲ取リニ帰ッタ　父ハ先日來「ハナ」ノ中ニ小サナモノガ出來テ居タノガ今日堀内病院デ見テ貰ラッタラ、面帳(ママ)ダト云フノデ切ッテ貰ッタト云ッテ居タ
夜七時頃迠夜業　後油繪ノ繪ノ具ヲ買ヒニ行ッテ御茶ヲ引カサレタ
十時頃床ニ就ク

▲▼128ページ▲▼　明治42(1909)年5月2日(日)

天気　晴
午前五時半起床　例ノ通リ終ッテ、少時明笛ヲ吹キ後油繪ヲ畫ク　三枚畫イタガ何レモ思ハシク出來ナカッタ　中ニ一番先ヅ気ニ入ッタノハ極仕舞ニ作ッタ美人畫「花嫁」デアッタ
夜河野君ト大谷君ト三人連レデ活動寫眞ヲ見ニ行ッタ　主人カラ半額券ト特別ニ一銭迠デ恵マレタノデ幸イ一文モ入ラナカッタ。九時十五分前~~起床~~帰店後中山ハンガ藤原松太郎ノ行前ヲ、サガシニ行カレタノデ其レ迠デ待ッテ起キテ居ル事ニナッタ

▲▼129ページ▲▼　明治42(1909)年5月3日(月)

天気　晴

午前五時起床　本日ハ又終日月表ノ準備ヲナス

夜製圖學ヲ習フ

▲▼130ページ▲▼　明治42(1909)年5月4日(火)

天気　曇

午前五時十分前起床　後チ手紙ヲ書ク

本日モ又終日月表ノ準備。處ガ試算表ヲ作ッタ處ガ中々合ワナイ　三千四百円程貸方ガ多ナルノデ賣掛未拂ハ中マデモナク仕訳帳ノ、合計マデヤリ直シヲシタノニツヒニ分ラズ　仕舞遂ニ頭痛ガシテ來タノデ明日ノ事ニシタ

夜七時頃ヨリ一時間製圖學ヲ學ブ　後チ製圖用ペーパーヲ購ヒニ行キ帰店後十一時迠デ製圖ヲ作ス。十一時就床　外史ヲ讀ム　同十五分就寝

発信　藤井甚作様　古稀ノ祝詞

▲▼131ページ▲▼　明治42(1909)年5月5日(水)

天気　曇

摘要　少晴レ

午前五時十五分前起床　今日ハ目ヲ醒ストカラスグ月表ノ事ガ気ニナッタノデ帳簿ガ出ルヤ否ヤ先ヅハ早ク引合セヲシタ　一番ガ資本　其次ギガ公債　其次ギ開クト貸付金　試算表ヲ見ルト、サー有難イ　之レガ付簿ダ　三千四百円某一編(ママ)ニ分カッタ。ア丶喜シ　今日ハ朝カラ気持チガ好クナッタ。夕方月表モ出來タノデ戸次サンニ外史ヲ習フ。夜七時頃ヨリ活動人形玩具ヲ造ロート思ッテ之レノ製圖ヲシタ　十一時筆ヲオイテ寝ニ就ク

▲▼132ページ▲▼　明治42(1909)年5月6日(木)

天気　曇

摘要　少晴又少雨

午前五時二十分前起床　掃除後製圖ヲナス　本日イヨ丶丶月表出來　純益三千円弱

夜又製圖ヲナス　十時半就床

今夜中山氏九時三十分ノ列車ニテ九州ヘ赴カル(但シ秘密ニテ)　要ハ先頃神戸沖ニ沈没セシ平板七百噸余ノ大銷ヲ製鉄所ニテ今一度其上ニ亜鉛引ヲ出來ルカノ問題デ、

アハヨクバ一モーケセン見込ナリ。然シ八九分迠ハ否定説デアッタ　ソレデ余ハ中山氏ニ依頼シテ各駅通過ノ際ハ其地ノ市街圖ヲ買ッテ來テ貰フ様ニシタ。実ハ先頃ヨリ日本全国ノ都市地圖ヲ集メテヤロート思ッタカラデアッタ
余ハ中山氏ノ九州入リハアマリ感心シナカッタ。ナゼナラバ、タトヒ製鉄所デ再亜鉛引ガ出來ルニシテモ出來タ、アカツキニハ何度七百屯カラノ品物ダカラ市場ハ下落スルニキマッテ居ル　尚其中ニハ次船デ尚ノ事ダ

▲▼133ページ▲▼　明治42(1909)年5月7日(金)

天気　雨
例刻起床
夕日本外史ヲ習フ
夜七時ヨリ八時迠物理研究　後新聞雑誌ヲ讀ム　十一時就寝

▲▼134ページ▲▼　明治42(1909)年5月8日(土)

天気　晴
例刻起床　今日ハ近頃ノ一大好天気デアッタ。
本日午前松木君帰国セラル、付キ余ハ記念トシテ君ニ、スマイルス翁ノ自傳ヲ贈呈シタ。ソシテ其反(ママ)禮トシテ帰国後高知市地圖ヲ送ッテ貰フ事ヲ約シタ。松木君ノ交リトシテ國本君帳場ニ來ル(但シ余主人ニ國本鐵太郎君ヲト乞フタノダ)
夕五時半頃ヨリ帰宅ス　父ハマダ氷デ冷ヤシタシシテ居タガ最モ余程好クナッタトノ事。内中ヲ見ルト大分新ニ道具ガ、ソローテ居タ。先ヅ箪司(ママ)ニ風呂、銅ノケシツボ、絹夜具等■デ尚此外ニ薄端ノ花瓶ナドモアッタ　殊ニ一著シイノハ電燈ガ輝イテ居タ　今日デ四日目ダトノ事

▲▼135ページ▲▼　明治42(1909)年5月9日(日)

天気　晴
不圖目ヲ醒ストナンダカ頭ガ重イ。シバラクスルト河野君ガ起キテ來タ　余モ又起キヨートシタガ痛ンデ仕方ガナイデ、先ヅ一時起キテ掃除ヲシタモノヽ、増(ママ)々具合ガ悪ルイノデ八時頃手代室ヘ入テ寝タ　タチマチグッスリ寝タ　時々夢ヲヤブテ目ヲ醒ス。又寝ル　スグ夢ヲ結ブ余リ茲ニ夢ガマッタク五臓ツカレト云フノハ実ニ其眞ヲ得タモノト思ッタ　正午食事ニ起キタガモー、サ程ニモナイノデ殊ニ今日ハ日曜ノ事デモアルカラ起キテ居ル事ニシタ。後小旦那ガ、アマリ傳票ヲ沢山残シテ居ラレルノデ余之レヲ整理シテ上ゲタ(但シ本日老主人ハ南陽倶楽部ノ催シデ和歌方面ヘ旅行　小旦那ハ同窓会ニ

行カレタ）
四時店ヲ閉メ入浴後余ハ宝文館ヘ行ッタ　而シテ教育品部ヘ入テ電気ノ試験ヲシバラク見テ、カタログヲ貰テ帰ル。帰途田中書店ニ寄リ來月ヨリ科學世界ト太陽ヲ入レテ貰フ様ニシタ
夜讀書ヲナス。後チ英語ノ事ニツイテ岡本正君ト僅カナ語ヲ交シタ
十一時就寝

▲▼136ページ▲▼　明治42（1909）年5月10日（月）

天気　晴
午前例刻起床　十時頃若主人ニ神戸ヘ行クベク命ゼラレタ　デ早速身仕度ヲシテ出懸ケタ　阪神電車内デ岩井ノ太田君ニ出會タ　而シテ初塚ヘ行ク迠同道シタ　初塚ヘ着イタラ丁度十二時　一寸八番ヘ銅引取方ヲ請求シニ行ッタ　處ガ船ガ不明ナノデ多分今朝日ニハ分カルカラ分リ次第引取ト云フ　ソレデハ内金ダケデモ呉レル様ニト云フト船名サヘ明レバ、スグ御振込ミスルトノ事デ帰ッタ　初塚デ晝食ヲ受ケ一時頃鼎鴻春ヘ一寸寄ッテ今日ノ目的トスル　聯昌盛ヘト來タ　種々懸合ノ結果七千ケノ銅ガ廿六ケ目欠スルニ対シ六ケガケ当店ニテ負担ショートト云ッタガ遂ニ聞カズ　ヤムヲ得ズ二千円ダケ内金ヲ貰テ、川口屋ヘ行キ昨日入船ノ明細ヲ聞イタガマタ不明ラナイデ、永□ヘ集金ニ行ッタガ丁度大掃除中

三八六頁へ
（386ページへ続く）

▲▼137ページ▲▼　明治42（1909）年5月11日（火）

天気　晴
午前五時前起床　掃除後欧羅巴ヲ讀ム
午後二時頃倉庫ノ二階デ欧羅巴ヲ讀ンデ居ル内寝ブタクナッテウツヽヽト寝テシマッタ
三時半頃目ヲ醒シ驚イテ帳場ニ帰リ、スグ製銅場ヘ引合セニ行ッタ　五時帰店
夜六時半ヨリ一時間余工學ヲ習フ　後、科學世界ヲ讀ム。後チ新聞切取ヲナシ十一時過ギ就寝

▲▼138ページ▲▼　明治42（1909）年5月12日（水）

天気　晴
午前五時前起床　掃除後欧羅巴ヲ讀ム

今日モ例ニヨッテ終日ナス事モ無ク欧羅巴ヤ科學雑誌ヤ小旦那ノ工業大辞書ナドヲ讀ンダ
夕五時三十分モ少シ過ギタ頃夕食ニ行キカケルト、オギヤヽヽノ声ガヒヾイタ　小旦那ノ子ガ出來タノダ　後チニ聞クト女トノ由
夜六時二十分ヨリ工學講義録ヲ習フ　今日ハドーモ非常ニ不明ノ個所ガ多カッタ　一時間終ッテ後又讀書ス

▲▼１３９ページ▲▼　明治４２（１９０９）年５月１３日（木）

天気　曇
摘要　三時頃ヨリ晴
本日モ昨日ト大差無シ　晝間モヤハリ本讀ンデ居タ
夜又昨日ニ変リナシ
本日夢ニ母ノ面影ニ接シ誠ニ喜（ママ）シカリキ

▲▼１４０ページ▲▼　明治４２（１９０９）年５月１４日（金）

天気　晴
午前五時前起床　前日ニ変ル事ナシ
夕井上君ト囲碁ヲ圍ム　五目デ負ケ六目デ勝ッタ
今日ハ少々頭ガケゲンナノデ工學ハ御休ミ　欧羅巴ヲ讀ム　十時就（ママ）就寝

▲▼１４１ページ▲▼　明治４２（１９０９）年５月１５日（土）

天気　曇
摘要　後雨メ
午前五時起床
晝食後一時間程シテ住友ヘ約手繼續ヤ真鍮塊ノ出切手ノ手数ニ行キ三時頃迠デ待タサレタ　帰店後大急ギデ製銅場ヘ同塊受取ニ行ッタ。處ガ仲仕ガ僅ニ六人シカ來テ居ラナイノデ店ヘ電話ニテ人数ヲ請求シタ。ソレデモ、ヤハリ終ハ六時頃ニナッタ
帰途發明界ノ四十七士ヲ購ヒ帰ル。少時工學ヲ習ヒ後碁ヲ見最後ニ一石圍ンデ床ニ入リシバラク今日買ッテ帰ヘッタ本ヲ讀ンデ寝タ

▲▼１４２ページ▲▼　明治４２（１９０９）年５月１６日（日）

天気　雨

摘要　後晴レ
今朝料面台ノ下ヲ見ルト國ノ光ガ來テ居タ　一寸ト目ヲ通シテ午後讀ンデ見タ。此間徳川公爵邸デ安藤君ガ禁酒演説ガアッタトノ事デ大分社會カラ注意セラレル様ニナッテ來タノハ吾レ々々大ニ賀スベキ事デアル
夕四時閉店スルヤ否ヤ帰宅シタ　父ハマダ寝テ居タガ最余程好イトノ事デアッタ　姉ハ大好物ノ芋ヲ買ッテ呉レタ　後又すしヲ買ッテ呉レタ。ヤガテ夕食ヲ終ッテ雑談ノ後八時頃兄嫁ガ心斎橋筋ヘ買ヒ物ニ行クト云フノデ一處ニ帰ル事ニシタ　九時帰店　九時半就床　本ヲ讀ム
十時就寝　シバラクスルトウツヽトシカケルト井上君ト初塚君トガ戻ッテ來タ　すしヲ呉レタ　時正ニチンヽヽヽヽヽヽヽヽヽト鳴ッタ
本日ハ昨夜非常ニ愉快ナ夢ヲ見タノデ終日気分ガ清々シテ居タ。其レデモ時々頭ノ底デキリヽヽトスルノハ例ニヨッテマヌガレナカッタ
受信　田中むめの様　時候文

▲▼143ページ▲▼　明治42（1909）年5月17日（月）

天気　晴
例刻起床　掃除後裏ニ出デ過古（ママ）ノ余ノ思ヒ付ヒテ製作ニ懸ッタモノデホトンド成功シタモノガ一ツモ無イ。之レハ、ツマリ余リ思ヲ深ク巡ラシテカヘッテ承密過ギル爲メ。還（ママ）言スレバ、自分ノ脳力以上ノ事ニ走シルカラダトサトッタノデ、此度ハ六ヶ處様デ比カク的容易ナ電流ヲ通ジテ走ル電車ヲ思ヒ付イタ
夕二階デ明笛ヲ吹キ後工學ヲヤリカケタガ今日ハサッパリ分カラナイノデ下ヘ降リテ來タ　時恰モ小原（植田）君ガ來テ居タ（ママ）レタ。実ニ立派ナ軍人ダ　例イノ愉快ゲナ調詞（ママ）デ二三時間モ軍隊生活ノ有様ヲ語ッテ八時過ギ帰隊セラレタ
発信　松木富ノ助、下記返書
受信　松木富ノ助着卿報知　大阪禁酒會月次會通知

▲▼144ページ▲▼　明治42（1909）年5月18日（火）

天気　晴
午前五時十分前起床。正午前二万四千円ノ約手繼續ノ爲メ増田合名会社ニテ裏書ヲ受ケ増田銀行ヘ持ッテ行ッタ　期日ハ七月十七日　日歩八一銭
夕食後岡本正君ト吉岡宝文館ヘ行ッタ。余ハ植物採集帖ヲ買ッタ　代價ハ壱円廿五銭ダガ構造ヲ見ルト実ニ「ヘト」ノ出ソーナモノダ　先ヅ紙ハ、スキ直シノ上等ト云フ様ナヤツデ表紙イヤ表板ハ荒板ニ墨ヲ塗ッテアッテ、ソレニヌクサイヽ防水布ガ、クッツイテ居テ風呂敷ノ代用ニナッテ居ルナド實用カハシラヌガ、余リ無細工ナノニ驚イタ。コンナ

モノガ一円廿五銭トハイヤハヤ

▲▼145ページ▲▼　明治42(1909)年5月19日(水)

天気　晴

例刻起床　夕食後主ニ暇ヲ乞ヒ、中ノ島豊国神社社務所へ行ッタ　處ガマダ、シンカン森閑トシテ居ルノデ公園ヲ、ブラヽシナガラ暮色セマリ、正ニ模糊トシテ西ニハ日銀東ニ圖書館ヲヒカエシ同園ニハ瓦斯ノ光ト白燐燈ノウイ弧光燈ノ光キラヽトカヽヤキ出シタシカシマダ輝キハ薄カッタガ、ヤガテ、其レモ次第ニ増シテ來タノデ又社務所へ行ッタ　下駄ハ四五足アッタガ、其處ニ二人ホド立ッテ居ル人ガアルガ上リモセズ、マゴヽシテ居ル余モ又一度、稲荷ノ、ホトリヲ巡リ、ツヒニ思ヒ切ッテ坐敷ニ通ッタ　今日ハ石橋君ノ講演ガアルノデ余ハ非常ニ楽シク感ジタノデ余ハ非常ニ楽シク感ジタノデ例ニ無ク一番前へ坐リ込ンダ　石橋君ノ演述セラルヽ處ハ禁酒ノ利益ニ付イテ四段ニ之レヲ分チ即チ個人トシテノ利益、家庭ノ利益、社會ノ利益、國家ノ利益ト順ヲ追テ述ベラレタ。サスガハ議會デ、バクツカスダケ有ッテナレタモノデアッタ

夜十二時就寝。一時頃目ヲ醒シ再ビ寝ル

▲▼146ページ▲▼　明治42(1909)年5月20日(木)

天気　晴

摘要　少曇

本日ハ別ニ特筆スベキ事ハ無イ　「タベ」夕方小旦那ガ商業講義録ニ入ッテ其レヲ店ノ者ニ講習サセルトテ余ニ其保管方ヲ命ゼラレタ位イノ事デアッタ

夜店ノ風気(ママ)其他ノ事ニ就イテ小旦那ノ前デ種々様々ナ意見ガアッタガ余ハ之レニ対シ一店員ノ改良ガ根本的最急務ナルヲ説キ月ニ一二回店員懇親會ト云フ様ナモノヲ開設シテ小僧ニ到ル迄デモ各々意見ノ交換ヲ計ル様ニシテ店ノ取引上、財政上等ノ整備、發達ヲ計ルベキ事ヲ主張シタ

▲▼147ページ▲▼　明治42(1909)年5月21日(金)

天気　晴

記事無シ

▲▼148ページ▲▼　明治42(1909)年5月22日(土)

天気　晴

午前五時十分前起床　正午住友倉庫ヘ銀平板ノ倉入ニ平吉君ガ行ッテ居ルガ今日中ノ間ニ合ウヤ否ヤ、又最(ママ)非間ニ合ス様ニ監督ニ行ッタ　一時半頃帰店。其後ハ例ニヨリ商業講義録ヲ讀ム

夜今日ノ土曜會給仕ヲ任命サル　今日ハ、アイニク出席者ガ少ナイ爲メ、御馳走ガ五六人前モ残ッタノデ中山氏ヲ始メ戸次サンヤラ其他店員二三ト下女ニモ分配シテヤッテ大ニ喰ヒツヽアル處ヘ小旦那ガ出テ來タ　玆デ小旦那モ仲間入リスル事ニナッタ。中山氏ハ小旦那ニ土曜會ガ漸(ママ)時休會スル事ニナッタニツイテ、此度ハ店員ノ談話會ト云フ風ナモノヲ月ニ一會開イタラ何デスト云フ意見ガ出テ小旦那モ大ニ散聲(ママ)デアッタガ余ハ非常ニ余ノ考ヘ通リノ趣意ノ實行ニ到ルノヲ大ニ喜(ママ)ンダ。後チ太陽ヲ讀ミ小旦那ニ明朝早ク起キ競ベヲ約シテ寝ニ就ク　時十二時

▲▼149ページ▲▼　明治42(1909)年5月23日(日)

天気　晴

午前四時半起床　早速小旦那ノ居間ノ戸ヲコツヽヽトヤッテ、ヤガテ階段ヲ箒ヒ洗面ヲ終ッテ後又コツヽヽヤッタ　今度ハ目ヲ醒シタガ電燈ノ光ガサットシタノデ、戸ヲ細目ニ開イテ御早ヨー

夕食後帰宅　浴後銭ヲ貰ッテ帰ル　正ニ七時半

内ノ様子ヲ見ルニ、マダドーモ父ト姉ノ間ガ工合ガ悪イラシイ　何ントカシナケレバナラナイト思ッタガ余ハ、ソ知ラヌ風ヲシテ居イタ　而シテ前日中ヨリ種々考ヘヲ巡ラシテ居タ立志ハイヨヽヽ強固ニシ東京ヘ出デ、一働キ仕様ト結(ママ)心シタ　尚其出立時日ニ付ヒテ余ハ一時モ早キヲ望ムガ今年ハ八方フサガリトキテ居ルノデ來年早々ニ仕様カナド種々心ヲ配ラシタガ決シナカッタ。其レハ父ガ心配スルカラデアル

▲▼150ページ▲▼　明治42(1909)年5月24日(月)

天気　晴

午前五時前起床　掃除後倉庫階上ニテ工學ヲ學ブ

午前九時過ギ松尾、ハンター商会、大阪市役所ナドヘ行ッタ　帰途丁度正午頃トモナッタシ殊ニ非常ニ空腹ヲ感ジタノデ、ウドンヤニ這入タ

午後一時頃ヨリ道頓堀ノ住友倉庫ヘ武力ヲ入レニ行ッタガ先キニ一艘砂糖舟ガ居ルノデ其レノ水上ゲノ済ム迄デ製銅場ニテ遊ビ倉入ヲ終リ五時半帰店。夕食浴後商業講義録ヲ讀ム　十時就床

▲▼151ページ▲▼　明治42(1909)年5月25日(火)

天気　晴
例刻起床　夕日本外史ヲ習フ　夜商業講義ヲ講習シ後習字ヲナス　終ッテ就床　時九時
今朝又工學ヲモ研究ス
発信　藤井甚松様　繪葉書二枚續キ

▲▼152ページ▲▼　明治42(1909)年5月26日(水)

天気　雨
今日ハ、ウットシイ爲メカ例ヨリ三十分間寝過ギタ
掃除後倉庫ニテ工學ヲ學ブ
日中ハ例ニヨッテ別ニスル事ガナイノデ裏ヘ出テハ金魚ヲ見タリ本ヲ讀ンダリシタ
夜商業講義ヲ讀ム　英語ノ發音ニツイテ舌ノ廻シ様ニ種々様々ナ骨稀(ママ)ナ事ガ書イテアッタ
十時就床　少時チヨイリダーノ四ヲ復習シテ見タガ大分ワスレタ字ガ沢山アッタ。然シ七八ヶ月モヤラナカッタ割ニハ、ヨク解スル事ガ出來タ

▲▼153ページ▲▼　明治42(1909)年5月27日(木)

天気　晴
午前四時半起床　就業前マデ工學ヲ學ブ事例ノ如ク　ヤガテ九時過ギル頃鐵道院ヘ平板24五十枚納メニ行ッタ　長イ間待タサレヤット晝時分終ッテ請求書ヲ出スト日ヲ書イタライケナイト書キ直シタ　處ガ、急イダ爲メ六ノヲ五ノト書イタノデ訂正シテ印ヲ押シテヤルト金額ヲ直シテハ工合ガ悪イト又書キ直シタ　此度ハ好イダローと思テ他ノ注文ナドヲ聞イテ居ルト用ガスンダラ一寸ト又呼バレタノデ行クト判ノ押シ様ガイケナイ。モー一度書キ直シテ貰ラハネバナラヌト云フ　余リ馬鹿々々敷ノデ白ノ請求書用紙ニ判ダケ押シテ書イトイテ下サイトヤッタ　御役人気ノ毒トデモ思ッタノカ　ヨシ、、
388頁

▲▼154ページ▲▼　明治42(1909)年5月28日(金)

天気　晴
午前五時起床　工學研究
夜習字ヲナス
午後一時頃大阪電気分銅会社ヘ行ク　四時頃帰店

▲▼155ページ▲▼　明治42(1909)年5月29日(土)

天気　晴

午前五時二十分前起床
夜判取引合セヲナス　八時半終ル

▲▼156ページ▲▼　明治42(1909)年5月30日(日)

天気　晴

例刻起床　今日ハ四時仕舞ニ付昨日初塚君ニ依頼シテ貰ッテ來テモロータ造幣局觀覧
券ヲ宅ヘ持ッテ帰ヘッタ　宅ヘノ帰途吹岩ヘ立寄リ、吹上ノヲ急ギ返テ貰ッテ帰ル
帰宅シタラ丁度カーチレーヂ会社カラ本ガ來テ居タ　開イテ見テ一ツ買ッタラドーダ
ローナドト種々雑談ヲナシ八時頃夕食ヲ喫ス　姉ハ特ニ、カシワ鍋ヲ取ッテ呉レタ　非
常ニウマカッタ
九時二十分帰店　電燈ノ光ガスルノデ、ハアハタレカ居ルワイト戸ヲガラヽヽト開ケタガ
中々出テ來ナイ　此度ハドンヽヽト、ノックドシタガヤハリ開カナイ　仕方ガナイカラ
路々ノ方ヘ廻ッタガ此處モ、キチント閉ッテ居ル　ヤムヲ得ズ表ヘ廻ッテ又ドンヽヽヤルガ、
ヤッパリ余リ宵カラ近所ヘ見トモナイシコトニ岡本ノ店ノヤツガ表デ三四人涼ンデ居ル
ノデ、トードー二階ノ人ヲ呼ビ下シヤット内ヘ這入ッタガ余リ馬鹿シイノデサンザ詫
(ママ)リ飛シテヤッタ
十時半就寝

受信　米国カーチレーヂ会社　工學会

▲▼157ページ▲▼　明治42(1909)年5月31日(月)

天気　晴

午前四時半起床　後チ書出シヲ整理シ傳票ヲ造ル
日中ハ何モナス事ガ無イノデ仕訳帳ニ赤線ヲ引イタリシタガ夜ハ今日中ノ傳票ヲコ
トヾヽク記帳シタ故八時頃迠カヽッタ

▲▼158ページ▲▼　六月中行事豫記

本月中豫算
二円五十五銭　　大津屋

五十二銭　研数學館
七十銭　書籍費　太陽　科學世界
五十銭　西洋料理屋
壱円　臨時費
合五円二十七銭也
本月中間食厳禁

▲▼159ページ▲▼　明治42(1909)年6月1日(火)

天気　曇
午前五時起床　階段掃除後裏ニ出デ例ニ依リ金魚ヤ植木ヲ眺メ又天ヲ仰ギ方針ニ就イテ考フル處アリ　後終ッテ月表製作ノ準備ヲナス
夜極少時英語ノ復習ヲナシ十時就床　本日ノ新聞ヲ讀ム

▲▼160ページ▲▼　明治42(1909)年6月2日(水)

天気　晴
摘要　少曇
例刻起床後工學ヲ學ブ。午前十時過ギ大阪砲兵工廠ヘ行ッタ　何ンノ事カト思ッテ居ルト請求書ノ金額ガ間違テ居タノデ訂正スルダケデアッタ　帰店後晝食　少休シテ湊町ヘ行クヲロ實トシ宅ヘ帰リ単物ヲ着替ヘテ帰ヘル。途次吹岩ヘ寄リ金ヲ請求シタガ五日ノ日迠デ待ッテ呉レト云フノデ種々懸合ノ結果貸付金ノ方ト利息ヲ貰ッテ帰ヘッタ。
丁度此時小原君ガ來テ居タ　倉庫二階デすしノ御馳走ナドガアッタ
夜岡本滝君ト快(ママ)動寫眞ヲ見ニ行ッタ　此度ノハ一寸面白カッタ　中ニ悲劇貧固ノゴッスナドガ実ニ傑作ト云フベキデアッタ。帰途田中ニテ太陽ヲ取ッテ來　十時頃床ニ入リテ之レヲ讀ム　十二時二十分前眠ニ就ク

▲▼161ページ▲▼　明治42(1909)年6月3日(木)

天気　晴
摘要　少曇
例刻起床　工學ヲ學ブ
本日ハ余ノ第十九回誕生ノ日デアル　夕裏ニ出テ天ヲ仰イデ回顧スレバ實ニ夢ノ如クニ感ゼラレル　十九年ノ間此世ニ生ヲ受ケ今ダ以テ何等國家ノ爲否ソレドコ處カ家計ノ補助トモナッタ事ハ一度モナイ實ニ我レナガラ其不ガイ無ナサ、ボンヤリサ加減ニ驚イタ。アヽ又ミジカク考ヘテモ此半歳ハ如何ニシテ過ギタカ。今年ノ余ハ実ニ明治維進(ママ)

ノ如ク大改良ヲナスベキ時デアル　之レハ實ニ本年ノ元旦ニスデニ決心シタ處デアッタ。然シ其経過ハ何デアッタカ　目的ハ遂ニ達セラレズ、明年迠デ延バスノヤムヲ得ザルニ到ッタデハナイカ。而シテ研数學館ニ入ッタ　工學會ニモ籍ヲ居イタ　之レ等ハ大改カクノ端緒トシテハ實ニイチヂルシキモノト云ワネバナルマイ。然シ其實ハサシモ上ガッテ居ラヌ。
ア、夢デアッタ々々々
三百九十頁ヘ

▲▼162ページ▲▼　明治42（1909）年6月4日（金）

天気　晴
摘要　但シ少曇リ
例刻起床　工學ヲ習フ
夜習字　~~工學~~幾何ヲ學ビ後太陽ヲ讀ム
十時半就寝

▲▼163ページ▲▼　明治42（1909）年6月5日（土）

午前五時二十分起床　幾何ヲ學ブ
今日ハ朝カラ五月雨ノ慓（ママ）本ト云フ様ナヤツガビチヤ〵〵シテ居タ處ヘ砲兵工廠ヨリ代金ヲ下附スルカラ出テ來イトノ報ガアッタ　然シ雨ガ降ルノデ~~彼~~誰レモ行カフト云フ者ガナイ　遂イニ井上君ト河野君ト僕トクジヲスル事ニナッタガクジト來テハ勝タ事ノナイ余ハハタシテ敗クジヲ引イタ　仕方ガナイカラ行ク事ニシタ　而シテ金政カラ車ヲ飛シ代金ヲ受取保証金ノ保管証モ貰イ日本銀行ヘ行キ公債ト引替ヘ帰途山口ヘ入金シタ　金額ハ弐千五百八十円　此間雨工合宜ク上ガッテ居タ　帰店十二時頃　シバラクスルトポツリ〵〵アヤシ〵〵
夜月表ガ出來上ガッタ　七百廿円ノ損失　後由吉ニ英語ヲ教ヘルト云フトオコガマシイガツマリ復習ヲシテヤッタ
十時就床　太陽ヲ讀ム　同三十分就寝

▲▼164ページ▲▼　明治42（1909）年6月6日（日）

天気　雨
摘要　少晴
不圖目ヲサマスト雨ダレノ音ガスルノデエヽ寝テヤレト五時半頃ヤット起キタ　起キタガ何ニモ仕方ガナイノデ二階デ本ヲ讀ンタリナニカスル内、ムラ〵〵トムネニウカンダノハ天體運行ノ有様ヲ送ル事デアッタ　早速其製圖ニカヽリ一時頃ヤウヤク出來タノデ、内ヘ

帰リ敬サンニ枠組ヲシテ貰フト丁度此時雨モ上ガッテ居タノデ土産トシテ宝山ノすし五十銭ヲ購ヒ車ニ乗ッタ時又雨ガポツリヽヽ　處ガ此車屋~~オコズ~~頗ル付ノロイ心気クサイガ何ゾコーゾ廣田橋迠デ來タノデ、スグ降リテヤッタ。父ハ留都（ママ）デアッタ　少時遊ンデ三時過ギカラ西ノ姉ヲ尋ネニ行ッタ　シバラクスルトすしヲ出シテ呉レ又金タンガ「シッポク」ヲ取リニヤリ酒ヲツイテクレタ　然シ外ノ者ハ皆平ゲタガ酒ダケハ、ツイデ貰フナリ、帰リガケニ一寸ノンデ居イタ。五時過ギ帰宅　シバラクスルト父ガ戻ッテ來タガ又何處カヘ出テ行ッタ處ヘ向ヒノ鈴木ノ姉サンガ來ラレテ種々物語ノ末例ノ繪ノ話トナリ遂ニ今日製圖シタ圖ヲ見セテ今度ハ向ヒノ宅ヘ行キ兄イサンノ肖像ヲ見セテ貰ッタ　一寸カナリ宜ク出來テ居タ　後、先キノ圖ヲ兄サンニ見セテ何ンナラ造ラヘテ貰フト思ッテ説明モシテ見タガ、トント分ラヌト云ワレルノデソコヽニシテ話題ヲ他ニ変ヘタ
而シテ座敷ヲ見ルト盆栽物ガ五ツ六ツモナラベ色々ノ風雅ナ器物ナドモ居イテアッタ
一寸見ルト丸デ骨唐（ママ）屋ノ店ノ様ダ。シカシ主人ノ風流ナ心根ハ実ニオシテ知ルベシデアル
ヤガテ電燈ノ付イタ頃宅ヘ帰リ夕食ヲ済シタガ姉ハ「ソリヤ」ノ姉サント三味ヲヒイテ裏ノ子ニ舞ヲマハセテ居ル　余ハ余リ多ク好マナイシ殊ニ父モ未ダ帰ラナイノデ帰店ノ途ニツイタ
夜ハ雑誌ナドヲ讀シテ十時半頃床ニ付イタ　ウツヽヽシカケルト一人戻ッテ來タ　表ヲ開ケテヤリ又ウツヽヽスルト又一人帰ヘッテ來タ　而シテ丁度十二時頃迠デコンナ事ヲ三四回繰リカヘシタガ之レハ一番ヘイコーシタ

▲▼165ページ▲▼　明治42（1909）年6月7日（月）

天気　晴
摘要　少曇リ又雨
午前五時前起床　記事無シ　大抵ハ例ニ依ッテ例ノ如シ
夕宝文館ヘ七色獨楽ヲ買ヒニ行キ帰途藤井様ヘ坊サンヲ訪問シタガ今日ハナニカ御説教事ヲ務メテ居ラレルト云フノデスグ帰ヘッタ。~~夜又~~後習字。終ッテ床ニ入　文藝倶楽部ヲ讀ンダ　余リ面白イノデ遂々十二時近ク迠デ夜ヲフカシタ

▲▼166ページ▲▼　明治42（1909）年6月8日（火）

天気　晴
今日ハナンダカ物ウク感ジタ　而シテ又色々ナ事ヲ考ヘル様ニナッタ　ソレハ昨日迠デ何ンデモ此家ヲ飛ビ出シテ、ト云フ様ナ事ヲ思テ居タガ考ヘテ見ルト父ガ心配スル　竹島様ニ対シテモ、スマヌ　又自分モ非常ナ辛苦ヲシナケレバナラヌ。又一歩返ヘテ此處ニ居ルトスルト實ニ気楽ニ世間ヘモ極ク奇麗デ好イト云フ様ナ事ヤ　夜ナドハ最少シ趣味ノ

アル有益ナ本ヲ讀ムトカ書ハ昨年ノ様ニ余ノBestヲナスナラハ此上ノ事ハナカロート、ア丶余ハ迠全クマヨイツ丶アル　噫々如何ショーカ

▲▼167ページ▲▼　明治42(1909)年6月9日(水)

天気　雨

今日ハ朝カラジヤー丶丶ト降リ通シ　然シ夕影カラハ全ク上ガッタ

夕方例ニ依ッテ外史ヲ習フ　七時頃ヨリ習字　後九時頃床ニ入リ六日ノ日ニ製圖シテヤッテ種々改良シテ見タ

十時半就寝

▲▼168ページ▲▼　明治42(1909)年6月10日(木)

天気　晴

午前五時起床　天ヲ仰グト昨日ニ引換何ンタル好天気ゾ

軽風カスカニ梢ヲ動カシ[テ]居ル空色ニ晴レ渡ッタ中空ニハイカニモ夏ラシイ調詞(ママ)ノ強イ白雲ガスート横タハッテ居ル　ソゾロ校外ニ芦ヲ運ビタイ様ナ心持ガシタ

夜一時間習字、後工學講習録ヲ見安イ様ニト思ッテ一科目毎ニ別ニシ一ニ之レニ表紙ヲ付ケ表書ヲ書イタ　自分ナガラ大分手ガ上ガッタ様ニ思ツタ　此調詞(ママ)デ一三月モヤッタナラ河野君位タシカニ凌賀(ママ)スル事ガ出來ルト思タ

受信　藤井甚松様

▲▼169ページ▲▼　明治42(1909)年6月11日(金)

天気　雨

摘要　曇リ午前中

朝カラフルミ、フラズミト云フ天気デアッタガ余ハ之レヲオカシテ湊町ヘ代金ヲ受取ニ行ッタ。フト内ヘ進ムト購買係ト云ヒ計算料ト云ヒ出納料ト云ヒコトゴトク大キナ帳簞笥ヤ小ナ箱ヤナニカガ一パイニ積ミ上ゲテアル。ホット気ガ付クト、ソーソ通知ヲ十一日ダッタケ、仕方ガナイカラ製銅所ヘ一寸立寄リ工場ヲ視察シテ帰途ニ着イタガ周防町辺迠デクルトポツリ丶丶トヤッテ來タノデ、サー大変ト、イツモノ早足ヲ一増早足ニタッタッタトヤット帰ヘテ見ルト両君一寸一プクト云フ様ナ顔デ上ガッテ仕舞ツタガシバラクシテ今度ハ本モノニ帰リダシタ。

夕外史ヲ習フ　夜習字及商科講義録ヲ讀ム

十時就寝

▲▼170ページ▲▼　明治42（1909）年6月12日（土）

天気　晴
午前五時起床後幾何ヲ學ブ　午後湊町ヘ代金ヲ貰ヒニ行ッタ　今日モヤハリ道具ガ重ネ合ッテアッタノデ受付デ聞クト皆神戸ヘ引越シタ。而シテ代金ハ今日ダケ、駅長室デ拂ラッテ居ルガ晝迠ダカラ、モー帰ヘッタカモシレヌト云フノデ少々驚イタガスグ駅長室ヘ行ッタ　處ガ出納官吏ハ帰神シタガ幸イ預ケテ行ッタト云イノデスグ呉レタ。帰途製銅場ヘ寄リ三時半頃帰店ス
夕六時頃ヨリ今日キミ子ノ四十九日ニ当ルノデ帰宅シタ。早ヤ大勢ノおばーさん連ガ來テ居タ　而シテ皆帰ヘッタノガ丁度九時過ギデアッタ　其レカラハ親類ヤ近所ヤ竹島ノ人ヤデ又御膳ガ出タ　余ハ坐敷ヘ出ナカッタ（コンナ事ハアマリ好マナイシ又酒ヲ進メラレルカラ）　台所デタラ腹喰ッテ帰リカケタ。大姉ハ五十銭二枚ト一円札一枚ヲ握ラシテ呉レタ　小姉ハニギヤカナ處ヲ帰リヤト、ヤッパリ小供ノ様ニ気ヲ付ケテ呉レタ

▲▼171ページ▲▼　明治42（1909）年6月13日（日）

天気　雨
例刻起床　本日ハ老主人ハ京ヘ行クシ若主人モ又一時頃ヨリ増田ノ若主人ト京ヘ行ッタ。井上君ヲエタリカシコシト大曲馬ヲ見ニ出懸ケタ　然カモ金庫デ三円中借シテ
夕本箱ヲ造ロート思ッテ武力板ノ函ノ板ヲ切ッタリ、ケヅッタリシテ全ク暗クナルマデ裏デコツコツヤッテ大アセカイタ。コンナニ、アセヲカイタノハ今年入ッテ初メテダ。仕舞ニハ、大ハダヌイデ、腰巻一ツデヤッタ。後チシバラク太陽ヲ讀ンデ九時過ギ寝ニ就イタ
発信　研数學館　講義第七号不着取調ベノ件

▲▼172ページ▲▼　明治42（1909）年6月14日（月）

天気　雨
例刻起床　物理ヲ學ブ
四時頃ヨリ外史ヲ習フ
夜宝文館ヘ講義録ノ表紙ヲ作ル爲メニ植物採集ノ台紙ヲ買ヒニ行ッタ　丁度感應コイルノ試験ヲヤッテ居タノデヤヽシバラク眺メテ居タ　而シテ硝子管ノ中ニ青緑ノ光ヲ發シ、其レガキリヽヽ回轉スル有様ノ寄（ママ）麗サニ、今サラノ如ク電気ノ不思議ナル力ニ驚イタ
帰店後商業講義ト数學講義トヲ各科目毎ニ分離シテ表紙ヲ付タ　終ッタノガ十二時前　スグ床ニ入ッタ。ソレト、スレチガイニ井上君ガ便所ヘ行カレタ。余ハシバラク小旦那ノ日本歴史ヲ讀ンダ（ママ）居タ　處ガヤヽ廿卅分間モシタガ井上君ガ、一コー出テ來ナ

イ　余リ不思議ナリ　殊ニ復（ママ）痛ダトカ云ツテ居タカラ一度見テ來様ト暗ガリヲ
手サグリニ行キ、キエカヽツタ、ガン燈ニ點シテ見ルト驚イタ。敷板ノ上ニヘタバリ、後ロニ
ドツト、モタレタナリ、グーヽヽイビキヲカイテ居ル　ヤツトノ事ニ起シ二階ヘ上ゲタ
十二時半就寝

▲▼173ページ▲▼　明治42（1909）年6月15日（火）

天気　晴
摘要　少曇
午前五時前起床　日本歴史ヲ讀ム
今日ハ十五日ノ割ニ非常ニ暇間デアッタノデ日中モ歴史ヲ讀ンダリ幾何ノ公理ノ暗記
ヲヤツタリシタ
夜ハ一時間習字　後チ数學、商業ノ両講義録ノ分本整理ヲナシ九時頃終ル
九時半就床
夕景外史ヲ習フ
受信　大阪禁酒會

▲▼174ページ▲▼　明治42（1909）年6月16日（水）

天気　晴
今日ハ近來稀ナ好天気デアツタ。余ハ朝例ニ依ツテ裏ニ出デ晴レ渡ッタ空ヲ仰イデ色々
ノ事ヲ考ヘタ
正午休ミノ間日本歴史ヲ讀ム。夕方外史ヲ習フ
夜一時間習字　後チ三十分間余算術ヲ學ブ
九時床就ク　其レヨリ日本歴史ヲヒモトキ十時消火就寝

▲▼175ページ▲▼　明治42（1909）年6月17日（木）

天気　晴
摘要　雨大雨雷鳴アリ　夕方外史ヲ習フ
午前五時起床　終日快速車製造ヲ考ヘタ　夜獨逸ヤ英国カラ來タ之レ等ノ参考トモナ
ル本ヲ、シラベタ　シカシ悲イカナ英語ガ十分行ケナイ爲メ僅カニ馬力トカ、電気カダ
トカ、イヤ電気力デナイトカヨリ分ラナイ　只タ寫眞ニ依ッテアヽコーカト考ヘルノミデ、
一コー十分ナ答ガ得ラレナカッタ　アヽ残念々々　今頃沾學校ニ行ッテ居タナラバト思
ツタ
十時就寝

然シテ今日獨逸ノ非常ニ學術ノ進歩シテ居ルニハホト丶驚カザルヲ得ナカッタ。其レハ最新ニ於ケル重要ナ發明品ハアダカモ獨ノ獨專（ママ）ノ如キ有様ダカラ、而シテ余モ又工學ノ必要ヲヒシヒシ感ジタノデ最（ママ）非専門ニヤッテ見タイト思ッタ

発信　日本禁酒同盟會本部　入會ノ次第書

▲▼176ページ▲▼　明治42（1909）年6月18日（金）

天気　晴

午前五時起床　今日モ昨日ノ事~~ナド~~ニ就キ種々考ヘタ　而シテ午前八時頃、ニッケル会社ヘ視察ニ行ッタ　十時帰店後直チニ今見聞シテ來タヾケノ事ヲ記述シテ、メタルスキングダムノ内ニ残シテ居イタ　夜一時間習字。後チ少時算術　終ッテ又例ノ快速車ニ就キ昨日ノ本ヲ出シテ推考シタガヤハリ分ラズ仕舞　然余ハ必ズ、何處迄デモ、彼ノ不思議ナルLittle　motoreノ研究ヲヤロート決心シタ

▲▼177ページ▲▼　明治42（1909）年6月19日（土）

天気　曇
摘要　少雨

午前五時起床

グラカンプ商会カラ銅ニ「マグネシユム」混合法ノ書類ヲ　~~送付~~持ッテ來タノデ、スグ「メタルスキングダム」ニ控エテ居イタ

夜一時間習字　後少時算術　同七時半ヨリ紙デ自働車模型ヲ造ルベク着手　十時半頃土台ト前部ノ構造ダケヲナシテ床ニ入ル。就床後太陽臨時増刊新進二十五名家ガ今日來タノデ讀ンダ

▲▼178ページ▲▼　明治42（1909）年6月20日（日）

天気　雨
摘要　後チ晴レ

午前五時起床　後チ自動車製圖ヲナス

本日日曜ニテ暇間ガ尚更暇間デ仕方ガナイノデ終日新進二十五名家ヲ讀ンダ　夜六時頃ヨリ自動車製造ニ着手　十一時終ル

本日六時頃ヨリ謡曲ノ會ガ開カレタ。十時頃ヨリ仕舞ガ始マッタノデ余モ影見ヲシタ。中々面白イ　余ハコンナ事ハ大好キダ。分ラズナガラ生一先生ガヤルト、ヤハリ上手ナ様ニ思ッタ。何ンデモ関西一トカ云フ事ダ。~~而~~然シ只一ツ意（ママ）憾ニ堪ヘナカッタノハ、生一君、大ノ放蕩者ダソーナガ。ソレ故カ、何ンダカ太鼓持然トシテ少シモ能ト云フ高尚

ナ静寂ノ気ガ、充チナカッタ事ダ　十二時終リ　十二時過ギ就床　少時歴史ヲ讀ミ十二時四十分消燈

▲▼179ページ▲▼　明治42(1909)年6月21日(月)

天気　雨
摘要　本日ハ終日降リ通シ　眞ニ梅雨ノ趣ヲ發揮シテ居タ
昨夜ノツカレデ非常ニ寝過ギタ　ソレデモヤハリ五時過ギニハ起キタ
夕方非常ニ闇クナッタノデ五時五頃ニハ、スデニ食事モ風呂モ終ツタガ、カンジンノ電燈ガ付カナイ爲メ何ニモ出來ズ窓ノ端ニ依ッテ、カローシテ新進二十五名家ヲ讀ンダ
夜一時間習字　後チ例ノ自動車製造　十時五就寝

▲▼180ページ▲▼　明治42(1909)年6月22日(火)

天気　晴
摘要　少曇リ
本日モ終日前日來ノ通リ　別ニ記事無シ　只外史ノ十一巻ヲ本日全部終ッタ　次ニ樟公ヲヤル事ニシタ
発信　藤井甚太郎殿　御節句ニ付イテ

▲▼181ページ▲▼　明治42(1909)年6月23日(水)

天気　雨
本日モ又雨　例ニ依ッテ例ノ通リ
先ヅ朝算術ヲ講習シ、日中ハ午前十時迠簿記　後チ下ノ一号ト引合セヲナス。午後二時頃ヨリ「カールテル」記述ヲ寫ス
夜ハ本日判取引合セ　終ッテ自働車製造　十時半就寝

▲▼182ページ▲▼　明治42(1909)年6月24日(木)

天気　雨
パット勢ヨク、カケ出シタノハ家門ノ表、スレ違イ様ニアヤブク向フカラ來タ二人ノ女ニ突キアタロートシテカラクモ左ニヨケタ　然シ走ッタ儘ト同時ニ、「マー音吉ヤワ」トヒトシク二人ノロカラ、モレタ一人ハ、トーサン一人ハタシカニ仲サンノ声。ハット思ッテ振リ帰リ様「アットーサンデスカ何モ失礼」云ヒナガラ見ルト顔ハ夜ノ幕ニサヘギラレテヨクハ見ヘナイガ形オカタチデ分カル。トーサンハ走ッテ振リ替ヘテ見ツメナガラ仲サンヲ呼ブ

様ナ風。仲サンハ、ワザトラシイ風ニ向フヲ見ナガラ家門ノ内ニ這入ッテ行ク。コンナ時ニモ余ノ推理的ナ頭ハ何故ダロート云フ疑問ガ起リアーカコーカト思ッテ居ル内頭ハ次第ニハッキリトシテ來テ窓ガ白ク、ボンヤリト見ヘタノモ時間デ遂イニ目ハ全クサメテ仕舞タ。噫々馬鹿ナ前途未ダ多望　身・・・・身分ガ違フ・・・・今マデアノ家ニ居タナラバ・・・・又色ロンナ事ヲ考ヘ出シタ

▲▼183ページ▲▼　明治42(1909)年6月25日(金)

夕現金部デ雑談ヲシテ居ルト表ヲ通ッタ一人ノ青年ガ目ニ入ッタ。ア何ンダヨク似タ人ダト思ッテ表ヘ出テ皆姿ヲ見テ居ルト向フモ振リ替ヘツタ。アツヤッパリ違イナ~~ク~~イ本出君ダ　デ、タガヒニ無沙汰ヲ謝シ色々語ヲ交ヘタ。青木君ハ目下名古屋ヘ行ッテ居ルトノ事　何ヅレ商用デダロー　而シテ本出君ハコレカラ即チ學校ヘ行ク處ダト云ッテ居ル　聞イテ見ルト、ウツポノ泰西學館ヘ通ッテ英語ト数學ヲ學ンデ居ルト　余モ又英語ガ非常ニ習ヒタクナッタ。後チ再會ヲ約シテ分レタ。

天気　雨

本日ハ平々凡々

記事無シ

▲▼184ページ▲▼　明治42(1909)年6月26日(土)

天気　雨

午前五時起床

夜習字　後チ自働車ヲ造ル　十時就床　夕暈購ッタ空中戦争ヲ讀ム　十一時半就寝

ウツヽヽ夢トモナク電話ノベルノ音ヲ聞イタト思ッテ居ルト次第ニ感カクガ明カニナッテ來テ話声モ聞コヘル様ニナッタ　御家ノ声デアル。何モキヽ取レナイラシイ。シバラクスルト「一寸御待チ下サイ」ト云ッテ余ヲ呼ブ　早速飛起テ聞イタ　実ニ、チイサナヽヽヽ声ダ。名古屋ノ南方カラ懸カッテ居ルノダ。要事ハ実ニ取ルニ足ランホドノ事。不用ノ品ヲ積ンダノデ引取ッテ居イテ呉レト爲替額ヲ改メヨト、之レダケ　時十二時十五分。一寸シバラク寝ラレナカッタガ、知ラヌ内ニ又寝入ッテシマッタ

▲▼185ページ▲▼　明治42(1909)年6月27日(日)

天気　雨

摘要　夜晴レ　金二円

シュクヽヽヽト一週間來降リ續イタ雨ハ今日モ、マダヤマナイ　何ダカ、ジンメリトシテ手ニ、フレルモノ一トシテ心好イモノハナ~~カッタ~~イ

三都合併大相撲ハ今日モ御流レダロー。折角懸取リヲ栖ニ京マデ見ニ行カレタ中山ハンハ今頃ギヤフント参イッテ居ルニ違イナイ　然シ之レモ夕影カラ追ヒ〻大分空模様ガ好クナッテ來タガマダ晴レル處マデ行カナカッタ　店ハ三時半ニ仕舞ッテ余ハ十五日頃カラ切取ッテアル新聞ヲ整理シ、後自働車ヲ作ッタ　今日ハ車ノ取付ケヲシタノデ大分型ガ付イテ來タ　終ッテ六時半頃、一寸久シク帰ラナイシ、節季ノ拂モアルノデ宅へ車ヲ飛バシタ。九時頃姉ニ二円貰ラヒ兄ニ又二円　廿九日ニ持ッテ來テ貰フ様ニタノンデ帰途ニ就イタ　此時空ニハ半月ガカ〻ッテ居テキラ〻トマデハ行カヌガ兎ニ角光ヲ發シ星モチラ〻見エテ居タ

▲▼186ページ▲▼　明治42（1909）年6月28日（月）

天気　晴

今朝工學講義録ノ雑報ヲ讀ンデ居ルト不圖目ニ入ッタノハ『山田式気球』ノ五文字　早速ズート一通リ讀ンデ見タ。ア〻天吾レヲ助クカ。長イ間知リタイ〻〻ト思ッテ居ッタ山田氏ノ在居ガ明ラカニ記サレテアル　余ハ再ビ讀ミ返ヘシタ　氏ハ旧和歌山藩ノ人デ此度軍用気球發明ノ功ニヨリ勲六等ニ叙セラレタトノ事　後チ余ハ三度讀返ヘシテ讀ンダ

夜自働車ヲ作ル　十時三十分就寝

長イ間降リ續イタ雨モ昨夜來ガラリト晴レテ今朝ハ店ノ硝子窓ニハ朝日ガ赤々ト照リ輝イタ。アダカモ生レ交ッタ様ナ気ガシタ。

▲▼187ページ▲▼　明治42（1909）年6月29日（火）

天気　雨

摘要　宅ヨリ弐円　一円田中　二円四十五銭大津屋

午前五時起床　イヨ〻棚卸シモ目前ニ逼マッテ來タノデ準備ニ大分イソガシクナッテ來タ　夜ハ明日支拂ノ書出しヲ整理シ支拂帳ニ付ケル　後チ又集金ノ分ヲモ引合セヲシタ　十時頃終ル。例ニ依ッテ雑収入カラ、「キツネウドン」ガ一パイヅ〻出ル事ニナッタ。サテ喰イモノニハ、モロイ者バカリダ。先ノ程カラ用事ヲスル時ニハ、グヅ〻云ッテ居タ、テアイガ、ヨーテ待ッテマシタト云ワヌバカリニ飛ビ廻ッタナドハ實ニ馬鹿々々敷カギリダ。

後チ少時讀書　十時半就寝

▲▼188ページ▲▼　明治42（1909）年6月30日（水）

天気　曇

摘要　少雨少晴　五十七銭　工學會

本日モ終日決算準備ニイソガシク十時頃迄夜業ス

▲▼189ページ▲▼ 七月中行事豫記

三円　　本代
弐円　　雑費
七十五銭　禁酒會　八月ヨリ十二月迄
七十五銭　積立
〆六円五十銭

▲▼190ページ▲▼ 明治42(1909)年7月1日(木)

天気 晴

午前三時起床　本日店卸シ　余ハ河野、岡本正両君ト荷造場受持チダガ五時頃ニハ手開キトナッタノデ、帳簿整理ヲナス。夕方貸借対照表ガ出來上ガッタガ、六百円ホド借方ガ多イ　種々調査シ得ルカギリヤッタガ分ラナカッタ。八時終リ後チ少時「我獨逸觀」ヲ讀ム

▲▼191ページ▲▼ 明治42(1909)年7月2日(金)

天気 雨

本日決算モホヾ出來上ガッタノデ午後ハ「我獨逸觀」バカリ讀ンダ　先日來獨国ニ非常ナ趣味ヲ持ッタ　余リ同国ノ今日ノ文化發展ノイチヾルシキニ驚キ且ツ其教育制度ニ感服(但シ教育ノ處ヲノミ讀ンダ爲)　夜自働車ニ彩色ヲ入レタ
後チ又、獨逸觀ヲ讀ミ十時半就寝

▲▼192ページ▲▼ 明治42(1909)年7月3日(土)

天気 晴

本日ヤット決算ガ出來上ガッタ　弐千九百九十七円七十一銭四厘ノ純利　然シ前期繰越ノ商品損失豫備金モスデニ見込ンデ仕舞タノデアルカラ三千円カラ引クト差引弐円弐十八銭六厘ノ損失トナル譯ダ。始メカラ豫期ハシテ居ルモノヽ少々ヘコタレズニハ居ラレナカッタ。ソレハソート一両日來我獨逸觀ヲ讀ンデ以來増々工學ノ必要ヲ感ジイヨヽヽ此ノ月ノ祭ヲ利用シテ飛ビ出シテヤローカト思ッタガ、其レ迄デニ一度、山田猪ノ助君ニ職工デモ何ンデモヨイカラ、居イテ呉レル様申込ンデ居クニシカズト心ヅイタ。

▲▼193ページ▲▼　明治42(1909)年7月4日(日)

天気　晴

本日ハ日曜ナリ　殊ニ主人ハ皆御上サンノ法事ノ爲メ留都(ママ)ニ付キ三時半ニ店ヲ終業シ後余ハ潜(ママ)カニ階上ニテ山田氏宛ノ手紙ノ下書ヲ作ッタ。夜井上君ト圍碁ヲカコム。後チ西洋料理ヲ喰ッタ。太陽ヲ讀ミ十時前就寝

▲▼194ページ▲▼　明治42(1909)年7月5日(月)

天気　雨

午前、二日以來毎朝大谷君ニ日本外史ノ講義ヲシテヤルト云フト大分エラソーダカ、ツマリ、体ノヨイ復習ヲヤル　今朝モ又例ニヨッテ二十分間程ヤッタ。夜金属同盟會ノ會議ガ当店楼上ニ開カレタ　余ハ京都ニ上ル迠デニハ今日迠、シカケタ用事ガ大分アルノデ之レヲ完成シナケレバナラナイ爲メ今夜ハ嵐山行ノ残リニ筆ヲ染メタ

日中ハ本ヲ讀ンダリ統計表ヲ造ッタリ例ノ通リ

▲▼195ページ▲▼　明治42(1909)年7月6日(火)

天気　曇

摘要　少雨

夕宅ヘ帰ッタ。父ハ夕食ヲ喰ッタラ、スグドコカヘ出デ行ッタ　後デ兄ト將碁(ママ)ヲサシタガ、僕ノ事ダカラ、トテコ初メカラ勝ッテハナイノダ。ソレデモ一角勝ツ気デ、一ペンサスニ弐三十度モ待ッタヲスルナド大笑ヒデアッタ　十時帰店　書物ヲ讀ミ十一時就寝

▲▼196ページ▲▼　明治42(1909)年7月7日(水)

天気　晴

午前五時起床　例ニ依ッテ書ヲ讀ミ、外史ノ講義ヲナシ八時頃事務ニ着手　今日製銅場ノ決算ガ出來タトヤラ　マダ見ナイガ一万何某ノ損失ダトノ事。午後店ノ方ニハ賞與ガ與ヘラレタ　余モ二円ト今月ヨリ弐円五十銭ニ昇給ノ云渡トヲ受ケタ。今度ノ賞與ハ余程主人デハ勤メテ居ルニ違イナイ。余等ハ全ク豫期シナカッタ處ダ　後銅入電統計表ヲ作ル　夜科學世界ヲ讀ム　後チ今度ノ祭迠ニ何ンデモ兄ニ勝ツ様ニト思ッテ將碁(ママ)ヲヤッタ　十一時就床後又本ヲ讀ミ十一時半消燈

▲▼197ページ▲▼　明治42(1909)年7月8日(木)

天気 雨
摘要 後晴レ
今日ヨリ製銅場ノ商取引ヲ一切店ノ方デ引受ケル事ニナッタ。ソレハ今度ノ製銅場ノ損失ハ遂ニ製銅場ヲ維持スル事ガ出來ナイ様ニナッタカラデアル　尚今後ハ只ノ伸銅場トシテ職方ノ内ヘ入レルノデアル　午後帳場ノ机ノ、ナラベ方ヲ変ヘタ　僕ノ方ハ宜イガ岡本君ノ方ハ、マルデ雨デモ降レバ眞闇暗ニナルノデ少ナカラズ不平ヲトナヘ余ニ換ヘッテ呉レナドヽ難題ヲ持チカケテ來タガ遂ニ其儘ニ押通シテヤッタ　後入電表四十年度ノ分ヲ造ル
夜讀書圍碁ヲナシ十時頃腹ガヘッタノデ「キツネ」一パイ、ヤラカシタ　十時半就寝

▲▼198ページ▲▼　明治42(1909)年7月9日(金)

天気 雨
朝モ晝モ昨日ニ餘リ変リハ無カッタ　夜オソク山田晋氏宛ノ手紙ヲ書キツヽアル時表ヘ、アヽ金ノ世ヤヽヽヽト大キナ声デ、ウナリ初メタ　之レガスムト何ニカ口上ヲ云ッテ又他ノ□ヲ歌フ。内カラ、下女ガガサヽヽ聞ニ來タ　何ニカ又本デモ賣ッテ居ルノダロー

▲▼199ページ▲▼　明治42(1909)年7月10日(土)

天気 晴
午前例ノ通リ日中モ大抵ハ変リ無ク相変ラズ統計表ヲ作クッタリ本ヲ讀ンダリ・・・・
夜ハ自働車ヲ一寸ヤッテ後將棋ヲナス　十一時半就床
発信 小原小弥太君ヘ　此間繪葉書ガ來タノデ返事

▲▼200ページ▲▼　明治42(1909)年7月11日(日)

天気 雨
摘要 後晴レ
本日ハ日曜デアルシ殊ニ雨ガ降ルノデ例ニ依ッテ用事モナイノデ自働車ノ「ブレーキ」ヤ「カジ」ヤラヲ作ッタ　晝食後本ヲ讀ンデ居ル處ヘ主人ガ出テ來テ、ジーット見テ行ッテ仕舞ッタ。其レカラ、シバラクシテ來客ガアッタ　主人ガ出テ來タ。而シテ何ニカ用事ガアルノデ、濱ヘ電話ヲ、カケル様余ノ近クヘ來タ　此時モ余ハ本ヲ讀ンデ居タ。主人ハ妙ニ思ッテ居ルダロー。然シ余ハコンナ事ハ常ノ事デ日ニ一度ヤ二度ハタシカニアル。ナゼナラバ余ハ他ノ人ノ様ニ、カクレテ讀ンダリ又ハ主人ガ來タカラトテ、ドタバタ机ノ下ヘ「カクス」様ナ事ハ大キライカラ
四時終業後自働車ノ「ホロ」ヲ造リ後圍棋(ママ)、將基(ママ)ヲナス　十時就寝

▲▼２０１ページ▲▼　明治４２（１９０９）年７月１２日（月）

天気　晴
摘要　後少雨
本日ハ大掃除デアル　然シ起ル事ハ、ヤハリ五時。後六時頃カラ、ソロヽ、机、椅子ナドヲ出シタ　近所モ又同時ニ、一寸見ルト中々面白イ　第一店ハ應接用ノ大テーブルヲ以テ往來ヲシキリ　其他ハ皆机、椅子、テーブル、コッピー台等ダ。酒屋ハ酒屋デ四斗樽ヲ積ミ重ネテ、シキリヲシテ居ル。向ヒノ山中ハ、大ケッカイデ枠ヲ作リ、煙草菓子屋ハ陳烈(ママ)棚ヲ以テト云フ風ダ　時恰モ一人ノ婦人ノ紙屑ヒロイガ右ノ「カタ」ニ大キナ袋ヲカヅキ、左手ニ籠ヲサゲナガラ通過シタノヲ見タ。何ンダカ非常ニ趣味ヲ感ジタノデ一寸「スケッチ」ヲシテヤッタ
三時半頃大方々付イタ時シモ、サット五月雨
入浴後夕食ヲスマシ、本ヲ讀ミ將碁(ママ)ヲ指シテ十時半就寝

▲▼２０２ページ▲▼　明治４２（１９０９）年７月１３日（火）

天気　晴
今朝起ル前カラ、昨日ノ精カ、ソレ共余リ小イサナ本ヲ讀ンダリ字ヲ書イタリシタ爲メカ背ガコッテ、イタクテ仕方ガナイ。掃除後、気ヲ養フ爲メ裏ヘ出ルト一番大キナ朝顔ガ一輪パット開イテ居ル　此時コソハ、實ニ背ノイタミモ、ホトンド、ワスレテ仕舞ッタ。而シテ余リノ、ユカシサニ、スグＳｃｈｅｃｈ　Ｂｏｏｋニ納メタ
晝食後少時休息ノ後チ八聯隊ヘ金ヲ貰ヒニ行ッタガ受領書ヲ書カサレタヾケデ此度ハ四師團経理部ノ方カラ通知ガアルカラ其時今日ノ判ト同ジ印ヲ持参セヨトノ事ダッタ
夕食後、余ハ気色ガ悪イデ手代室デ寝テ見タガ、一寸モ寝付カレナイノデ又下ニオリ將碁(ママ)ヲ指シタ。河野君ト、三度ヤッテ二度負ケタ。由吉ナドハ、ボロクソニ勝ッタ後井上君ニ色々教ヘテ貰ッタ
十一時半就寝。
受信　大阪禁酒會

▲▼２３０ページ▲▼　明治４２（１９０９）年７月１４日（水）

天気　晴
五時起床
夕例ニヨリ吹岩ヲロ実トシテ帰宅ス。今風呂ニ入ッテ來タノダガ帰途汗ヲカイタノデ

又湯ニ入ッタ　後植木ノ草ヲ取ッタリシテヤッタ。食後兄ト將棋ヲ指シタ　此度コソハ負ケナイ心計デアッタガ、ドーシテ中々トテモカナワナイ　一番ハ見事ニ破ラレタ　次ギニ又一番ヤッタ。両馬カ片馬ナラタシカニ兄ノ方ガ上ダガソレデモ負ケヌ気デ対馬デ今度ハ大分向方ヘモ進ンダガ遂ニ負ケタ

時計ヲ見ルト既ニ九時一寸過ギテ居ルノデ驚キ帰リ仕度ヲシアタフタ飛出シタガ最後下駄ヲ頼ンデ居クノヲ、ワスレテ來タ

十一時五十分就寝

昨日モカナリノ暑サデハアッタガ左程ニモ思ハナカッタキョウハ「ベラボー」ニ暑カッタ

▲▼204ページ▲▼　明治42(1909)年7月15日(木)

天気　晴

日中ハ例ノ通リニテ終ル

夕方少シ前三井物産カラ中山氏ヘ電話ガ懸カヽッテ來タ。~~此度出テ~~而シテ電話室カラ出テ來ルヤ大分アワテタ風デアッタ。ソレハ欧州ニ於ケル平板浪板製造業者トラスト瓦解ノ爲メ大暴落ヲ來タシ星印二百七十七片　浪板二百四十四片ト云抵報ニ接シタカラデ早速若主人ガ薦田ヘ行クト云ッテ出ラレタノデ電話ヲ懸ケタガ御越ニナラナイトノ事　ソレデハ行カレタラ直グ一寸御知セヲト頼ンデ居イテ、ソレカラ濱宅ハ勿論、増田京玉、見山屋等電話デ照會シタガ居ラレナイ。ツヒニ京玉ヘ手紙ヲ持シテヤッタガソレデモ分カラズニ帰ッテ來タ　ドーシテモ分カラヌノデ老主人トモ相談ノ上十一時半ノ列車ニテ中山氏ハ名古屋方面ヘ平浪ヲ賣リニ行ク事ニナッタ　尚店デハ諸國ヘ上等品八十七銭五厘　並品八十五銭五厘ノ相場書ク　弐三百枚出シタ(本日平板相場九十一銭)　浪板モ之レニ應ジテ安價ニ報ジタ。

若主人ハ遂ニ帰ラナカッタ　而シテ夜中ノ一二時頃不圖目ヲサマスト濱宅カラ若主人ガ帰ラレマシタガ御用事ハト云フラシイ　老主人ハ非常ナ立腹デ「モーヨロシイ」　只之レダケ

▲▼205ページ▲▼　明治42(1909)年7月16日(金)

天気　晴

本日ハ別ニ記事無シ　只早ク祭リガ來レバトソレノミ　夜自働車ヲ作ル　十時就寝

▲▼206ページ▲▼　明治42(1909)年7月17日(土)

天気　晴

午前五時起床　午後近頃御腹ノ工合ガ大分悪イノデ裏ヘ出テ三時半頃迠デ荷造ヲ

手傳ッタ。而シテ今度店ヘ出タ時中山氏ガ帰ヘッテ居ラレタ　先程着イテ手紙ニ依ッテモ余リ結果ハ好ク無カッタラシイ。然シ然々不成功ト云フ譯デハ勿論ナイノダ。夕明笛ヲ久シブリニ「ヤッテ」見タガドーモ續カナイ
夜自働車ヲ造ル　後チ本年入ッテ初メテ氷ト「アイスクリーム」ヲ喰ンダ　「横町ノアイスクリーム」ハ味ハウマカッタ。ソレモソノハヅコップ一パイ、大枚十二銭ダモノ
イヨ万ヲ呼ビニヤッテ下駄ヲ、アツラヘタ　金八十銭　台ガ五十銭　花緒三十銭
発信　藤井甚松様

▲▼207ページ▲▼　明治42(1909)年7月18日(日)

天気　晴
例刻起床　イヤモ中々暑イ。先ヅ朝顔ニ水ヲヤリ店ヘ出ルト、スグ簿記ニ取懸リ午後ハモー何ニモセヌ事ニ定メタ。而シテ二人以上寄ルトモータヾ暑イナー。祭ハ何處行ッタ?ト何編トナク、繰返サレル。皆ヤハリ二十才近クナッテテモ祭リハヨイモノト見ヘル。
夕方朝顔ヤ其他ノ植木ニ水ヲ與ヘ後チ、スミ渡ッテ限リ無キ大空ヲ眺メナガラ明笛ヲヒヾカセタ。
夜自働車ヲ作リ後路次(ママ)ニテ涼ヲ入レ十時頃床ニ就ク

▲▼208ページ▲▼　明治42(1909)年7月19日(月)

天気　晴
例ノ通リ掃除ヲ終リ裏デ朝顔ニ水ヲカケタ　今モ小イサイナガラ二ツ咲イタ。
祭モイヨヽヽ明日トナッタ　今日ハ朝カラ曇テ居タノガ、夕方ショボヽヽトシグレタノデ、一同ノ失望ヤルカタナク、非常ニウラメシガッテ居タガ、寝ガケニ星ガ二ツ三ツ見ヘタノデ先ヅ一寸安心ガ出來タ

▲▼209ページ▲▼　明治42(1909)年7月20日(火)

天気　晴
ヒヤリト、寒ケヲ覺ヘテ目ヲ醒スト、ダラシナク大ノ字ナリ。早速飛ビ起キ電燈ヲ付ケルト時計ノ針ハウッスリ四時十五分ヲ指シテ居タデスグ井上君ヲ起シ自分ハ水デ身体ヲ清メ朝燈ヲ上ルベク表ヘ出タ。昨日ノ様ナ雨モヨーハ少シモナク東天ニ横ハッタ暗紫色ノ雲ニハ次第ニ紅ヲ呈シテ來。高クスミ渡ッタ空ニハ明ケノ明星キラヽ　アヽ心地ヨキ朝。
井上君ト手ヲ、タヅサヘテ氏神ニ参詣シタ
午前中ハ笛ヲ吹イタリ坊サンノ繪ヲ畫イタリ、ゴジヤヽヽニ過ギ二時頃帰宅ノ途ニ就イタ白岩君ノ表ヲ通ルト同君ガ牛乳車ノ掃除ヲシテ居ラレタノデ一應ノ問答ハ交換セ

ラレタ。帰宅スルト今日ハ土用ノ入ト云フノデ、内ハ御はぎヲ作シラヘテ居タ　早速一ツ御馳走ニナリ終日愉快ニ遊ビ九時十五分宅ヲ出デ大急ギデ帰店シタ　丁度十時　ソレカラ三十分間程シテ御家ノ「ケンエツ」ガアッタ

▲▼210ページ▲▼　明治42(1909)年7月21日(水)

天気　晴

摘要　此記事ハ廿二日ノ分ナリ

タノシイ祭モ過ギテ今日ハ朝カラバタ丶丶　大分急ガシカッタ　ソレニ今日ハ濱宅ノ方ガ大掃除ト云フノデ御作サンガ來ナイ爲メ例ニ依ッテ會計ヲ行ッタガ二十日カラ傳票ヲホリ込ンダマヽニ捨テヽアッタカラ、メッタニ合ウマイト思ッタノガ幸イ三十三銭ノ過剰金デ他ハ、キッチリ合ッタ

夜笛ヲ吹キ後チ松木君ニ　$a2=b$　$a=logb$ト云フ様ナ手ヲ聞イタ

本日ヨリ若主人店ニ居リ老主人ト小主人トハ濱宅ヘ行ク事ニナッタ。ツマリ昨日迄デノ返(ママ)対デアル

▲▼211ページ▲▼　明治42(1909)年7月22日(木)

天気　晴

▲▼212ページ▲▼　明治42(1909)年7月23日(金)

天気　晴

午前四時半起床　電燈ヲ點ジテ掃除ヲ終リ植木ニ散水シ水デ身体ヲフキ後倉庫ニテ太平洋ヲ讀ム

正午井沢ヘ市役所鈴ノ委任状ニ判ヲ貰ヒニ行ッタガ主人不在ダト云ッテ、呉レナイノデヤムヲ得ズ預ケテ帰ヘッタ。トスグ又若主人ヨリ神戸ヘ行ッテ百四番デ金ヲ壱萬三千円貰ッテ川崎銀行ヨリ山口ヘ振込ンデ來イトノ命ニ接シ其他ニ二三ノ用事ヲ帯ビ早速仕度シテ出懸ケタ。久シ振リデ電車内ヨリ田野ノ景ニ接スル事ヲ得タ　稲ハ早ヤ一尺余モ生長シテ居タ満目之レ青緞ヲ敷キツメタル如シトハ眞ニ此事ナラン　然シ神戸ノ方ニ近ヅクニツレ海ノ景色ガ見エ出シテ田ハ、豆ヤナスビノ畑ト変ッテ行ッタ

二時神戸着　タヾチニ百四番ヘト急ギ行ッタ　處ガ余ノ感違イ　其レハ八番ノ「オット、ライマース」商会デアッタ。ソレカラ、「オリエンタルホテル」ノ辺迄後戻シテ見タガ一向目的ガナイノデ車夫ニ聞クトマダ四筋東ノ辻ヲ左ニ曲ッタ處トノ事　ナンノ事ダト行ッテ見ルト、煉瓦造リノ余リ大キカラヌ洋館。金ハスグ呉レタ。デ川崎銀行ヘ爲替ヲ頼ン

デ、岩井、川口屋ヲ廻ッテ、タゞチニ引返シ電車停留所前デ氷ヲノミ汗ヲ入レテ帰坂ノ途ニツイタ

帰ルトスグ風呂ニ入リ食事ヲ、スマシ八時頃ヨリ廿一日ノ日記ヲ書イタ。「アヽ今頃仲ハンハ……」何ンダカ頭ガイタクナッテ來タ。十時過ギヤットノ事デ筆ヲ止メタ

十一時就寝　夜少雨アリ

▲▼213ページ▲▼　明治42(1909)年7月24日(土)

天気　晴

午前五時前起床　身体ヲ清メ掃除ヲ終リ植木ニ水ヲヤル事例ノ如シ　後手紙ヤ「ハガキ」ヲ読ム

本日ハ昨夜二三時間頭ヲ、使ッタ故カ頭痛ヲ感ジテ仕事モ手ニ就カヌノデ皆明日廻ニシタ

夜物價表ヲヤリ八時此日記ヲ書ス。ドレ、ハミガキデモ買ッテ來テ寝ヨーカ

▲▼214ページ▲▼　明治42(1909)年7月25日(日)

天気　晴

正午例刻起床　又例ノ通リ終ッテ新聞ヲ讀ミ帳合ヲナシ九時前既ニ手開キトナッタ處ヘ小原君久々デ來ラレ軍隊ノ話ナドシテ十一時前帰ヘラレタ。店ハ今日天神祭ニ付ニ時ニ終業シ余ハ一寝入シタ。耳ノ端デガヤヽト聞ヘテ來タノデ不斗目ヲ醒スト早ヨ風呂ニ入ッテ御飯ヲ、タベテ呉レト飯焚キガ大キナ声デドナッテ居ルノデ早速入浴シ食事モスマシ、兼ネテ井上君ト約束ガシテアルノデ共ニ、店ノ仲間ガ舟ヲ仕立テ居ルノデ其レニ投ジタ。シバラクスルト岡本、二人坂口、黒田松木君等モ來タ　六時過ギ ~~舟出シテ~~ 安堂寺橋ヲ浪花橋サシテ舟出シタ。サテ目的地ニ到レバスデニ船ヲ入ルベキ餘地サラニナイノデ、松巳ノ智恵デ土佐堀ヲ下リ朝日新聞社、横手ノ掘割ヲ通スケ堂島川ヘ出タ時スデニ黄暗　右手ニハ朝日新聞社献納ノ大篝船アリ　正面ニハ北音商店献上ノかゞり其他数百ノ大小篝リハ延々天ヲモ、コガサンバカリ　又大小数千ノ舟ニ點シタル無数ノ提灯ハ両岸ヨリ、ヒシヽトヲシ重ナリテ水ニ映ズル様実ニ壮觀ヲ極メタリ　而シテ我舟ハ最モヨキ場所ヲ巽(ママ)ミテ、ツヽガナク舟渡御ヲ拝観スル事ヲ得タリ

十時半帰店　十一時就寝

▲▼215ページ▲▼　明治42(1909)年7月26日(月)

天気　晴

午前五時前起床　例ノ通リ終ルト新聞ヲ見タ。今日カラモー引合セヲシナケレバナラ

ナイノダガ何ンダカ嫌ニナッタノデ今日モ一日何事モセナンダ。何故此頃余ハコンナニ、ナマケルノダロー……

夕影小旦那ノ居間カラ山ト水ト云フホン譯物ヲ取ッテ來テ讀ンダ　其レハ小説デアッタ。筋道ハ英国ニ富豪ナ一青年ガアッテ、之レヲベネット、ペンジリートト云ヒ彼レノ「カズン」ニ「ビデイ」姫ト云フノガアル　而シテ此二人ハ幼ナイ時カラ共ニ遊ンデ居タガ「ベネット」ガ高等學校ヲ卒業シタ、後ハ勿論彼レハ「ビデイ」ヲ理相（ママ）ノ「ワイフ」トシテ居タガ茲ニ又一人彼レノ敵ガ現レタ。其レハ「ハルリー」ト呼ブ「ベネット」ヨリ三才上ノ色ノ白イ紳士デアッタ　而シテ「ビデイ」ハ遂ニ彼レへ施ヲ送ル様ニナッタ。茲ニ於テ「ベネット」ハ失戀ノ末非常ナ乱暴モノトナリ、ケイ官ニトラワレ、サラシ台ニ迠立タサレタガ或事情カラ「走（ママ）亡シ」「ベネット」ノ伯父即チ「ビデイ」ノ父ノ心ニヨッテ南洋へ行クベク「ハルリー」ノ船長デアル船ニ副船長トシテ乗セラレタ。彼レハ非常ニ面白クナイガ之レ以上ニ自ノ命ヲ保ツベキ道ガ無カッタノダ然ルニ此船ニハ「ロドリゴ」ト云フ海ノ王「海ゾク」ガ乗ッテ居テ南米近海迠行ッタ時、初メ「ベネット」モ「ハルリー」ヲ戀ノ敵トシテ此ノ「海ノ王」ト共ニ「ハルリー」ヲ、コロシ自身船ノ船長タラン事ヲ計カッタガ彼レハ遂ニ気ヲ取リ替シ返ヘッテ此事ヲ「ハルリー」ニ密告シタ　然シ時ハ既ニ遲カッタ。而シテ彼レト「ハルリー」ハ命ダケハ助ケラレ、タヾ一艘ノ「ボート」ヲ一人ノ黒奴ト、ワズカノ食料品トヲ與ヘラレテ絶海ニタヾヨハサレタガ、夕刻或島ニツク事ガ出來タ　然シ此ノ島ハ無人島デアッタ。加フルニ其夜黒奴ハ船ヲ「ウバッテ」ニゲテシマッタ。茲ニ於テ彼レ等ハ「ロビンソンクルーソー」ノ二ノ舞ヲ演ズル事トナッタ　「ハルリー」ハ非常ニ「ベネット」ヲ、ウラミ色々ナ嫌味ナ事ヲ云ヒ立テタガ此時ハ「ベネット」ノ方ガ余程親切デアッタ　而シテ「ベネット」ハ本国ニ居ル内モ失戀ノ爲メ財産ハ、コトゴトク無クシテ仕舞ツタ爲メ山中ニ長ラク、居タ事ガアルノデ余程平気デ、オモムロニ此島ヲ、ノガレルベク丸木船ノ製造ヲヤッタ　尚ホ此間ニ「ハルリー」ガ大変ナ燃病ニ懸カッタ時ナド出來得ル振（ママ）リノ親切ヲ、ツクシタ「ハルリー」モ此時ヨリ「ベネット」ニハ最早何ニモ云ワナクナッタ。イヤ返テ好意持ツヨーニナッタガ、扨テ船ガ出來上リ出發スル様ニナッテモ「ハルリー」ハ頑トシテ之レニ應ジナイ其レハ此島ガ海ゾク船ノ寄港地ト云フ事ガ、分ッタノデ、彼レハ其船ノ着クノヲ待チ共ニ海ゾクト、ナッテ富ヲ得タ上デナケレバ帰国シテモ「ビデイ」ニモ伯父ニモ合ス顔ガナイト云フノダ。デ「ベン」ハ（ベネットノ事ヲベントト云フ）自分一度帰ヘッタ上再ビ彼レヲ助ケ出ダシ「ビデイ」ト結コンサスノヲ男ラシイトナシ遂イニ彼一人此處ヲ去リ或和蘭船ニ助ケラレ、ヤウヤクノ事ニ伯父ノ家ニ帰リ今迠ノ、スベテヲ語リ、彼レヲ述（ママ）フベキ船ヲ心配スル事ニナツタ　而シテ此度ハ伯父モ「ビデイ」姫モ共ニ行ク事ニナッテ二艘ノ船ノ小サイ方ニ「ベン」ガ船長トナッタ。然ルニ此船モ又「ロドリゴ」ノ爲メニサンヾノ目ニ合サレ「ビデイ」ハ「ロドリゴ」ノ船ニ攫ハレタ。「ベン」ハ半死同様ニナッテ海ニ投ゲ込マレタガ不思議ニ助カツテ、「ロドリゴ」ノ船ニ乗リ込ミ「ビデイ」姫ノ「ベッド」ノ下ニカクレテ居タノダ。コノ船ガ或ル湊ニ付ク少シ前、前夜「ビデイ姫ヲ害シヨートシタ一黒奴ヲ傷ケタ爲メ遂ヒニ彼レノ

▲▼215dページ▲▼　明治42(1909)年7月26日(月)

(215ページから続く)

ヒソンデ居ル事ハ現サレタ　然シ此時彼レハ此船ノ武器庫ヲ知ッテ居タ　ソレ故萬一ノ事ガアレバタヾチニ之レニ「バクダン」ヲ投ジ火薬ヲ「バクハツ」セシメ船諸共運命ヲ共ニスベキ事ヲ主題シタ。之レニヨッテ彼レハ、ワツカニ命ハ「ツナギ得タガ「ビデイ」姫ハ「ベン」ト上陸サセヨト「ロドリゴ」ニセマッタ　「ロドリゴ」ハ計器ヲ以ッテ之レヲ認メ「ビデイ」ダケヲ先キニ上陸セシメ後デ武器庫ノ爆弾ヲ他ニ「ウツサシタ」　「ビデイ」ハ之レヲ見テ非常ニ残念ガッタガ彼女ハ如何トモナス事ヲ知ラナイ　然ルニ「ベン」ハ早クモ之レヲ見テ取リ人知レヌ様海中ニクヾッテ岸ニ着キ「ビデイ」ノ手ヲ取リ共ニ森ノ方ヘト、ニゲ計事ヲ廻ラシテ敵ヲ、アザムキ遂イニ山中ニ入ッタガ此處ヘモ、敵ノ現レタレバ又ノガレ返ヘテ彼レ等ノ乗リ來リシ船ガ小川ニツナギアルヲ見テ之レヲ「ウバヒ」湖水ヲ渡リ此レニ一夜ヲ明シ翌朝發シ他ノ川ヲ、サカノボリ土人ニオソワレ正ニ死地ニ入ラントスル處ヲカラクモ二人ノ白人ニ助ケラレ、土地ノ植民地長官ニ述(ママ)ワレタルモ「ロドリゴ」ハ前ニ此土地ヲ「オソヘル」事アリシニヨリ再ビ「セメ」來リ、二人ハ内地ノ方ヘノガレタルモ此両人ヲ遣リ來リシ一商人ニアザムカレ「ベン」ハ遂ニ奴隷ニ賣ラレ不圖モ怪トー中ニ伯父ノ前ノ忠僕ト廻リ合イ共ニ塔ヲヌケ出デ「ビデイ」ノ後ヲ「オウ」處ニテ前編ハ終リ居タリ。

▲▼215eページ▲▼　明治42(1909)年7月26日(月)

(215ページから続く)

ア丶カレ「ベン」ノ心中ハタシテ如何。何ンノ爲メニ又「ビデイ」姫ヲアク迠守ラントスルカ。彼レ又バン勇ナル處アリト雖モ、己レノ戀人ヲ捨テ、アマツサヘ戀敵ニ彼女ヲ與ヘントスルナリ。而シテ彼レノ、カンナン辛苦一喜一憂余リ小説的ニ失スルノキライアレドモヨク之レニ彫(ママ)和セシメタル處ハ、ケツ作ト云フベシ　余ハ十二時半之レヲ讀ミツクシタ　之レヨリ先三十分程前若主人帰宅サル

▲▼216ページ▲▼　明治42(1909)年7月27日(火)

天気　晴

朝ハ例ノ通リ、八時半頃又神戸百四番ヘ代金ヲ貰フベク行ク事ニナッタ　今日ハ何ンダカ、呉レルダローカト云フ様ナ感ジガシテナラナカッタ。サテ坂神電車ニ投ジタ處、カタワラカラ声ヲカケル人ガアル　振替ヘテ見タガ一向思ヒ出セヌガ坐ヲ讓ッテ呉レタノデ其レニ坐シ色々話ノ末川合ノ店ノ人ト云フ事ガ分ッタ　窓外ヲ眺メルト青々トシタ稲田ノ内ニ點々男女ノ草取ル影ガ見エル　我レハ何ントナク彼レ等ノ有様ガ恋シイ様ニナッ

テ來テ、アヽシテ家族打揃ッテ汗水カイテ働キ、終ッテ帰ヘテ、「ロ」ヲカコミ、一家團欒食事ヲスル時ノ楽シサハ何ダロー。余ハ聞イタ事ハアルガ今ダ味ワッタ事ガナイ。此ンナ事ヲ思フ内神戸ニ着イタ　此度ハ道ハ迷ワズニ行ッタガ、ハタシテ館主ガ留都（ママ）デ十一時過ギ帰リ來リ其レカラ大阪ヘ積込ンダカ問合セタリシテ、ソレデモヤット呉レタノデ非常ニ喜シカッタ。夜松谷ノ金タンガ來テ銅板ヲワケテ呉レト云フノデ夜中ナガラ倉ヲ開ケル事ニシタ　而シテ彼レハ間モ無ク帰ヘタ
夕方ヨリ露伴叢書ヲ讀ム　中々高尚ナ事ガ書イテアルノデ訳カラヌ處ガ沢山アッタ
十時半就寝

▲▼217ページ▲▼　明治42（1909）年7月28日（水）

天気　晴
朝モ晝モ例ニ依ッテ無意味ニ過ギ去リ、夕方ヨリ又露伴叢書ノ内昨日ノ残リノ露團々ト次ニ川舟ト云フノヲ讀ンダガ実ニ其文章ノ好ミナニハ分ラズナガラヨイトシカ感ゼラレナカッタ。ドーモ気ガ本ノ内ニ寫ッテ仕舞様ニナッテ筆ノ間ニヽ山中緑蔭清泉飛ビ香魚オドルト云ヘバ吾レ其境ニアルガ如ク、紅燈緑酒ノ間ニ放歌高吟ノ酔漢三三五々トアレバ吾レ又其レ等ノ様一々目ニ映ズル様。全ク其文章ニ同化サレテ讀ム事ヲ止メントシテ止メラレズ逆ニ十時頃ニ到リ、オシキ巻ヲ閉ザシテ寝ニ就ク。之レヨリ先藤井ノ坊サンヨリ暑中見舞ノ御繪葉書ヲ終ワル　余之レニ対スルニ直チニ余ノ秘蔵ノ印紙繪葉書ヲ以テシタ
発信　藤井甚松様
受信　藤井甚松様

▲▼218ページ▲▼　明治42（1909）年7月29日（木）

天気　晴
午前五時起床　掃除ヲ終リ植木ニ水ヲヤリ中庭ニ水ヲ流ス事例ノ如シ　本日ヨリ、ソロヽ月表ノ仕度ヤラ何カト大分急シクナッテ來タ　夜宅ヘ帰ヘッタ　而シテドジョー汁ノ御馳走ニナリ後兄ト飛車落デ將棋ヲ指シタガ今日コソハ見事ニ勝ッタ、ソレカアラヌガ非常ニ心好カッタ。マダ此外ニ西ノ姉モ義兄モ來タ居タ故モアッタロー
九時十分帰店後露伴叢書ヲ讀ム

▲▼219ページ▲▼　明治42（1909）年7月30日（金）

天気　晴
午前四時半起床　例ノ通リ終ル　今日ハ朝顔ガ三ツ吹イタ

七時就業後ハ一日バタヽヽト余ノ役トシテ簿記ダケダガ、地方ノ掛取ノ事ナドヲ手傳ッタ爲メ製銅場ノ引合セヲ「コロット」ワスレテ仕舞ッタ
夕方増田ノ若主人ガ來テ居タガ、ヤガテ内ノ若主人ト共ニ出タ　十時過ギ宅ノ若主人ハ帰ヘッテ來タ。何ンダ何日ニナイ今日ハ早イナート思ッテ居タガ、シバラクスルト井上君ヲ呼ンデ何ニカ、イソヽヽト云ヒ付テ自分ハコレカラ東京ヘ行クトノコト　而シコレハ大ニ秘密ノ由　何人ニモ話スベカラズトハ、ハテ何事ダロー

▲▼220ページ▲▼　明治42(1909)年7月31日(土)

天気　晴
チヤンヽヽ警鐘ノヒヾキ、カスカニヽヽヽ破(ママ)膜ヲツク。シバラクスルト目ハ全ク醒メタ窓スデニ淡ク白クナッテ居タガ、エヽ又火事カト思ヒナガラ、ウツヽヽトシテ再ビ目醒タ時ハ鐘ノ音モ一寸聞ヘナカッタ。スグ飛起キ例日ノ通リ終リ六時頃事務ヲトリカケタガ火事ハマダヤマナイ　六時ニナッテモマダ盛ニ煙ヲ吐イテ居ル　七時ニナッテモ八時ニナッテモ九時十時十一時正午ニナッテ増々盛ダトノ事　サー大変　號外ハ出ル出ル。夜、火ノ見ニ出テ見ルト順慶町ノ郵便局ノ向フニ見エテ居タ　ソレカラ二十分間ホドスル内早ヤ安土町ノ學校ノ向迠デ火ハ進ンデ來タ。ガ又見ル見ル内ニ平ノ町ノ日本貯金銀行ヲ西ヘコヘタ　モータシカニ堂島辺ダロー　今次ニ火ノ出タ時カラ順ニ記シテ見様。午前四時過ギ出火。火元ハ天満空心町二丁目メリヤス商ダトカ折柄ノ東北風ハ猛烈トナリ午前七時四十分ニハ北区岩井町壷屋町ニ延焼　火ハ更ニ松ヶ枝町三分ノ二ヲ焼キ蓋シ八時三十分此花町二丁目ヲ焼キ九時ニ至ッテ七夕□ノ長屋ヲ焼拂ヒ河内町ノ大半ヲ嘗メ更ニ十時ニ至リ大工町ヨリ天満天神裏門ニ移リ亀ノ池、宇賀神社乃至附近ノ寄席ヲモ焼盡シ遂ニ天満座ニ延焼シ十丁目筋ヨリ堀川ヲ飛ビ越シ南森町旅籠町ヨリ老松町ニ燃エカヽリ火ノ手ハ三方ニ分レ一方ハ北ニ移リ東西松ヶ枝町曽根崎上二丁目ヨリ中一丁目、及ビ東梅田町ニ擴ガッテ神明ト露ノ天神ヲ焼拂ヒ南ニ移レルハ、若松町、眞砂町、絹笠町ヲ一嘗メシテ堂島濱通リヲ一直線ニ西ニ向ヒ幹線ノ西方ニ向ヘル火ハ蜆橋ヨリ船大工町、中一丁目、北町、北ノ新地、下原、梅田町ヲ嘗メ盡シテ上福島一丁目マデ延焼シタリ(午後十一時二十分
店ニテハ四五名、増田、藤田組等ヘ行キシモ藤田組ハ八時頃早クモ焼ケ落チタリ　増田ハ何ニシロ大川ヲ隔タル事トテ、キケンハキケンナリシモ先ヅ安全ナリタリ。余ハ濱宅ヘ宿リニ行ッタ
十一時就寝

▲▼222ページ▲▼　明治42(1909)年8月1日(日)

天気　晴

アカツキノ風強ク身ニシミ渡リテ思ワズ身ブルヒ仕ナガラ北ノ方ヲ眺ムルニ火ハマダ炎々ト立ノボリ居タリ。アヽマダヤマナイナト思ナガラ内ニ入リ時計ヲ見レバ四時十分前其レカラ又一寝入シテ再ビ起キ店ニ帰ヘル　此時ハホトンド白キ煙ノミトナリ居タリ。昼食後倉庫階上ニテ自働車ヲ作ル　折リシモ又半鐘ノ音耳ヲツンザキケルニ急ギ火ノ見ニ出デシニ焼残リノ白煙ノ外何ニモ見エヌニ安心シテ下ニ降リケレバ小原君ガ丁度來テ居ラレタ　而シテ今脱営兵ヲ一人捕ヘテ、ケン兵隊ニ引渡シタトテ、八聯隊ニ電話ヲ懸ケ居ラレタ。其様ニハ云ヒ知レヌ、ホコリノ色ガ見エタ　四時半夕食ヲ終リ阪口、河野両君ト濱寺ヘ行ク事ニシタ。二人ハシキイリニ着物ヤ下駄ヲ気ニシナガラ姿ハ此ノ暑イノニ御羽織ヲ召サセラレタハ、何様見テモ海水浴客トハ見ラレジ。サリトハ行カル事ヲ気ニスルハ我レニ羽織ナキガ爲メニアラズト打ケシタケレドモ又此心ナキニシモアラズ。ヤガテ途中住吉ニ下車。ホンノ一ノ宮ニ参拝セシノミニテ、タヾチニ浜寺ニ向フ。

丈ケ割合ニヒクキ、ミキ太キ、龍ノワダカマレルカ如キ老松ノ梢ヤ、薄暗キガ中ヲ濱辺ニサマヨイ出デヌ　夕日ハスデニ淡路島影ニ、カクレ晴レタランニハ見事ナ夕景色ナランニト思ヘド悲シ　空ヤヽ曇リヌ。サレド波ハイト静カデ岸ヲ洗ヒヌ。サル程ニ例ノ活働寫眞好キノ余ハ二人ヲ、ウナガシテ濱寺公会堂ニ入ッタセマイハセマイガ何分新シイノト、飾リヤ其他ノ、アッサリト、カベノ白イノトデ何ントナク心地好ク感ンゼラレタ。待ツ間久シクヤット開場トナッタガ、サテ浪花坐ナドニハ競ベモノニナラズ　二三ツ見テスグ帰ヘリヌ道々モ何ンダカ余リ好イ心地セヌ儘色々ノ事ドモ思ヒ浮ベバ又空中飛行器ノ事ニ及ビ如何ナ事ガアッテモ最(ママ)非之レダケハト心ニチカイヌ

▲▼223ページ▲▼　明治42(1909)年8月2日(月)

天気　晴

昨夜十時過西洋料理ヲアツラヘ持参セシ時恰モ大將ニ見ツケラレントシテ膽ヲ冷ヤセシ事二度ニ及ビ又東京カラ來タ電報ノ讀ミ下ラナカッタ爲メ叱カラレタノトデ今日ハ一日気持悪シク、アヽ気ノ小イサイ　之レシキノ事ニ馬鹿ナト思ヘバ思フ程ナホワスレ難ク一日筈(ママ)悶ノ内ニ終リ夜ヒソカニ露伴叢書ヲ讀ム

▲▼224ページ▲▼　明治42(1909)年8月3日(火)

天気　晴

本日ハ別ニ何事モ無シ　夜ハ今日來タ科學世界ヲ讀ム。ダンヽヽ讀ミ進ンデ雑報欄ニ及ンダ時余ハ大ニ驚イタト共ニ又非常ニ喜ンダ　其レハ斯云フ事ダ　今日各国空中飛行器ニ対スル燃心ハ其極度ニ達シテ居ル。而シテ、ホヾ成功トミトメ得ルモノモ漸時(ママ)加ワ、ッテ來ル様ニナッタ　然ルニ日本ニモ僅ニ山田猪三郎君ノ空中挺遂艇ト今度海軍ノ方デ研究ヲ開始シタノトダケニ思ッテ居タニ、アニハカランヤ明治廿年以來孜々トシテ此ノ

發明ニ腐心シテ居タ人ガアル。然カモ邦人デ東京ノ人　名ハ島田種次郎君（四〇年）ト云フ人ダ。然シマダ未成品デ設計圖ダケガヤット出來上ガッタノデ芝浦製作所ニ注文シタガ日本デハ到底出來ナイトテ此度伯林ヘ注文シタトノ事デ速力ハ一秒時ニ五十五米突　丁度二日七時間デ東京カラ倫敦迄行ケル勘定ダソーデ日英博覧會マデニハ竣工ノ豫定ダソーナガ、サリトテ之レヲ日本デ製造セヌダケガ残念ナ

発信　一円十二銭　工學会　一円　岡本君ノ寫眞器

▲▼225ページ▲▼　明治42(1909)年8月4日(水)

天気　晴

例刻起床　掃除ヤ朝顔ノ世話スル事モ例ノ通リ

九時過ギヨリ二重瓶会社ヘ金ヲ取リニ行ク　實ハ同会社ガ解散スルト云フ事ヲ昨日製銅場デ聞イタノデ帰途表ヲ通ルト工場ノ方ガ「カシヤ」札ガハッテアッタノデ大久保其他デ大分マゴツイテ居ル折柄トテ早速ナガラ今日行ク事ニナッタノダ

五時業務ヲ終リ入浴後階上客室ニ入リ西窓ヲ押開キテ涼ヲ入レツヽ太陽ヲ讀ンダ　最初現代ノ「青年諸君ニ告グ」ト云フノヲ觀テヤヽ教ヲ受ル處アッタ様ニ思フ　次ニ文藝欄ヲ讀ム。タチマチ紙面ペット赤キニ目ヲ轉スレバ入日ノ余光アザヤカニ赤々ト空ニ友染ノ様ニ照リ輝イテ居ル　再ビ本ニ向フニ紙面次第々々薄レ行キテ目ヤヽイタミヲ覺ユルニ及ンデ書ヲトジ、下ニ降リ工學會ノ講義録ヲ整理ス

九時半就床

▲▼226ページ▲▼　明治42(1909)年8月5日(木)

天気　晴

摘要　後曇リ

本日ハ特筆スベキコトナシ　例ノ通リ始マッテ例ノ通リ終リ、例ノ通リ氷ヲ入レテ例ノ通リヨリ一寸早ク寝タヾケ。タヾ夕方ヨリ帰宅！ト思ッテ居タノガ空合ノ悪イノデヤメタノガ残念

▲▼227ページ▲▼　明治42(1909)年8月6日(金)

天気　晴

記事無シ

夕方ヨリ帰宅　姉ハ弟子一名ト火事跡ヲ見ニ出懸ケテ留都（ママ）　父ハ余ニ対シテハ、ドコマデモ、カワイ坊ンノ様ニ取扱フ　余モ又小供ノ様ナ気ニナッテ無理ヤ理屈ヲ云フガ苦ツテ済ム他ノ者ナラ、スグ怒ルノダケレド。ソーシテ今夜ハ「ゼンザイ」ニ「マックワ」ノ御馳

走ニナリ御善（ママ）ノ御カズニ例ノ、カシワ鍋。面白ク遊ンデ八時帰途ニ付ク。之レヨリ先キ西ノ姉モ來タリ非々楽シカリキ

発信　石垣喜三郎　同返事

受信　石垣喜三郎殿　暑中見舞

▲▼228ページ▲▼　明治42（1909）年8月7日（土）

天気　晴

記事無シ

▲▼229ページ▲▼　明治42（1909）年8月8日（日）

天気　晴

本日ノ毎日新聞ヲ讀ムト此間中カラ強風ノ爲メ延ビヽニナッテ居タ、ハミルトン式飛行船ハ昨日午後七時十分飛揚セラレタトノ事ナノド、何卒見逃シナルベキヤトタヽチニ井上君ヲ語ライ四時終業後直チニ入浴夕食ヲ済シ何ニハトモアレ天王寺行電車ニ乗リ込ンダ。處ガ四ツ橋南デ今シモ電線工事中デ早ヤ五六台モオンゴクヲシテ居ルヤツ　之レハ又遅クナルノデハナカローカト思テ居ル内中マモナク動キ出シタ。ヤガテ濱寺ニ着タヾチニ気球ケイ留場ニ向ッタ　ケイ留場ハ公園ノ最南ニアッテ巾五間　長サ十二間程ノ大天布デカコンデアル　一寸、スキ間カラ、ノゾクト、大キナ気嚢ハ天井ニクイツイテ中ニブラリトナッテ居ル　其構造ハ船体ハ細イ木デ推進器ハ、タシカ革ノ様ニ見エタ　舵ハ革カ、カッパカ充分見ラレナカッタ　動力ハ先日來余ガ見タイヽヽト思ッタ、リッツルモーターデ後チニ檢ベテ見ルト、「ガヤスリン、エンジン」ト云フ事ガ分カッタ　然シマダ急ニ飛揚シソーニモナイノデ岸辺ヲブラブラサマヨイツヽ毎日新聞社事務所前迠デ來ルト行キガケカラ、ウーヽヽウナッテ居タ者ガアッタガ今ヤ、タンカニ乗セテ何處ニカ運バロートシテ居ル　一寸余ハノゾイテ見タガ、大キニ驚イタ。其頭ノハゲ具合カラ、ヒタイノシワガ、ドーモ父ニヨクニテ居ルガ顔ハ見エナイノデ「ムネ」ヲサワガセナガラモ又此處ヲハナレタ　井上君ハ水浴スルトテ着物ヲアヅケニ行カレタ

海ハ一面濃藍色ダガ夕陽ノ光リ受ケタ處ノミハキラヽヽト輝キ、バサーリト打ヨセタ浪ガスルヽヽト引イテ行ク時、タヾ見ル金砂サラヽヽト音タテテ流レ行ク様實ニナントモ云フ様ガナイ　其内日ハ次第々々ニ下ガッテ大タテイ程モアル眞赤ナ太陽ガ今シモ、キレイニ棚引イタ雲カラ出デ静ニ横ワル淡路島影ニ這入ロートスル時、ドドーントー發気球飛揚ノ號砲ハ場内ニヒヾキ渡ッタ　余ハ井上君ニ音楽堂附近ニテ待合セヲ約シテ前ノ場所ニ走リ行キ飛行船出ロヲ約シテ待チカマヘタ。天布ノ前面ハ開カレタ　準備ハ整ナウタラシイ　人夫十名程ヨッテ引パリ出シタ　余ハ右ニ廻ワッタ「ハミルトン氏」ハカーキー色ノ粗末ナ服ヲ着テ乗ッタ。乗リ様ハ三角形ニ~~カッタ~~組ンダ木ニマタガリ「中コシ」ニナシテ舵

ノヒモヲ持チ、「オーライ」ト共ニ人夫ノ手ハ、ハナレタ。エンジンハ音~~及ド~~カツヽヽト大キナ音ヲ立テヽ、推進器ヲ廻ス　初メフラヽヽト一二三間昇ルト南西ニ向カッテ走シタ　此時ハ大分高ク昇ボッタ　拍手スル者歓呼スル者萬歳ヲトナヘルモノ実ニ大変ナサワギ　其内飛行船ハキリット回轉シテ今度ハ東北ニ去リ又轉ジテ前ノ方向ニ進ム　カクスル事約五六回　気球ハ次第ニ下ッテ遂イニ、モートルノ音ハ消エタ。人波ハ一時ニ停車場ヘト流レ出シタ。日ハ全ク暮レテ樹々樹間電燈幾千カ、数カギリナク輝キ渡ッタ　余等ハ約ノ通リ音楽堂附近ニ會ヒ其レヨリ□菊ニ入リ親丼ニ焼キ鳥ヲ命ジ、余ハ記念繪葉書ヲ買フベク気球ケイ留場近ヘ行キシニ早ヤ眞ノ暗ガリ。タヾ水素瓦斯ノ、イヤナニオイガスルノミ。タヾチニ引返シタ

八時半頃押合ヘシ合ヤット電車ニ乗リ込ンダ　立ツ人ガ沢山アッタ　其内電車ハ出タガ二三丁行ッタカト思フト、バッタリ止マッテ火ハ消エタ　一寸急ニ動カナイ　約二十分位ハ遅レタヾロー。ソレデモ、ヤットノ事デ進行ヲ初メタガ堺近ク來タ時真向ニ居ル若者ガ、ギヤーヽヽト八百屋店ヲ開イタ。サー大変。立ッテ居タ人ハ、タイソウ左右ニヨケタ。

今日ハ何ンデ此様ニ電車ニ事故ガ多イノダロー

十時帰店。ハミルトン式飛行器ノ形ダケヲ製圖シ後寝ニ就イタ　時十一時十分。

然シ一寸寝ラレナイ。アノ父ニタ人ハ何トシタロー　死ニワセヌダローカ。ハミルトン氏ハ今頃何處デ寝テ居ルダローカ。空中ヲ、カケ廻ワッテ居ル夢デモ見テルダローカトコンナ事ヲ思フ内若旦ガ帰ヘッテ來ラレタ

▲▼230ページ▲▼　明治42(1909)年8月9日(月)

天気　晴

立秋トハ云ヒナガラ今日ノ暑サハドーダ　實ニ困マッタモノダ　何ンニモ手ニ付キヤシナイ。

夜ハタヾ本ヲ讀ムノミ　然シ其イツモアマリ堅クルシイノハイケナイノデ、誰レカヾ買ッテ來タ文藝倶楽部ヲヒモトイタ　其レガ爲メ思ワズ夜深シシテ消燈シタノガ十二時ト十五分　ウツヽヽシタカト思フト若主人ガ帰ヘッテ來タ　時計ハ正ニ一時半ヲ指シテ居ル

今日飛行器ノ模型ヲ作ル心計デイロイロ、研究シテ見タガ何分一立方尺ノ水素瓦斯デ漸ク一毎タラズシカ昇上ガラナイノダカラ如何ニ小イサクテモ四尺位イノ長サノモノデナケレバイケナイノデ先ヅ之レモ一寸中止

▲▼231ページ▲▼　明治42(1909)年8月10日(火)

天気　晴

昨夜ノ精カ朝目ハサメタガ起キニクイ　エヽマヽヨト又目ヲトジタ　デ起キ自分ニハモ大分皆ガ掃途(ママ)最中ナノデ余ハ今日ハツク事ヲヤメタ　正午後集金方々火事場ヲ見ニ行ッタ。然シ何分見舞ノ品ヲ持ッテ居ルノデ車デ行ク事ニシタ　最初伊藤喜ヘ行ッタ

金ハスグ呉レタ　其レカラ第一銀行デ安東縣ノ吉永ヘ爲替ヲ頼ミ駒井ヘ行ッタガ主人留都（ママ）　明日ハ不在デモト堅ク云ヒ居イテ林吉ヘ行ッタガ会計ガ不在。帝国鉱泉ハ呉レタ。今度ガゴテダ　徳田第二工場ト云フテ兎我野町ヲサガシ廻ッタガ知レナカッタヤムヲ得ズ太鼓寺町ヤ高砂町辺マデ尋ネ歩キヤウヤク、尋ネアテヽ行キ先ヅ見舞品ヲ呈シオモムロニ代金ノ事ヲ云ヒ出スト品物ガ來テナイカラ判取ヲ一度見セテ呉レトノ事デヤムナク、帰ヘル事ニシ帰途長沢ニテ今安ノ金ヲ受取リ三時半帰店ス

▲▼２３２ページ▲▼　明治４２（１９０９）年８月１１日（水）

天気　晴

午前例ノ通リ　本日漸ク月表出來上ル　然シ七百十六円十一銭ノ損失　之レデハ主人ニ少々見セニクイ。ト云フテ見セヌ訳ニハ行カナイガ、處デ丁度好イ事ニハ明日ヨリ老主人ハ有馬ヘ避暑ト云フ事ダカラ今日一日見セナケレバ十数日遲レルカラ然スルニ而カズト先ヅ一寸手元ニ保管スル事ニナッタ。處ガ主人ガ有馬ヘ行クニ付有難イ事ガワイテ出タノハ各店員中給料二円以上ニシテ十日以上ノケツ勤ニアラザルモノハ気車賃自辨ニテ一夜宿リ有馬行ヲ許可ストノ事　一同ノ嬉（ママ）ビ顔ハ気車賃ノ自辨位何ンノ其ト云フ意気込

夕方、ガヤスリン機関トハ如何ナモノダロート思ッテ濱宅ヘ行キ小旦那ニ工業大辭書ヲ見セテ貰ッタガ、アイニク、「アイウエ」ノエノ中程迠デシカ、マダ出來テ來テ居ナイノデ、ヤムヲ得ズ帰ヘッタ

発信　藤井甚松様　同返事

受信　藤井甚松様　暑中見舞方々濱寺遊覧ノ有様知セ

▲▼２３３ページ▲▼　明治４２（１９０９）年８月１２日（木）

天気　晴

午前五時十五分起床　例ノ通リ掃途（ママ）ヲ終リ明日井上君ト有馬ヘ行ク筈ニシテ大急ギニ準備ヲ整ヘタリシタガ、夜ニ入ッテ井沢ヨリ昨日川今中店ニテ借受ケタル市役所天満ノ大火地圖ヲ貸シテ呉レト云フテ來タガ余ハ今日半日懸カッテヤット半分モ出來上ガッテ居ラナイノデ今夜最（ママ）非寫シ取ラネバナラヌ事ニナリトードヽ十四日獨リ行ク事ニシタ

▲▼２３４ページ▲▼　明治４２（１９０９）年８月１３日（金）

天気　晴

摘要　後曇リ

午前中二階ニテ災害地々圖ノ残リヲ引キ午後ハ一昨日ヨリノ傳票ヲ付上ゲ、夜帰宅シテ、シヤツ、サル又、下駄ナドヲ整ヘ明日ノ準備全ク出來上ッテ寝ニ就イタノガ九時半。處ガ中々一寸眠レナイニハ困マツタ。目ヲトジルト、スグ青々ト茂ゲッタ山、其又谷間カラ、ホトバシル白イ水ナド引キリナシ。マザヽヽト現レルノデアッタ

▲▼235ページ▲▼　明治42(1909)年8月14日(土)

天気　晴

摘要　午後四時頃井上君等ガ正ニ帰途ニ着カントスル時、グラグラトユルギ出シタ　大分キツカッタガ、僅デヤンダ

目ヲ醒シタノガ三時　如何ニシテモ眠レナイノデ直チニ起キ支度ヲ整ヘ少シ早イガ表ヘ出タ　東天僅ニ白ラング頃デアツタ。涼シイ朝風ニ袖ヲ拂ラワセナガラ梅田ニ向フ汽車ハ五時四十五分ニ出タ。生瀬ニ着タノガ七時。駅前ノ茶店デ朝飯ヲ喫シ身軽ニ着替ヘ、ぞうりヲハキ之レニテ有馬ニ向フ　行程二里半　空晴レ山高ク、谷深ク、湯ヲ覧ユレバ、脚下ニ清泉ホトバシリ、殊ニ道幅廣ク清ラカナ、誠ニ好キ旅行ダ。タヾ「ヲシムラクハ一人ノ話合手無キノミ」ト小言ヲ云フ處ダガ此方ガ結句気楽デ好イノデ、淋ミシサモ感ゼズ無事御所坊ニ着イタ。大坊ト中坊ハ丁度表ニ居タノデ余ヲ見ルヤ双方ヨリ手ヲ取ッテ二階ノ居間ヘト連レテ行ッテ呉レタ。直チニ主人ニ案内セラレテ温泉ニ流ヲ汗ヲ流シタ。アヽ心地ヨサ

帰坊後少時息イテ晝食ヲ給ワッタ　鯛ノイリツケニ「ナスビ」ノ御彩　余ハ勿論鯛ヲ取ッタ　井上君ハシキリニ白ヲ引イテ居ラレタ。食後井上、村上両君ト、ツヽミノ滝鳥地獄、稲荷山、霊泉、温泉神社薬師堂極楽寺等ヲ見物シ三時半帰館ス　井上村上両君ハ今ヨリ帰坂セラレ、余一人トナッタ

夜主人ト坊サン二人ト活動寫眞ヲ見テ來タ。久シ振リデ「カヤ」ノ中デ寝タ

▲▼236ページ▲▼　明治42(1909)年8月15日(日)

天気　晴

摘要　江近乕姫、伊吹山ヲ中心トシテ大地震アリ　損害多大(十四日)

ゴーンヽヽトカスカニ打出シス極楽寺ノ鐘ニ極楽ノ夢ハ破レタ。下デハ雨戸、撮ル音ガスル　余ハ直チニ飛起キ雨戸少シ押開クルニアラウラメシ　微雨ハラヽヽ　余ハ庭ニ出タガ喜レシヤ　雲間モル青空チラホラ。只ダ頼ミハソレダケ　谷川ニ下リ手水ヲ使イ、Skecch Bookブラリ、サゲナガラ、其處ラノ山景色ナリトモト出懸タ　此時雨上リテ雲次第ニ散シツヽアル　見渡セバ重ナリ重ナッタ山ノ谷間ヨリ立ノボル、キリハ前山ヲ包ンデ模糊タル様身モ心モ頭ノ中モ奇麗ニ洗イサラレタ様ニ清々シク露長キ細道ヲ辿リナガラ鳥地獄ノ圖一ツ得テ帰ヘッタ。シバラクシテ朝飯ヲ終リ後チハ坊々等ノ云フ儘ニ

繪ヲ十枚カ二十枚程モ畫イタロー　時計ヲ見ルト九時。モー來ソーナモノト坊等ヲツレテ表ヘ出タ　ト丁度向カラ吉田ハント黒田岡本両君トガ來ラレタ　余ハ昨日丁度其處ヘ山本、藤野、井沢、横山、森馬ノ五氏ガ一美人ヲ引連レ來ラレタ。ソシテ彼レ等ハ滝ノ前デ寫眞ヲ取ッテ居タガ済ムト余等ノ茶店ニ入リ何レモ皆々横ニナッタ。シカモ前ノ美人モ、余ハ不思議ニ思ッテ聞イテ見ルト、ナル程トウナヅカレル　彼ノ女ハヒサシニコソ結ッテハ居ルガ此頃賣出シノ大和屋 秀勇 政弥トハ彼女トノ事。何ンダカ素人ハナレノシタ處ガアル

余等ハ此處ニ居ル事稍ヤ久シカッタ　然ルニ吉田ハンハマダ帰ロートモ云ワナイ　其内ニ時ハ容捨ナク早ヤ三時三時半トモナッタノデ余ハ今日帰ラナケレバナラナイカラ気ガ急クノデ彼レ等三人ヲ残シテ一人リ帰坊シ直グ仕度ヲ整ヘ車ヲヤトヒテ四時四五十分頃名残オシイ有馬ヲ後ニ車ヲ立セタ　來懸ニハ暑サト疲労トデ得見ナカッタ景色モ今ハ車上ニ思様眺メツヽ一キワ麗シイ處ニ出タ　左ニハ千丈ノ岩山右ハ深イ谷。其谷ノ奇ナ事麗ナ事　白イ岩石ノ小山ガ飛ビ々々ニ連ナッテ其上ニ緑シタルバカリノ松ガ茂ゲテ居ル　アヽ凡テ繪ニ見ル峯蓬（ママ）山トハ、ソモ此ンナモノダローガナロー事ナラ鴨ノ二三羽ヲ飛シタカッタ

車夫ニ聞ケバ宇ハ泉川トカ　今ハ兎ニ角前ハ繪師ガ來テモ、寫眞師デモ此處ノ景バカリハ得取ラナカッタト一寸圓山應卿（ママ）ガ筆捨山ニモ似タル理由ヲ少イ話シ、聞キ取レテハ居ルモノノ心配ナノハ空ノ曇リ方　一シキリ今ニモ降リ出サンバカリ。シメッポイ風ガ、サット袖ヲ、ヒルガヘシタ。然シ幸ニ雨ハ降ラナカッタ　來ル時足ヲ洗ラッタノハ此處。水ヲノンダノガアシコ。コレガ七曲リ、アレガ最初休ンダ茶店ト思フ内下リ坂ハ早イモノ六時一寸過ギル頃生瀬ニ着イタ。ガ次ギノ気車迠デマダ一時間余アルノデ駅前ノ茶店ニ入タ　新聞ナドヲ眺メナガラ列車ヲ待ッタ

ヤガテ気車ハ七時十五分ニ發車シタ窓外ハ次第ニ闇クナッタガ處々此頃ノ日照リニ雨乞フカヾリ火、火事カトバカリニ盛ンニ見エタ

九時頃無事梅田ニ着イテ電車ニ乗ッテ帰店シタ　而シテ今日ハ有馬ヘ行カナイ人々ニ繪葉書ヲ二枚ヅヽ分チ與ヘ直ク寝ニツイタ

▲▼237ページ▲▼　明治42（1909）年8月16日（月）

天気　曇

摘要　少雨

身体稍ヤ被レタラン　起キル事遲シ

六時過ギヨリ有馬旅行ノ様ヲ知ラスベク、西ノ姉、藤井様、及宅ヘトソレゾヽ繪葉書ヲ出シ藤井様ヘハ土産トシテ有馬温泉記一冊ニ繪葉書三枚ヲ送ル

午後三時半頃朝來ノ眠気ハ辛棒仕切レズナリ遂ヒニ手代室ニ入一寝入ヤッタ。心好ク寝入ッテ後不圖目ヲ醒シタガマダ起キ様トモセズ、コロガッテ居ル處ヘ河野君ガ、ヤッテ

來タ　而シテ若主人ガ非常ニサガシテ居タガ外出トシテアルカラ、折ヲ見テ知ラセニ來ルカラソレ迠待ッテ居レトノ事。之レハヽヽダ
夕方濱宅へ行ッテ帰店後机ヲ掃除シ~~後チ~~大火災ノ地圖ヲ畫イタ。八時前岡本、黒田ノ両君ガ有馬カラ帰ヘッテ來タ　主人ハ明後日帰坂ノ筈
発信　藤井甚松様　二通リ
受信　藤井甚松様

▲▼238ページ▲▼　明治42(1909)年8月17日(火)

天気　晴
記事無シ
夜露伴叢書ヲ讀ミ九時半就寝

▲▼239ページ▲▼　明治42(1909)年8月18日(水)

天気　晴
本日モ特筆スベキ事無シ　只ダ有馬旅行後大勉強ヲト思ッタノガ帰ッテカラノ暑サニ又最少シ涼シナッテカラト勝手ナ理屈ヲ付ケテ太陽ヤ露伴叢書ナトヲ讀ンダ
夜八時主人有馬ヨリ帰阪セラル

▲▼240ページ▲▼　明治42(1909)年8月19日(木)

天気　晴
午前八時頃スデニ用事モ終ッタノデ木村常へ行ッタ、ツヒデニ帰宅シタ　別ニ変ッタ事モナク畫食ヲ馳走ニナッテ帰途製銅場ニヨリ一時頃帰店
夜又坊々ニ見付ケラレ繪ヲ畫イテト云ヒ出サレテハ大変ト二階へ上リ澁柿ノ光圀卿ト云フノヲ讀ンダ　一寸普通ノ講談ヤ小説ト変ワッタ處ガアッテ面白イ　殊ニ日本武士道ヲ現シタ處ナドハ又一段デアッタ。尚文章モ非凡ナ個處ガアッタ

▲▼241ページ▲▼　明治42(1909)年8月20日(金)

摘要　今朝午前二時過ギ枚方火薬庫爆發　損害頗ル大ナリト
記事無シ
夜我獨逸観ヲ讀ム　十時就寝
受信　藤井甚松様

▲▼242ページ▲▼　明治42(1909)年8月21日(土)

天気　晴

午前例ノ通リ五時二十分起床　掃除ヲ終リ植木ノ世話ヲナシ後新聞ヲ見七時頃就業

午後四時再ビ飛行玩具ヲ造ルベク製圖ヲナス

夕物價表發送　六時半頃終ルヤ否ヤ例ニ依テ二階ニ上ル　然ルニ今日ハ、本ヲ讀ム気モ出ナイ爲メ又空想ヲ畫キ出シタ

八時頃ドヤヽト西洋料理ノ箱ヲ、サゲテ這入テ來タノデ初メテ夢ノ醒メタル心地シテ、店ヘ出デ昨夜切取ッタ新聞ヲ、ハリ付後、クダラヌ本ヲ讀ミ十時四十分消燈　ウツヽヽトシタ頃若主人帰宅セラル　時十一時

▲▼243ページ▲▼　明治42(1909)年8月22日(日)

天気　晴

午後四時終業スルヤ、タヾチニ備後町ヘ行キ、六時頃迠遊ビ美顔水ノ看板ヲ貰ヒ帰宅ス。

帰宅後店ノ飾棚ヲ色々ト取替ヘテ飾リ付ケ八時頃帰店ノ途ニツク

▲▼244ページ▲▼　明治42(1909)年8月23日(月)

天気　晴

午前八時頃命ヲ受ケテ神戸ヘ行ク。之レヨリ先キ堀井ヘ立寄リ三谷ヨリノ金九十一円廿九銭ヲ受取リ、神戸ストロン商会ニ至ル　直チニ亜鉛板八十樽ニ対スル残金千七百弐十円ト右九十一円廿九銭ヲ支払フ　然ルニ三谷ヨリ送金ノ金子前記金額ノ外ニ八十五円四十銭尚不足ノ爲メ出庫表ヲ受ケル能ハズ。ヤムヲ得ズ堀井ノ來ルノヲ待ツ　二時過ギヤット同氏來リ同氏ノ承認ヲ得テ我レヨリ八十五円四十銭取替ヘ漸ク三時半頃全ク手續キヲ終リ余ハ、時間ノ都合上急ギ百四番ヘ行キ九七銅代ノ残金ヲ受取リ鼎鴻泰ヘ行キ荷物領収書ヲ貰ヒ受ク　此時スデニ五時過ギタレバ亜鉛板ヲ見ル事ハ止メ直チニ帰坂ス　尚ほ、ストロンニテ堀井氏ヲ待ツ間川口屋ヘ行キ船ノ用意ヲ頼ミ富池ヘ寄リテ、パーシユース號ノ明細書其他ニ三件要事ヲ整ヘ初塚ヘ行キ主人ノ意ヲ通ズルニ借家ノ方ハ目下ノ處借方ハ五十円ヨリ五十五円位迠ヨリ張込マザル有様ニテ賣口ハ不況気ノ爲メ皆無ノ由　但シ同店ニテ晝食ヲ馳走ニナリ、ストロンヘ引帰ス時恰モヨシ門前ニテ堀井氏ニ會フ

▲▼245ページ▲▼　明治42(1909)年8月24日(火)

天気　晴

午前五時起床　　掃除植木ノ世話ハ例ノ如シ
九時頃大阪市役所へ保証金請求ニ行キ午後二時半頃ヨリ木村常へ代金請求ニ行キ帰
途製銅場ニ寄リ四時頃帰店
夜例ニ依ッテ八時頃迠二階ニ中坊ヲ離レ其間我獨逸観ヲ讀ム　九時半就寝

▲▼246ページ▲▼　明治42(1909)年8月25日(水)

天気　晴

本日就(ママ)日天野倉庫ニテ眞中ノ撰物ノ監督ニ行キ六時頃帰宅　タヾチニ風呂ニ入
夕食ヲ終リ二階ニテ露伴叢書ヲ讀ンダガ少シモ気乗リガセズ頭ガ変ニ痛ム様ニ思ワレル
ノデ直チニ巻ヲ閉ジ下ニ降リ雑談ニ時ヲ過シ九時半就寝　少時我獨逸観ヲ讀ミ寝ニ就
ク

▲▼247ページ▲▼　明治42(1909)年8月26日(木)

天気　晴

今日カラボチ〻決算ノ準備ヲ初メタ
夜自働車全体ヲ塗リ替ヘ後新聞ヲ切取リシタ　其多クハ否全ク全部空中飛行器ノ事ノ
ミ。サルニシテモ此頃ノ飛行器ノ發達ハ殊ニ著シクブレリオ氏ノ英国海峡飛行以來同器
ハ一種絶大ナル流行病ノ如ク全世界ニ傳染シ近ク我日本ニテモ気球研究会委員ノ人撰、
大學ニ同気球科ノ設置説等又佛國ニテハ此程來一週間ニ渡ル飛行競争アリ。獨逸ニハ
飛行器博覧會ノ開設アル等実ニ其飛行器熱ノイカニ盛ンナルカヲ、オシテ知ルベシ。尚
此外ニ佛国ハ飛行大会ヲ開カントテ、既ニ英、獨、西、瑞、伊、諸国ノ同意ヲ得タル由

▲▼248ページ▲▼　明治42(1909)年8月27日(金)

天気　晴

午前五時起床　燈ヲ點シ掃除ヲ終リ植木ニ水ヲ與ヘタ　朝顔ハ例ニ依ッテ二ツ三ツ愛ラ
シイノガ児女ノ蝙蝠傘ヲカザシタ様ニ開イテ居ル。而シテ一度ハ心配シタ桔京(ママ)ハ
元気好ク、イキ〻ト、ツボミサヘ沢山結ンデ其一ツハ正ニ開キカケテ露ホシゲナ風デア
エル　余ハ直チニ、柄ヲ取上ゲ小マカクパラ〻ト振リ懸テヤッタ　ト其スーッ〻ト延ビ
タ、クキヤ葉ハ一シオ緑アザヤカニ葉末カラハ露ハラ〻トチッタ
夜ハ判取帳引合セヲシタ　丁度八時頃此頃流行ノパン〻ガヤツテ來タ　唯(ママ)レ云フ
ーナク買ヘ〻ノ声ガ起コツテ吾レモ〻ト買ヒニ行ク　余モ先ヅ話ノ種ニト一ツ買ッテ
見タ　中々ウマイ　一個五銭ダガ半分モ喰ヘバ直ダタンノスル　後チ我獨逸観ヲ讀ンデ

十時過ギ消燈シタ

▲▼249ページ▲▼　明治42(1909)年8月28日(土)

天気　晴

午前五時起床　掃除スル事例ノ通リ　終ッテ植木ノ世話ヲスルニ今日ハ桔梗ノ花パッチリト色麗ワシク紫ノ花辨朝風ニフワリ一ユレ、ユルイデ白キ、シベ一シオ気高 ~~高ク~~イ面影ヲ現ワシテ居タ　余ハ如何ニモ見捨テガタキニ椅子取リ寄セ晴レタル空ニウキ雲カルゲニアカツキノ光ヲ受ケテ次第ニ明ルクナリ行ク下花ニ対シテ我獨逸觀ヲ讀ンダ。ア、其心地好カッタ事　然ルニ紙面次第ニ暗クナッテ來タ　不斗空ヲ仰ゲリ　先キノ美シカッタ御顔ハ何處ヘヤラ　一天カキ曇リテ今ニモ降リ出サンバカリ　余ハ驚イテ愛スル花ト今日稀レニ咲イタ大キナ朝顔トヲ軒ニ入レ便所ニ這入ッタド、タチマチザート急劇(ママ)ニ降リ出シテ何處ヨリトモナク、シブキガ、シキリニ突入シテ來ルノデ余ハ直チニ出タ。而シテ今ヤ花ザカリナル稲ヲ蔵ノ、ヒサシノ内リ(ママ)運ンダ　雨ハ間モナク晴レテ一天ヌグウガ如クニ、・・・・

全ク二ヶ月間照リニ照リ付ケタ日ノ暑サモ一時ハ喜シイ程涼シカッタ　而シテ雨後ノ有様ハ何ントナク物ガ引立ッテ見エ誠ニ心持好カッタ

九時頃市役所カラ江戸堀、備後町辺ヲ一寸廻ワッテ十二時半頃帰店　晝食シタ

夜習字ヲシテ居ル處ヘ濱カラ電話ニテ家庭全書ト露伴叢書トヲ持タシテ、ヨコシテ呉レトノ命ヲ受ケタノデ二階ヘ取リニ行ッタ時不圖「肉弾」ヲ見タノデ、之レノガスベカラズト直チニ讀ンダ　十時半頃ヤット巻ヲ閉ジテ寝ルニ就イタ。而シテ目ヲ閉ジナガラ数年前ノ戦争時代ノ事ヲ思起シ書中ノ壮烈ナル語トヲ対照シツヽ夢ニ入ッタ

▲▼250ページ▲▼　明治42(1909)年8月29日(日)

天気　晴

今朝モ昨日ノ通リ裏ニ出テ我獨逸觀ノ換リニ「肉弾」ヲ讀ンダ

今日小旦那ノ命デ明日ノ書出シヲ書イタ爲メ、四時終業迠デ全ク休ミナク働イタ。コンナ事ハ恐ラク今年一月二日以來初メテノ事ダッタロー　然シ大変心地好ク感ジタ

夕方二階デ肉弾ヲ讀ンデ居ル處ヘ宅カラ昨日注文シタ品々ヲ持ッテ來テ呉レタ　七時半肉弾ヲ讀ミ終リ後一時間習字ヲナシ終ッテ之レヲ書ス

後我獨逸觀ヲ讀ミ十時半就床

▲▼251ページ▲▼　明治42(1909)年8月30日(月)

天気　晴

朝來節季ノ事トテ明日ノ準備ヤ何ニカト急ガリシカッタ
而シテ十時頃第三十四銀行へ千〇七十何円ヲ取付ニ行ッタ　実ニ手ノ切レル様ナ、シヤン〵シタ拾円札百枚呉レタ　数ヲ讀ムニモ気持好カッタ
夜書出シヲ整理シ支拂帳ニ記入シテ居ル時内デ何ニカ中坊ガ怒リ出シテ遂ヒニ活動寫眞へ行ル事ニナッテ坂口君ト余ニトノ事ダガ余ハ何分、マダ記入残ガアルシ殊ニ他ニ店用ガ沢山アルカラト辞シタガ聞入レラレズ行ク事ニナッタ。中坊ハ此間浪花坐へ行ッタ處ダカラ今日ハ千日前ノ方ヘブラ〵出懸ケタ。而シテ日ノ出館ニ入ッタ　多クハイヤ全ク骨稀（ママ）物バカリデ、タヾ笑ワセルノミデアッタ
九時過ギ帰店　直チニ前ノ残ヲ付上ゲ、床ニ付ク。處へ井上君ガ講談本ヲ買ッテ帰ラレタノデ一寸借リテ讀ンダ　十一時半就寝

▲▼252ページ▲▼　明治42（1909）年8月31日（火）

天気　晴
朝五時起キテ例ノ通リ用事ヲ終リ金銭支払ノ準備ヲ整へ、タヾチニ事務ニ就ク。今日ハ殊ニ急シカッタ　其レハ小旦那ガ一寸モ地方ノ事ヲヤッテ呉レナイノデ掛取ノ始末カラ賣上ノ帳迠デヤッタ爲メ夜八時頃迠夜業ヲヤッタ　然ルニ小旦那ハ帳面付ケ方ガ何ノ書出シガ何ノト、ゴテ〵云ワレタノデ非常ニ腹モ立ッタガ何分小旦那ニハ格別ニ目ヲ懸ケラレタ事モアッタノダカラ、少々云ヒ帰シモシタガ後デ思ヘバ何ントナク、スマヌ様ナ気モシタ。ソレニシテモ此頃ハ何故斯様ニズボラニナラレタノダロー。サレバ御自身スルダケノ事ヲセズシテ店員ナドニ喧シク云ワレルノデ、皆ノ受ケガ悪イ譯ダ

▲▼253ページ▲▼　九月中行事豫記

本月ヨリ月々収支次ノ如ク固ク遵守スベシ

収入ノ部	壱円五十銭	店ヨリ
々	四円	内ヨリ
支出ノ部	五十五銭	工學会
々	十五銭	禁酒会
々	五十銭	雑誌
々	五十銭	雑費
々	八十銭	臨時費
差引三円也		積立

▲▼254ページ▲▼　明治42（1909）年9月1日（水）

天気　雨曇

摘要　本日二百十日　最モ安全　夕立雨アリ

午前五時起床　例ノ通リ終ッテ裏へ出ルト今日モ一ツ桔梗ノ花ガ咲イテ居タ
日ノ内ハ決算デ大分思ヒ切ッテ働イタ為余程早ク用事ハ方着イタ
夕方太陽ガ來タ　夜之レト、我獨逸觀トヲ讀ンダ　而シテ九時頃消燈就寢
一昨日カラ毎日新聞ガ科學世界ト題シテ空中飛行器ノ寫眞ト説明トヲカヽゲテ居ル
余ハ一々切リ取ッテ居イタ

▲▼255ページ▲▼　明治42（1909）年9月2日（木）

天気　曇

摘要　午前ヤヽ強キ夕立アリ　ソレガ為メ無残ヤ朝顔ガサンザンニナッテ居タ

夜中不圖目ヲ醒シテ再ビ夢ニ入ッタ　今度眠カラ醒メタ時既ニ河野君ガ起キテ居ラレタノデ余モ直グ飛起キタ　時計ヲ見ルト丁度五時ニ五分過ギテ居タ　裏へ出ルト今日モ又桔梗ガ咲イタ
余ツラヽヽ思フニ飛行家トナルハ益々有望ナル事ヲ諭（ママ）ッタ。ソレハ此間気球研究会長長岡中將ノ談ニ我国ノ飛行器ノ発達ノシナイノハ、一ハ国民ノ不熱心ナ事、二ニハ之レニ敵等（ママ）ナ乗員ヲ養生シナケレバナラヌ事ナドガ新聞ニ出テ居タ　余ハ最（ママ）非此乗員カラ初メテ経險（ママ）ヲ重ネタ上目的ヲ達スルハイト易々タル事ダト決心シタ
夜科學世界ガ來タ　之レヲ讀ンデ十時過ギ就床

▲▼256ページ▲▼　明治42（1909）年9月3日（金）

天気　曇

シクヽヽ腹ガ痛ムノデ大便ニ行ッタノガ丁度一時十五分頃デアッタ　ソレカラ又寢テ此度目ヲ醒シタノガ四時半　又腹ガ痛ムノデ便所へ行キ一寸階段ヲ箒ダケニシテ居イテ手代室デ漸（ママ）ラク寢タ
決算ハ今日ヤウヤク出來タガ倉庫ノ方ガマダ出來ナカッタ
夕方田中へ行キ漢和大辭林ヲ購ヒ佐野屋橋ノ西洋料理屋へ行キ本年中ノ喰納メニ「シトロン」ヲヌイテ一杯ヤッタ
七時半帰店　飛行器ノ製圖ヲナシ九時頃終リ少時太陽ヲ見テ就寢

▲▼257ページ▲▼　明治42（1909）年9月4日（土）

天気　曇
午前四時四十五分起床　例ノ通リ終リテ外史ヲ讀ム
日中ハ平々凡々
夜製圖學ヲヤッテ居タガ余リ眠クナッタノデ七時頃寢室ニ入リコロリ横ニナッタガ其儘
何ニモ知ラズ九時頃マデ寢過シテ仕舞タ
近頃毎日新聞ガ非常ニ飛行器ノ事ヲ奨勵的ニ書出テルノデ余ノ心ハ益々此一途ニ向ハ
ザルヲ得ナイ。ソレガ爲メ夜トナイ晝トナク全ク飛行器ノ事ヲ思ワヌ日トテハ無カッタ。
ソーシテ今春失敗ニ帰シタ飛行玩具ノ製造ニ着手シ、如何ニシテモ全成ヲチカッタ

▲▼258ページ▲▼　明治42(1909)年9月5日(日)

天気　曇
摘要　少雨
午前四時半起床　掃除ヲ終リ後約小一時間外史ヲ讀ム
午後四時終業　直チニ入浴、夕食ヲ終ル　然ルニ折シモ空模様悪シク雨サラサラト降リ
來リタルニ帰宅ノ念ヲ斷チ太陽ヲ讀ミタレド五時半頃ニ及ビ雨ノウレエノゾケタルニ帰
宅ス。先ヅ兄ニ飛行器用ノ動力ニ使用スル或器具ヲ半田付ニシテ貰フ事ヲ依頼シ、七時
半頃父ト借家ヲ賣ッタ事ニ対シテ難波迠デ証文ヲ見ニ行ッタガ、主人ガ不在デ止ヲ得
ズ一度帰宅シ姉ヤ父ト五丁ナラベヲナシ帰店ス。姉ハ無言ノマヽ二円ニギラシテ呉レタ

▲▼259ページ▲▼　明治42(1909)年9月6日(月)

天気　曇
ドタンバタヽヽヽワー、ヤーソコヤヽヽヽナドヽ大変ナ物音ニ驚キ目醒ムレバ頭ノ上ニナ
ニカ大サワギヲヤッテ居ル　何事ダロー今時分ト時間ヲ見ルト、マダ三時　イヨヽヽ我(マ
マ)點ガ行カナイノデ、ソット階段ヲ昇リ目指ス手代室ニ近寄レバ電燈ハ付イテ居タガ、
ピツシヤリ〆切ッタマヽ、左右ニ走リ廻ル人影ガ硝子ニ障子ニ寫ッテ居ル。余ハ直チニ其
障子ヲサット開キノゾキコムトコトソモ一匹ノ鼠ヲ七、八人ノ大男ガ六七畳ノ處デ、マ
クラヤ、掃キナドヲ振廻シ追カケテ居タガ、ヤガテ一人ガ掃デ彼レヲ、オサエツケルト
今一人ガビールノ壜ヲ以テゴツンヽヽト、到々タヽキノバシテシマッタ。余ハアマリ亂暴ナ
ノニ驚タガ又気味悪クナッテ來タノデ直チニ床ニ帰ヘッタ
朝ハ彼ノネヅミ、サワギノ爲メ少シ寢ギタガ五時頃起床　ヤハリ例ノ通リナシ後外史ヲ
讀ミ七時就業
本日月表出來純益弐壱千百何円ト云フ好結果　シカシ之レハ裏面ダケデ実ハ利益ト
云フモノハ少シモナイノダガ先月來主人ト中山氏トノ間ニ何事ガアッタ様デアッタガ其
レガ爲カアラヌカ、此度ハ何ンデモ最(ママ)非利益ニシナケレバナラナイト云フノデ商品

ノ直入ヲ高クシタラ去月分ニ入庫スベキモノヲ本月分ニ廻シタリシタ爲ナノデアッタ。ソレデモ主人ハニコヽシテ居タノハ実ニ馬鹿気テ居タ
夜得丸商店ヘ金ヲ取リニ行ッタ　不在ダト云フノデ止ムヲ得ズ帰途心斎橋筋ヲ通ッタノデ賞品館ヲブラヽ通ッテ見タガ不圖目ニツイタノハ圖ノ様ナモノデ、ゼンマイ仕懸ケデ推進器ヲ廻轉シ自然ニクルクル廻ル様ニナッテ居ルノダ　デ一寸直(ママ)段ヲ聞イテ見ルト七十五銭ト云フノデ一寸二ノ足フンダガ最(ママ)非ホシイト云フ心ノ方ガ勝テ遂ニ之レヲ購ッテ今度ハ大急ギニ帰店シ直チニ分解シテ、ゼンマイト推進器ダケヲ取リ之レヲ余ノ飛行器ニ代用セシメルベク工夫シテ九時頃床ニ就イタ

▲▼260ページ▲▼　明治42(1909)年9月7日(火)

天気　晴
摘要　少曇
午前四時半起床　例ノ通ナシテ例ノ通リ外史ヲ讀ム
夜製圖法ヲ習ヒ後飛行器ニ関スル新聞ヲ切取ル
飛行玩具用ニユーム板ヲ切リ明日組立ヲナス筈
十時就寝

▲▼261ページ▲▼　明治42(1909)年9月8日(水)

天気　晴
今朝少シ寝過シ五時起床
日中ハ例ニ依ッテ例ノ通無意味ニ過シ三時ニ至ッテ富島組カラ電話ニテ韓鐵ノ税金ヲ直グ持テ來テ呉レトノ事ニ若主人ノ命ヲ受ケ余ハ直チニ車ヲ飛シ、韓鐵百ケ入二千叺ニ対シ十六円七十銭ノ割ニテ七五ガケ金弐千五百〇五円ヲ山口ニテ取付ケ持参シ領収書ヲ得テ帰店シタ　時五時二十分前　ヤガテ就業時刻トナッテ余ハ「シヤツ」ヲ着替ヘルベク又姉ノ寫眞ヲ見セルベク帰宅シタ
丁度入口ヲ這入ルヤ髪結場ニ居タ姉ハ「ア丶音チヤンガ戻ッテ來タ　エー話シガアルネン」ト頭カラアビセカケラレ「何ンヤ」ト答ヘナガラ「好イヤロー」ト寫眞ヲ投ゲル様ニ姉ノヒザノ上ニ置イタ。ト一寸見テ「お前ヲ養子ニ貰ヒニ來テルネンデ」ト云ッテ又寫眞ヲ眺メ「エライ好ナッタワー」ト批評シナガラ坐敷ニ帰ヘッタ　余ハ其儘風呂ニ入ッタ
今度上ガッテ來ルト好物ノ芋ガ買ッテ來テアッタノデ早速御馳走ニナッテ居ルト姉ガ又語リ出シタ「財産ガ一萬円程アッテ獨リ娘ヤト」之レ迠ハヨカッタガアトガ悪イ「御山家ヤネン」之レニハ一番驚イタ　余ハ立ッテ無意味ニ歩ミナガラ「養子ニナンテタレガ行クモノカ」ト例ノ小ヌカ三合ノ文句ヲ云ヒナガラ話頭ヲ他ニ轉ズルベク試ミタ　然

シ心中ニハタレガコンナ話ヲ持チ出シテ來タノダロー、美人ダローカ、財産ガ一萬円・・・・ナド思ヒツヽ食事ヲ初メタ　姉ハ又「お山屋へ行テヤリーナ。而シタラ、アンナ商賣ハ女ガスルカラお前ハ十年デモ二十年デモ考ヘテ居タラ好イノヤガナ」ト云ッテ話ハ切レテ仕舞タ。ソレモ然ヤナトハ思ッタガ余トシテハ特別ノ進メガナイ以上否、タトヒアッテモ姉ガ今ノマヽニ居ル間ハ余ノ結婚問題ナルモノハ如何ナル事ガアッテモ余ガ承知スル事ハ致(ママ)底出來ナイノダ・・・・

其内地蔵寺へ詣イッテ居タ父ガ帰ッテ來タ　兄モ帰ヘッタ。然シ二人共養子問題ニツイテハ何ニモ云ワナカッタ。父ハ食事ガ済ムトスグ又何處カへ出テ行ッタ。兄ハ五丁ナラベニ一生懸命ニナッテ居タ　其内時計ガ八時ヲ報ジタノデ直グ帰店ノ途ニ就イタ

九時前帰店　道々モ帰ヘッテ後モ色々ナ事ヲ思考シナガラ九時半頃知ラズヽヽ寝テ仕舞ッタ

▲▼262ページ▲▼　明治42(1909)年9月9日(木)

天気　晴

午前五時十分前起床　今日ハ何ンダカ昨日ノ事ガ気ニ懸ッテ一日種々様々ナ想像ヲ畫イテ見タト同時ニ又一方ニ非常ナ事ガ起コッタ。ソレハ今朝例ニ依ッテ飛行機ノ事ドモガナト新聞ヲアサッテ居ルト、目ニ入ッタノガ奈良原式飛行機發明ノ九字デアッタ早速讀ミ下シテ見ルト飛行気球ト飛行機ノ二種デ飛行機ハ米ノ「カーチース」式ヲ基トシ之レニ改良ヘ加ヘタルモノニシテ地上ヲ行ク時ハ翼ヲタトミテ普通ノ自働車トナル、スコブル新式ノモノナリトカ。余ハタチマチ決シタ　即積日ノ志ヲ達スルハ此機ニアリト　而シテ夜ヒソカニ同飛行機乗員ニ採用セラレン事ノ願書ノ下書キヲ作リ置イタ。後チ新聞切取リヲナシ九時半就寝

▲▼263ページ▲▼　明治42(1909)年9月10日(金)

天気　晴

発信　奈良原三次君

▲▼264ページ▲▼　明治42(1909)年9月11日(土)

天気　晴

▲▼265ページ▲▼　明治42(1909)年9月12日(日)

天気　雨
今日ハ別ニ変った事も無かった。唯常と変って居たノハ昨日一昨日の夜深しで眠たかっただけ。其レが為めか四時就終業後ハ直ぎ、グッスリ九時頃迄寝て仕舞た
発信　西ノ姉へ　芝居ノあらまし

▲▼266ページ▲▼　明治42(1909)年9月13日(月)

天気　曇
夕方帰宅シタ　其レハヤハリ、ドーシテモ此間ノ事ガ気ニナルノデ　然シ今日ハ誰レモ何ニモ云ワナカッタ。勿論姉ハ留都(ママ)デアッタガ七時頃ニハ帰ヘッテ来タ　シバラク五丁ナラベヤ、一昨日ノ芝居ノ話ナドヲシテ遊ビ八時半頃帰店ノ途ニツイタ。処ガポツーリポツーリトヤッテ来タノデ難波ノ停車場前カラ車ニ乗ッタ　ソーソ今日ハ禁酒會ノ月次會ガアルノダ。コトニナニカ相談會デモヤルノダトノ事ダガ大分十弐回大會ニ代表員ヲ出ス相談位ノモノダロー
工學講義録ガ來テ居タ　山田氏ハイヨヽヽ飛行気球ヲ發明サレタソーダ。
発信　小原小弥太君　返事
受信　小原小弥太君

▲▼267ページ▲▼　明治42(1909)年9月14日(火)

天気　晴
午前五時起床
今日ハ裏ノ方ガ大変急ガシイノデ又一寸外へ出タクナッタノデ九時頃カラ書出しクバリニ北ヘ行ッタ
夜別ニ之レト云フ事モナサズ九時頃ヨリ飛行機ニ関スル研究ヲ初メタ
今日御作サンガ休ンダノデタ方ノ出入ヲ余ガヤッテ見タガ五円十七銭五ノ不足。何シテモ知レナイノデ明日迄ノバス事ニシテ風呂ニ入リ食事ヲ終リ初塚君ガ寫眞ヲ影シテ呉レト云フノデ二枚寫シ余モ又一枚取ッテ居イタ

▲▼268ページ▲▼　明治42(1909)年9月15日(水)

天気　晴
摘要　夕立アリ
今日ハ住吉大明神ノ北ノ祭デ当築港迄船渡御ガッテ、明日ハ御休輦　明後日陸路御帰社ノ由　其レガ為メカ正午頃カラ築港行電車ハ何レモ皆満員々々ノ好影(ママ)気デアッタ　二時頃余ハ大阪市役所ヘ錫三千磅ノ契約ニ行ッタ　而シテ保証人ノ印ヲ取リニ

三時半頃帰途ニツイタ　然ルニ一天ニワカニ曇リタチマチザヾート大雨ニナッテ來タノデ止ム得ズ車ニ乗ッタ。サテホツト一呼スルト、ホロハアル事アルガ両横ノホロガ無イノデビユーヽヽト雨ハ降リ込ム。車ノユレル度ニ雨垂レガバラヽカヽルノデ両袖ハ、ブラヽ　コンナノナライッソ車ニ乗ラナイホーガ着物ノ洗濯ガ出來テ好イ位イデアッタ。ヤガテ帰店シ保証人ノ判ハ出來タガモー行ク気ニナラナイノデ初塚君ヲヤッタ

夜ハ八時頃カラ例ノ研究ヲヤッタガ少シノ得ル處モナカッタ

▲▼269ページ▲▼　明治42(1909)年9月16日(木)

天気　晴

今朝早ク川口萬常泰ヘ請求書ト市役所ノ契約ト二行キ正午前帰店　午後ハ大分急ガシカッタ

夜七時前カラ九時過ギ迠製圖學ヲ學ビ後ヨーロッパヲ讀ミ十時就寝

▲▼270ページ▲▼　明治42(1909)年9月17日(金)

天気　晴

午前四時半起床　別ニ特筆ナシ

九時過ギヨリ砲兵工廠ヘ鉄葉鈑千五百枚ノ契約ニ行ッタ　行ガケヤ前カラモ砲兵工廠ハ中々一字ノ間違イモ許サナイ嚴シイカラト大仰ニ聞イテ居ルノデ大ニ注意シテヤッタ故カ左程ニ六ッ箇敷トモ思ワナカッタ　殊ニ契約係リノ人ガ中々親切ニ云ッテ呉レタノデ先ヅトヾコホリナク四時頃帰店シタ。店ハモー仕舞テアッタ　日曜デモナイノニ何故ダロート一寸思ッタガ、ハハーン成程今日ハ住吉大神ノ御通輦ダカラ道理デ何ニカ堺筋ガ大変ニギヤカト思ッタ

夜六時頃ヨリ一時間製圖

▲▼271ページ▲▼　明治42(1909)年9月18日(土)

天気　雨

降ルカ降ルマイカ思案シナガラ砲兵工廠ヘ入札保証金取下ゲニ行ト出懸ケタガ実ニアヤシイ空合ナノデ遂ニ車ニ乗ッタ。トポツリヽヽヤガテザート降リ出シタ。ヤレ有難イト思ッタノハ時ノ間デタチマチムネニワキ上ガルノハ砲兵工廠ノ門前カラ調度迠ニ三丁ノ間ダ　ドーシテモ、ヌレネバナラヌカト思ッテル内ニ早ヤ工廠ニ付イタ。見ルト丁度今中ヘ這入ッテ行ク二人ノコシ辨ラシイノガ、割合ニ大キナ洋傘ヲサシテ居ルノデ着セテ貰フカト思ワヌモナカッタガ口ヘ出ナイノデ其儘走リ出シタ。ヤガテ商人扣所迠來タ頃ハモー足ガフラヽトモスルトコロゲソーダ。デシバラク休息シテ調度ヘ行キ約一時間程待ッ

テ保証金ヲ貰ッテ帰途ニツイタ　雨ハ上ガッタデモナシ上ガヌデモナシト云フ有様デアッタ。

午後金庫ト階段ノ下トヲ一人デ大掃除シテヤッタ

夜製圖ヲ學ブ。吉田君ガ來ラレテ引合セヲシタ。九時半就寝

▲▼272ページ▲▼　明治42(1909)年9月19日(日)

天気　雨

午前四時三十分起床　例ノ通リ終ッテ新聞ヲ見、直チニ事務ニ着手　明日休ム心計デ用事ハ大抵方付ケタ。四時終業スルヤ否ヤ若主人ニ暇ヲ乞ヒ宅ヘ走セタ。丁度余ガ降リル時難波ノ伯母サンガ車ヲ下リラレルノト同時デアッタ。後一寸竹島様ヘ行キ漸(ママ)時半田流シヲ見帰宅後夕食ヲナス。其内ソロソロ御婆サン等ハ雨ノ中ヲワザヽヾ枝ヲ引イテ來ラレタ。死ンダおバーサンモ御喜ビダロー。ソーソ丁度余ガ六ツノ時ダ　表カラ「御母ン銭」ト飛込ンデ帰ルト奥ノスミノ方ヘ、誰レダッタカ、ワスレタガ三四人カタマッテ居タ　而シテ其翌日ヤハリ雨ノ降ッタ日デアッタ　大勢ノ人々ガ來テ駕ニ御バーサンヲ乗セテ出タ　奇麗ナ衣ヲ着タ防サンガ、ジヤボンヽヽヽザラヽヽチーンニ云ワシテ就イテ行ッタ　余モ島ノ内ノ伯母サンニ白イ着物ヲ着セテ貰ッテカイラシイ事トホメラレタノハ今モオボエテ居ル。余ハ其当時ハ非常ニ面白カッタ　大勢來テ來レルシ皆僕ヲカイラシイヽヽヽテ云ッテ呉レタモノ　然シ「おばーさん」ハモー返ヘッテ來ナイ云ワレタ時ハ一寸妙ナ気ガシタ様ダッタ。コンナ事ヲ思ヒ出シテ居ル内ソロヽヽ御勤メガ初ッタ。シバラクスルト、「ソリ屋」ノ姉サンガ御勝返ハントコノ「御直チヤン」ヲツレテ來タ　余ハ妙ニ「キュークツ」ニ感ジテ平井サンノ、ソバニ行キ蓄音機ノ普板ヲ見タリ見ナカッタリ。ヤガテ「御詠歌」ガ済ムト一寸御膳ヲ出シタ御酒ガ初マル。蓄音機ガウナリ出ス。「ニワカ」ガ出ル。舞ル。実ニ大変ナサワギニナッタモノダ。「お直チヤン」ハ皆ニ進メラレテ、ハヅカシソーニ引歌イデ何ニカヤッテ居タ。後坐ノ時ニハ舞ヲ舞ッタ。而シテ帰ヘッタノガ十二時過ギテ居タノデ、「徳チヤン」ガ送ッテ行ク事ニシタ

余等ハ尚之レノ後食事ヲナシ床ニ就イタノガ一時　雨ハ急ニ又ザザートトヨク雨戸ヲ打ッテ虫ノ音ハ絶ヘタ

尚本日宅ヘ奈良原君カラ手紙ガ來テ居タ。讀ンデ見ルト、マダ設計ガ出來上ガッタバカリデ ~~成功ト~~ 之レカラマダヽヾ完成迠ハ時日モカヽルシ大金モ入ルシ殊ニ事軍事上ノ秘密ニ関ル事ナレバ軍人ノ外採用セラレナイシ、其内ニハ民間ニモ出來ルダローカラ、其方ヘ儘(ママ)カセヨトノ文意デアッタ　余ハ大ニ落膽シタガ又タチマチ思返シ此上ハ山田氏カ島田氏ヲ依頼セシモノト決心シタ

▲▼273ページ▲▼　明治42(1909)年9月20日(月)

天気　雨

摘要　本日老主人九州へ旅行ス

夕辺ノ約束デ四時ジジーント目醒シ時計ガ鳴ッテ仕終トシバラクシテ、蚊帳ヲ出デ兄ヲ呼ビ起シテヤッタ。其レカラ後チドーシテモ、グッスリト寝付カレズ、ウツウツスル内夜ハ全ク明ケタ　六時起床　新聞ヲ見食事ヲ終リ今日一日遊ンデヤロート思ッタガ雨ハ降ルシ廿四日ガ休日ダカラト思ッタノデ九時半帰店シタ

帰店後直チニ砲兵工廠へ契約書ヲ取リニ行キ十二時帰店食事。シバラク帳合ヲナシ江戸堀ノ製鉄所へ行ク

夕方全ク雨モ上ガッタラシイノデ裏へ出テ奈良原様へ御禮ノ手紙ノ下書キヲナシ、七時頃昨夜遅クナッタノト今朝早カッタノトデ非常ニ眠気ヲ感ジ二階ニ上リ、其儘前後不覺ニ寝入ッテ仕舞ッタ

▲▼274ページ▲▼　明治42(1909)年9月21日(火)

天気　晴

三日ノ間降リ續イタ雨モ名残無ク晴レテ涼風心地ヨク袖ヲ拂ヒスミキッタ空ハ如何ニモ秋ラシイ好イ御彼岸ノ入　四天王寺ノ防サン等ハ勿論御参イリスル善男善女サテハ小商人ニ至ル迄大喜ビデアロー。余ハ晝食後砲兵工廠へ注文票ヲ取リニ行ッタ

夜ハ昨日ノ手紙ヲ清書シ投函ス。後チ本ヲ讀ム

十一時就寝。一時若主人帰店セラル

発信　奈良原三次様

▲▼275ページ▲▼　明治42(1909)年9月22日(水)

天気　晴

今朝お作サンガ中島ハンノ手紙ヲ持テ來ラレタ　早速拜見スルト明後日ノ休日ヲ幸イ遠足ハ如何トノ事ダ　余ハ今度ハ金ノ都合モアルシ且ツ飛行玩具ヲ造リタイノデ何處へモ行カナイ心計リデアッタガ、コー透(ママ)ワレルト何モ行キタイ　殊ニ此頃ノ様ニ頭ガ重クロシク何ニモカモ一寸モ勉強出來ナイシ一ソ行コーカシラ、ワラジガケダカラ少々エライ事ハエライガ山崎カラ天王山ニ登リ淀ヲ眼下ニ見下シ山紫水明ノ間ヲ跋渉スルト云フノダカラ面白カロー。‥‥　コー思フトモタマラナクナッテ三時頃製銅場へ行キ中島ハンニ御供スル由ヲ答へスグ宅へ帰リ着物ヤ金子ノ準備ヲナシ七時頃帰店シタ

▲▼276ページ▲▼　明治42(1909)年9月23日(木)

天気　晴

午前五時起床　一通リ事務ヲ終リ九時頃ヨリ大阪鉄工所へ金ヲ取リニ行ッタガ所主不在ノ爲メ貰ラヘズ帰途川口ノ郵船会社へ寄リ製鉄所ノ浪板ヲ見セテ呉レト申込ムト此前ノ辨賞（ママ）問題ノ事カラシテ見セテ呉レナイ。殊ニ製鉄所ノ通知サヘアレバ見セルト益々シヤクニサワル云ヒ草ダガ仕方ガナイ　怒ルダケ怒コッテ居イテ其レカラ商船山蔭組へ行キ森久ノ謝金ヲ請求スルト先キノ取扱店ノ承認書ガ來ナケレバ拂ウ事ハ出來ナイガ兎ニ角商船会社迠來テ呉レト云フノデ会社へ行キ課長ニ面會シテ結局明日ハ休ミノ事ダカラ明後日取替へテッテ持ッテ行クト云フノデ帰店シタ。夕方少々空模様ガ悪クナッテ來タノデ明日ノ天気ヲ気ニシタガ、シバラクシテ稍ヤ安心スルニタルベキ青空ヲ見トメル事ガ出來タ

▲▼277ページ▲▼　明治42（1909）年9月24日（金）

天気　雨

摘要　午後六時主人九州ヨリ帰坂セラル

「音吉トンヽヽ」、「アヽー」ト不圖目ヲ醒スト、半蔵ガ「雨ダッセ」！「エヽッ」？　余ハ全ク醒サレテシマッタ。ホンニザザート雨モ雨モ大雨ダ。実ニガッカリシタ　然シマダ夜ノ二時ト云フカラ其内ニハ上ルカモ知レナイト頼無イ事ヲ頼リニウツラヽヽスル内三時過ギトモナッタ時二階カラ岡本初塚両ガ下リテ來テボチヽヽ彼レ等ハ出發ノ仕度シ仕出シタ雨ハ上ガッテ居ルラシイ。其内彼レ等ハ出タ　四時頃余モ起キタ　洗面ヲ終リ充分用意ヲ調へ五時中島君ヲ見ニ行ッタ。此頃ノ五時ハマダ眞暗ダ。空ヲ見ルトドーモ安心ナラヌ。サテ中島ハンノ表へ來ルト五時頃ニハ長堀橋デ待合スト云フノニ之レハ又アンマリナ。火モ燈ッテ居ラナイ　余ハ起スノモ罪ナト通リ返シ、シバラクシテ再ビ通ッテ見タガマダ何ンノ事モナイ　然ルニ又又ポロヽヽシテ來タノデ之レハモーダメダト、ドードーアキラメテ帰ヘッタ　辨当ハ六時頃店デムシヤリヽヽヽ方付ケ後終日面白クモナク小説ナドヲ讀ンダ　アヽ無情ナ雨、不ラチナ雨、多恨ナ雨

▲▼278ページ▲▼　明治42（1909）年9月25日（土）

天気　晴

午前五時起床　例ノ通リ終リテ新聞ヲ見ル

九時頃ヨリ一昨日取リ損ノータ鉄工所ノ金ヲ貰ヒニ行ッタ。スグ呉レヽバヨイガト思ヒナガラ行クト案ジルヨリ生ムガ安シ　一時間ト半程モ待タサレタガ金ハ呉レタ　處ガ代金ガ少々違フノデ請求書否鉄工所ノ領収書ヲ借リパチヽトヤッテ見ルト成ル程五十円程多過ギルデ何心ナク其儘貰ラッテ帰ヘッタ。然ルニ大変余ハカンヽヽ目デ金ヲ貰ラッテ來タガ和目デ賣ッテアルトノ事　早速電話ヲ鉄工所ノ会計課へ懸ケテ見タガ懸ラナイデ直グ又行ク事ニナッタ。小旦那ニ聞クト約定ノ際モタシカニ和目ト云フ事ハ云ッテ

アルシ殊ニ請求書ヲ提出スル際ニハ調度主任ノ西野ト云フ人ガ算盤ヲアタッテ呉レタト
ノ事ダカラ其レナラ大丈夫トニ時頃鉄工所へ付イタ　早速会計へ行キ談判ヲヤルト其
レハ此方デ勝手ニ直シタノデハナイ　スベテ傳票ノ通リニヤッタ、ダケダト云フノデ今度ハ
調度へ行ッタガ西野君ガ居ナイノデ一向訳ガ分ラズ、兎ニ角計算ノ間違ダカラ計算課
へ行ッテ聞イタラ分カルト云フノデ今度ハ計算課ニ就イテ聞イテ見ルト、成ル程和目ト
カン〻目トノ違イト云フ事ダケハ分カッテ呉レタ　然シ計算課デハ桜島ノ倉庫カラノ報
告ノ通リシタノデ目方ノ處ハ倉庫ニ就イテ調ッタ上相當ノ手續ヲ踏ンデコイト云フ。ア
マリノ事ニ「ソレデハ倉庫カラ目方ノ報告ガアッタモノヲ勝手ニカン〻目ニ勘定セラレタ
ノカ或ハ倉庫デ勘定ヲシテ來タノカ」ト尋ネルト倉庫カラハ全体ノ金額ダケヲ知ラシテ
來タ　ソレ故同金額ノ通リ支拂票ヲ作ッタトノ事デ余ハ又ソレデハ当方ヨリ提出シタ請
求金高ト違ウ筈タガ何ニ故一應ノ調ラベモセズ傳票ヲ作ツタノカトヤルト「当所デハス
べテ当倉庫ノ方ヲ正等(ママ)ト認メテ支拂フノダト云フ　ソレデ八萬一此金高ハ此賣分
ノ方カラ御支拂ノ金額ガ当方ノ請求高ヨリ多イ時ニハヤハリ其マヽ御拂ヒニナリマスカ。
ヤハリ一應倉庫へ御問ヒ合セナサルデショー」ト一本ヤッタガ向フモ中々ヒルマナイ　ツヒ
ニ、兎ニ角今此處デカレコレ云ワレテモ仕方ガナイカラ坪島へ行ッテ話シヲシテ呉レ　而シ
テ支拂シテヨイモノナラ追加傳票ヲ廻シテ貰ワン事ニハ此處デ勝手ナ取扱ハ出來ナイト、
コー云ワレテハ仕方ガナイ　遂ヒニ桜島分工場へ電話デ照會シタガ要諒ヲ得ナイノデ出
懸テ行キ課長ノ丸山君ト云ノニ面會シテ種々問答シタ結果今ニ帰ラレナイト云ノデ止
ム得ズ四時頃迠待ッタ處へ平野君ト云フノガ帰ヘッテ來ラレタノデ直グ此人ニ証明ノ事
ヲ頼ンデ見ルト、アニハカランヤ、ソンナ約定ハナイハヅダ　当初ハ商館デモ皆カン〻目ダ
カラ、ソンナ証明ハ出來ナイト一言ノ下ニ見事ハネツケラレタガ何ニクソト、ソレナラ手
前ノ方ガ今日迠納メテ來タ分ハドーナルノデスガ　平板浪板錫鉛ナンデモコトゴトク和
目ニナッテ居マス　又商館トハドンナ御取引カハ手前方ニハ訳リマセヌガ私方ハ商館デハア
リマセント一本参イルト、然シ五十枚ヤ百枚ハ和目デ買ッタガ今度ノハ殊ニ数ガ沢山ダ
カラト、皆マデ云ワセズ余ハ数ガ多イカラ商館並ニナサルノデスカ?・ダカラ此ノ様ナ事
モト思ッテ御約定ノ時ニ特クニ和目ト云事ヲ申上約定書ニマデ「毎和百ケニ付」ト替へヲ
入レタガ貴方デ毎和ナドヽ入レナクテモソレニキマッテ居ルノダカラ、ソンナ事ハ書カナイ
デモヨイ、ト仰ニナッタ事マデ承知シテ居マストヤリコメルト、ソレデハ西野ガ不在デスカ
ラ漸(ママ)時待ッテ居テ下サイト云ノデ、ソレカラ待ッテモ待テモ帰ヘッテ來ナイ　其内
五時モ過ギ六時トナッタ　此時漸ヤク西野君ガ帰ヘッテ來タ　デ先ヅ平野君ノ□□ガ
アッテ談判トナッタガ中々剛情ダ　遂ヒニ約定シタノハ御内ノ御主人ダカラ其人ニ御話
ヲシマショートヌカスデ余モ腹ガ立ッタカラ、ソレデハ而シマショー　シカシ西野サン□□
手前ノ方ノ主人ガ請求書ヲ出ス時御合ヒ算ヲナサッテ和目ト云フ事ヲタシカニ御認メ
ニナリマシタデハアリマセンカト云フト、ソレハタヾ値段ヲ見タダケデストノ事。モー之レ
迠デト余モアキラメソレデハ主人ニ來テ貰フ事ニシマショート云ッテ帰途ニ就イガ、モー
巡航船モ返ラナイノデ渡ヲ渡リ其後チハテクヽト大急ギニ帰店シタ　時正ニ七時二十

分
本日給料ヲ貰ツッタ處ガ其時一昨日余ガ店ノメモーデ小銀貨ガ余リ多イノデ四五本巻イタソレヲ見セテ之レハ御前ガシタノガ実ニ不親切ナシ仕方ダ　主人ノモノダカラト思ツテコンナヨイ紙デ銭ヲ巻クトハ何ンダ　奇麗ナ顔ヲシテ居テモ御前ノ心ハチヤント分カッテ仕舞ッタ　以後気ヲ付ケロー　大目玉ヲ頂戴シタ。シカシ余ハヘイヽヽトハ云ッタモノヽ何ントモ思ハナカッタ。ソレハ小銀貨ガ沢山ゴジヤゴジヤト弗函ニアフレテ居タノデ御作サンガ讀ムニシテモ誰レニシテモ勘定ガシニクイト思ッタカラ手近ニアッタメモーデ以テ巻イテ居タノダカラ余デハ返ヘテ宜イ事ヲシタト思テ居ル位ダカラ一向平気ノモノデアッタ

▲▼279ページ▲▼　明治42(1909)年9月26日(日)

天気　晴
フト夢破レデ目ヲ醒スト、ジヤーヽヽト大変ナ雨　時間ヲ見ルトマダ大分早イノデ又一寝入シ、再ビ起キタ時ハ丁度五時。雨ハマダヤマナイ　然シ七時頃ニ漸ヤク上ガッテ後ハ、ヌグータヨーナ好天気　以上廿七日ノ記事
朝小旦那ニ鉄工所ヘ~~行カレタ。西野ハヤット承知シタガマダ呉レル處マデ~~ノ返事ヲ復命シヌ　四時終業　夕食後活動寫眞ヘ行ク　同行者坂口、藤田、河野、大谷、諸氏　九時頃帰店。帰途十全向ニ今度出來タ文具陳列所デ七十五銭デ繪ノ具一函購ッタ
帰店後、ジヤイロスコープノ製圖ヲナシテ後就寝

▲▼280ページ▲▼　明治42(1909)年9月27日(月)

天気　晴
午前中ノ記事ハ昨日ノ處ニアリ
夜判取引合セヲナス
「ジヤイロスコープ」材料トシテ眞中板ヲ現金部ニテ買入ル　十銭

▲▼281ページ▲▼　明治42(1909)年9月28日(火)

天気　晴
午前九時頃ヨリ鉄工所ヘ先日ノ間違分ノ手数ヲシテ貰ヒニ行キ帰途ブラヽヽ歩ンデ帰ッタ　途次思ヘラク近頃ノ余ハ全ク何ニカシテ居ルカ？　実ニ吾レナガラ譯ガ分カラナイ晝ノ間ハ勉強シナケレバヽヽト思ヒナカラ夜ニナルト何ニ事モ出來ナイ　アヽ情ケナイモノダ　如何ニシテ此タイダノ渕カラ、ノガレル事ガ得ルダローカ。ソレハタヾ吾意志ノ今ダ薄弱ナルガ故、今少シ強固ニシカモ自信強クスベシトハ之レイツモヽヽ気ノ付イテ居ル

處ダ。ソレニ出來ナイトハ甚ダ不都合デハナイガ意志ノ向ク處実行之レニハ供（ママ）ナハナケレバナラナイ筈ダ。其レ位ハヨク心得テ居ルノダガ何故ダロー。アヽ全ク外園ノ遊ダニ打負ケタカラダ。ソーソ之レニ打勝テバヨイダ　然リ打勝テバ好イノダ。ガサテ如何ニシテ打勝ツベキカ。答フルニタヾ克己ノ二字アルノミダ。サレド今日迠ノ例ニ依ルニ此克己モ一月カ長クテ二月ト保ツタ事ガナイデハナイカ。サリトテ又今日此克己ト云フ事ヲ度外ニ付スル事ハ出來ナイ。サレバ如何ナル外園ノ誘ワクニモ今日以後ハ身ヲ貸スナドハ決シテナスベカラズダト此處迠デ気ガ附クト急ニ身ガシヤントシタ様ニ感ジタ。其レカラ市役所へ請求書ヲ提出シ帰店ス　後チ、タヾチニ師團経理部へ先日見積タ浪板ノ返事ヲ聞キ行ツタガ、マダ分カラナイ　今一度此方カラ十六師へ請求シテ見テヤロート親切ニ云ッテ呉レタ

夜明日ノ請求書ヲ書出シ後心斎橋筋へ繪ノ具ヲ買ヒニ行キ帰途明笛ヲ一本張リ込ンダ　六十銭ト云フノデ五十銭ニ値切ルトスグ負ケテ呉レタノデコンナノナラ、モット安ク値ヲ付ケテヤレバヨカッタニト思ッタ。時九時　直ニ就寝

▲▼282ページ▲▼　明治42（1909）年9月29日（水）

天気　雨

朝カラドンヨリ曇モッテ居タガ二時頃ニ、イヨ〳〵降リ出シタ　之レデ今年ノ月観モ、マン丸丸ツブレトナッタ　夜勉強ショート思ッタガ、今日ハ仲秋ノ十五夜イワク、キッパリ來月カラヤロート又例ノヅボラガ出テ一寸本ヲ讀ミ後明笛ヲヤッテ見タガ、一寸モ鳴ラナイ。仕終ニハ、イヤニナッテ竹外詩集ヲ取出シ、「露滴空階松有影、泥金盞山與君斟、客楼無月益無伴、可説去年今夜心」トヤッテ見タガ、イカニモ今夜ニヨク似タ日デアッタノダロー　何ンダカ淋シイ詩ダ　雨ハヤヽ小降ニナッタカ、ハゲシイ雨垂ノ音ハ絶テ、裏ノ土丹屋根ニサラヽヽカスカニ聞コヘタ

▲▼283ページ▲▼　明治42（1909）年9月30日（木）

天気　雨

摘要　後晴レ

朝來ノドシヤブリイツ止ムトモ見エナカッタガタ方カラハ又ガラリト晴レテ夜ハ十六夜ノ月光々ト照リカヾヤキ、ニワカニ観月ニ乗出ス人モ多カッタ

今朝少々マヅイ事ガアッテ主人ニ大目玉ヲ頂戴シタ

夜八時迠夜業後竹外ノ詩ヤ明笛ニテ過シタ

▲▼285ページ▲▼　明治42（1909）年10月1日（金）

天気　晴

今日ハ一日急ガシカッタ外別ニ何事モナカッタ　夜出入ガ廿円不足シタノデ六時過ギ迠懸カヽッタガ、ソレデモ明日カラハ最（ママ）非共袷ヲ着ナケレバナラナイノデ宅ヘ帰ヘッタ　西ノ姉ガ來テ居タ。父モ居タガシバラクスルト何處カ出テ行ッタ。姉ハ明日箕面カ、須磨あたりヘデモ行クノダトテ辨当ゴシラヘヤ髪ヲ結ヒ直シタリシテ居タ。姉ハ御金ヲ遣ッテハナラヌト云ッタ。其レハ別ニ何日ニ変ワッタ事モナカッタガ父ニ大分叱ラレタトノ事　実ニ気ノ毒ノ至リダ、ト思フト余ノ心ハ、タチマチ変ニナッテ來タ　ア、余ハ空中飛行家タラン事ヲ稀（ママ）望シテ居ルガ、之レハモト如何ナル處カラ起コッタノカ　昨年ノ今月姉ガ眞ノ姉デナイト云フ事ヲ聞イテイツ迠モ小遣ヲネダルハ心苦シイ　ソレガ爲メ自活シタイトノ考ガ高ジテ遂ニ飛行家トナランカ　キケンハキケンダガ将來益々有望ナリ　~~余ヲ~~父ノ拝金主義ニ対シテモ然々返（ママ）対ト云フベキモノデモナイノデ斯ク決心シタノダガ、ヨク〳〵考ヘルト実ニ又馬鹿気テ居ル。ソレハ月々姉カラ貰フ金ハ実ニ五円ヲ下ラナイ　ソースルト十月ニ五十円　ア、五十円　実ニ大金ダ。然シソレモ何ンノ爲メニソレダケノ銭ヲ遣フノカ　之レ飛行家タラン爲トハ云ヒナガラ、実際飛行家トナル準備トシテハ、ソレダケノ三分ノ一モ否十分ノ一位イダ。然ラハ他ハ皆、アイマイニ使用シタモノニ相違ナイノダガ勿論ソレハ本モ今春以來大分数多讀ンダ　利益モ又少ナクナカッタガ、ヒルガヘッテ考ヘルト飛行家ト云フノモ又一ノ空想トモ云ヒ得ベク実際成功シ得ルヤ否ヤ誠ニアヤシイモノダ。然シ店ニ辛棒（ママ）スルトシテ、大ニ勉強スレバ昨春ノ様ニ面白味クアリ幸福デモアリ竹島様喜ンデ下サレバ父ヤ姉ヤ兄モ又喜ンデ呉レル。アーソーダ今マデハ實ニ空中ノ接客ヲ夢ミテ居タノダト気ガ付イテ明日カラハ大ニ勉強ショー。仕末モショー。ソシテ發明事ヤ畫ナド夜間又ハ休日ノ楽ミニスルハ返ヘテ趣味多ク愉快ニ相違ナイノダト前ニ一道ノ光明ヲ、ミトメ得テ、生レ変ッタ様ナ心持ニナッテ八時半宅ヲ出デ数サント連レ立チ、サエ渡ル十七夜ノ月ヲアビテ九時過ギ無事帰店。久シブリニ安ラカナ夢ニ入ッタ

▲▼286ページ▲▼　明治42（1909）年10月2日（土）

天気　晴

目ヲ醒シタノガ五時少シ前　起キルニモ余リ早シト思ッタノデ電燈ヲ點ジシバシ新聞ヲ眺メ後起床　例ノ通リ掃除ヲ終ル　今日モ急ガシイヅメデアッタ　午後余マリ、バタヽトシテ気ガ妙ニナッタノデ一寸用事アルノヲ幸イ製銅場カラ吹岩ヘ行キ三時頃帰店　引合セ帳合等ヲ終リ出入リヲナスニ、ドード昨日ノ廿円ガ分カッタ　ソレハ一昨夜中常末ニ貸シタノデ河野君ガ傳票ヲ、ワスレタノダッタ　夜物價表後チ数學講義録ヲ整理ス

▲▼287ページ▲▼　明治42（1909）年10月3日（日）

天気　曇
日中ハ例ニ依ッテ月表ノ方ニ急シク其間ニハ又集金ノ事ナドスルノデ用事ハ思様ニ行カナカッタ　夜太陽ガ來タノデ十一時就寝迠讀ミツヽケタ

▲▼288ページ▲▼　明治42(1909)年10月4日(月)

天気　晴
本日モ昨ニ大差ナシ

▲▼289ページ▲▼　明治42(1909)年10月5日(火)

天気　曇
今日ハ母ノ命日デアル　空ハドンヨリトシテ降ラズ陰気ナ日デアッタ　朝ハ例刻起床　裏ニ出テ虫ノ音ヲ聞キツヽ漸(ママ)時四年前ノ感慨ニ打タレ現在ヲワスレテ居タ
九時過ギ若主人ノ命デ大阪倉庫ニテ輪銭ノ証券ヲ作製シ之レヲ担保トシテ壱萬八千円ノ約手ヲ鴻池ニテ割引ヲ受ケタ　處ガ日歩一銭四厘ノ内一厘ハ主人ヘ手数料トシテ貰フノデ之レヲ主人ノ小口当坐ヲ付ケテ貰ッタガ其通ヒヲ持テ帰ルノヲコロット忙レテシマヒ、帰店シテ初メテ気ガ付キ直チニ半蔵ニ取リニヤリ井上君ニ事情ヲ話シ余ハ倉庫階上ニテ本ヲ讀ミナガラ待ッテ居タ。シバラクスルト井上君ガ半蔵ガ帰ヘッテ來タト知ラシテ呉レタノデ下リテ、クルト主人ニ渡シテシマッタトハ実ニ「ウツケ」者　折格ノ「コンタン」モ水ノ「アワ」トナッテ仕舞ッタ。井上君ハ非常ニ恐カッテ居ラレタガ余ハ又主人ノ恐リヲ思ヒ叱責スル勇気モ出ナカッタ　後ニ又考ヘテ見ルト元々自分ノ不注意カラ生シタ事ダカラ余ニハ又叱責スルダケノ権利モナイノデアッタ。夕方主人ニ一寸、詫ビテ居イタ。別ニ気ニモトメテ居ラレナイラシイ
夜母ノ面影ヲ寫シテ見タガ少シモ思様ニ行カナイノデ後チハ繪画講義録ヲ合本ニスベク整理シタ　正ニ十一時二十分過ギテ居タノデ直チニ寝ニ付ク
今日鴻池デ勧業債券十円券賣出シガ出テ居タノデ銭ガアレバタトヒ一枚デモ欲イト思ッタガ最(ママ)非モナケレバ、茲ニ於テカ、シミヾヽ仕末ヲシナケレバナラナイト感ジタ。帰途堺筋ヲ平野町一寸南ヘ來ルト西側ニ勧業債券五ヶ月月賦賣出シト云フノガ出テ居タ　余ハ十七日ノ京都行ヲ、ヤメテ之レヲ買フカト色々考ヘナガラマダ〆切迠ハ時日ノアル事ダカラト其間ニ熟考スル事ニシタ

▲▼290ページ▲▼　明治42(1909)年10月6日(水)

天気　晴
今日裏カラスデニ商品有賣表ガ出來テ來タガ此方ハマダ月表ガ合ハナイ　三千円余モ

貸方ガ多クナルノダ　之レハ一番閉口シタガドー調ベテモ分カラナイ　其棚下表ニ代盛ガ出來タ　十二万九千二百八十何円トカダ。即チ千三百円ヲバラシテ（ゴマカス事）仕舞ト一千円ノ損トナリ、資、負産何レニカデ出テ來レバ即チ二十円ノ利益トナルノダ。處ガ一搬ノ評ハドーシテモ五百円ノ利益ハタシカダト云フノデ再ビ調ベタガ分ラナイ。トードー夜業迠シテ明日ニスル事ニシタ。

御晝頃カラ御腹ガ痛イト云フテ居タ巳ノ吉君ガ九時頃、ニワカニ脱腸ト大変ナ病気ニナッテ大阪病院ヘ入院スルヤラ十時頃カラ井上、阪口ノ両君ガ、患（ママ）護ノ爲メニ行クヤラ大サワギ　余ハ十一時頃床ニ就キ、ウツヽシタカト思フト、ドンドン表戸ヲ、タヽキ出シタ　早速開ケテヤルト大谷ガ、フトンヲ取リニ帰ヘテ來タノダ　時正ニ十二時　不圖路ニ出ルト堺筋ノ角ノ家ノ屋根ニ二十日許リノ半月ガサビシソーニ懸カッテ居ル。ア丶今朝迠何事モナク立働イテ居タ藤田君ガ今ハ今夜中ニ手術ヲシナケレバ命ガ無イトノ事。ソヾロ人生無情ノ感 ナキヰ無ナカラントシテ無キヲ得スデアッタ　一時再ビ就寝

▲▼291ページ▲▼　明治42（1909）年10月7日（木）

天気　晴

今日モ十一日午前五時過ギ起床　例ノ通リ掃除新聞等一通リ済ムト直グ月表ニ取リカヽッタガ一向三千円ト云フノガ分カラナイ　其内九時頃竹島ヘ行ク用事ガ出來タノデ電車デ一走リ用事ヲ済シ一寸宅ヘ寄リ、アマリ寒イノデ、襦袢ヲ一枚重ネ帰店焼芋四五銭ガトコ、コロリトヤッテ帰店　又々調ベテ見タガ、カイモク。其内ソロヽヽ夕方ニナッタガ益々ワカラナイノデ遂ヒニ初メカラスッカリヤリ直ス事ニシ八号ヲ書キ出し夜合計ヲヤッテ見ルト、コワソモ合フタモヽヽヽ邉二五円何シカ違ワナイ　其時ノ喜シサ。シカモ二千円ノ純益。中山君モ明日鉄道ノ入札モ大ニヤリバエガアルト云ッテ居ラレタ。後ニ間違ノ個所ヲ調ベルト何ンノ事ナイ　岡本君ガ書キ出シタ金銀勘定ノ間違ダ。余ハ大ニ天狗。先生ハ、イヤ今日ハモー頭ガ上リマセヌヘイ、ヽ

▲▼292ページ▲▼　明治42（1909）年10月8日（金）

天気　晴

今朝主人ニ月表ヲ見セタ。之レデヤット気ガ楽ニナッタ　若主人ハ今夜行ニテ東京ヘ行カレタ。ソレデ店ヘハ老主人ガ留都（ママ）ニ來ラレル事ニナッタ

▲▼293ページ▲▼　明治42（1909）年10月9日（土）

天気　晴

岡本君ト河野君ハ今日老主人其他以上コトヾヘクト三日市ヘタケガリニ御供ヲシタ　余ハ一ツ岡本君ヲ驚シテヤロートト大速力デ商品ノ記帳ヲ終リ岡本君ノ帳簿ヲ記載シ引合セマデシテ居イテヤッタ　夜手代室デ太陽ヲ讀ンデ居タガ非常ニ眠気ヲモヨオスノデツヒウツヽヽトシタ。八時過ギドヤヽヽト皆這入テ來タノニ目ヲ醒シ自分ノ寝床ヘ帰ッテ又本ヲ讀ミ出シタ　此度ハ一寸モ眠ラレナイ　其内トードー一時ニナッタ。主人ガ出テ來テ火ノ廻リニ行カレルノデ余モ一所ニグルヽヽ見廻リヲシテ再ビ床ニ入リ火ヲ消シタガドーモ寝付カレナイノデ又々電燈ヲ點シ本ヲ讀ミ二時遂ニ就寝

発信　藤田已ノ助君　病気見舞

▲▼294ページ▲▼　明治42(1909)年10月10日(日)

天気　雨

日中ハ久々ノ雨ナリ　殊ニ日曜ト云フノデ暇ナ事此上ナシデアッタ　夜同業者諸氏ニ撤ストト云フ題ノ下ニ一寸シタ論文的ノモノヲ書イテ居タ　丁度八時頃今日ノ夜廻リノモノガ二人共居ラナイノデ余ハ玉吉ヲツレテ雨ノ中ヲ火ノ用心ヲ見、再ビ筆ヲ取ッタ時、井上君ガ稍々酒気ヲ帯ビテ帰ヘッテ來ラレタ。而シテ今一升ヤッテ來タノダガ、何處ヘ這入ッタノダロー　我ナガラ不思議ナ位ダ　然シマダヽヽ大丈夫　之レ此ノ通リダト顔ヲナデテ余ノ前ニ、ツキ出シタ。ナル程一升モ喰ンダニシテハ実ニ、タシカナモノダ　然シ余ノ面前デ酒ノ自慢ハチト御免コームリタカッタ　十時頃漸ク筆ヲ終リタヾチニ就寝

発信　小原小弥太君　藤田ノ病気知セ

▲▼295ページ▲▼　明治42(1909)年10月11日(月)

天気　雨

午前八時過ギ老主人ノ命デ山口、鴻池ヘ輸銀株ノ申込証ヲ取ッテ行キ序ニ古イ電株ヲ持ッテ行ッテ新ラシイノヲ二三個買ッテ帰ル筈デアッタガ古イノハ會社ヘ直接持ッテ行ッテモ一個□ニ二厘位ニシカ買ッテ呉レズ殊ニ千個以上デナケレバアカナイ。然シ此中ニ紙ヲ張ッタノガ三個アリマスカラ之レヲ會社ヘ御持ニナッタラ新イノト換ヘテ呉レマスト親切ニ教ヘテ呉レタノデ、御礼ノツモリデ新イノヲ三個買ヒ雨ノ降ル中ヲ又持ツテ帰ルノモイヤダノデ古イノヲヤッテ帰ヘッタ　主人ハソンナ事ヲセイデモト何ニヤツブヤイテ居タ

夜昨夜ノ作文ヲ金属界ニ清書シテ居イタ

受信　藤井甚松様

▲▼296ページ▲▼　明治42(1909)年10月12日(火)

天気　曇
午前五時起床　掃除ヲ終リ新聞ヲ讀ミ七時前就業　八時頃又老主人ガ大村へ御佛前ヲ持ッテ行ッテ呉レト、仕様モナイ用事ヲ云ヒ付ケタ　余ハ少々腹立シク思ッタガ、仕方ナケレバスナヲニ行ッタ　序ニ製鉄所ノ浪板ヲ引取ルニ付山口ニテ日本銀行渡ノ手形ヲ受取リ倉庫ニテ手数ヲナシ江戸堀ノ製鉄所ニテ出切手ヲ貰ヒ十二時帰店ス。老主人ハ又余ヲトラヘテ製銅場ノ銀行ノ通ヲ何故早ク帰ヘシテヤラナイノダト小言ヲ云フガ別ニ余ガ預カッタト云フデハナシ　何時ノ間ニカ店へ來テ居タノダ　ソレガ序ガアッタラ事傳テ呉レトハ聞イタガ別ニ余一人デモナイノダ　馬鹿々々シイトハ思ッタガ、別ニ云訳ケモシナカッタ。食後余ハ鉄工所へ行クトテ店ヲ出デ一寸用事ヲ済シ宅へ帰リ金二円貰ヒ三時過ギ帰店　ソレヨリ帳合ヲナシ五時終業。六時ヨリ河野君ト大阪病院へ藤田君ヲ見舞ニ行ッタ　中々元気デアッタ　アノ分ナラ今少シスレハ出ラレルダロー。帰店後之レヲ記ス

▲▼297ページ▲▼　明治42(1909)年10月13日(水)

天気　晴
今日ハ別ニ変ワッタ事モ無カッタ　夜ハ坊サンヘ返事ノ爲メ繪葉書ヲ畫イタ。ガ大分長ラクヤラナカッタ故カドーモ思様ニ行カナカッタ。ソレレ(ママ)デモ漸ク松茸ニ紅葉ノ折枝ト云フ一寸スイナ時好モノヲ畫イテソレニ十七日ニハ畫ノ様ナ風ノモノヲ、カタニスルヨーナ面白イ旅行ヲヤッテ見ルツモリダナノド丶一寸気焔ヲハイテ居イタ
後ハ正吉トンニ思出ノ記ト云フ新小説ヲ讀ンダ　中々面白イノデ十二時頃迠寝イ目ヲコスリナガラヤッタ

▲▼298ページ▲▼　明治42(1909)年10月14日(木)

天気　晴
今朝目ヲ醒ストガチヤリト音シテバサリト新聞ヲ投ゲ込ンデ行ッタ　早速一通リ目ヲ通シテ其レカラ床ヲ出タ
今日ハ手ガ少クナイノデ余自身ニ書出シクバリニ出懸ケタ　御蔭デナヲリカケタ「インキン」ガ又コソバクナッテ來タ
夜ハ思出ノ記ヲ讀ンデ、オソク寝タ
発信　藤井甚松様　先日ノ返事

▲▼299ページ▲▼　明治42(1909)年10月15日(金)

天気　晴

今日非常ニ多忙ナ日デアッタ　天王寺公園ノ開園日デアル余ハ昨日ノ通リ又掛取リニ廻リ林音デ半田ノ事カラ大口論ヤリ結極向ガ馬鹿ノ連發ヲヤリ出シタ　余モ馬鹿ト罵ラレテハ中々承知シナイ。シナイト云ッテモ一気ハ上セテ居ル　六クニ口モ聞ケナイ云フ事ガ皆ホグレルノデ残念ナガラ遂ニ賣ッタ品物ノ代ガ取リ渡サヌト云フナラ、取ラナイデヲクモノカ、取ル様ニシテ取ルカラ、ト戸ヲケドバシテ表ヘ飛ビ出シテ、ヤカデ肥後橋ヲ南ヘ渡リ町ニソーテ西ヘ下ッタ時川向ニ火事ニ焼ケ出サレテ、小サナ濾側ノ小屋ノ様ナ家ニ反営業ヲシテ居ル林音サンヲミナガラ、アノ時ハ、アー云ッテヤッタラヨカッタニ。アノ時ハ又コー云ッテヤッタラ、グノ音モ出ナカッタダローニナド愚ニモ付カヌ後ノ祭リヲヤリナガラ又順次巡グッテ二時頃帰店。ソレカラ又ソレヽ金ノ入ヤラ帳合ヤラ何ニカトスル内日ガ暮レテ五時モ過ギタノデ余ハ、明後日休日ノ用意ニト宅ヘ帰ッタ父ハ例ノ、全(ママ)息ガ昨日カラ起コッテ居ルトテ寝テ居タ。シカシソレデモ余ガ一サント碁ヲ圍ンデ居ル時ハワザヽヾ出テ來テ(勿論御善ヲタベニ出タ序ダガ)仕舞迠見テ居テ余ガ勝ッタノデ、ヤヽ「ホコリ」ノ様ナ善イヨーナ目デ人々ヲ見廻シタ(此時西ノ姉モ兄モ來テ居タ。然シ大姉ハ留都(ママ)デアッタ　余ノ目的ハ少々違ガッタガ、ツトメテ平気ニ銭ノゼノ字モ云ワズニ帰ヘッタ)。大姉ハト聞クト徳チヤント北ヘ行ッタトノ事　兄ハ又アンナモノヲ連レテ行クト顔ヲシカメタ　八時十五分一サント連レ立チテ帰路ニツイタ

▲▼300ページ▲▼　明治42(1909)年10月16日(土)

天気　晴

四時頃カラ目ハマジヽヽト醒メテ一向寝ラレナイ　此頃ハヨク、コンナ事ガアルガ何故ダローナトヾ思フ内新聞ガ這入ッタ。其レヲ讀ンデ、「フトン」ヲケッテ起キタ　正ニ五時。今日ハ明日ハ休日ダガ裏ガ急ガシイノデ休マレヌカモシレヌト云フノデ帳場カラ井上君ト河野君ト余ト手傳ニ行ッタ久シブリニ荷造ヲドシドシ、ヤッタノデ、ツカレタ事煩シイ。コンナ事デ明日歩ルケルカシラント思ッタ　用事ハ七時頃仕舞ッタ。河野君ハトテモ明日ハ走歩ルカレナイトテ池田方面旅行ハヤメタ。余ハ中島ハンヘ行キ明日ノ打合セヲシタ。コレモ夜ノ事ダガ、思ヒガケナク彼ノ徳チヤンノ弟ノ喜三郎君トカ云フノカラ電話デ地(ママ)候ノ挨拶ヲ云ッテ來タ　実ニ意外デアッタ

▲▼301ページ▲▼　明治42(1909)年10月17日(日)

天気　晴

今日の日記ハ紀行文ヲ作ル思惑ノ處余リ長ク捨テテ居イタノデ左ニ其翌日ヨリ藤井甚松氏ヘ自筆ノ繪葉書ニ書ヒテ通信シタ　其レヲ書イテ居ク事ニスル(四十三年二月十六日記)

▲▼302ページ▲▼　明治42(1909)年10月18日(月)

天気　晴

摘要　今朝九時若主人東京ヨリ帰ヘラル

昨日ノクタビレデ大分起キルノガオソ~~クナ~~カッタ。後チ御作サンニ聞クト中島ハンハ非常ニ足ヲ痛メテ今朝ハチンバヲ引イテ居~~タ~~ラレタソーダ　ソースルト僕ハマダ強カッタノカ

九時頃市役所ヘ用事ニモ行ッタ

然シ晝頃ノ眠ブタカッタニハ一番閉口シタガ、ヤットコラヘタ

夜藤井ノ坊サンヘ繪葉書ノ返事ニ昨日ノ旅行畫報ヲヤル思計デ絹張リノ台紙ヲ張込ミ四枚ボト畫イタ　後チ少時思出ノ記ヲ讀ンダ

一昨日一寸風ヲ引イタノガ例ノ痰セキニナッタラシイノテ、粟水飴ヲ買ヒチビヽヾヤッタ

受信　藤井甚松様　繪葉書

▲▼303ページ▲▼　明治42(1909)年10月19日(火)

天気　雨

今朝モ余リ早クナカッタ。ソノクセ目ハ四時頃カラ醒メテ居タノダガ起キタ頃ハ窓ヤヽ白クナッタ頃デ掃途(ママ)ヲ仕舞トスグ六時ガナッタ

日中ハ別ニ変ッタ事モナカッタ。只ヨワッタノハ、ナンデモ前替々々デ品物ヲ賣リヨル爲メスベテ上向キノ今日デハトテモ、コラヘラレヌノデ其ノ云ヒ訳ヲスル事デアッタ。ソレガ爲メ思ワヌ安賣モシタ

夜食事ガスムトスグ、思出ノ記ヲ讀ミ初メ九時遂ニ巻ヲ終ッタ　中々筆致ノ妙ヲ得タ處ハ、サスガ不如帰デ名ヲ得タ徳富ノ筆ダケアッテ実ニ感服ノ至リダ

発信　藤井甚松様　鼓ガ滝ノ繪葉書　昨夜畫キシモノ

受信　石垣喜三郎君　紙ノ世界雑誌

▲▼304ページ▲▼　明治42(1909)年10月20日(水)

天気　晴

別ニ記スベキ事ナシ

夜金欲シサニ帰宅シタガ、イツモ姉ノ方カラ云ッテ呉レルノニ今日ハ何ニモ云ワナイノデ、余ノ方カラ請求モナリカネ其儘帰店シタ

コレヨリ先父ノ命デ兄ト新家ヘ今日ノ葬式ノ銭ヲ貰ヒニ行ッタ　道ハ眞暗デ「トモ」スルト雨後ノ「ネチコサ」ノ中ヘツミコシソーダッタ

発信　藤井甚様

▲▼305ページ▲▼　明治42(1909)年10月21日(木)

天気　晴

午前四時半 前起床　掃途(ママ)ヲ終リ表へ出ルト明ノ星ハマダ、キラヽヽ輝イテ居タ

午後二時頃ヨリ太洋、得丸銭撰場、製銅場へト行ッタ　四時帰店　帳合ヲナシ出入ヲ終リ六時夕食。後手代室ニテ工學講義録紡績學ヲ讀ム

九時就寝

発信　藤井甚様

▲▼306ページ▲▼　明治42(1909)年10月22日(金)

天気　晴

記事無シ

夜新聞切取リ　後工學

発信　藤井甚松様

受信　藤井甚松様

▲▼307ページ▲▼　明治42(1909)年10月23日(土)

天気　晴

カチヤリ新聞ヲ投込ンデ行ッタ　余ハタヾチニ火ヲ點ジ窓白クナル迠之レヲ讀ミ後チ起床

午後三時頃ヨリ製銅場へ行ッタ　丁度ソコへ福西サンガ來ラレテ、眞中ノ亜鉛ヲ取ル方法ヲ案出シ今特許出願中ダトノ事ダカ、余ハ驚イタ。ソレハ其發明ニ驚イタノデハナク、カヽル發明ガ余リ遲イノニ驚イタノダ。余リ今迠コンナ事位ハモースデニ行ナワレテ居ル事ダト思ッテ居タカラダ

夜少時海上運送ヲ讀ミ後チ工學ヲヤリ経済ノ處ニ到リ余リ眠気ヲ催シタノデ其儘寝テ仕舞ッタ

▲▼308ページ▲▼　明治42(1909)年10月24日(日)

天気　晴

フト目ガ醒メルト、何ンダカコー、身体ノ具合ガ妙ナ、コレハ不思議ナト思フト、ソーソ昨夜着物ヲ着タ(ママ)手代室デ河野君ノ横へ寝テ仕舞ッタノダ。ト気ガツクト、タチマ

チ寒クナッタ。河野君ガ「フトン」ヲ引張ッテシマウノダ。何ンボ自分ノ方ヘヽト引イテモ、スグ又向ヘ持ッテ行ッテシマウ。窓ハマダ眞暗ダ　何ン時頃ダロート思ヒナガラモ又ウツヽシカケタガ寒イノデヨクモ寝ツカレナイ。遂ニ飛起キタ。下ヘ降リテ時計ヲ見ルトマダ三時半　夜明ケ迠マダ大分間ガアルガ、エヽコレカラ寝ルノモ、「ジヤマ」ナト　ソレカラ海上運送ヤ経済學ヤヲ讀ミナガラ夜ノ明ケルノヲ待ッタ
日中ハ何ニ変ワッタ事モナカッタ。夜四時終業ト共ニ帰宅シタ　序ニ公園ヲ一ツ見テヤロート門ヲ這入ルトスグ右ニ運働場ガアル　大勢ノ腕白ドモガ、ガヤヽヽサワイデ居タ
余ハ左ノ方ヘ途ヲ取ッテ行ッタ　直ギ眼ニツクノハ、「此内ヘ入ルベカラズ」「樹ノ枝折ルベカラズ」ト云フ立札ダ　ソレガ、ホトンド五六間位イニ立テテアルカラ、コレナラ目クラデモ見エソーダ。ソレカラ自轉車レース場ガツイソコニアル　余リ廣クハナイガ一寸設備ヲホドコシタ處ガアル　余ハ美術館ノ方ヘ行ッタ　コノ辺ハ中々一寸「コッタ」處ラシイ　池ガアリ、島ガアリ、ソレニ橋ヲ渡シ又ハ大キナ石デ飛石ノ様ニシタナドモアル　又　池畔ニ藤棚ヲ、シツラエタノハ殊ニヨカッタ。噴水モアッタガコイツ、何モペットシナイ。コチラカラ見ルト池ノ亀デモガ「エ」ヲ競ソーテ居ル様デタヾブクヽヽト水面ニ、粟ガ立ッテ居ルダケ。初メカラコンナンダソーナ。余リ喜シクナカッタ。コレカラ美術館裏ノ西洋式ノ方ヘト行ッタ。ト丁度チリンヽヽト「ベル」ノ音ガ東ノ方カラヒヾイテ來タ　「ハヽン」モー五時ダナ。之レデハ直グ追ヒ出サレルワイト思ヒナガラ見渡ストイクラ西洋式カシラナイガ、タヾ廣々トシタ空地ト云フノガ的シテ居ルカモシレナイ　樹ト云ヘハ身ヒクイ、生垣ガアルバカシ。正面ニ一寸山高クシテ石ノ階段ヲツケテアルダケガ設備トデモ云フノダロー　然シ丸デ焼アトノ商品陳列所カ何ンドノ様デ夏ナラ、トテモコンナカンヽヽ照リツケル處ヘハコラレマイト思ッタ。其内ニ館ハ、イヨヽヽ近ヅイタノデ、ソロヽヽ帰途ニツイタ。
夕食後父ト菊ヲ見ニ行ッタ。マダ大分早イノデ、ツボミバカリデアッタ。先ヅ來月ノ三日頃ガ見頃ダロートハ父ノ意見
九時十五時(ママ)前帰店　少時讀書　直チニ就寝

▲▼309ページ▲▼　明治42(1909)年10月25日(月)

天気　晴
特筆ナシ。夜判取合ヲナス　後チ科學世界ヲ讀ミ十時就寝

▲▼310ページ▲▼　明治42(1909)年10月26日(火)

天気　雨
朝掃除ヲ終ッテ表ヘ出ルトテ東ノ空ヲ仰グト一天ヌグータ様ナ好天氣。ソーシテ葛城山脈ノスグ上ニ長ク横ハッタ暗紫色ハ次第ニ紅色ノ波ヲタヽヨワシテ、時ニサット雲間モル金光ハ「オルトラマリーン」ノ空ニタチマチ淡イ「クリムスンレーキ」ヲ「グレース」シタ様デ

其美ヤ実ニ何ントモ云ワレタモノデ無イ　殊ニ冷風颯々ト袖ヲ拂フニ於テオヤダ。處ガ此好天気ガ七八時頃カラ大分暗クナッテ九時頃ニハザーザト云フ大降リニナッタ。朝ノ郵便ハ例ニヨッテ二十五六通アッタ　其中ニ坊サンノ繪葉書モ、マゼッテ居タ　景ハ多田院ノ雨中ノ楓デ、ソレニホトンド反面ヲ「オー」様ナ唐傘ガ紅葉ノ葉ガクレニ寫サレテ居ル中々珍繪葉書デアッタガ其傘ニ文字ガ書イテアル　之レガ殊ニ珍デ「思いでをなせ時雨傘」ト云フノダ　其カタワラニハ嵯峨法輪寺トアル　何ンノ事カ、ドーモ分カラナイデ、スグ返事トシテ余ノ肉筆水彩畫ノ「羊ト少年」ヲ出シ序ニ右ノ訳ヲ尋ネ尚昨年來頼ンデアル、時計ガアルカナイカヲモ書イテ居イタ

四時頃前中ハンガ來ラレ何ニカノ用事デ他ヘ電話ヲ懸ケラレタニ、「伊藤公ガヤラレタ」號外ヲ見タカ」ナドト云フ話声ガスル　何事ダロートト思ヒナガラ電話室ヲ出ラレルナリ直グ尋ネルト「伊藤公ガハルピンヘ着スルヤ否ヤ狙撃セラレタ」トノ事。サー大変ダ　號外ガマダカヽヽト待ッテ居ルト、チリンヽヽヤッテ來タ。スグ取リ合ヒナガラ讀ンデ見ルト、「三井物産ハルピン支店ヨリ日本店ニ達シタル電報ニヨレバ伊藤公ハ哈爾濱ニオイテ兇漢ノタメニ狙撃サレテ負傷セリ」トアル　死ンダヤローカ　死ンダラ中々大変ナ事ダ清国人ナラヨイガ露西亜人ナラ一寸コッチモヤリニクイガ。然シ伊藤公モ中々エライモノデスナ。此度死ナレタラ、ドーシテモモー正一位デスナ　勿論國葬ニナリマショー　ソーシタラ「神サン」デスナ。エライモノデス。今ガヨイ死時デスナドト人ノ口カラ口ヘト色々ナ説ガ出デル　五時半第二ノ號外ハ來タ　「川上ハルピン領事ヨリノ電報ニヨレバ伊藤公爵ハ当處ニ着スルヤ停車場プラットホームニオイテ韓人ノタメ狙撃セラレタリ」。又「廿六日午前十時哈爾濱停車場プラットホームニオイテ伊藤公ハ韓人ノタメニ狙撃セラレ即死セリ　又田中満鉄理事川上總領事ハ軽傷ヲ負ヒタリ　韓人三名ハ其場ニオイテ捕縛サル」ト　ア、伊藤公ハ即死セラレタトアル。今頃宮中ハドーダロー。天皇陛下ニモ御惜シク思ワセラレテ居ラルヽ事デアロー、ナドト余ハ非常ニ公ノ死ヲ惜シンダ　ソシテ皆モ同様ナ感ハアッタラシイガ余ハ其中デモ最タルモノデアッタトハ自信シテ居ル。後坊々等ガ店ヘ出テ來ルト藤公（ママ）ノ死ヲ聞カセ何ンデモ敵打チヲヤラナケレバナラナイナドト云ヒ聞カセタ

七時床ヲ延ベニ入リ工學ヲ讀ミ、後チ二三日前カラ一寸思ヒ付イタ半田ヲ、モー少シ経済ニ早ク製スル方法ヲト其機械ニツヒテ工夫シタ。之レハ日中モ時々考ヘテ居タノデアッタ

十時就寝

▲▼311ページ▲▼　明治42（1909）年10月27日（水）

天気　雨

余今朝新聞ヲ見ルニ何レモ全頁伊藤公ノ記事ナラザルハナシデ殊ニ其中ニ昨夕特大侍（ママ）々從長ヨリ公ノ漕（ママ）難ヲ謹上セシニ

陛下ハ非常ニ御驚キ且ツ御哀悼遊サレタ食ナドハ手モ着ケラレザリシ由　余ハ思ワズ感
涙ヲ禁ジ得ナカッタ
日中ハ山陽ノ引合セヲシタノミ
夜海上運送ヲ讀ミ後チ半田製造機ニ付工夫ス
十時就寝
発信　姉上へ（金請求二円五十銭）

▲▼312ページ▲▼　明治42（1909）年10月28日（木）

天気　曇
今朝京坂電鉄会社へ集金ニ行ッタ處ガ七十九〆九百印ノ半田ガ六十貫トシカ倉庫カ
ラ傳票ガ廻ワッテ居ナイト云フテ四十円某シヲ引タ外ヨリ呉レナイデ仕方ナシニ其レ
ダケ受取リ同倉庫ノ領収書ヲ持参スルベキ念ヲ答ヘテ帰途ニツイタ。處ガ又東橋迠デ
來ルト御腹ガシクヽヽイタミ出シタ。コイツハ困マッタト思ヒナガラ城外大手ノ處マデ來
ルト、サー大変　大便ガシタクテヽヽヽコラヘラレナクナッテ來タ。ガ白晝ナリ　殊ニ人
夫ナドカ其辺ニ大勢居ルノデ、急ギ足ニ、イヤ自然ニ足ガ大マタニナッタノダ。デョーヤ
ク、本町橋迠來。コヽデ公設便所へ飛込ミ、ヤット助カッタガ之レ迠ノツラカッタ事　ア
ーア
夜海上運送ヲ一時間程讀ミ後一時間習字ヲナシ八時此日記ヲ書ク

▲▼313ページ▲▼　明治42（1909）年10月29日（金）

天気　曇
河野君ガ今日ハ京へ掛取リニ行ッタ　余ハ何ントナク宜イ心持ハシナイ。而シテ何カナシニ
刺激セラレルヨーニ感ジタ
夜明日ノ書出しヲ造ル
九時就寝

▲▼314ページ▲▼　明治42（1909）年10月30日（土）

天気　晴
階段ノ上ノ窓ヲ ~~サット~~ 開ケバ、有明ノ月サット青白イ光ヲ、カベニサスト見ル薄依ノ様
ナ雲ガ月ヲカスメテ横ニ長ク月ノ光ヲ受ケヌ。アタリハ、ハナヤカナ鼠色ニ彩ラレテ居タ
朝書出シヲ其レヽ留帳ニ控ヘ税金ノ手数ヲナシ一通リ用事ヲ終ッテ早晝ヲ喰ヒ北方面
ヘ書出しヲ持ッテ行ッタ。二時半頃長濱ハン（小兒科ノ病院）ヘ依ルト先生ガ留都（ママ）
ノ為メ書付ヲ、造ルノニ、ザット三十分。ソレカラ金ヲ渡スト受取ニ約一時間モ待タサレ

タ
五時前帰店。早々書出し調べヲ初メ夜ノ十時頃ドーゾ、コーゾ帳簿ヲ金庫ニ納メル事
ガ出來タ

▲▼315ページ▲▼　明治42(1909)年10月31日(日)

天気　晴
午前五時半起床　掃除ヲ終ルト支拂ノ準備ヲ整ヘ、事務ニ着手
其内ボツヽヽ掛取リガヤッテ來ル　時々五六人モ固ルカト思フト又シーントスル事モアル
余ハソレヽヽ地方ノ掛取リニ出シ帳合ヲシテ居タ
午後ハ一人二人ト掛取ニ出タノガ帰ヘッテ來ル　ソレ等ヲ一々傳票ヲ作リ金額ヲ調べ記
帳シテ行ク
夜出入ガ十八円程多イノダガ何ーシテモ分カラナイ　種々様々取調べ八時頃ヤットノ
事デ銀行ト付替ノ分ガ九十七円ヲ七十九円ト書イテアッタノヲ發見シ、漸ク納マッタ

▲▼317ページ▲▼　明治42(1909)年11月1日(月)

天気　晴
午前中ハ、タヾバタヽヽトシテ午後大阪鉄工所ヘ金ヲ取リニ行ッタ。之ヨリ前折錫ヲ同所
カラ尋ネテ來テ居タノデ用度ヘ一寸寄ッタガ他店デ一円安デ買ッタトノ事　アマリ安
イノニ驚イタ

▲▼318ページ▲▼　明治42(1909)年11月2日(火)

天気　晴
今日モ午前中色々ト用事ヲナシ午後一時頃カラ京坂電鉄ヘ半田目違ノ件ニ付掛合ニ
行ッタ。處ガ本所デハ分ラナイト云フノデ倉庫ヘ行キ又本所ヘ帰リテ種々掛合ノ結果
六十五貫ヨリ入ラヌモノヲ注文書ニ八十貫ト書イタノガ全ク会社ノ落度ト云フノデ兎
ニ角掛リノ品ヲ引取ッテ呉レト云ッタガ最(ママ)非之レハ取ッテ居イテ貰ワナケレバ大ニ
迷惑スルトテ、先ヅ結極後ヨリ返事スルト云フ事ニナッテ、余ハ帰途ニ付イタ。ガ今夏以
來ノ宿望ヲ達スベク毛馬ノ閘門ヲ見ニ巡航船ニ投ジタ　此時今朝來正ニ降リ出サントシ
テ居タ空合ハ夢ノ如クニ晴レ渡リ、純白ノ綿ヲクルヽヽト丸メテ、パット投ゲタ様ナ風
雲ハフンワリト、強イ光ヲアビテ影ヲ澱江ノ清流ニミダシテ居ル　岸ニハ處々コンモリ茂ツ
タ木立ガ碧空ニソビエ、廻リ安道ヲ見ル様ニ京街道ヲ行キ交フ人ヤ馬ヤ車ガ時々其レ
等木立ニ隠見スル。余ハ思ワズ此時ナラヌ、ノドカサニ窓外ヲ眺メ入ッタ。ヤガテ城東線
ノ鉄橋モ越ヘ、流(ママ)酸クサイ晒シノ洗場モ過ギ、吾等百萬ノ市民ガ一日モ、カク事

ノ出來ヌ水道水源地モ後ニ曲折幾ツカヲ、遡ルト、ヤー見エタヽヽ閘門ガト思フ内ギーガタンヽヽヽヽト一時ケタヽマシイ音ヲ立テタ気関ノヒヾキ　成程大分立派ナモノハ立派ナモノダ　門ガ三十間余程モ經(ママ)ダテヽ二ツアル　今向フノ方ガ閉マツテ居タ。漸(ママ)時余ハ二ツノ門ヲ至細ニ觀テ居ルト二人ノ閘門番ラシイノガ今開イテ居ル方ノ門ヲ閉メルベク両岸デ、ギーヽヽト押シ出シタ。門ハ鉄扉デ百四五十度ノ角度デ上流ニ向ツテ合フ様ニナツテ居ル　然シテ其キツチリ、ツキ合フ處ハ大キナ木デアツタ　茲等ハ成ル程ト大ニ感心セシメタ。ヤガテ此方ガ済ムト向ノ閉テアル方ヘ行又ギーヽヽト此度ハ開イタト同時ニ門ノ外内ニ停止シテ居タ舟ハ動キ出シタ。ト此處迄見テ余ハ渡シニ乗ジ、對岸ノ視察ニ行ツタ。此處ハ幅ノ廣イガ二間程ツヾニ仕切ツテ扉ヲ落ス様ニナツテ居イ、余ハ其上ニ立ツタ　中々廣イ一間半程巾ガアル　其外ニ起重機ヲ運ブベキレールカ、敷テアル。扉ハ一尺角程ノ木テ幾ツモ々々重ネルノデ起重機ハ之レヲ上ゲル時ニ用ヒルラシイ。足下ニハ、ゴーゴートスサマジイ音タヽテ流レ落ツテ居ル水ハ、一丁位モグルンヽヽ、ウヅ巻キツヽ白イ泡ヲ立テヽ居ル。ハツト気ガ付クトモー太陽ノ色ガ赤クナツテ居ルノデ再ビ巡航船ニテ下ツタ。夕陽キラヽヽト清キ流レニ影シナガラ、アタガモ、「マラソン」競走ノ様ニ森ヤ家ノミガ後ヘ々々ト行ク。眺メハ先キニ増シテ尚ホ美クシカツタ
夜宅ヘ明日ノ、シヤツ、パツチ着物、羽織、下駄等ヲ取リニ帰ヘツタ

▲▼319ページ▲▼　明治42(1909)年11月3日(水)

天気　快晴

今日ハ天長ノ嘉節　空ハ高ク一點雲影ダニ止メズ菊ノ香庭ニ満チ々々タル気ニ大君ノ御徳ノ程ガ忍バレル
午前七時ト云フニ余ハ大阪工業學校夜學部ニ入學スベク其ガ規束書ヲ貰フ~~ベク~~爲メ梅田行電車ニ投ジタ　車内ハ、タチマチ満員トナツタ。イヅレ郊外ニ一日ノ清遊ヲ楽ミニ行ク人ガ多イ。其内電車ハ目的ノ所ニ付ツイタ　其レヨリ北野牛丸町ト尋ネナガラ、ヤツト行ツテ見ルト、中々立派ナモノダ　門衛ニテ規束書ヲ受取リ尚承(ママ)細ヲ聞クベク、本館トモ見ヘル處ヘ行ツタト入口ニ日英博覧会出品大阪市模型製作所トカ云フ札ガ、カツテ居ル。ヤガテ、親切ソーナ一教師ラシイ人ガ出テ來テ色々ト云ッテ呉レタ。製圖ノ方ハドーゾコーゾ入レルガ英語ノ方ハモー空員ダソーダツタ。余ハタヾチニ帰店。晝食後工場ヘ中島ハンニ分析ヲ教ヘテ貰フ心計デ居タガ皆ナ出テ仕舞テ余ト藤田君ノ二人キリニナツタノデ止ムヲ得ズドードー留都(ママ)ヲスル事ニナツタ。デ繪デモ畫コート道具ヲ、ソロヘテ居ル處ヘ坊等ガ三人共一時ニ又繪ヲ畫イテ~~來~~呉レトヤカマシイノニ一番閉口サヽレタ。其内老主人ガ何處カヘ兄ノ方ヲ二人共連レテ行ツテ呉レラレタノデ大ニ助カツタ。三時頃出來上ガツタノハ秋海棠ノ一輪生ケト云フ様ナモノ　大分骨ヲ折タ、ツモリダガ、サテ永ラクカヽヌト中々自由ニ筆ガ云フ事ヲ聞カナイ
夕食後余ハタヾチニ浪花坐ヘ快(ママ)動ヲ見ニ行ツタ　中々這入タモヽヽモ大変ナ人ダ

極ク後ノ方モ横ノ方モ立チテ居ルモノガ数多アル。実ニアフレルバカリ、トハ此事ダロー
余ハカロージテ一等席ニ付イタ　寫眞ハ、サスガニ気ニ入タ　殊ニ伊藤公横須賀着及新橋
着ノ実寫ガアッタ。此寫眞ニナルト、サスガニ今迠、ガヤヽヽソーゾーシカッタノモタチマ
チ水ヲ打ッタ様ニ、時々拍手ガ起ルノミ。
八時半帰店後一寸、ウドン屋ヘカケ込ミ ~~一寸~~ アタヽマッテ床ニ入ル　正ニ十時　書物ヲ
讀ミナガラ寝ル

▲▼320ページ▲▼　明治42(1909)年11月4日(木)

天気　雨

午前六時起床　雨ダレノ音ハチビンヽヽシテ居ル。ソーソ今日ハ伊藤公ノ葬式ノアル日
ダ　天モ又悲シンデカ昨日ノ好天気ニ引替今日ノ此ノ朝カラノ、シトヽヽ降リ　之レガ
涙雨トデモ云フノダロー　尚店モイサヽカ弔意ヲ表スル爲メ四時頃終業シタ
夕方工業學校ヘ今夜ハ課業ハ休ミカ聞キ合スト、授業ハアルトノ事デ六時頃雨ノ中ヲ電
車ニ乗ルベク三休橋ヘ行ッタ。處ガ來ル電車モ々々皆築港、天王寺、或ハ難波行デ梅
田ト云フノガ一寸モ來ナイ　冷タイ雨ハ時々サラヽヽト、ホーヲナデル　余ハツヒニ築港
行電車ニ乗リ四ツ橋ニテ乗替ヘヤット梅田ヘ行ッタ　ソレカラ、一番ノ踏切ヲ渡リ眞暗ナ
道ヲ眞暗ナ流レニ、ソーテ行クト梅田駅ノ弧光燈ノ光リヤ仁丹ノ廣告ノミガ遠ク草原
ヲ経(ママ)ダテテ左手ニ見ヘルノミ。タチマチ其ノ草原ノ中ニ巾ノ廣イ一道ノ道ガ停車
場ノ方ヘ通ジテ居ル。アツ昨日コンナモノハナカツタ筈ダト思ヒナガラ近ヨルト、其レニ眞
赤ナ仁丹ノ廣告ガ逆シマニナツテ居ル　ソーソ之レハ昨日おじいさんガ、魚ヲ取ッテ居タ
川ダッタ　ヤガテ學ノ庭ニ着イタ　十五六ノ學生ノ様ナノモアレバモ三十モ大分昔モ起
シタ様ナ職人ノ様ナノミ居ル。控室ニ入ルルト、柱々ニ格言ノ様ナ事ガ書イテカル。其
内時間ガ來タ　教室ハ機械館内ノ製圖室。教師ハ、極クオトナシソーナ人デロ振リモ
中々親切デ今日ハイヅレモ初メテナノデ注意ヤラ製圖道具ノ御話ダケデアツタ。ソレ
デモ、如何ナル三角型デモ其三編ノ和ハ百八十度デアルトカ云フ様ナ事ヲ覺エタ。授業
ハ九時ニ終ッテ帰店シタノガ九時四十分。何ンボタヽイテモ一寸モ起キテ呉レナイ。之レ
ニハ少々閉ロシタ　此後毎度コンナ事デハ、トテモカナワヌガト思ッタ
十時就床　芋ヲ喰イナガラ書物ヲ讀ム

▲▼321ページ▲▼　明治42(1909)年11月5日(金)

天気　晴

例ノ通リ目醒スト丁度五時　漸(ママ)時スルト新聞ガ這入ル　コイツヲ讀ンデ居ル内窓
ハ白クナル　安サンガ、シヤーラヽヽヽト軒下ヲ洗ヒ出スデ余モ起キル　之レガ毎朝殆ド
違ガッタ事ガナイ

今朝ハ昨日ニ引替ヘ、パット如何ニモ心地ノ好イ日デアル　帳合ヲシテ居ルト、開イタ白イ頁ハマバユイ位。ソレガ時々スート暗クナッテ又パット目ノ醒メタ様ニナル　然シ午後ハ少々曇ッテ居タ
夜太陽ガ來テ居タノデ之レヲ讀ム
発信　藤井甚松様　繪葉書

▲▼322ページ▲▼　明治42(1909)年11月6日(土)

天気　晴
今日モ別ニ変ッタ事ハナカッタ
夜ハ夕食ガ済ムト直グ太陽ヲ讀ンダ。而シテ九時頃迠續ケ讀ミニ讀ンデ目ガ疲レテ寝テシマッタ

▲▼323ページ▲▼　明治42(1909)年11月7日(日)

天気　晴
今朝ハ大分寒イ　長堀橋ニハ初メテ霜ガ降リテ居タソーダ　掃除ヲシテ居テモ余程手洗中ニコタヘル様デアル。後裏ニ出テ、シオレタ菊ニ水ヲ與ヘタ。此夏朝毎ニ余ノ眼ヲ楽マシタ朝顔ハスデニ其影ハミトメラレナイ。僅ニ残サレタ、一鉢ノミガ、カラヽヽニナッタ、ツルヤ葉ヲ止メテ、秋ノ気ハチリクサイ市中ニモ、ツント知ラレル
午後南安治川ノ山川商店ヘ国重太四郎殿ノ金ヲ貰ヒニ行ッタ　帰途ハ電車ニモ乗ラズ歩イテ帰ヘッタ
夕食ハ牛肉デアッタ　常ヨリ二杯程通シタ。後太陽ヲ讀ム
七時頃ヨリ工學商業両講義録ヲ整理シ二冊製本ニヤリ机ヲ掃除ス　終ッテ商界ノ友及廃兵ノ友ヲ讀ミ十時四十分就寝

▲▼324ページ▲▼　明治42(1909)年11月8日(月)

天気　曇
終日陰気ナ日デアッタ
夜六時店ヲ出デ學校ニ行ク控所ニ入ルト例ノ格言ガスグ目ニ付ク「彼ノ決心ハタユマザルカ」「艱難彼ヲ玉ニス」「自カラ賤ムモノハ人ニアナドラル」之レ等ハ殊ニ余ノ注意ヲ引イタ。而シテ今日ハ正面ノ黒板ニ禁酒禁煙ノ必要ヲ説キ之レニ伯林ノ一醫學大家ノ統計表ガ出テ居タ　余ハ文具店ニ入リT型三角定規其他鉛筆、紙等ヲ買ッタ　〆テ九十五銭トハ思ッタヨリ安價ニ上ガッタ。其内カヽンヽヽヽヽト例ノベルニツレテ、ゾロヽヽト余等ハ機械館ヘト行ッタ　電燈ノ點シ方ガ分ラナイ廣イ眞暗ナ中デ丁燈一ツ持ッテ戸ヲ

開ケ様トシタガ一寸急ニ開カナイ。稍ヤ漸(ママ)ラクシテ、ヤットノ事デ中ニ入ル事ガ出來又電燈モカヾヤイタ　今日ハ製圖用具ノ話ノ後チニ平面幾何画法ヲ「与ヘラレタル一直線ヲ任意ノ数ニ等分スル法」迠ヤッタ。

九時半帰店　就床後日獨郵報、及カタログ雑誌ヲ讀ム

▲▼325ページ▲▼　明治42(1909)年11月9日(火)

天気　晴

今日月表ガ出來タ　千二百円程ノ利益デアッタ

夜帰宅シタ　姉モ父モ兄モ皆留都(ママ)　田中ハンヘ嫁ガ來ルトノ事。ソレガ坊ンチハ見合サセナカッタノデ姉イトト御家ガ極メタノダソーナガ少々面ガ好クナイノデ姉ニ成可奇麗ニ作ッテ呉レト云ワレタソーナ　実ニ滑稽ナ話ダ。帰リハ電車ニ乗ッタ。處ガ日本橋三丁目辺デ乗タ二人ノ女ガアル　一人ハヤヽ老人デ今一人ハ十七八ノ娘。ドーモ、ヨク似タ顔ダト思ッタガ、目ツメル事ハヨーシナイノデチヨツヽヽットヌスミ見シテ居タ　向フモ見テ居ル様ダッタ　ソーソ御直チヤンニ違イナイト思ッタガ人中デ声ヲカケルノモ変ダシ殊ニ向フガ、ダマッテ居ルノニモシ話シカケテ人違イダッタラ大変　又男子タルモノガ女ニ此方カラ物ヲ云ヒカケネバナライ様ナ不ケン式ナ事ハ出來ナイ　トードー其マヽ難波迠クルト彼レ等ハ下車シタ。然シ考ヘルトヤハリ声カラ何カラ全ク御直チヤンニ違イハナイ

八時過ギ帰店　少時科學的文明ニ付イテ黒田、岡本両君ト雑談ヲナシ九時半床ニ付イタ。處ガナニカ二階デ、ガヤヽヽ物音ガスルト思ッテ居ルト、おちかドンガ下リテ居テ半蔵ヲ一所ニ寝カシテヤッテ呉レト云フガ朝ヤ就床後勉強スルノニジヤマニナルカラ、タ辺迠二階デ寝テ居タノダカラ二階デ寝サセロト云フト、二階デハ小便ヲスルトカ何ントカ云ッテ一人デ三枚モふとんヲ來テ居ルモノモアルノニ寝サヽナイノダソーダ　デ、兎ニ角今一度二階ヘ頼ンデ來テヤリナサイト云ッテ余ハウツヽヽシカケタガ二階ヘ上ガラズニ、グズヽヽシテ居ル様子　~~デアッタガ~~ナノデ寝サシテヤロートト云ッテヤッタ　處ガ遂イニ二階下ノ下駄入レヘ這入ッタマヽスネテ出テ來ナイソーダ。デ余ハ一ツ叱リ飛シテヤロート、早速飛起キ、引張リ出シテ大喝馬鹿モノメ、トソレカラ今朝余ガ用事ヲ済シ二階ヘ上ルトマダ寝テ居ルノデ起シテヤッタ時中々急ニ起キナカッタ事　ソレガ爲メ、下デ寝タラ自然早クナルカラ二階デ寝サヽナイノダナド説諭的ニ叱ッテ居ル處ヘ例ノ己ノ吉君ガ降リテ來テ正ニ、ゲンコツノ一ツモ御見舞シソーナ様子ナノデ余ハ引ヅル様ニ床ニ就カシタ。シバラクシテモ泣ジヤクリシテ居ルカラ少々カワイソーニナッタノデ一寸ナグサメル様ナ句(ママ)調デ色々話シヲシテヤッテ寝付イタノハカレコレ十一時近クテアッタロー。

アヽネムタヤノ

▲▼326ページ▲▼　明治42(1909)年11月10日(水)

天気　曇

例ノ通リ新聞ヲ讀ミ、起キ掃除ヲ終リ、地方ノ傳票ヲ記帳シ後簿記ニナス　何分一日カラ溜マッテ居ルノデ終日ヤッテ尚少シ残ッタ

夜此間習ッタ處ヲ製圖シ後太陽ヲ讀ミ七時半床ニ入リ飛行器ニツイテ工夫スル處アリ

九時過ギ就寝

▲▼327ページ▲▼　明治42(1909)年11月11日(木)

天気　晴

今日モ別ニ記スル事ガナカッタ

夜學校ノ帰途余リ寒サニ山吹ニ飛込「キツネ」ヲ二盃方付ケサテ銭ヲト見ルト銭入レハ空ダ　サー困ッタット思ッタガドーモ不思議ダト色々考ヘルト、ソーダ先程學校デ工業物理ヘ明日カラ入學スルコトニナッタノデ紙代ヲ十銭出シタ時五十銭銭ヲ渡シ、「ツリ」ヲ取ルノヲ「ワスレ」テ來タノダ。シカシ、仕方ガナイデ、マダ顔ヲ知テ居ルダケテ名ヲ云ッテ借リテ居ク事ニシタ。ア丶アコンナ困ッタ事ハ実ニ初メテデアッタ

▲▼328ページ▲▼　明治42(1909)年11月12日(金)

天気　晴

今夜カラ工業物理ヲ習フ事ニナッタ。「ブック」ノ法則カラ「仕事」ノ意義迠講習シタ序ニ昨夜ノ「ツリ」ノ事ヲ事務室デ聞クト、タシカニ渡シタ筈ダト云フ。マー仕方ガナイ。帰店後一通リ復習シテ、後井上君ニ岩見重太郎ノ小説ヲ借リテ讀ンダ　余リ面白イノデ知ズ丶夜ヲフカシタ　十一時頃、飯焚ガ、帰ヘッテ來タ。一時頃若主人ガ帰ッテ來タ。モー往來ハシンカントシテ居タ。時々犬ガ裏ノ方デ、クククート云ッテ鳴イテ居ル。寒イノダロー。處ヘ中山君ガ帰ヘッテ來ラレタ。兎ニ角寝ル處ガ無イノデ余ノ床ヘ入レテ上ゲタ　正ニ三時ダ　目ハ益々サメテ寝ラレナイガ、明日ガ困ルト、シイテ目ヲ、ツブッタ。早イ牛乳屋ノ車ノ音ガカスカニ聞コエタ

▲▼329ページ▲▼　明治42(1909)年11月13日(土)

天気　曇

今日ハ老主人ハ黄銅組ノ催シデ京ヘ行カレタ。余ハ朝先ヅ、簿記ヲ終ルト地方ノ引合セヲナシ、書出シヲ作ッタ。コレデ仕末ッタガ四時半頃丁度日一日遊ビモシナケレバ、イソガシイ程モ働カズト云フノデアッタ。夜井上君ト活動寫眞ヘ行ッタ　處ガ中坊サント大坊サントガ上村ハンノ御寮人ト一所ニ來テ居テ飛ビ付クヤラクラヒツクヤラ一時ハ、ソーゾーシカッタ。寫眞ハドレモコレモ皆小供ノ見ル様ナモノデ面白クナカッタ。タヾ伊藤

公ノ国葬ダケガ立派ナモノデアッタニハ驚カサレタ。帰途岡本正君(同君ハ浪花坐デ一所ニナッタ)モ共ニ「しる」ヲ喰ッテ帰ヘッタ。ト半蔵ガ僕ニ帰ヘッタラ内ヘ這入ル様若主人ノ命デアルト傳ヘタ。「ギクリ」トシタガ何ニクワヌ顔デ内ヘ行クトモー寝テ居ラレタ　何レ明朝小言ダロート其答ヲ何云ツタモノダローナド丶考ヘナガラ寝タ　正ニ十時半

▲▼330ページ▲▼　明治42(1909)年11月14日(日)

天気　晴

今朝ハ小言ガアロート朝カラ安イ心ハナカッタガ若主人ハ朝早ク何處カヘ出テ行ッテ仕末ッタマヽ一日不在デアッタ。後チ内ヘ這入ルト音吉ト井上ト夕辺活動ヘ行キヨッテ御母チヤンニ、シカラレタヤロート坊チガ無邪気ナ顔ヲシテ云ッテ居ル。ソーソ、成程坊等ガ「ツゲロ」ダナト初メテサトッテ、後書出シクバリニ出デ二時前帰店。
夕方ヨリ岩見重太良ヲ讀ム　中々面白イ　ヨク作ッテアル。ツイニ今夜ハ製圖ノ復習ヤ新聞切取其他色々用事ヲシヨート思ツタノモワスレテ、九時頃讀終ッタ。後之ヲ記ス。
ドレ寝床ニ這入ッテ復習デモシヨーカ(製圖復習　十一時半就寝)

受信　藤井甚松様　繪端書

▲▼331ページ▲▼　明治42(1909)年11月15日(月)

天気　晴

大分曇テ居タノデ早ク方附ケナイト途中デ雨ニ降ラレテハ大変ダト思ッタノデ支拂ヲ取調べ傳票ヲ作クッテ居イテ之レヲ井上君ニ托シ掛取リニ出掛タ　一時頃帰店。廻リヲ見ルト用事ダラケ。ドレカラ手ヲ附ケテヨイカ、一寸ムヅカシイ位デアッタ　然シ之レモ一通リ方附クト倉敷紡績ヘ先日手形ノ日付ノ書替ヘニヤッテアッタ分ヲ取リニ行ッタ
夜今日カラハ主人ニモ答ヘテアルノデ権体ニ學校ヘ行ッタ。今日ハ十五日デ休ミダケレドモ農商務省権藤課長ノ商工業ニ於ケル、度量衡ト云フ講演ガアッタ。然シ、左程ノ事モナカッタ。タヾ寝ムタカッタノミ。帰店後タヾチニ床ニ就イタ

▲▼332ページ▲▼　明治42(1909)年11月16日(火)

天気　晴

午前中昨日金ヲ呉レナカッタ處ヲ数軒廻ッタ　遠カッタノハ綿会社西野商店。午後十四日後ノ傳票ヲ整理シ地方ノ帳合ヲナシ製銅場ヲ引合セス
夜六時出店　學校ヘ行ク　九時終課　十時帰店　物理復習　十一時過ギ就寝
本日報恩講ヲ勤ム

受信　藤井甚松様　繪葉書

▲▼333ページ▲▼　明治42（1909）年11月17日（水）

天気　晴

午前十一時即チ晝食後大阪中ノ島郵便局へ電報略号届ノ手續キヲ聞キニ行キ序ニ三興洋行へ打電ス　帰途丸善ニテ輸入税率ノBookヲ買フ　代三円　帰店後内外和欧文略号登記請求書ヲ提出ス

朝カラ若主人ハ製銅場ノ勘定ヲ早クセヨト八ヶ間敷云ワレルガ何分掛取リニ出ル身ガ一時ニソー何ニモカモ出來ルモノデハナイノダ。大ガイ分カリソーナモノダ……。四時頃製銅場へ一寸行キ其ヨリ宅へ帰リ綿入ト着へ帰店ス。タヾチニ出入ヲナシ、夕食後製圖ノ復習。後少時物理。終ッテ八時就床後東京金物新聞、太陽等ヲ讀ム　十時就寝

▲▼334ページ▲▼　明治42（1909）年11月18日（木）

天気　晴

午前六時十五分起床　勿論ソレ迠床ニテ新聞ヲ讀ム

今日ハ久シ振リデ銅ガ六十磅ニナッタノデ神戸カラ大分電話ガ懸カッテ來テ八番へ五十屯三十二円五十銭デ今月初ガ出來タ　然シ其内二十五屯ハ増田ノダソーナ

夜學校カラ帰宅スルト井上君ガ若主人ガ戻ッテ來タラ呉ノ津田カラ六時頃電話デ廿五日ニ銅板ノ入札ガアルノデ、今夜ノ夜行デ老主人ニ最（ママ）非來テ呉レトノ事ダカラ、其事ヲ傳へテ呉レト頼マレタノデ、床ニ入リ少時復習ノ後小説ナドヲ讀ンデ居タ。稍ヤシバラクシテ表ヲトンヽヽタヽクモノガアルノデ不圖目ヲ醒シタ。アヽ何時ノ間ニカ寝テ仕末ッタラシイ。ト若主人デアッタ　直グ井上君ノ口上ヲ傳へ尚ホ念ノ爲井上君ヲ起シタ。井上君モ本ヲ讀ミナガラ起キテ居ルト云ッテ居タガ之レモ又僕ト同ジロラシカッタ　時十二時過ギ

▲▼335ページ▲▼　明治42（1909）年11月19日（金）

天気　晴

此頃ハ六時デモマダ暗イ　余ノ窓ガ少シ明ルクナルノハ六時十五分頃ダ　デ、ソレ迠床ニテ新聞ヲ讀ミ後起床ス

今日ハ入電六十磅八志六片ト報ジタ。其レガ爲メ神戸トノ電話ノ急シノ何ンノテ　実ニ引切リ無シダ　九七ハ遂ヒニ七ア五ノナラ取ルト云フテ來タガ三枚デ、ツッパッタ爲メ手合セハナカッタ。夕方八番へ風的ガ出來タラシカッタ

六時學校へ行ク　宮崎先生ガ昨夜吾レヽヽノ教授ヲ終ルヤタヾチニ九時半ノ列車デ東上

セラレテノデ一週間程小山先生ガ代理ヲシテ下サレルソーダガ、何ンダカ余リ頼リ無イ様ダ。ソレニシテモ宮崎先生ノ親切ナル教授ト切実ナ誠心ハ大ニ感謝セネバナラナイ
十時帰店　三十分間程復習後工學講義ノ工業資料ヲ讀ミ就床後伊藤博文公ヲ讀ミ
十一時四十分消燈ス

▲▼336ページ▲▼　明治42(1909)年11月20日(土)

天気　晴
用事ハ午前中ニ方付イタ　午後余リ此節讀ム本ガ沢山ニナッタノデ、京坂電鉄会社ヘ行クベク巡航船ニ投ジ其間ニ石垣君ガ呉レタ紙ノ世界ヲ讀ミツクシタ
夜製圖復習後物理実験用具ヲ手製デ一ツ二ツ作ッテ見様ト思ヒソレラノ設計ヲナシ後海上運送ヲ讀ミ十一時五分就寝

▲▼337ページ▲▼　明治42(1909)年11月21日(日)

天気　晴
床ニテ新聞ヲ讀ミ起床後掃除ヲ済シ後チ就業時間迄海上運送ヲ讀ム
午後ヨリ金属品輸入税金ヲ寫シ夜七時頃終リ、タヾチニ火ノ廻リヲナシ之レヲ記ス
発信　藤井甚松様　繪葉書

▲▼338ページ▲▼　明治42(1909)年11月22日(月)

天気　晴
午前一通リ用事ヲ済シテ、光立寺ヘ「バビットメタル」ノ話ニ行ッタ　處ガ遂ヒ分ラヌ儘十三橋迄出デ仕舞ッタ　丁度今新淀川ノ南側ニ又一ツノ川ガアル。ソレエサシテ今シモ土堤ノ上カラ一台ノ荷車ガ、アレヽヽト云フ間ニコロヽヽジヤブントハマッテ仕末フトズンヽヽ下ヘ流レテ行ク。ト堤ノ上デハ老人ガ、ポカント、両手ヲ突キ出シタマヽ眺メテ居タガ、タチマチ正気ニ返ッタカ、ヨロヽヽト下ニ降リヤウヤク附近ニ居合セタル車夫ナドノ助ヲ得テ引上ゲタ　其様ガ一寸面白カッタ　カクテ長イヽヽ十三橋ヲ向ヘ渡リ茶屋ノ小僧ニ光立寺ハマダ向フデスカト聞クト、何ニソレナラ來過ギデサ、川ノ向ヒデスヨト教ヘラレ之レハト驚キナガラ又モ取ッテ返シヤット用事ヲ済シ帰途大阪ホテルヘ依リ、東京寮叢書院主催ノ美術展覧會ヲ見タ。殊ニ中ニ應擧ノ鯉ハサスガ名高イダケニ、ウロコナドモ一枚々々ピッピット、ハジケソーダ　又古画ノ模寫デハ紙ノハゲタ處カラ、シワ、繪具ノ「変色」ニ致(ママ)ル迄實ニヨクコンナニ畫ケタモノダト思ッタ　見レバ中々ツキナイノデ好イ時分ニ出タ　時スデニ三時デアッタ
夜學校ヨリ帰店後商業通論ヲ讀ミ十一時就寝

▲▼339ページ▲▼　明治42（1909）年11月23日（火）

天気　晴

朝早クカラ目ハ醒メテ寝ラレヌマヽ新~~聞ヲ~~商業通論ヲ讀ム内新聞ガ這入タ　起床ハ六時十五分頃　スグ河野君ト二人連レデ朝風呂トシヤレ込ミ、後スグ宅ヘ帰リ足袋ヲハキ替ヘ金一円五十銭ヲ小遣ニ貰ヒ帰店後晝食　藤井様ヘ行キ、坊サント昨日見残シノ美術展覧會デモ見様ト 待~~ッタ~~ 思ツタ處、アヒニク流レ調ベヲシテ居ラレタノデ、ソレハ止メタガ、昨年ノ夏以來頼ンデ居イタ時計ヲ出シテコレナラドーダロート云ッテ見セラレタ値ハ元價ノ四円デヨイトノ事　コレハ安ソーダト早速貰フ事ニシ何レ其内金ヲ持取リニ参リマスト云フト何ニ來月ノ二十五日頃迠デヨイカラ持ッテ御帰リト云ワレ、スグ一寸帯ニ懸ケテ見タ　何ンダカ気ガ、トガメテ手ハ知ラズヽヽ時計ニサワル。何分初メデ自分ノ時計ト云フモノヲ持ツノダカラ實ニ云フト喜シカッタ。其内ニ御家ガ大勢小供ヲ連レテ心済（ママ）橋カラ御帰リニナッタ。後ロカラ、小イサンガ這入テ來ルナリ僕ヲ見テ一寸目ヲ見ハリ、スグ後カラ這入ロートスル仲サンノ顔ヲ見ル　~~仲サント~~僕ハ驚イタ。実際余リ皆今夜ノ様ニ大キクナッテ居ルノダカラ。殊ニ仲サント來タラ見違ヘルバカリダ　残念ナコトニハ、入戸ノ爲メ顔ヲ好ク見ルコトハ出來ナカッタカ心持ニッコトシ~~タ様ナ風ヂ~~テ顔ヲ下ゲテ通ラレタ　余ハ勿論丁寧ニ「ジキ」ヲシタ　御家ダケハ漸（ママ）時店ニ残コッテ余ニ何ニカト話シカケラレタ　余ハ間モナク、辭シテ帰宅シタ。父ハ時計ヲ五円ナラ買ウト云ッタ。父ノ様ナヒヤカシヤガ五円ダト云フノダカラ七八円ハ大丈夫　値内（ママ）ノ有ルモノト思ッタ

夕食後帰途ニツク。ソレ迠 ~~今~~ 毎度姉ガ僕ニ、カワイラシイ嫁ヲ貰ッテヤランナラントログセノ様ニ云ノデ浪サンガ、又例ノシヤベリデヒヤカスカラ、ソレカラソレヘト僕ノ事ヲ姉モヨンデ色々云フテ遂ヒニ、~~時計~~ 御つるヤンガ時計ハ呉レハッタント違イマンノカト云フト姉ハ坊チヤヨッテ、ソンナ事ハナイ　ソレトモ、「トーサンデモ呉レハルノナラ兎ニ角ダナドト色ンナ事ヲ云フノデ余ハ顔ヲソムケテ居タ　ト父ハ、コイツ女ノ事ヲ云フト横ヲムイテ居ヨルト云ッタ　僕タルモノ、「木ヤ金デハナシ、勿論、嫌イデハナイ　殊ニ「トーサン」云々ニハ一寸、ギョットシタガ余トシテ眞面目ニ己レカラ女ノ事ヲ話スナドハ話シテ出來ナイノダ。又今日仲サンガ、ニッコトセラレタノモ、タヾノアイソ笑イデ有ッタデアロー。シカシ余ニハドーモ、ソー思ヘナイ。ツマリ想像ヲ、タクマシクシテ、我ガト我ガデニ気ヲモムノハ此道ノ常ダトハ小説ナドデ好ク見タガ余ノ今モ或ハソレ等ノ様デハアルマイカ。アヽ思フマイヽヽヽ

帰途ツクヾヽ姉ノ余ニ對スル風ヲ見ルニ実ニ感謝セネバナラヌ。今年ニ入ッテ以來、昨冬ノ様ナ妙ナ事モ聞カズタヾ余ノ事ノミヲ思ツテ、マダ半人前ニモ働キノ無イ僕ニハヤ嫁ノ心配迠セラレルノダ。茲ニ於カラ余タルモノ、ハゲマズシテ居ラレ様カ　余ハ大ニ決心ヲ固クシテ河野君何程ノ事ヤアル　今ニスグ位置ヲ進メテ呉レルハト心ノ内ニサケビナガラ七

時帰店　一時間余モ雑談ヲナシ後就床後商業通論ヲ讀ミ九時過ギ就寝。感謝ス　姉上ミ

▲▼340ページ▲▼　明治42(1909)年11月24日(水)

天気　雨

寝イ目ヲコスリナガラ新聞ヲ讀ミ起床シタノカ六時十五分
掃除後商業通論ヲ讀ム
日中ハ記事ナシ　只朝入荷ヤ手紙ヲ調ベタノガ常ニ変ワッタダケデ終日簿記ト地方ノ帳合ニ忙殺サレタ。ソレニシテモ日中ニ前中ニソレヽ七百余円ノ貸シガ出來タリテ居ルノダガ、サテドチラモ困マリモノダテ
夜昨日ノ日記ヲ書キカケ朝ノ正ニ目ノ醒メル時ノ具合ヲ書コートシテ遂ヒニ死ト夢ト云フ様ナモノニナッテ仕末ッタ處ヘ坂口君ガ帰店サレタノデ、ジョー談半分、ウタヒヲ教ヘテ呉レト云ッタノガ眞実トナリ八時頃カラ十時過ギ迄鶴亀ヲ習ッタ　一寸ヤリニクイモノダガ何ントナシ面白イモノダ　後昨日ノ日記ヲ書キ床ニ就キ、尚、ウタヒヲウナツテ居タ　ヤガテソレニモアキ商業通論ヲ讀ミ十一時半就寝

▲▼341ページ▲▼　明治42(1909)年11月25日(木)

天気　晴

ガタン、ゴトン、ト障子ノ音ニ夢破ラレテ目ヲ醒セバ門ノ電線ニ木枯ハピューヽヽトウナツテ居ル。オー寒ムト不(ママ)團ヲスポリトカブリマジヽヽシテ、稍ヤ漸(ママ)時寝ルデモ無ク醒キタデモ無イト云フ様ナ闇路ヲ辿ット居ルト、「カチヤリ」新聞ヲ投スル音ニ全ク脳ハハッキリトナッタ　火ヲ點ズルト正ニ五時　ソレカラ新聞ヲ讀ミ終ッテ商業通論ヲ觀六時十五分床ヲ出デタ
今日モ又郵便、手紙ヲ一ツ一ツ見ル。大分参考ニナルコトガアル
夜申訳ケ的ニ物價表ヲ手傳ヒ五時半店ヲ出デ、藤井様ヘ立寄リ坊サンニ時計ノ銭ヲ拂フ　老御主人モ店ニ居ラレ何ニヤト御尋ネニナリ、エッ一寸御無心ヲ申シマシテト云フト、アトハ坊サンガ云ッテ下サレタ。今日ハ老御主人モ非常ナ御機嫌デ、今度「ハナレ」ヲ新築シタノデ何ント一ツ、スイセイ繪(水彩画ノ事ヲカク云ワレル)ヲ畫イテホシイト云ワレタ。小イサンガ中程デ出テ來ラレタ。後店ヲ辞スル時モ

▲▼342ページ▲▼　明治42(1909)年11月26日(金)

天気　晴

特筆スベキコトナシ

夜學校ヨリ帰店後少時、ウタヒヲ ウタヒ復習 寝ニ就タ
一時前若主人帰店セラル。今ドコソコニ火事ガアルト云ワレタガ寝ムカッタノデ廿七日之レヲ書ク時ニハモー覺エナカッタ。後ニ時頃中山ハン帰店セラレ家へ帰ヘッテ三十分間程モ、タヽイタガ開ケテ呉レナカッタト、煙草入ヲヌキトルト其儘僕ノ横ニ寝テ仕末ワレタ
今夜ハ學校デ初メテ製圖ヲシタ。二時間カヽッテ覺ヘラレタヾケハ畫イタガ、落カンガ出來ナカッタノデ此次ギニ出シテ下サイト云ワレタ
九時四十分帰店。後チ、「ウタヒ」ヲウナリ十一時前就寝　一時前若主人帰店セラル

▲▼343ページ▲▼　明治42(1909)年11月27日(土)

天気　雨
摘要　後晴レ　夜六時頃皆既月蝕アリ
今朝二度目目ヲ醒シテカラハ寝ラレナイ。ウツラヽヽシテ居ルト新聞ガ這入ッタ。火ヲ點ジルト五時半　今日ハ大分遅イ。ソレカラ新聞ヲ讀ミ六時十五分起床　晝食後若主人ノ封筒物ヲ若田へ持参シ帰途製銅場へ寄リ少時工場ヲ觀ニ時帰店　四時引合セ及ビ地方記帳ヲナシ後四時頃禁酒会へ本月分ト來月分ノ会費ヲ以テ行ッタ
夜判取引合セヲナシ後八時頃ヨリ「ウタヒ」ヲ習ヒ十時就床後商業通論ヲ讀ミ十一時就寝

▲▼344ページ▲▼　明治42(1909)年11月28日(日)

天気　晴
今日ハ明日ノ準備ヲナシ、四時夕食ヲ終ルヤ帰宅シ、「ウタヒ」ヲウタヒ皆ノモノ等ニ一ツ驚カシテヤッタ。姉ハ兄ヤ又ハ竹島デ習フテ居ル他ノ人ヨリモ、ヨッポド、マシダトハ喜レシカッタ。帰店途ニ付ク前時計ノ銭ヲ拂イタイノデト云フト四月デ好イト云フノニ五円札一枚呉レタ
八時帰店後坂口君ニ「ウタヒ」ヲ習フ　即チ竹生島ノ獨吟ヲ、何ニシロ此間カラ、二バンノ内ニ、鶴亀ト猩々ヲ終テ今日ハ早ヤ竹生島ト云フ上等ナンダカラ、中々急ガシイ。終ッテ少時雑誌ヲ讀ミ明日先生ニ渡スベキ製圖ヲナシ十二時就寝

▲▼345ページ▲▼　明治42(1909)年11月29日(月)

天気　曇
今朝中山ハンハ神戸へ平板一万枚ノ入札ニ行カレタ。午後電話デ、兎ニ角前替(八十二銭五ノ?)ニテ落札　今納期等掛合中　又八番ニテ九七代四万千四百円受取リ山口へ

入金ストノ報告アリ
今日ハ妙ニ陰ナ日デアッタガ、又余リ何ントナシ心持ノ好イ日デモアッタ
正午主人ノ用事ニテ、山口ヘ行キ北銀四千株ヲ受取リ店ヨリ持参ノ七十円トヲ合セ北濱ノ高砂ニテ此代五十一円三十銭割ニテ其内手数料廿六円四十銭ヲ引キ小切手ニテ受取リ帰店後山口ニ入金ス。又保証金ノ公債四百円モ同時ニ戻ル。
夜學校ヘ行ク　ナマヌルイ風ガブーヽヽ吹イテ空ニハ黒雲引ク垂レハズカニ引サイタ様ナ間カラ月夜ノアカルイ空ガ見エルバカリ　又時々其黒雲ノ間カラピカリヽヽト光ル物スゴサ。実ニキミノ悪イ日デアッタ。學校ニ着クト豆ノヨーナ雨ガ土丹張リノ家根ニバチヽヽ。
帰途ハ雨ハナカッタガ雨風ノハゲシイ事オビタヾシカッタ
九時半帰店　之レヲ記ス

▲▼346ページ▲▼　明治42(1909)年11月30日(火)

例ノ通リ目ヲ醒シ新聞ヲ讀ミ掃除ヲ終リ支拂ノ準備　掛取ノ手配等ヲ定メ井上君ニ委頼シテ余ハ初廻リヘト出懸ゲタ　第一ニ鉄工所ヘ行キソレカラ住友鑄銅場迠行ッタガ其間ノ野道ノ寒サ、・・・　実ニハゲシイモヽヽヽモ　昨夜來吹キ續ク風ハ西ヲ向ヒテ行ク身ニハ、イキモツマル計リデアッタ　ソレデヤット同所ヘ着クト月末ニハ支拂ヲシナイト云フ。コレハト驚イタガ先ヅ色々頼ンデ、サト貰ヘル事ト思フト支配人ガモー一時間程セヌト來ヌトノ事　トードー働キ損ノ、クタビレモーケニナッテ仕末ッタ
午後四時帰店。夕食牛肉。今夜ハ最(ママ)非夜業ヲシナケレバナラナイノダガ學校ノ方ガ物理ノ番ダカラ休ンデハ次ギニ困ルト思ッタノデ學校ヘ行ッタ　果シテ今日ハ中々~~ホッカ敷~~　六ッカシイ處デアッタ
九時半帰店後傳票ノ、トワタリ支収両傳票ノ整理ヲナシ十一時就寝

▲▼347ページ▲▼　十二月中行事豫記

帽子一円七十銭　太陽六十銭　科學世界二十銭　太陽三十銭　科學二十銭　一円十銭工學會　三十銭禁酒會　〃四円四十銭　一円二十銭大津屋手袋　三十銭日記帳
〃五円九十銭　内三円二十銭支拂　同一円十銭　〃二円七十銭　獨吟集五十五銭
〃二円十五銭

▲▼348ページ▲▼　明治42(1909)年12月1日(水)

天気　晴
~~十時目ヲ醒シ新聞雑誌ヲ讀ミ六時十五分起床スル事例ノ如シ~~

昨夜夜業ヲシナカッタ変リニ今朝ハ四時頃ヨリ起床掃除ヲナシ、タヾチニ地方集金ノ記帳ヲナシ皆起キル時分ニハ大分方付イテ居タ　後チモ終日急ガシカッタ
夜七時半頃迄夜業　後チ「ウタヒ」ヲ習フ　十一時半就寝

▲▼349ページ▲▼　明治42(1909)年12月2日(木)

天気　晴

摘要　西ノ風　寒風スルドク天保山前ノ渡舟ニテ、ドキヽセリ
チヤーンヽヽトニツ半鐘ニ又火事カト思ヒナガラウツヽト又一寝入スルト、此度ハ電話ノベルガ、シキリニナリ出シ、ヤット目醒メテ、ハーハトヤルト天野ハンノ声デ工場ノ近ク火事ダカラ御店ノ人皆來テ呉レト　何處ダト尋ネテテ云ワバコソ其儘線ヲ切ッテ仕舞ッタ　僕モ驚キナガラ内カラ店ト皆ヨビ起シ余ト藤田君ト留都(ママ)シテ他ハ皆出テ行ッタ。ヤガテ六時頃ゾロヽ皆帰ヘッテ來タ　聞クト何ンノ事ダ　工場ヨリハ尚二三町西デ皆ガ行ッタ頃ハモー失エテ居タトノ事　後チ、「モチ」ガ出タ
朝八時頃カラ大阪鉄工所ト住友鑄銅場へ行ッタ　少々ゴテタノデ四時頃帰店。ソレカラ二冊程引合セヲナシ、夕食後學校へ行ク
今朝電話デ起コサレタノガ三時半。コトニ昨日ノ朝モ少々早ヤカッタノデ學校ヨリ帰ルヤ、タヾチニ床ニ入リ西村君ニ芋ヲ買ヒニ行ッテ貰ラッタノモ、ワスレ、ソノマヽ寝テ仕舞タ

▲▼350ページ▲▼　明治42(1909)年12月3日(金)

天気　晴

トンヽ階段ヲ登リ下リスル音ニ眼ヲ開ケバ軒端ノ電光、モーロート、スリ硝子ニ赤ク影シテ居ル。内デハ何ントナシ、サワガシイ。ソーシモ漸クスルト藤田君ガ何處へ出テ行ッタ。後チニ聞クト若主人ガモーチョーニ懸カッタノデ醫者ヲヨビニ行ッタノダトノ事　時計ヲ見ルト丁度四時半。ソレカラ新聞ヲ見六時起床
本日モ終日引合セヲ成ス
夜學校へ行ク　非常ニ眠カッタ爲メ講義ヲ大分聞キモラシタ様デアッタ。帰店後タヾチニ就寝

受信　藤井甚松様

▲▼351ページ▲▼　明治42(1909)年12月4日(土)

天気　晴

午前五時早クモ目ヲ醒シ新聞ヲ讀ミ後藤井様ヘノ返事ヲ書ク　起床、掃除ヲ終ルヤ

タヾチニ就業　引合セヲ終リ午後ヨリ書上ゲニカヽリ夜八時前全テ終リ、後チ藤井様への返事ヲシタヽメ封筒ニ入レ置ク
今日午後硫化アンチモニーノ買ヒ方ヲ命ゼラレ井沢ト金伊へ行ッタガ、ドチラモ、品切レ　十日頃ナラ三井へ這入ルソーダ。ソレデ十八円ダト。少ト高イシ又間ニ合ハナイノデ三貞ノ分ヲ取ルコトニシタ

▲▼352ページ▲▼　明治42(1909)年12月5日(日)

天気　曇
例刻起床　掃除後倉庫ニテ科學世界ヲ讀ム
今日掛算表出來
若主人ノ病ヒハ変リナシ　別ニ今ノ處デハ切ル程ニナシトノ事
晝食後工場へ行ク　漸(ママ)時工場ヲ見二時吹岩へ行キ賣掛代金ヲ受取リ宅へ帰リ少時休息ノ後三時帰店。雑誌ヲ讀ム　又昨日葉鉄組ノ古浪板ヲ一枚平均十八銭ト云フ底額デ引受ケ四十三銭?ニテ賣ッタノデ吾等ニハ五十銭ヅヽ配等ガアッタノデ、其レヲ工學会へ振込ム。夜五時半ヨリ七時半迠製圖ノ復習後謡曲ヲ習フ　八時半終リnoteノ表紙ヲ書ク。就床後少時謡曲復習　十一時就寝
発信　藤井甚様

▲▼353ページ▲▼　明治42(1909)年12月6日(月)

天気　晴
摘要　少曇リ
例ノ通リ目醒メテ例ノ通リニ起キ掃除後タヾチニ就業　一通リ、用事ガ終ルト店ノ名紙ヲ注文ニ大野へ行。序ニ余ノモ百枚頼ンデ居タ　帰途金伊へ寄リ、アンチモニーヲ頼ンデ居イタガ留都(ママ)デアッタノデ後カラ返事スルトノ事。後チヤハリ出來ナカッタ。茂七サンハヤカマシク云ッテ呉ルガ、何レ東京ノンデナケレバ渡セナイト云フト困タナー。
大弱ノ風デアッタ
夜學校へ行ク　平面幾何画法ハ今日デ御仕舞
帰店後物理ノ復習ヲナシ十一時半就寝

▲▼354ページ▲▼　明治42(1909)年12月7日(火)

天気　晴
今日月表出來上ル　二千九百円ノ純利益アリ
夜學校へ行ク　帰店後、寫眞例題集ヲ借リテ見ル。中ニ花ト實ト云フ題デ大下藤次郎

氏ノ談ガ出テ居タ。繪ヲ畫ク時分ナラ非常ニ参考ニナル事デアッタ
十時四十分就寝

▲▼355ページ▲▼　明治42(1909)年12月8日(水)

天気　晴
朝新聞ヲ讀ミ六時十分起床　掃除、雑誌。
晝一日以來ノ仕譯元帳ヘ記入　三時終リ地方ノ傳票記帳　四時十五分電燈發火終業
夜五時半入浴　夕食ヲ終リ製圖ノ練習ヲ爲ス　十時「コンパス」ヲ納メ後科學世界ヲ讀ム　十一時消火就寝

▲▼356ページ▲▼　明治42(1909)年12月9日(木)

天気　曇
新聞ヲ見六時起床　掃除、郵便
午前中昨日ノ簿記　十時半増田ヘ薬鉄組ノ帳簿書類ヲ借リニ行キ序ニ、ホーヘンロ代ヲ貰フ　コレヨリ先往途大阪病院ヘ寄リ、ふとん台ヲ返ス。此レニハ一番恐入リ何故ナレバ、アノ廣イ院内ヲ、最初教ワッタ通リ持ッテ行クト外科カ内科ヘ行ケト云フガサテ外科ガ何處ヤラ内科ガ何ノ辺カサッパリ分ラナイ。ヤウヤク尋ネナガラ、アチラヘ行ッタリコチラヘ行ッタリ遂ニヤハリ外科ノ看護婦詰所ヘ返ヘシタ
夜夕食後工學講義録ヲ讀ミ後チ謡　二人静ノ獨吟ヲ習フ
六時店ヲ出テ學校ヘ行ク。何分月初メニナルト讀ムベキモノガ一時ニ沢山ニナルノデ電車ナドニ乗ッテ居ル間々ニ讀ム事ニシタテ居ルガ今日モ往復共工學講義録ヲ讀ム
九時半帰店　新聞ヲ讀ミ十時半就寝

▲▼357ページ▲▼　明治42(1909)年12月10日(金)

天気　晴
摘要　本日老主人須磨エ別荘ヲ買ウニ付キ下見ニ行ク
午前五時半覺醒　新聞ヲ讀ミ六時起床　掃除後昨日一昨日ノ日記ヲ書キ此時郵便ヲ見七時過ギ就業　地方ノ記帳、簿記。正午後來年度新帳ノロ取リヲ作ル　三時帰宅　金五十銭ヲ貰ヒ前掛ヲ仕替四時帰店　地方ノ傳票整理。五時夕食　風呂ハ遅クナッタノデ入ラズニ學校ヘ行ク　此間カラ物理ノ時間ニハ、イツモ大変眠イノデ今日ハ往ク時ダケ電車内デ本ヲ讀マナイ事ニシタ　此故カアラヌガ不思議ニ目ハ、サエテ此熱ト云フ様ナ六ヶ敷イ處モ案外ヨク呑ミ込メタ

帰途科學世界ヲ讀ミ十時十分前帰店　物理ノ復習ヲナス　十一時半就寝

▲▼358ページ▲▼　明治42(1909)年12月11日(土)

天気　晴

午前六時起床　本日ハ新聞ガ遅カッタノデ掃除後之レヲ讀ム。イヨヽ研究会デモ此九日不忍池畔デ飛行器ノ飛揚ヲヤッタソーナ。然シ全ク紙タコ式デ自動車デ引キツヽ其勢ヒデ昇ルノデ最初佛国人ヲ乗セタガ上ガラナイノデ某海軍大尉ガ試乗スルト、マーウマク上ガッタ事上ガッタガ、余リ勢ガ強ヨカッタノデ綱ガ切レテ池ヘ落タソーナ。先ヅ初メテダカラ、之レ位ヒハ有内ノ事ダロー。

一通リ用事ヲ終リ新帳ノ口取リニ懸ル

五時夕食後濱宅ヘ風呂ニ入リニ行キ小旦那ニ工業大辞書ヲ借リテ一寸調ベモノヲナス。歳暮ノ志トシテ足袋一足ヲ貰フ　六時半帰店後製圖ノ清書ヲナシ十一時半一枚ハ全成一枚ハ下圖ダケ終リ今日河野君ニ貰ッタ蜜柑ヲ焼キナガラ國ノ光ヲ讀ミ十二時廿分就寝

▲▼359ページ▲▼　明治42(1909)年12月12日(日)

天気　晴

昨夜遅クナッタ精カ今日ハ終日チクヽ頭痛ガシテナラナカッタ

三時半終業　現金場ニテ小旦那ガ商店ノ研究ト云フ本ヲ讀ンデ居ラレタトコロカラ色々ナ話ガ出デ遂ヒニ廣告法ト云フコトニツヒテ之レヲ生理的ニ廣告ト云フコトヲ云ヒ現ワストツマリ人間ニハ心意識ト純意識トガアッテ、己レノ思フ方ヘ人ノ純意識ヲ引キツケル目的ヲ以テスルノガ即チ廣告ナリナド一寸面白イ論デアッタ　後風呂ニ入リ戸次サンニ仕ナイデヨイ仁ヲスル事ヲ何ントカノ仁ト云フノデシタナ?ト聞クト宋ノ襄王ノ仁ダト教ヘテ呉レタ。即チ彼レハ殺スベキ敵ヲ仁ダト云ッテ許シタ爲メニ返ヘッテ自分ガ其者ニ殺サレタノダソーナ。夕食後散髪　六時ヨリ製圖ノ墨入レニ着手　此時頭ハ増々痛タカッタガ明日最(ママ)非學校ヘ持ッテ行キタイノデ、トードー十時過ギ迠カヽッテヤット出來上ガッタ。今夜ハマダヽヽ仕タイ事ハ沢山アルガ、モー出來ナイ。タヾチニ就寝

▲▼360ページ▲▼　明治42(1909)年12月13日(月)

天気　曇

摘要　夕方ヨリ雨

湯カラ來タ主人等ニ「ドン」ト戸ヲ、タヽカレテ飛ビ起キタノガ丁度五時　今日ハ事初メデアル　余ガ掃除シテ居ル處ヘ朝寝坊ノ前中ハンガ來ラレタ　雨ガ降ラネバヨイガトハ誰

レモ同ジ思ヒ　今日ハ頭痛ハ昨日ヨリ一曽、ハゲシカッタ　シカシ書出しヲ仕ナケレバナラナイシ、學校モアルノデ寝ル訳ニ行カズ新聞ヤ本モナルダケ、多クヲ讀マナイ様ニシタ。夕食後、上村ハンノ依頼ニヨリ六歌仙ヲ二組畫キ六時十分前學校ニ行クベク出タ　今日ハ學校ヘ行キカケテカラ二度目ノ雨ダ　加フニ少々寒風ガ吹キマクルニハ困ッタ

昨夜カイタ製圖ヲ先生ニ渡シタ　今日ハ出席者モ少ナカッタノデ先生ハ最初ノ少時間ヲ利用シテ、人生ト云フ事ニ付キ極ク、カンタンニ話サレタ　ソレハ人間ト云フモノハ生キタイト云フ性質ヲ持ッテ居ルモノデ今カリニ之レヘ、刃ヲヌイテ、アバレ込ム者ガアルトシタラ、タレシテ逃ゲルデアロー。之レヤハリ生キタイカラデアル。然ラバ生キルナラ、ヨリヨク生キタイトハ之レ又タレシモ持ッテ居ル事デ電車ノ仕來ルノモ公園ヲ造ルノモ或ハ芝居ナドノアルノモ、ヨリヨク生キタイト云フ心ヲ満足サス爲メニ出來タデアル。而シテ人間ハ此ノヨリヨク生キタイニツイテ己レノbestツクスモノデ諸君ガ夜間、コーシテ來ラレルノモ将來ニヲイテヨリヨク生キタイト云フ心カラ出ルノデアル。シテ見レバ一寸ノ雨ヤ風ニ休ム様ナ事ハシナイ様ニシテ下サイト云ワレタ　最初ノ時間ノ終リ頃非常ニ眠タクテ、ヽヽ閉口シテ居タガ不圖筋向フニ居ル、庄司君ト顔ヲ見合セ、「ハッ」ト思フト目ハ、パッチリトシテ眠ムソーナ目付キヲシテ居タナド思ッテ居ワシナイカト考ヘルト益々目ハ、サエテ其後ハ先生ニ講義モ一シホヨク、分カッタ　今日カラ投影画法デ點ノ投影マデ教ワッタ

十時十分前帰店　行キガケ玉吉ニ頼ンデ居タノデ、タドンガヨク、イコッテ居タ。早速冷エタ手ヲ、アタヽメ後之レヲコタツニ入レタ

十一時十分前此日記ヲ書イテ居ル處ヘ井上君ガ、亜鉛銅板ノ入札ノ寄合イカラ帰ラレ、壽神ヲ土産ニ貰ッタ　因ミニ云フ　今日大阪□信省ニ亜鉛銅板十万個外二点ト云フ入札ガアッテ井上君ガ行カレタガ、兎ニ角三貞ノ名義デ十銭五厘デ取ッタトノ事。余リ口銭ハ出ソーニモナカッタ　十一時十分就寝

▲▼361ページ▲▼　明治42（1909）年12月14日（火）

天気　晴

頭痛ハ少シモ変ラナイ。休ミタカッタガ今日物理ノアル日ダカラ無理ヲシナガラ起キタ而シテ冷タイ風ニデモアタレバ返ヘッテ好イカト思ッタノデ書出しクバリニモ出タ。夜學校ヘ行ク　今日ヨリ後三日間デ此學期ヲ終ルノデアル。シカモ其間ニ電気學ヲ勿論大意ダケダガ習得シヨート云フノデ非常ナ速力デアッタ。ヤガテ九時終業シテ帰途ニツイタ。此レヨリ先キ一時間程ノ頃ヨリ西風ハ益々ハゲシク吹キ立テタ。他ノ校友等ハバタヽ走リナガラ皆帰ルガ余ハ、頭ノ痛ム御蔭デ走レナイ　一陣去ッテ又一陣ビュートクル毎ニブルヽト胴ブルヒガスル　足ノ先キハ氷リノ如ク冷エテ居ル　イツモナラ新町橋迠乗ルノダカ今日ハ長堀迠電車ニ乗ッタ　帰店後タヾチニ就寝

▲▼362ページ▲▼　明治42(1909)年12月15日(水)

天気　晴

今日ハモー頭痛ニ堪エラレナクナッタ。掛取リハ平吉ヲヤッタ。ソーシテ貰ツテ帰ル金ノ入リヲシテヤルダケデ簿記ニヤラナイ　夜モ七時ヨリ就寝

▲▼363ページ▲▼　明治42(1909)年12月16日(木)

天気　晴

七時頃ムックリ起キタガ頭ハヤハリ痛イ　今日モブラヽト用事ト云フノハ、ホンノ一寸ヨリシナカッタ　夜風呂ニ入リ六時頃ボチヽヽデモ學校ヘ行カウート道具ヲ取調べ~~主人~~土草履ヲ取リニ行ッタ時、モー動ケナクナクナッタ　頭ハヒッキリナシニ痛ムデ残念ナガラ菊地へ行ク事ニシタ　約一時間半程マタサレ水薬ト粉薬ヲ貰ッテ帰ヘッタ　帰店後早速粉薬ヲ一服ヤッテスグ床ニ就イタ

▲▼364ページ▲▼　明治42(1909)年12月17日(金)

天気　晴

今日ハ朝一寸起キテ集金ノ手續キヲナシ之レヲ井上君ニ依頼シテ再ビ床ニ就イタ。間モ無ク眠ムッタ。ソーシテ夢ニ驚イテ醒サレタ。斯クスル事夕方迠幾回カ夢ニ入ッテハ醒メ醒メテハ再ビ眠ムル　其度毎ニ色々ナ夢ヲ見ル。兎ニ角今日モ、又學校ヲ休マネバナラヌノガ一バン、ツライ

夜モ晝ニ、変ワッタ事ハナカッタ

▲▼365ページ▲▼　明治42(1909)年12月18日(土)

天気　晴

痛タミハ朝ノ内大分好カッタノデ少シ又簿記ヲヤスルト三時頃カラ、チクヽヽ痛タミ出シタ。困ッタ菊地ノ様ナ醫者ハアカズ薬ハ買イタシ銭ハ無シ　實ニ不影(ママ)気ナ話ダガ、ヤムヲ得ズ。

夕食後帰宅シタ　姉ハ、ソレト際シテ、スグソコニ有リ合セタ金ヲ呉レタ。ソコへ西ノ姉ガ來タ　兄ハ七時過ギ帰ヘッテ來タ　父ハ漸(ママ)時シテ観音サンエ御参リニ行ッタ。姉等ハ僕ノ顔色ヲ見テ色々親切ニ云ッテ呉レタ　八時帰途ニ付ク　長堀橋ニテ下車シ塩町ノ角ニテ脳丸ヲ三十銭ノ分一ツ買ッテ帰ヘッタ

▲▼366ページ▲▼　明治42(1909)年12月19日(日)

天気　晴
脳丸ノ精力午後ハ余程気力ヲ回復シタ
夜坂口君トプラヽ、心済（ママ）橋筋ヘ遊ビニ出タ　余ハ新築ノ心済（ママ）橋ニナッテカラ渡ルノハ今ガ初メテヾアッタ　帰途ハ又チクヽ痛ンダガ左程デモ無カッタ　而シテ塩町ノ本屋ニ世界ノ飛行船ト云フノガ出テ居タノデソレヲ買ッテ帰ヘッタ
頭ガ大分ヨクナッタト思フト腹ガ痛ンデ一寸モ通シガ無イニハ第一困マッタデ、穏通丸ヲ三四十個服シテ床ニ入ッタ

▲▼367ページ▲▼　明治42（1909）年12月20日（月）

天気　雨
薬ノ加減ガ夜ノ二時頃カラ御書迠ニ四五回モ便所ヘ行ッタ　午後ハ誠ニ楽ニナッタ
夜學校ヘ行ク　直線ノ投影ヲスッカリ教ワッテ本期ハ今日デ終リ　來期ハ一月十日ヨリ開始ストノ事デアル

▲▼368ページ▲▼　明治42（1909）年12月21日（火）

天気　曇
今日ハホトンド全快ノ有様デ朝モ早ク起キ新聞モ讀掃除モシタ
今日ハ終日病気ノ爲メ遅レタ記帳ヲシタ
夜學校ヘ行ク　工業物理ハイヨヽ終リヲ告ゲタ

▲▼369ページ▲▼　明治42（1909）年12月22日（水）

天気　晴
夕長イ間風呂ニ入ラナカッタノデ、急ガシイ中ニ風呂ダケ入ッタガ食事スル時間ガナイノデ其儘學校ヘ行ッタ　今日校友會デアル。ドンナ事ヲスルカ知ラント思ッテ居ルトヤガテ豫定ヨリ遅ルト三十分間ニシテ校長ノ開會ノ辭ト教訓談ガアッテ次ニ某教輪（ママ）ノ洋行談、ソレカラハ餘興デ第一ニ蓄音機、サキソホン、ソップラヌ、剣舞、講談、ビワ等変ルヽアッテ閉會シタノガヤット十一時二十分。記念繪葉書ヲ貰ッテ帰ヘル　此時半鐘ガナッテ居タ　難波ダトカノ事

▲▼370ページ▲▼　明治42（1909）年12月23日（木）

天気　晴
今日ハ一通リ用事ヲ終ルトロ取リニ取リカヽッタガ、丁度ソコヘ鎌田カラ電話　阪正ノ

端書ヲ持ツテ來タノデ地方ヲ全部ヤッタ　約二百枚位デアッタ　之レガ爲メ何ニモ出來ズニ終ワッタ。因ニ云フ　今日ヨリ丸善ハ南ノ四番ニ四千三百八十六ハ四千六百八十六番トナッタ
正午晝飯後タヾチニ約ニヨリ京阪電鉄ヘ行キ例ノ長イ間其マヽニナッテ居タ半田ヲ、取ッテ居イテ貰フ事ニ話ヲ極メタ　處ガ金ハ何レ來年ヨリ拂ヘナイトノ事
夜少時夜業ヲナシ余リ複雑シテ居ルノデ机ノ中ヲ掃除シ講義録ヲ整理ス

▲▼371ページ▲▼　明治42(1909)年12月24日(金)

天気　晴
昨日ニ大差ナシ
夜八時頃迠本日ノ分ヲ簿記ス　後小説ヲ讀ム　十時半就寝

▲▼372ページ▲▼　明治42(1909)年12月25日(土)

天気　晴
午前六時半起床　終日新帳ノ口取リニ従事ス
夜本日分ヲ簿記シ後世界ノ飛行船ヲ讀ミ九時就寝

▲▼373ページ▲▼　明治42(1909)年12月26日(日)

天気　晴
今日モ又終日口取リニ従事ス。夕方鏡据エニ帰宅ヲ許サレ序ニ洗物ヲ持ツテ帰ヘル。今日ハ宅モ餅ツキデアツタ。七時頃蒲生ノ御母サンガ、餅ヲツイタト云ッテ、おこゝろみヲ持ッテ來ラレタ　余モ御挨拶ヲシタ
後チ北ノ御師匠ガ來ラレ、又西ノ姉ヲ來タ　父ハ例ニ依ッテ何處カヘ遊ビニ出テ行ッテ兄ハ竹島様ヘ行ッタ。後チ正月ノ荷物ヤ下駄足袋ナドヽ、ソレヽ貰ッテ月末ノ拂二円ト、外ニ「シャツ」代トシテ三円合計五円呉レタ　九時帰途ニツク
帰店後空中飛行船ヲ讀ミ十一時就寝

▲▼374ページ▲▼　明治42(1909)年12月27日(月)

天気　晴
六時半目ヲ醒シ新聞ヲ讀ミ六時起床
今日ハコレヽト思フ分ダケ請求書ヲ出シタ。余ハ十時頃ヨリ汽車会社ヘ金ヲ取リニ行ッタ。空ニ「トビ」ガ飛ンデ居タ。何程羽ハ稍ヤ弧ヲナシテ居ル。アレデ風ヲフクンデ居ルノ

デアローナト色々ト空中飛行船ニ書イテアッタ飛行機製造一班ト云フノヲ思ヒ起シテトビニ付キ工夫シテ見タ　二時帰店

夜半取引合セヲナシ後本日分ノ仕訳ヲナシ終ッテ心済（ママ）橋筋へ羽織ノ紐ヲ買ヒニ行キ帰途繪葉書ノ台紙ヲ求ム

帰店後雑談ヤ繪葉書ニ畫ク参考書ヲ調べナドシテ十一時過ギ床ニ入ル

受信　禁酒同盟會　新年會出席ノ有無

▲▼375ページ▲▼　明治42（1909）年12月28日（火）

天気　晴

サスガ年末デ一寸ノ間モ手ヲ束カネテ居ル間ガ無イ

夜少々用事モアッタガ年賀状ヲ書カネバナラヌノデ其方ニ縣ッタ　九時頃終リ本屋へ金ヲ持ッテ行ッテヤッタ　丁度二冊付落チガアッタガ云ッテヤッタ。序ニ正月ノ讀物ニ欧州見物ヲ買ッテ帰ル

▲▼376ページ▲▼　明治42（1909）年12月29日（水）

今モ又終日何ニヤカヤデ終ッタ　夜請求書ヲ書キ後本日分ノ簿記ヲナシ九時半終リ坂口君ニ新年ノ謡曲ヲ習ヒ十一時前就寝

今日中特ニ記スベキハ中坊ノ一事デアル　事ハ十数日前カラ毎日ノ事ダガ夕方ニナルト中坊ガ、老主人ニ濱宅へ、ツレテ行ッテト頼ムノニ、大坊ダケヲ連レテ、イツモ中坊ヲダマシテ残シテ帰ルノガ例ノ様ニナッテ、ソレガ爲メ此頃デハ朝カラ、誰レヲ見テモ濱へツレテ行ッテトスガリツキ時ニハ大雨ノ降ル事モアルノダ。處ガ店中否全家人ヲ上ゲテ皆中坊ヲ、ニクミ或ハ、ワルサダカラト云ッテ嫌フノダ。ソーシテ、中坊ニ「兄イチヤハ御ヂイチヤント濱へ帰リハッタ。アンタハ、ワルサヤカラ、ホッテ居カレテ」ナドトヤユスル。実ニ余ハ中坊ニ対シ気ノ毒ヤラカワソーヤラ。此レガ爲一昨夜モ井上君ト、稍ヤ中坊ノ爲メニ口ヲ交ヘタ位イダ。アヽ家人多シト云ヘドモ一人モ彼レニ同情スルモノナキカ……。タヾ悪サダカラト云ッテ排析（ママ）スルガ如キ実ニ馬鹿気タ極ミダ。何ヲ云ッテモ小供ダ。殊ニ元気モノヽ中坊ダ　少々ノ悪サハ返ッテ普通ダ。大坊トテモ、アナガチ悪サデナイトハ云ヘナイ。悪サノ先ガケハ、イツモ大坊デ中坊ガソレヲ見習フノダ。而シテ、イツモ、叱カラレルノハ中坊ダケダ　眞ニ気ノ毒ニ堪エナイ。ソモヽヽ又人間ト云フモノハ常ニ心ノ中ニ不平ガ、ワダカマル時ハ如何ニ、カクソートシテモ、知ラズヽヽノ間ニ意表ニ出ヅルモノダ　況ンヤ自制心ナキ頑是無キ小児ニ於テオヤ　其不平ノ、アフルヽ處ハタヾ、イタヅラトナッテ表ワレルヨリ外ナイノダ。ダカラタマニ一度位、ツレテ帰ヘッテヤッテ呉レテモ好サソーナモノダ　今コソ何ニモマダ分カラナイカラヨイガ此儘生長スルナラバ、中坊ハ遂ニ、イヂクレタ心ノヒガンダ人間トナッテ仕舞ハ必然ダ。然ラバ此家ノ安否モ気ヅカワレル

譯ナンダ。今朝モ早クカラ店へ出テ來テ茂吉ガ掃除シテ居ル處~~へ出テ~~デシキリニ、手傳ヲスル其心ノ、イジラシサ、ツマリハ濱宅へ連レテ行ッテ貰ヒタイ爲メダ。然ルニ今夕モ又老主人ハ大坊ヲツレテ帰ヘッテ、中坊ヲ捨テ丶居イタ。デ又例ニヨッテ濱へ々々ト見ル人、サワル人毎ニスガリツキ遂ヒニハ御風呂へ入リニ行クダケデ、宿マレヘンカラ、ツレテ行ッテト云フ。ア丶何ニタル、イヂラシサデアロー　余ガ夜業ヲシテ居ラナケレバ連レテ行ッテヤルモノヲト思ッタガ今日ハ、ソンナ事ヲシテ居ラレナイノデ中坊ニ、ネンゴロニ色々ト濱へ行カナイ様ニ、ナダメルト、フン丶丶ト、スコブル、オトナシク聞イテ居テ、ソレカラ後チハ、モー濱へト云ワナクナッタ。而シテ先キニ大坊好キノ井上君ニ色々中坊ノ、アワレヲ説イタ。井上君モ今夜ハ非常ニ中坊ニ同情ヲ寄セテ居タ

発信　禁酒同盟会　新年會欠席ノ届

▲▼377ページ▲▼　明治42（1909）年12月30日（木）

天気　雨

今日モ終日バタ丶丶デ夜ハ方々ノ書出シヲ調べ支拂帳ニ記入ス。ドーモ分カラナイ、家ガアルノニハ困ッタ事ダ。次ニ本日ノ簿記ヲナス　時十一時　ヨーカンノ御馳走ガアッテ余ハ床ニ入ッタ。中山ハンニ河野君トハ、マダヤッテ居タ

▲▼378ページ▲▼　明治42（1909）年12月31日（金）

天気　晴

昨日ニ引替へ、スキトールヨーナ空。キラ丶丶ト日ノ照ル様、誠ニ心好イ日デアッタ。然シアマリ、ヌク過ギルノデ明日ノ天気ガ気ヅカワレル

今日ハ収金ノ方ハ井上君ト小旦那ニ依頼シテ、引合セ一方ヲヤッタノデ夕方ニハ全部方付ヅイタ。コレデ二日ガ楽ダ

五時頃出入ハ、スッパリテ合ッタ。余ハ支拂金ヲ整理シ、後チ皆シテ、掃除ヲナス。風呂ニ入ッテヤット楽ニナッタノガ七時半　コレデ御正月ハ何時ナリト、ジヤ。

思ヒカエセハ今年中実ニ何ニ事モナス事ナク、タヾ夜學ニ入ッタノデ幾分得ル處ガアッタノモ、マー、ヤク年ト云ノデ諸事、ヒカヘ目ニシタカラ、來年コソハ一ツ余ノ生涯ニ目鼻ヲツケズニハオカナイ決心ダ。四十二年ノ日記モイヨ丶丶終リヲツゲル。日記ヲ續ケテ記ケタダケハ、唯一ノマー手柄カ　ハ…。七時四十分

▲▼379ページ▲▼　補遺

（55および59ページから続く）

タ。起床後ハ例ノ通リ終ッテ、目的物「ヒナ形」ノ製造ニ着手
夜数學研究　二三日前カラ分ラナカッタ問題ガ一ツ解決シタノデ非常ニ嬉シカッタ。
本日ヨリ代数ヲヤル
後八時半就寝
二十一日分

屋ノ拂ガ二円足ラヌノデ、内ヘ貰ヒニト電車ニ飛乗ッタ
帰宅シテ見ルト兄姉ハ二三人客ガアツタ　父ハ不在。シカシ何ニヤラ云ヒニクイノデ、ツヒニ又次キニ仕様ト決心シタ　處ガ圖畫展覧會ヲ見テ來タラドーヤト云フーノデ余モ見タカッタノダカラスグ意ヲ決シタ。石垣モ又同人ノ弟モ行ク事ニナッテ三人ヅレデ出カケタ

▲▼380ページ▲▼　補遺

(59ページから続く)
一番初メハ「ウイルミナ」女學校　其次ギガ「プール」女學校、相愛女學校等　中學校デハ茨木、八尾、市岡等第一ニ列セラレテアッタ。皆中々ノ上出來デコンナニ畫ケルノダローカトウタカワレル位ノガ、沢山アッタ。然シ中ニハ又見ラレナイモノモアツタ。府下市内中小學校残ラズダカラ随分見ゴタヘガシタガ、アマリ、オソナッテハナラナイノデソコヽニシテ帰ヘッタ
帰店シタラ、スデニ四時十分前　然シ店ノ時計ハ七分余進ンデ居ルノダ
夜数學ヲヤル
二十五日分

▲▼381ページ▲▼　補遺

(77および82ページから続く)
アッタガ其レカラ十一時半頃迠カヽッテヤット下書ダケヲ作ッテ寝ニ就タ　色々考ヘテ見ルト実ニ余ノ責任ハ益々大キクナル。
竹島様ヘハ儀理ヲ立テナケレバナラナイ　噫々之レ余ガ目的ニ対スル第一ノ障害物ダ。之レ敷位ニ辟易シテ居テハ到底成功ハオボツカナイ。実ニ余ノ決心ヲタメス好試金石デアルノダト得神(ママ)タノデ今更ナガラ決心ヲヨリ大キクシタ
三月十四日。七七

八二頁ヨリ
付ヒテ明日月次會ヲ開キ準備ニ対スル相談會ヲモ開クトノ事　之レハ最(ママ)非出席シナケレバナラナイゾ
午後住友倉庫ヘ眞中塊ヲ入レニ行ッタ(但シ呉レヨリ來タ方)　帰途宅ヘ帰リ研数學館講義録ト薬學講習會規則書トヲ持ツ帰ッタ　夜風呂ヲ上ガレバ、スデニ八時ヲ過ギテ居タノデ探倹世界ヲ讀ム　余ニ大フン起ノ気ヲ養ワシメタ　国ノ光來ル　タヾチニ一讀ス

▲▼382ページ▲▼

補遺

(83ページから続く)

夜七時頃ニナッタ時禁酒會ヘ行クツモリデ小旦那ニ彼ノ端書ヲ見セテ云フト別室ニ呼ンデ色々ナ説諭ヤラ自身ノ竟寓(ママ)ヤラヲ話サレタ　ソレハザツト斯ダ「御前モ禁酒會ニ入ルノハ好イガ到底実行ハ出來マイ　店ニ居ル間ハ又商人トシテ立ツニハヤハリ交際モシナケレバナラヌ。僕等モ今日迠酒ナドハアマリ否少シモ飲マナカッタガ此頃ニ限リタトヒ一二盃デモ飲マナケレバナラナイ様ニナツタ　又人間モアマリ硬クナリ過ギルト年取ッタ後ニ今ノ戸次ノ様ニナツテシマイ又コトニ自身ノ發展ト云フコトヲ非常ニ、ソクバクセラレル様ナ事ガ間々アリ僕ナドモ、ドチラカト云ヘバ硬イ利屈(ママ)ポイ方デ其レガ爲メ自由ヲ自分自身ソクバクスル事ガアル。ソーシテ僕ハ今店ノ方デハ外ヘアマリ出ナイ。ソレガ爲メ或ハ意気地ナシノ様ニ思ワレテモ居ルガ僕ハ内ニ居テ店ノ内政ヲ

▲▼383ページ▲▼

補遺

(382ページから続く)

整理シナケレバナラヌ位地ニアルノダ　ソレニツヒテ僕ハイヅレ外ヘ出ナケレバナラナイ身体デアルカラ之レガ後チ受ケテヤル者ハ今店ニ大勢店員ハアルガ、尻ニシメクヽリノアル者ハ御前一人シカナイ。ダカラ此ノ店ノ内政ヲ取マトメテ整理スルノハ御前ノ役ノ様ナモノデ御前ノ地位モ店ニ居ル限リダンヾヽ昇ル様ナ譯ダカラ、何ニモ御前ノ自由ヲソクバクスルト云フノデハナイガ余ハ、カタクナリスギナイ様ニスル方ハヨカロートモ其他御実家破綻ノ事ヤラ色々ト説キ聞カサレタ
実ニ最モデアル　余ヲ思ヘバコソカクマデ云フテ聞カサレルノダ。ダカラ之レハ守リタイ。タイガ其レハ出來ナイ。余ノ目的ト相違シテ居ル
シカシ「余リカタクナリスギナイ様ニスル」ト云フ事ハ、カタク守ル様ニシ様
今日ハヤメニシタ

三月廿日

▲▼384ページ▲▼　補遺

（84ページから続く）

居タ爲メ之レダケハマヌガレタ
帰宅スルト兄ガ一寸來テ呉レト云ッテ居タト云フノデ、スグ竹島様へ行ッタ　兄「一昨日大將（竹島御主人）ニ云ッタラ一ツ廿一日ニ戻ッテ來タラ、ワシカラ聞イテ見ルト云ツテ居ラレタカラ一寸アイサツニ行ッテコイ」トノ事デ又表カラ廻ッタハ入ッタ　處ガ今午御寝中ト云フノデ御家ノ御病気ヲ見舞爲メ奥坐敷へ通ッタ　声ヲ懸ケ一通リノ見舞ノ詞ヲノベ。御前ハヤウ丶寝返リシテコチラムカレタガ一目見テ余リ其御ヤツレ方ノハゲシイノデ驚イタ　而シテ又色々ノグチガ始マッタガ余ハコンナ事ニハ、ナレナイカラナント、ナグサメテ好イカ詞ヲシラナイノデ大へーコーシタ
ヤガテ其場ヲ去リ御目ザメニナル迠デ裏デ持ツ（ママ）事ニシタ。イクラ持（ママ）テモ持（ママ）テモ呼ビニ來テ呉レナイ　時々内へ、ノゾキニ行クガマダ起キテ

▲▼385ページ▲▼　補遺

（384ページから続く）

居ラレナイ　又裏へ出デ持ツ（ママ）　其内ダンヾト長ウナッタ日モ早ヤ西ニ落チ暮色東天ヨリ流レテ來タ
此レヨリ先キ余ハ宅へ帰ヘッテ持ツ（ママ）事ニ仕様カト思ツタガ、昔秀吉ハ金城網張ノ奥義ヲ聞カントシテ一日一夜一食モセズニ先生ノ、ヨブノヲ持ッタ（ママ）トノ事ヲ聞イテ居ルカラ余モ又之レニナライ、タトヒ竹島ノ御主人ニ余ノ忍耐力ヲ、タメス心ハナクトモ余自身之レグライノ卒棒（ママ）ハセナケレハナラヌト我マンシテ居タ　ヤガテ火ノ付ク頃内へノゾキニ行ッタ時火針（ママ）ノカタワラニ坐ッテ居ラレタカラ早速御アイサツヲシテ、其レカラ余ノ決心ヲ固クツラヌイテセメテ兵隊迠卒棒（ママ）シテハトカ其他色々ノ話ガアッタガ、ツヒニ、余ニ身方シテ、御主人カラ兄ニモ余ノ事ヲ頼ンデヤロート迠デ云ハレタ。
其時ノ余ノ喜シサ。コレデモ一半分成功シタト云ッテヨイクライデアッタ
三月廿一日

▲▼386ページ▲▼　補遺

(136ページから続く)

百六十三頁ヨリ

デ後チニシテ呉レト云フノデ高濱ノ東京倉庫へ先日波没シテ引揚ゲタ平板ヲ見ニ行ッタ。何モ大変ナ汐ダ　地ハ一面黒ズンデ其上ニ白ク汐デ繪ヲ畫イテ居ル箱ノ、ツブレタノハ少ナイガ内ノ方ハマダ、ヌレテ居タ。艀ハ川口屋ニ聞クト積品ハマダ残ッテ居テ其内ニハ特物モアルソーダ　昨日其特物ノ内平板山中へ百五十ト井沢へ五十出シタトノ事
ヤガテ倉庫ヲ出タガ、マダ二時前後ナノデ此レカラ湊川神社ニ詣デ楠公ノ忠碑ヲ見、ヒソカニ帽ヲ取ッテ礼拝シタ。ツヒデニ水族館ヲノゾイテ見タガ実ニ見ラレナイ。マルデ市ニ出テ居ル魚ヲ水ノ中ニ「ウカ」シタ様デ半死ノヤツガ多ク、メヅラシソーナモノハ一ツモナカッタ。スグソコヲ出タガマダ時間ガ早イノデ元町ヲブラッキ一丁目カラ又山手ノ方ヲブラヽ、廻ッテ好原ノ通リ四時頃永叢へ行タ　丁度手形モ出來テ居タノデスグ受取リシテ帰途初塚ニ一寸寄リ帰リニツイタ　途上、パバナヲ購ッテ買フ

▲▼387ページ▲▼　補遺

(386ページから続く)

実ハ昨日河野君ガパバナガ喰イタイガ大阪ノハ高クテイケナイト云テ居ツタノヲ思イ出シタカラ。
電車中一ツ余ハ感ジタ事ガアッタ　ソレハ外国人ノ夫妻ト其ノ子トモ見ラレル二人ノ兄弟デ上ハ二十頃　下ハマダ十位ダロー　吾等ノスグ前ニ陣ヲカマヘタガ此時中々ノ乗リ手デ立ツ人々ガ沢山出來タ　中ニ一人老媼ガ居タノヲ見ルヤ彼ノ外人ハスグ弟ノ方ヲ母ノヒザニ取リ老媼ニ坐ヲ、アタヘタ處ヘ又一人ノ婦人ガ來タ　父ノ方ノ老紳士ハスグ立ッテ婦人ニ坐ヲ、ユヅッタ　余ハ之レヲ見テ眞ニ外国人ノ信儀ノ厚イニ感ジタデ余ハ立ッテ彼レニ坐ヲ進メ様ト心ノ内デハ、シキリニ、セメルガ余ノ気性トシテ、何モロカラ出ナイノデ、シリヲモジヽヽサシナガラ三四駅スギタ　其内母ノ方ト弟ノ方ガ下車シタノデ老紳士モ坐ニツイタノデ余モヤット安心ガ出來タ
八時就寝

▲▼388ページ▲▼　補遺

(153ページから続く)

153頁ヨリ

晝食ハ製銅場デ御馳走ニナリ二時頃店へ帰ヘッタ。昨日カラ冒險世界ニ一本レールノ汽車一時間二百哩ノ速力ト云フノガ出テ居タ　之レハ最早数年前カラ本デ見タ事ガアル

ガ今其發明者英人ルイス・ブレナン氏ノ苦心談ト実險（ママ）トガ稍ヤ細カシク出テ居タノヲ讀ンダ。即チ彼レノ發明ハ全ク獨樂ノ廻ルヤ、ヨク中心ヲ取ッテ、タオレナイト云フ處カラ一本レールノ汽車ヲ思ヒ付イタノデ実ニ馬鹿ラシイ様ダガ然シ汽車ニシテ走ラスニ至ラシメル迠デノ苦心ハ又余ノ深ク敬慕スル處デアル。ソコデ余モ又馬デサヘモ空中高ク飛ビ然シテ海中深ク、クヾルモノガアルノダカラ空中飛行器ト潜行艇トヲ兼ネタモノガ出來ナイ筈ハナイト考ヘタ　デ之レカラハ如何ナル事ガアルトノ此目的ニ余ノ一生イナ余ガ生長シテ子ガ出來タナラバ又コレニモ目的ノ達セラレル迠デ、ヤリ通スト決心シタ

▲▼389ページ▲▼　補遺

（388ページから続く）

而シテ裏ノ金魚ガ旅泳シツヽアル様ヲ眺メタリ空ヲ、アオイデ過ギ行ク、鳥ナドヲ研究シタ。今日余ハ長距離ヲ飛ブ鳥ハ決シテ羽根ヲ多ク働カサナイ事ヲ知ッタ。ナゼナラバ鳥トカ、トビナドデモ、飛ブノヲ見ルト羽根ハ水平ニナツテ居テ、ハヅカニ其先キダケカ動イテ居ル。ソシテ殊ニ一定點ニ止マルト云フ事ダガ之レハ、トビナドヲ見ルト翼ノ根本ノ處ガ少シク彎曲シテ居テ之レニ風ヲフクンデ居テ身体ヲ支持シテ居ルノデアル　サレバ翼ノ先キハ何ンノ爲メカト云フト之レハ空気ノ浮力ヲ支ヘル爲メデト云フト少々解リ堪イガ、ツマリ根元デ身体ヲ保チ先キガヲ充分ノバシテ空気ノ上ニ乗ッテ居ルノデアルト云フ事オモ心付イタ。然シ之レハ其眞ヲ得タモノカ否カハ実險ノ結果ヲ待タネバナラナイ

夜牛肉デアッタ　戸次サント御作サント三人共ニ食事ヲナス。久シ振リデ

▲▼390ページ▲▼　補遺

（389および161ページから続く）

一パイ喰イ過ギタ　夜モ今日ハ色色ノ事ヲ考ヘタ爲メ何ニ事モシナカッタ　十時床ニ就ク

五月廿七日

今後ノ半歳ハ之レ迠デノト一ヶ年分ノ勉強ヲシナケレバナラヌ。其レニ就テモ如何ニシテ身ヲ處スルカ。之レハ大問題デアル　余ハ何故カク意志ガ薄弱ナノデアローカ　余ニシテモシ意志強固ナリシナラバ今頃ハ、タシカニ獨立デヤツテ居タニ違イ無イ　又十五才位ノ時ハ其計デアッタノダ。デ前ノ大問題ヲ解決スルハ唯意志ノ鍛練ニアルノミト諫リ其方法ヲト考ヘタ。而シ一寸考ヘガ付カナカッタ。夜太陽ヲ

▲▼391ページ▲▼　補遺

（390ページから続く）

讀ンダ　中々面白議論モ出デ居タ　而シテ論説欄ハ全ク日糖事件カラ社會道徳ノ腐敗問題ノミデアッタ　余ハ痛切ニ右ノ問題ヲ感ジタ　手近イ處今日店ノ有様ガスデニ道徳ト云フ様ナモノハ一ツトシテ算ヘルモノガナイ。所謂人ノ物ハ我物、我物ハ我物主義デ実ニ仕末ニツカン。然シ之レ等ハ多ク下ノ者ダガ、上ニナルトサスガ外面ヲハヾカルガ返テ裏面デハ前者以上ノ不徳ヲアヘテシテ居ル　一二ヲ上グレバ余ノ見ダヽケデモ運賃雑費等ニカコツケ金庫ノ金ヲ引ズリ出ス。内ヘ渡スベキ平浪板ノ函代ヲゴマカス　之レ等ハ実ニ証コ充分ナモノデアル

後新聞ヲ讀ム　余ツラヽ考フルニ今コソ世界各国ハ口ニ平和々々ヲ稱ヘテ居ルガ彼レ等ノ軍備ヲ擴張シツヽアル有様ハ全ク競争ノ如ク英国ガドレットノー級戦艦ヲ作レバ獨ハ之レニ対シ同様戦艦ヲ造ル　日本ガ今度二万五百頓ノ戦艦ヲ建造ニカヽルト米国デハスグ

▲▼392ページ▲▼　補遺

（391ページから続く）

二万六千頓ノ戦艦新造ノ計カクヲ發表スル等算ヘ來レバ蔭ニ陽ニ或ニ喜ブベカラザル風潮デアル。茲ニ於呼余ハ次ノ如キ考ヲ下ス　即チ

廿世紀ハ文明軍機ノ發明軍備擴張時代ニシテ廿一世紀ハ世界的戦國時代トナルダロー

夜石垣ガ此頃煙草盆ノ火鉢ニ付イテ、シキリニ工夫シテ居ルノデ。今日余ハ計ラズ改良煙草盆ナルモノヲ見タ　実ニ面白カッタノデ之レヲ製圖シテ居イタ　而シテ六日ノ日曜日ニ持ツテ帰ヘツテヤロートノコシ仕舞テ居イタ　十時半就寝

▲▼393～412ページ▲▼　金銭出納録

月日	品目	収入	支出	姓名
元	繰越金	.180		
々	姉ヨリ	3.000		
々	一日元旦発行趣味新年號一冊		.350	
2	活動寫眞二人分		.400	
々	帰途巻二膳		.200	
々	小旦那	5.000		
3	住吉往復電車賃		.150	
394ページ				
3	芋せんべい　土産ノ爲		.100	
4	店員預金		3.000	三円五十八銭
々	三日分　自宅ヘ土産ノ爲メ「カキ」ノフライ一折		.350	三円二十三銭
	シカシ僕帰ラズ食ス			
5	夜西洋料理		.320	
6	石鹸入一個		.120	二円七十九銭
7	テンプラウドン一ツ　キツネ一ツ		.100	
7	賞與金	5.000		
々	店員預金		5.000	二円六十九銭
8	協商組換金預リ	1.550		
々	散髪		.200	

々	ぜんざい屋		.130	三円九十一銭
395ページ				
10	下駄　りきう一足		.690	
々	紺足袋一足		.270	
々	土産ノ爲西洋料理		.500	
々	玩具ノ電車一個　ぜんまい仕懸		.150	
々	ABC雑誌一冊　中學文タン一冊		.120	二円十八銭
11	芋		.100	
12	倫敦一冊		.250	
々	コマ一個		.080	
々	西洋料理　ライスカレー　カツレツ		.270	
396ページ				
2/11	姉ニ貰フ	2.000		
々	活動寫眞		.300	
2/12	研数學館ニ入會		1.520	東修並ニ會費二ヶ月分
17	ニユーム板三十五匁		.180	現金場
	合計	2.000	2.000	無出入
2/18	姉ヨリ	2.000		
々	坂口君へ		.500	
19	ニユーム板一枚		.300	現金部
々	芋　濱宅ニテ		.050	
20	西洋料理		.610	

々	ニユーム針		.080	
397ページ				
21	芋		.050	
22	々々		.05	
23	キツネ		.030	
25	々		.060	
々	給料	1.590		主人
々	店員預金		.500	
々	姉ヨリ	1.000		
々	圖書展覧會繪端書		.050	
々	入場料及下足		.040	
26	鋼針		.050	
27	食物		.160	
398ページ				
27	小旦那ニ借用	2.500		三月十二日返却
々	かよ万へ下駄拂		3.550	
28	活動寫眞		.300	
	繰越		.710	
	合計	7.090	7.090	
	繰越	.710		
3/1	スマイルス翁自助傳		.400	小谷書店
2	積立金三日分		.090	

3	芋		.050	
4	店ヨリ旅費	1.500		
々	電車賃		.410	
399ページ				
々	キツネ二ハイ		.060	
々	西洋料理		.140	
々	々		.440	
々	散髪		.250	
5	二日分積立金		.060	
6	積立金		.030	
々	間食		.100	
7	積立金八日分日共ニ		.060	
7	姉ヨリ	2.000		
8	間食　西洋料理		.500	
々	鉛筆		.050	
400ページ				
9	積立金		.030	
々	辨当代		.200	
々	英語世界		.100	
10	積立金　十一日分ト共ニ		.060	
11	足袋一足		.250	
々	辨当代	.200		

々	岡本正君ニ世界地圖ヲ賣ル	.800		
12	河野君ヨリ借用	.500		
々	新町橋ヨリ鉄工所前迠		.060	巡航船代
々	安治川口ヨリ梅田迠		.070	汽車賃
々	梅田ヨリ三休橋迠		.080	電車賃
401ページ				
々	梅田ニテ晝食		.150	
々	税務署書記手数料		.030	
々	店ヨ右旅費トシテ	.380		
々	小旦那へ返却		.250	
々	積立金		.030	
14	姉ヨリ	1.500		
々	中學世界		.200	
15	積立金　十三日ヨリ三日分		.090	
々	鉛筆ニゴム		.100	
々	ニユーム針一丈		.090	
々	河野君へ返却		.500	
402ページ				
21	積立金		.090	
20	晝食		.150	
24	積立金		.030	
々	間食		.150	

々	ゴム		.050	
25	積立金		.060	
々	書食		.230	
々	同店ヨリ	.200		
々	間食		.200	
26	々		.150	
々	積立金　六日分		.180	
403ページ				
々	スクラップブック一冊		.500	
25	店ヨリ	1.500		
々	店員預金		.500	
29	足袋		.300	
々	ゼンザイ		.110	
30	散髪		.200	
31	マン十		.050	
30	父ヨリ	1.500		
31	不明		.150	
	合計	10.790	10.190	
四月	差引在金	.600		
404ページ				
31	封筒		.100	
1	帰宅車賃		.150	

2	積立金　五日分		.150	
1	姉ヨリ	1.000		
3	ハンカチ二枚		.140	
々	蜜柑十個		.100	戸次ノ幸チヤンニ土産トシテ
4	洗屋拂　三月分		.100	
々	積立金　十日？デ		.150	
5	工業瓦斯一冊		1.080	
々	ドラウツマンス、ポケットブック		.700	宝文館
10	科學世界一冊		.200	田中書店
405ページ				
6	店員簿ヨリ	3.000		
11	コンパス一組		1.650	
々	製圖用ピン		.100	
々	海綿		.030	
々	積立金ヨリ	1.200		
12	内ヨリ	1.900		
々	散髪		.200	
々	鉛筆ノ心入ト心		.030	京都総儀ニテ
々	京都市外全圖一部		.100	七條亭車場ニテ
々	西洋料理		.400	
406ページ				
13	松木君へ貸		.300	

12	下駄屋拂		.720	
15	英語世界一冊		.100	宝文館
々	ポケット外史一冊		.500	小谷書店
16	製圖用鉛筆三本		.120	
々	ノートブック一冊		.200	
18	ゴム(但シ研究用)		.080	
々	姉ヨリ	2.000		
々	ゼンマイ仕掛遊動円棒玩具一個		.400	
19	大日本工學會		1.580	(但シ登記料モフクム)
20	松木君ヨリ	.300		
407ページ				
々	間食(ぜんざい屋)		.150	
25	給料ト利子	2.080		
々	店員預金		1.000	
26	自宅往復車賃		.300	
27	博覧會入場料		.030	
々	同記念繪端書		.100	
25	散髪		.200	
26	兄ニ煙草一個		.100	
	合計	12.080	11.310	
五月	差引有高	.770		
1	鉛筆		.050	

408ページ				
1	竹紙		.050	
々	ポッピーオイル		.350	
々	夕食		.110	
3	ジヤンペンサイダー		.100	
4	ペーパーと鉛筆		.130	
々	宅ニテ	.500		
7	英語ノ日本		.120	田中書店
8	姉ヨリ	2.000		
々	兄ヨリ	1.000		
10	研数學館會費六ヶ月分		.520	
9	歐羅巴前編一冊		.780	小谷書店
409ページ				
々	科學世界増刊一冊		.200	田中書店
々	西洋料理		.500	
10	神戸行旅費	1.500		
々	電車賃		.410	
々	神戸市地圖一冊　英語世界一冊		.200	
々	パバナ		.150	
々	芋トキツネーパイ		.080	
10	散髪		.200	
13	間食		.250	

15	太平洋ケ臨時増刊　發明界ノ四十七士		.120	
16	ニッケル板一枚		.120	
410ページ				
16	車賃		.200	
17	西洋料理		.500	
々	はみがき		.050	
18	禁酒會々費三ヶ月分		.450	
々	岡本正君ニ本ヲ賣ル	1.500		
々	晝食		.165	
々	植物採集帖一冊		1.250	
20	ゴムペーパ、半紙		.300	
々	姉ヨリ	2.500		
24	晝食		.100	
々	植物台紙十枚		.120	
411ページ				
25	給料	1.500		
26	間食		.060	
27	西洋料理屋拂		.300	
30	不明		.300	
	合計	11.270	8.235	
	差引有金	3.035		
1	散髪		.200	

2	快動寫眞		.300	
3	ナイフ		.250	
々	紙		.080	
々	鉛筆		.050	
412ページ				
5	西洋料理屋拂		.450	但シ此内卅二銭松木分ヨリ
7	七色獨楽		.300	宝文館
々	文藝倶楽部		.250	
々	鉛筆ト螢		.090	
8	西洋料理　但シタ食トシテ		.370	
6	すし　宅へ土産トシテ		.500	
々	車賃		.150	道デ雨ガ降タノデ
12	姉ヨリ	2.000		
14	研数學館		1.020	
14	ペーパー		.360	宝文館
15	ニユーム板		.350	

▲▼426ページ▲▼　住所人名録

大阪市東区備後町三丁目（但シ三休橋筋東へ入）　　　藤井甚兵衛氏　大阪

同所　（但シ三休橋筋南へ入）	藤井甚松氏	同
大阪市南区馬渕町（但シ今宮戎神社南へ半丁）	市立恵美尋常高等小學校	
大阪市南区東関屋町	市立恵美尋常高等小學校第二分校	
東京市芝区櫻田久保町　振替貯金口座東一五〇六〇番	大日本工學會	
大阪市東区京橋一丁目弐十番地吉野方	小島菊次郎	大阪
新潟縣三島郡與板町泉丁	大橋華洗	
和歌山市西かじや町東庄吉方	田中御母堂	

▲▼427ページ▲▼　住所人名録

大阪市東区伏見町弐丁目牧染料店	酒井庄太郎	大阪
々東区順慶町稲畑商店ニテ	青木照太郎	々
々東区高麗橋通三丁目一九番地	大阪禁酒會事務所	
（神戸市）兵庫浜崎通り弐丁目一ノ六　菅野信吉方	田中むめの	和歌山
東京市京橋区築地南小田原町一ノ十三　細川方	細川兼蔵	東京
台湾歩兵第一聯隊第三大隊第十中隊第五班	川寄爲吉	大阪
大阪市南区竹屋町二三四番邸	泰西学館分校	
伊勢ノ国河藝郡栗眞村字町屋根上リ	伊藤宇吉	伊勢
第四師團第八聯隊第　大隊第一中隊	小原小弥太	大阪
大阪市南区恵美須町四丁目	松谷清吉	々
々南区恵美須町三丁目	竹島新三良	々

▲▼428ページ▲▼　住所人名録

東京市麻布区飯倉町四ノ四	大日本繪画講習會
々神田区猿楽町九番地　振貯口坐番号東一八三九八	研数學館
東京府南葛飾郡砂村元治兵衛新田四〇	鈴木藤三郎
東京市江原郡品川町北品川宿二二三　新橋六六九	緒明菊三郎
東京府下豊摩（ママ）郡千駄ヶ谷町八二一	山内器械製作所
大阪市東区北濱二丁目九十番地　東三〇八一	大日本商業學會
大阪市東区瓦町二丁目増進社方	石垣喜三郎
東京市赤坂区榎坂町四丁目	島田種次郎（四〇）
東京市四谷区塩町一丁目男爵奈良原繁内	海軍中技手工學士奈良原三次
東区瓦町弐丁目増進社支店	石垣喜三郎